

Panasonic®

取付設置説明書 アクアハートa-U シリーズ バスルーム



- 取付設置前にこの取付設置説明書を必ずお読みのうえ、正しく取付設置してください。
- 特に「安全上のご注意」(4 ~ 8 ページ) は、取付設置される前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- この取付設置説明書に記載されていない方法で取付設置され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 電気工事は関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者」が行なってください。
- 裏配管以降の水道配管工事は専門業者にご依頼ください。
- 本体や水栓金具、その他機器に付属されている取扱説明書は、お施主様に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、取付設置完了後、お施主様または建築工事責任者に直接お渡しいただくか、タオル掛けなど目につく所に取り付けておいてください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

- ポップアップ排水栓取り付けの際、ドリル（キリ先 ϕ 12.0）が必要となります。取付設置前にご用意ください。



- おきラク手すり取り付けの際、ドリル（キリ先 ϕ 9.0）が必要となります。取付設置前にご用意ください。
- 鋼板用樹脂アンカー（白）、フィッシャーアンカーは使用しないでください。

もくじ

大切なお知らせ

●安全上のご注意	4	●取付設置手順	10
●改訂履歴	9	●使用工具類	12

取付設置のしかた

1. 取付設置前の準備

1 取付設置前の準備 13

- 部材搬入・間配り～部材チェック
- 部材の搬入
- 部材のチェック
- 床パンの仮置き
- 天井パネルの仮置き

2. 床の設置

1 床パンの設置 17

- ユニット墨出し
- 引き戸専用トラップの取り付け
- ドア下排水管の接続
- ドア下排水管固定金具の取り付け(B勝手の場合のみ)
- 排水管経路図
- 床支持位置図
- 雜排水管の取り付け
- スラブコロガシ配管
- トラップの取り付け
- スラブコロガシ配管
- フロート本体の取り付け
- 水張りテスト
- 雜排水支持固定金具の取り付け
- 床据え付け高さとアジャスター bolt の確認
- アジャスター bolt 位置図
- アジャスター bolt の確認
- 床パン設置
- 位置出し
- 床レベル調整
- 床固定用スチロールスペーサーの取り付け(木造1階・高床設置の場合)
- 給水・給湯裏配管の前加工および敷設
- 給水・給湯裏配管用ブーツの取り付け
- 給水・給湯裏配管用先端部の取り付け(浴室側)
- 給水・給湯内部配管の接続
- 床点検口の取り付け
- 軀体チェック
- 床固定

3. 壁の組み立て

1 壁パネルの加工 62

- 壁パネル加工の注意事項

2 壁パネルの前加工 63

- 補強木取り付け
- 水栓固定金具補強プレート取り付け

- 水栓固定金具取り付け
- 握りバーの取り付け
- 照明の取り付け
- 壁パネルの開口
- 平ジョイナーの切断
- 床パン壁載せ面への壁下パッキンはり付け

3 壁パネルの建て込み 73

- 床ブロック配置図
- 壁掛けハンガー取り付け
- 壁パネル建て込み
- 壁パネルコーナー部の接続
- 壁パネル平部の接続
- 現場開口した壁パネルの建て込み
- ドアコーナージョイナーの取り付け

4. ドア枠の取り付け

1 3枚引き戸 82

- 付属部品一覧
- 引手の取り付け
- ドア枠の組み立て
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア枠の取り付け

2 2枚引き戸 89

- 付属部品一覧
- 取っ手・サムターンの取り付け
- ドア枠の組み立て
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア枠の取り付け
- 下枠レール・下枠前カバーの取り付け

5. 天井の設置

1 天井組み立て前の作業 99

- 天井養生フィルム取り外し
- ダウンライトの取り付け
- 換気扇の取り付け

2 フラット天井の組み立て 101

- 天井取り付け
- ジョイントボックス取り付け

3 壁パネル・ドア枠と天井の接続 102

- 天井固定順序
- ドアの建て起こし(ドア枠鉛直度の調整)

4 壁と天井の仕上げ 105

- 壁柄と壁目地・シーリング材
- 壁パネルの目地打ち込み

取付設置のしかた

- ドア上小壁の取り付けと仕上げ
- 天井回し縁の取り付け

6. 浴槽の設置

1 浴槽の据え付け 111

- 浴槽据え付け前作業
- 浴槽バックハンガー・浴槽のねじ固定・エプロン水返し位置図
- 浴槽バックハンガーの取り付け
- 床パンへのシールはり付け
- 追い焚き釜穴開口
- 排水パッキンの取り付け
- フロート弁付き目皿の前加工
- 浴槽下シートの取り付け
- 浴槽の据え付け
- 浴槽支柱の取り付け
- ポップアップ排水栓の取り付け
- フロート弁の取り付け
- エプロン固定金具へのシーリング材充てん
- エプロン支持具の取り付け
- 沿槽のねじ固定
- エプロン水返しの取り付け
- サイドエプロンの取り付け
- ポップアップ排水栓ボタンの取り付け
- エプロンの取り付け
- エプロン高さ調整
- シーリング材充てん(浴槽周り)

2 排水口部品の取り付け 142

- 排水口ふた取り付け

3 ドア仕上げ 143

- ドア周りの仕上げ

7. カウンター・水栓の取り付け

1 ライン水栓の取り付け 145

- ライン水栓の取り付け

2 スゴピカ水栓(スクエア)の取り付け 147

- 水栓本体の組み立て

3 バイザーカウンターの取り付け 153

- バイザーカウンターの取り付け

4 洗面器置き台の取り付け 154

- 洗面器置き台

5 スゴピカカウンター(スクエア) 155

- カウンターの取り付け前の作業
- カウンタートップ
- 下カバー

6 オーバルカウンター 159

- カウンターの取り付け前の作業
- カウンタートップ
- 下カバー

7 ライトタッチ水栓の取り付け 162

- ライトタッチ水栓の取り付け

8 おきラク手すり本体の取り付け 165

- おきラク手すり取付位置図
- おきラク手すり本体の仮固定

8. ドア本体の取り付け

1 3枚引き戸 170

- ドアの吊り込み
- ドアの軸受け調整
- 錠部ツマミの取り付け

2 2枚引き戸 173

- 戸袋パネルの取り付け
- 障子のつり込み
- ドアの戸車調整
- ドアの軸受け調整
- 錠部ツマミの取り付け
- 錠部ツマミの交換方法(参考)

9. 器具の取り付け

1 カウンター周辺器具 177

- シンプルミラー
- 縦型スリムミラー
- 縦型ミラー

2 収納関連器具 180

- シャワースライドバー
- シャワーフック
- シャワーホースフック
- ライトシェルフ
- ワイヤーシェルフ
- クリアシェルフ

3 天井周辺器具 184

- 照明用カバー
- 物干しバー
- フラットライン LED 照明

10. 仕上げ・清掃・検査

1 最終仕上げ 186

- ラベルのはり付け
- シーリング材の準備
- シーリング材充てん
- 天井回し縁の取り付けとシーリング材充てん(フラットライン照明)

2 最終チェック・清掃と後片付け 189

- 清掃と仕上げ
- 通水(排水)チェック
- 最終チェック

11. 付録

1 乾式目地の取り外しかた 190

- 取付設置後のチェック
- 取付設置業者様へのお願い・設備業者様へのお願い
- 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

  してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

全体的なこと



アース線接続

- アース工事は、電気設備技術基準に関連する法令・規制などに従って、必ず「電気工事士」による□種（第三種）接地工事を行い、漏電ブレーカーを設置する
誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電する原因となります。



禁 止

- 電気機器の配線に付属部品の固定ねじで傷を付けない
傷が付くと、火災や漏電の原因となります。



分解禁止

- 商品の改造や仕様変更は絶対にしない
商品の改造や仕様変更は事故の原因となります。

- 本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。

建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。

流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。

- 電気工事・水道工事は、関連する法令・規制に従つて、必ず「有資格者」が行う

火災、感電、水漏れの原因となります。

- 開口部のバリ取りは確実に行う

バリ取りをしないとけがや水漏れの原因となります。

- 暖房換気乾燥機・換気扇・照明器具・ミラー・握りバー・混合水栓などの付属部品は、取付設置説明書に従い、指定位置に確実に取り付ける
思わぬ事故や故障の原因となります。

- 電気機器は、その機器の定格電圧で使用する
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

- 電気接続の際は、使用電線のサイズ、本数と圧着部のサイズとが適切な組み合わせになっていることを確認する
また、そのサイズに合った専用工具で締める
適切な組み合わせになっていたいなかったり、専用工具以外で締め付けると、火災の原因となります。

- 結線は緩みのないように確実に接続する
過熱・火災の原因となります。

壁



必ず守る

- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
飛び散った切りくずが目に入つてけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

全体的なこと



禁 止

- ・重量物は一人で運ばない
一人で運ぶと、けがをするおそれがあります。

- ・ねじの締め付け後は、空回りさせない
パッキンがねじ切れたり、ねじ山が破損し、締め付け不良や水漏れの原因となります。

- ・清掃時に、溶剤（シンナーなど）は使用しない
変色・変形やひび割れによる水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・運搬や取付設置は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う
守らないと、けがをするおそれがあります。

- ・シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う
確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となったり、補強合板が十分に固定されません。

- ・工事に使う溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示に従って正しく使う
誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、部品の損傷や劣化の原因になります。

- ・専用工具の使用箇所では、必ず専用工具を使用する
専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。

- ・ねじはまっすぐ垂直に締め付ける
斜めに締め付けると最後まで締め付けられず、水漏れの原因となります。

- ・ねじの締め付けは確実に行う
ねじは指定箇所に確実に締め付けないと部品の脱落や、水漏れの原因となります。

- ・締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する
ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。

エプロン



必ず守る

- ・ねじは、必ず手回しドライバーで固定する
電動ドライバー・インパクトドライバーの使用禁止
ねじの空回りや素地の破壊により固定フランジを確実に取り付けられず、水漏れの原因となります。

- ・エプロン支持具（ラッチ）は指示どおりに正しく取り付ける
正しく取り付けないと、エプロンがはまりにくい、落下するなどの原因となります。

浴槽



必ず守る

- ・浴槽を据え付ける際に、ポップアップ排水栓のレリースや排水管を破損しないように注意する
破損すると、水漏れの原因となります。

- ・水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する
専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。

- ・浴槽バックハンガーは、取り付け指定位置に確実に取り付ける
確実に取り付けないと、使用中にはずれたりしてけがの原因となります。

床・浴槽



禁 止

- ・床や浴槽の端には乗らない
バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。

浴槽・カウンター



禁 止

- ・浴槽やカウンターなどに乗って作業をしない
足を滑らせ、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

壁



禁 止

- 目地の再利用は絶対にしない

破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。

- パネルに開口がある場合は必ず裏補強する

- 開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する

裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されず、水漏れのおそれがあります。

- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む

すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。

- 床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける

必要な箇所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。

- コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく

壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。

- コーナー上ブロックは確実にはめる

コーナーブロックが外れると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。

- 壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける

しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。

- 目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る

目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。

- 潤滑剤を噴きつけた目地は、たとえ外観に問題のない場合でも、再使用しない

目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。



必ず守る

天井



禁 止

- 天井パネルへのパッキンはり付け後は、パッキンを下にして置かない

パッキンが破損して、水漏れの原因となります。

- シーリング材充てんは天井パネル連結部に合わせて確実に行う

確実に施されていないと、水漏れの原因となります。

- 天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する

落下し、けがや破損のおそれがあります。



必ず守る

ミラー



禁 止

- ミラーの落下防止金具の解体は絶対にしない

落下して、けがをするおそれがあります。



必ず守る

- ミラー裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがさないと、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。

- ミラー受け具は確実に固定する

ずれていたり曲がっていると、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

床パン

・床パンコーナー部のパッキンは、重ねぱりしない

壁パネルと壁パネルの目地高さなどが合わなくなります。



禁 止

・シーリング材を架橋ポリエチレン管に付着させない

シーリング材の成分が架橋ポリエチレン管を侵食してひび割れし、水漏れの原因となります。

・点検口ふたを踏まない

点検口ふたが破損して、水漏れの原因となります。

・パッキンは床パンの指定位置に合わせて、確実にはり付ける

確実にはり付けないと、水漏れの原因となります。



必ず守る

・アジャスター調整穴の周囲を清掃する

ごみなどが付着したままキャップをすると、水漏れの原因となります。

・床パンの浴槽設置面の上で作業したり、脚立などを置く際は、開口・凹凸部に注意する

足を踏み外したり、脚立が倒れてけがをするおそれがあります。

・先行シーリングは確実に行う

守らないと、水漏れの原因となります。

排水トラップ

・排水トラップを締め付ける際にトラップ締付工具の下端でトラップ底を傷付けない

トラップが割れると、水漏れの原因となります。



禁 止

・トラップのねじ込み部分およびUパッキンには、シーリング材を使用しない

トラップやUパッキンが変形し、水漏れの原因となります。



必ず守る

・排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける

守らないと、水漏れするおそれがあります。

混合水栓

・メンテナンスカバーを踏まない

メンテナンスカバーが破損して、水漏れの原因となります。



禁 止

・混合水栓は、ニップルにシールテープを7~8回巻いてねじ接続する

シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。



必ず守る

壁・床

・壁・床などのシーリング材充てんは、シーリング材で確実に行う

水漏れにより家財を汚したり腐らせる原因となります。



必ず守る

・壁下パッキンは、水返しに合わせて、正しい位置に取り付ける

守らないと、水漏れの原因となります。

⚠ 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

配管・混合水栓



禁 止

- ・配管は急角度に曲げない

配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかりと差し込む
守らないと、水漏れの原因となります。
- ・締め付けリングのねじ固定は水平の位置で固定する
水平位置で固定をしないと、キリ加工時に配管を傷つけ、水漏れの原因となります。

- ・排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかりと差し込む
守らないと、水漏れの原因となります。
- ・給水・給湯管、排水管、混合水栓は確実に接続する
確実に接続しないと、水漏れの原因となります。
- ・パッキン類がよじれないようにナットを締め付ける
パッキン類がよじれると、水漏れの原因となります。

ドア



禁 止

- ・ターンナットは重量物を固定しない
落下によるけがの原因になります。



必ず守る

- ・下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する
パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。
- ・外したドアは、上下逆さにして縦置きする
ドアの下部・縦部のエアタイト材（パッキン）が損傷すると、水漏れの原因となります。
- ・ドア下枠と床パンとの間にすき間ができるよう、
押し込んで確実に取り付ける
すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。
- ・ドア横小壁は、床パンとの間にすき間ができるよう、
押し込んで確実に取り付ける
すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。

- ・ドアの下枠は必ず水平になるよう取り付ける
傾きがあると、水漏れや走行不良の原因となります。
- ・穴隠しキャップはドア枠ねじ穴に確実にはめる
取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります。
- ・ラッチの確認・調整は必ず行う
ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因となります。
- ・ドア吊り込みは、上下の回転部品を正しくセットする
正しくセットしないと、ドアがはずれ、けがをするおそれがあります。
- ・シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う
確実にシーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。

照明器具



必ず守る

- ・照明カバーは確実に取り付ける
守らないと落下し、けがをするおそれがあります。

握りバー・おきラク手すり



必ず守る

- ・握りバーの裏補強は確実に行う
確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- ・握りバーの取付座は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。

- ・握りバーの受け具は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。
- ・おきラク手すりのブラケット固定は、必ず手回しドライバーで固定する
電動ドライバーを使用すると、バリが発生しけがをするおそれがあります。

※商品を開梱したら外観に損傷がないことをご確認ください。

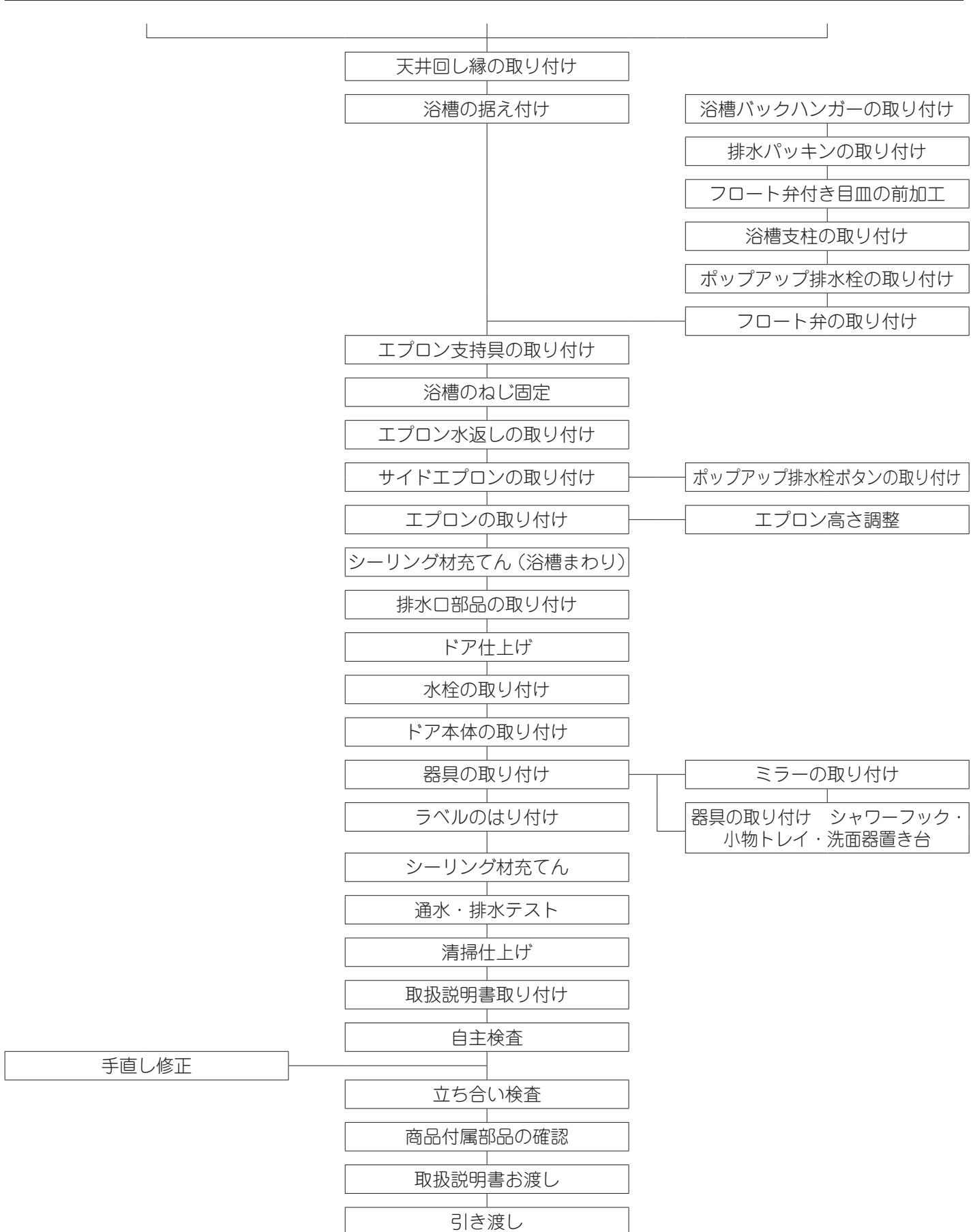
(取り付け済商品の損傷は、保証対象外となりますので、取り付け前に必ずご確認ください。)

改訂履歴

改訂年月	No.	内 容	ペー ジ
2015年9月	1	初版	—
2015年11月	2	【部材搬入・間配り～部材チェック】床パン重量の変更	13
	3	【ドア下排水管の接続】1624・1620サイズの追記	16
	4	【排水管経路図】追加	18～19
	5	【雑排水支持固定金具の取り付け】金具取り付け位置の追記	26
	6	【アジャスター ボルト位置図】アジャスター ボルトの目安寸法を変更	29～31
	7	【アジャスター ボルト位置図(1620・2020サイズ(UBFL=200)、1624サイズ(UBFL=215)の場合)】目安寸法の表を追記	29
	8	【位置出し】位置出しの計算方法を追記	33
	9	【床レベル調整】ドア側の床のイラストを追記	35
	10	【床固定用スチロールスペーサーの取り付け(木造1階・高床設置の場合)】スチロールスペーサーの取り付け位置を変更	36
	11	【床点検口の取り付け】床点検口取り付け後のシーリング材を充てんするイラストを追加	37
	12	【壁パネルの開口】握りバーから窓開口までの寸法を変更	44
	13	【現場開口した壁パネルの建て込み】壁補強金具を削除	56
	14	【換気扇の取り付け】追加	64
	15	【壁目地について】組み合わせの追加	69
	16	【ドア上小壁の取り付けと仕上げ(全高2150の場合)】ねじ種類・ねじ付属場所の追記	73
	17	機械浴槽・檜浴槽の場合の文章を追加	75～96
	18	【追い焚き釜穴開口】イラスト追加	78
	19	【床パンへのシールはり付け(機械浴槽・檜浴槽の場合のみ)】追加	94
	20	【ドア周りの仕上げ(W2000サイズ3枚引き戸の場合)】マスキングテープの注意を追加	96
	21	【フラットラインLED照明の取り付け】追加	113
2016年10月	22	【1616・1216サイズ】追加	—
	23	【おきラク手すりの取り付け】追加	118～122
	24	【サークルLED照明・スクエアLED照明】追加	55、133
2017年2月	25	1216サイズ【2枚引き戸】追加	76～85、138～142
2017年3月	26	【2枚引き戸】部品番号・イラストを変更	76～85、123、138～142
2018年3月	27	【2024サイズ】【W1600浴槽】追加	—
2020年7月	28	【床据え付け高さとアジャスター ボルトの確認】UBFL=295、UBFL=370 追加	35～36、38～39
	29	【アジャスター ボルト位置図】修正	41～50
	30	【スゴピカ水栓(スクエア)】追加	146～151
	31	【オーバルカウンター】追加	158～160
2023年3月	32	【壁目地について】【シーリング材充てん】壁柄の変更	105、186
	33	【縦型ミラーの取り付け】追加	178
	34	【シャワーホースフックの取り付け】追加	179
	35	【クリアシェルフの取り付け】追加	182
	36	【物干しバー(オプション)の取り付け】取付方法の変更	184
2024年1月	37	【3枚引き戸】付属部品の追加	83
	38	【壁柄と壁目地・シーリング材】壁柄の変更	105
2024年2月	39	【天井固定順序】照明固定時の確認の追加	103
	40	【天井回し縁の取り付けとシーリング材充てん(フラットライン照明)】追加	187
2024年9月	41	【ライン水栓の取り付け】追加	145、146
	42	ワンタッチ水栓固定金具の場合の文章を追加	63、64

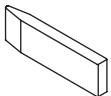
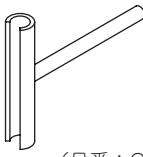
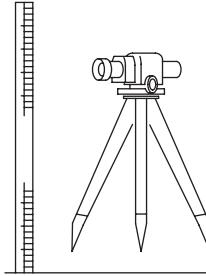
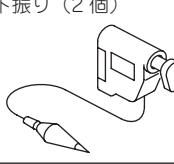
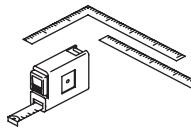
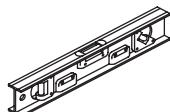
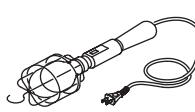
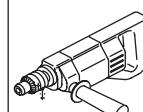
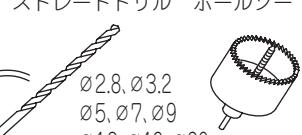
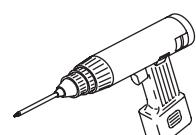
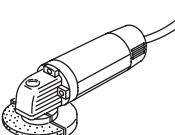
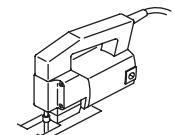
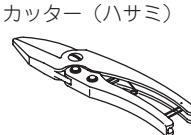
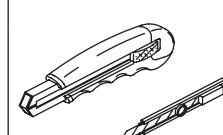
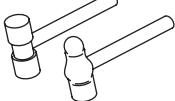
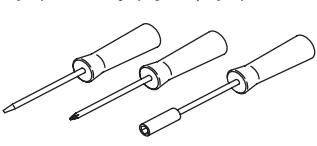
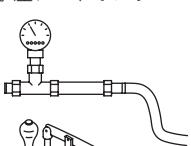
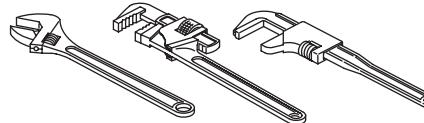
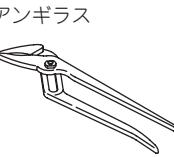
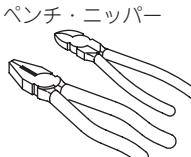
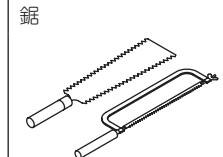
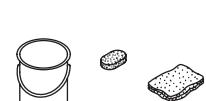
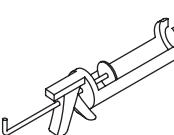
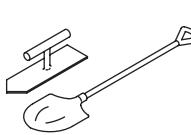
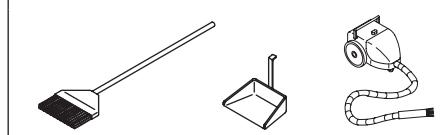
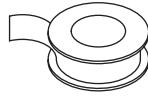
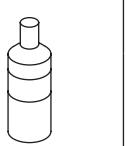
取付設置手順





使用工具類

単位：mm

専用工具	目地打ち込み治具  (品番: GRXGVR7107)	平目地打ち込み治具  (品番: GRYGD9111)	浴槽目地打ち込み治具  (品番: GVD5851)	仮固定目地  (品番: GVP3269)	トラップ締め付け工具  (品番: GRYGVR7106)	水栓固定金具締め付け工具  (品番: GRYGR818188)
	ドア調整工具  (品番: GRYGR818111)	アジャスター・ボルト調整レンチ  (品番: GRYGD7301)	浴槽側アジャスター・ナット固定治具  (品番: GVR7101)			
必要工具	レベル 	レーザー墨出器 	下振り（2個） 	コンペックス・鋼尺 	ケガキ用具（鉛筆・油性ペンなど） 	墨つぼ・墨さし 
	水平器 	キャブタイヤードラム 	作業灯 	電気ドリル 	ストレートドリル ホールソー  Ø2.8, Ø3.2 Ø5, Ø7, Ø9 Ø10, Ø12, Ø30	
	充電ドライバー 	サンダー 	ジグソー 	天井回し、目地用カッター（ハサミ） 	カッター（大・小） 	ヤスリ（中目・細目） 
	チス・ハツリハンマー パール（1.5m） 	プラスチックハンマー・片手ハンマー 	ドライバー・ボックスドライバー 	スパナ（17mm） 	水栓用J型レンチ 	水圧テストポンプ 
	モンキーレンチ・パイプレンチ・モーターレンチ 	アンギラス 	ペンチ・ニッパー 	鋸 		
	バケツ・スポンジ・ウエス 	脚立 	コーキングガン 	金コテ・スコップ 	ほうき・ちりとり・掃除機 	
事前準備品	シールテープ 	塩ビ管接着剤（青色着色） 	リグロイン 	吸盤（耐荷重 2Kg 以上） 	アルミテープ 	

シーリング材は、製品に付属しています。



1. 取付設置前の準備

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 取付設置前の準備

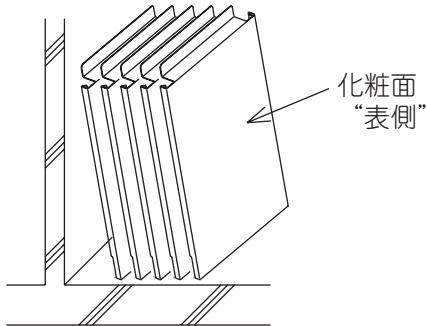
1 部材搬入・間配り～部材チェック

①部材の搬入は事前に打ち合わせ、確認した“時間”“方法”で行う。

- ・仮置き場所（ストックヤード）は他の作業の防げ、損傷、雨水、溶接火花などに注意してください。
- ・揚重機の運転操作が必要な場合は必ず有資格者が行ってください。

②壁パネルの間配りは“取付設置図”または“壁パネル配置図”で品番（配置番号）を確認して行う。

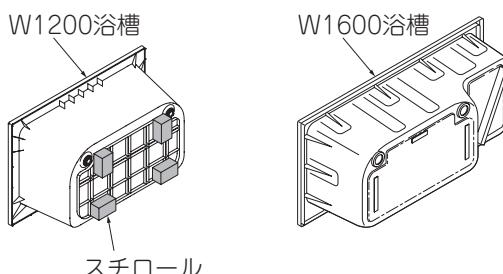
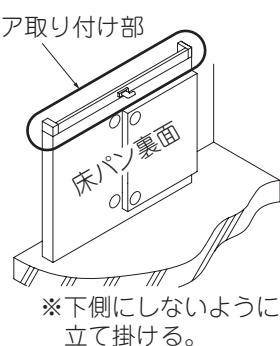
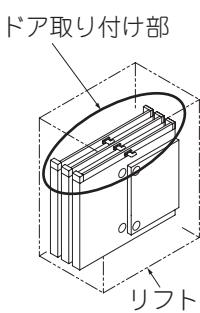
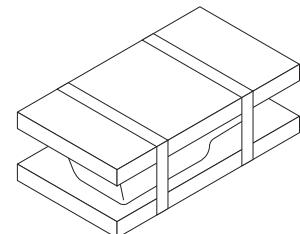
- ・積み降ろし～持ち運びは化粧面にすり傷を付けないように、ずらしたり、すべらしたりしないでください。
- ・化粧面を内側にして持ち運びしてください。
- ・化粧面を表側にそろえて仮置きしてください。



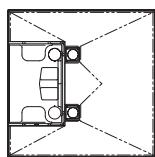
③床パン揚上リフトの積み込み・立て掛けの注意。

- ・ドア取り付け部（アルミ部材側）は必ず下側にしないようにし、床の積み込み・立て掛けを行ってください。
- ・浴槽仮置きの際、浴槽底面のスチロールを取り外して直置きしないでください。（スチロールは浴槽据え付けの直前に取りはずします。）

※W1600浴槽の場合は
外観確認後再梱包して
搬入してください。



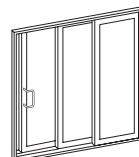
④主要部材の重量は下記参照。揚重～間配り作業の基準にする。



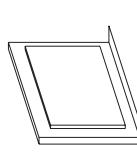
床パン
2024=100kg/台 1624=80kg/台
1620=70kg/台 1616=60kg/台
2020=80kg/台 1216=50kg/台



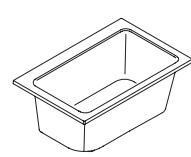
e パネル
max=22kg/枚
(11kg/m²)



3枚引き戸
=26kg/セット



天井 15kg/枚
2024: 3枚 1624: 3枚
1620: 2枚 1616: 2枚
2020: 3枚 1216: 2枚



FRP
W1200浴槽=20kg/台
W1600浴槽=35kg/台

2 部材の搬入

①部材を搬入し、安全な場所に仮置きする。

！注意



- 重量物は1人で運ばない
(1人で運ぶと、けがをするおそれがあります。)

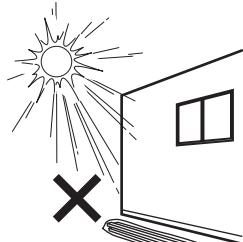
帽子・手袋は必ず着用する。

壁パネルなどは垂直に起こして運ぶ。



取付設置上のお願い

- 壁目地は、直射日光の当たる場所や、高温になる場所（車の中など）に仮置きしないでください。
壁目地が縮んだり変形するおそれがあります。



角当てに注意する。

3 部材のチェック

①各部材の員数確認と種類（タイプ）を出荷明細表（品番：数量）で照合する。

床パン	壁（天井）パネル	建具	器具・アクセサリー
<ul style="list-style-type: none">建具取り付け部（勝手）→ 台数	<ul style="list-style-type: none">ユニットタイプ（勝手）→ 枚数	<ul style="list-style-type: none">本数	<ul style="list-style-type: none">必要個数R・L勝手のあるものは個数とあわせて確認してください。

②部材を開梱し、欠品や傷などがないか確認する。

- 養生シートがはられているものは、一部をはがして外観に異常がないか確認後、再度はり直してください。
- 壁パネル工場プレスけがきの場合、棚・ミラー・照明・シャワーフック（スライドシャワーフック）の標準位置が養生シートにスタンプインク加工されています。位置がずれないように、再度はり直してください。

取付設置上のお願い

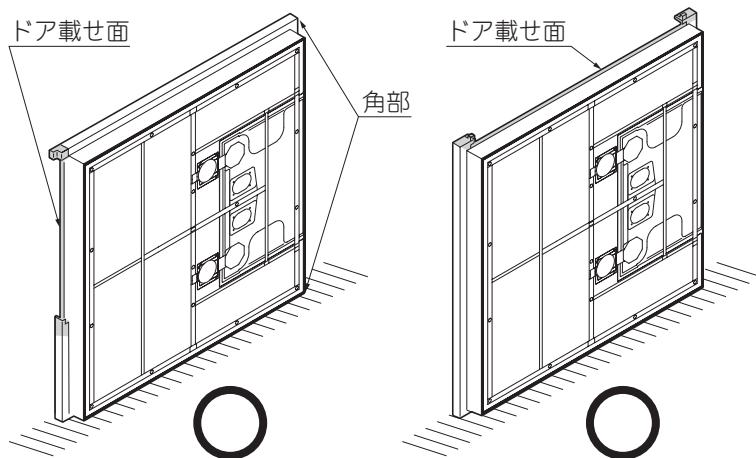
- ・壁パネルを梱包から取り出す際、ずらしたり、滑らせたりしないでください。
(壁パネルをずらしたり、滑らせたりすると、すり傷などの原因となります。)
- ・床パンの養生シートは、取付設置完了まではがさないでください。
- ・壁パネルの養生シートは、建て込み時まではがさないでください。
下穴開口などを行う際も、必要部分のみ養生シートをはがし、作業後にはり直してください。
(守らないと、床パンや壁パネルに傷が付く原因となります。)



4 床パンの仮置き

- ①床支持バー、床支持金具、アジャスターべルトを取り付けるために、床パンを仮置きする。

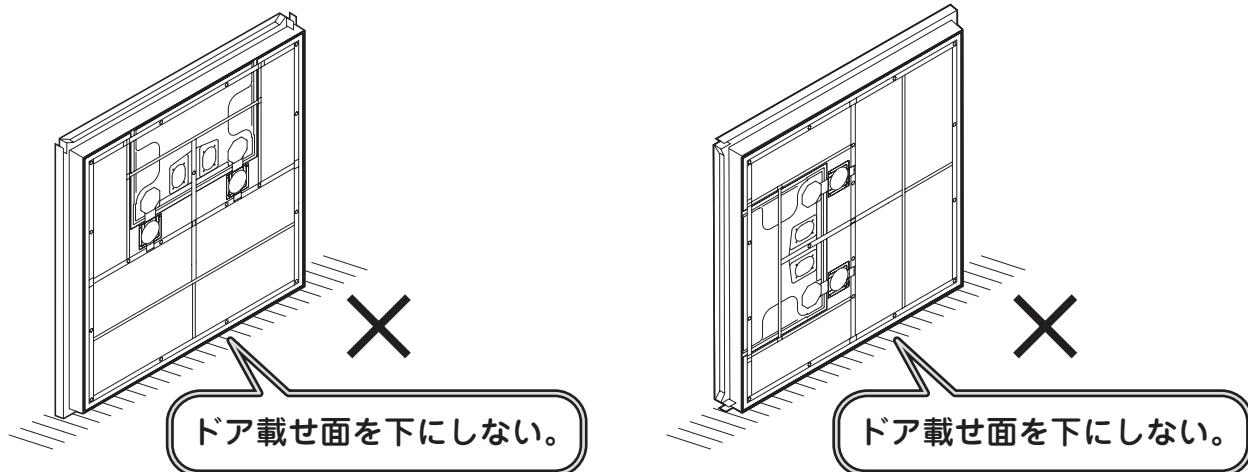
〈良い例〉



取付設置上のお願い

- ・床パンを持ち上げるときは、ドア載せ面を持ったり、無理な力を加えないでください。
(ドア載せ面が曲がったり、破損するおそれがあります。)
- ・床パンを立て掛けるときは、下の「良い例」のように置いてください。
(「悪い例」のように立て掛けると、角部、ドア載せ面が破損するおそれがあります。)
- ・床パンを立て掛けるときは、凹凸のある床面に直接置かないでください。
(ドア載せ面が破損するおそれがあります。)

〈悪い例〉



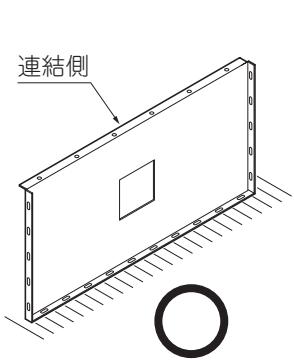
5 天井パネルの仮置き

①天井パネルの連結側を上または横にして仮置きする。

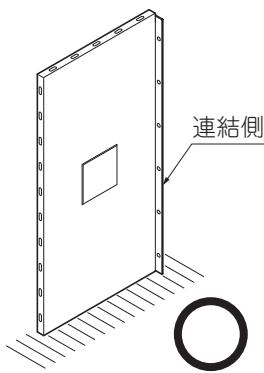
取付設置上のお願い

- 天井パネルを立て掛けるときは、下の「良い例」のように置いてください。
（「悪い例」のように立て掛けると、角部、連結部が変形するおそれがあります。）

〈良い例〉



〈悪い例〉



連結側を下にしない。

連結側



2. 床の設置

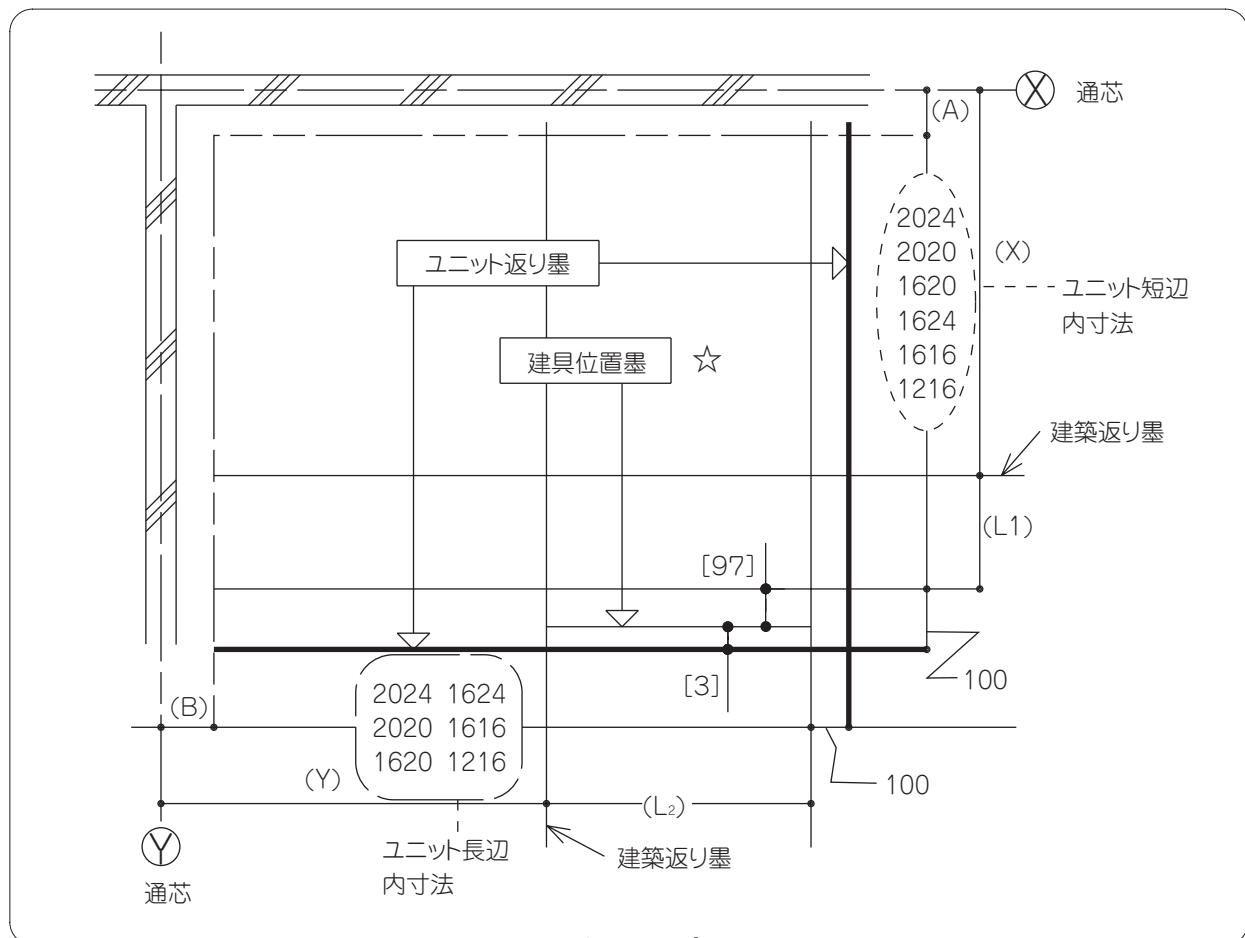
単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 床パンの設置

1 ユニット墨出し

- ①建築平面図面およびユニット納まり図面に基づきユニット墨出しを行う。



- ②ユニット返り墨は床位置出し確認時のまちがい防止のため、区切りの良い寸法（例：100）を使用する。

・建具位置墨はドア枠の位置寸法確認時の最終的な重要寸法です。特に注意して墨出しを行ってください。

点検項目	基準	点検方法
1. 墨出し基準寸法 2. 墨出し面清掃	納まり寸法 建築返り墨	取付設置図と照合 建築会社に確認 目視

2 引き戸専用トラップの取り付け

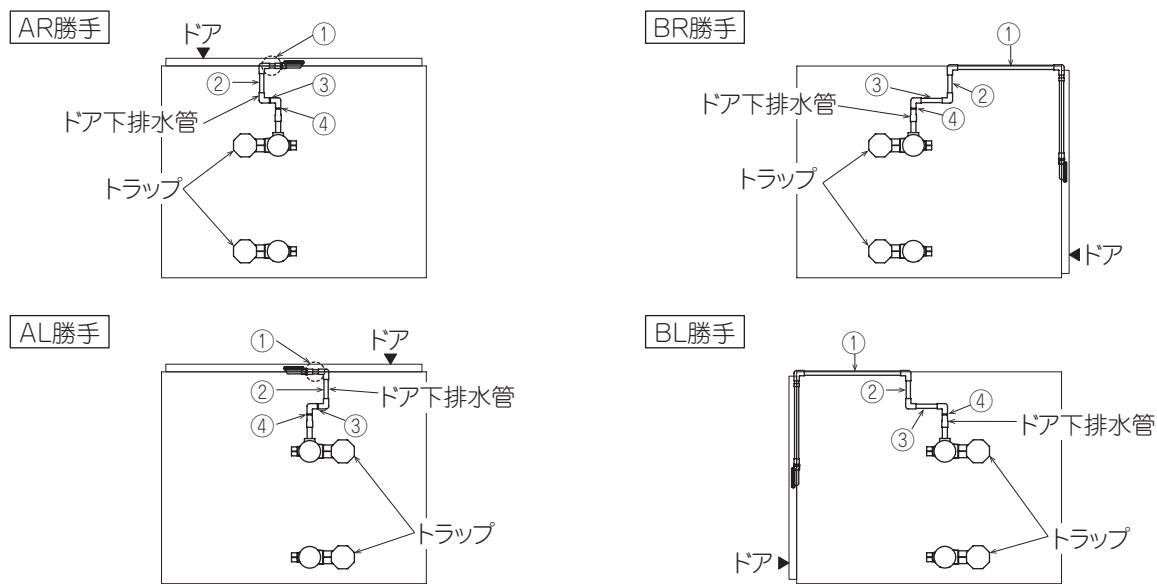
①床パン据え付け前に、トラップを取り付ける。

- ・トラップはR勝手・L勝手用がありますので注意してください。
- ・トラップの取り付けは、通常のトラップと同様に取り付けてください。
- ・ドア勝手による、ドア下排水管経路に注意してください。

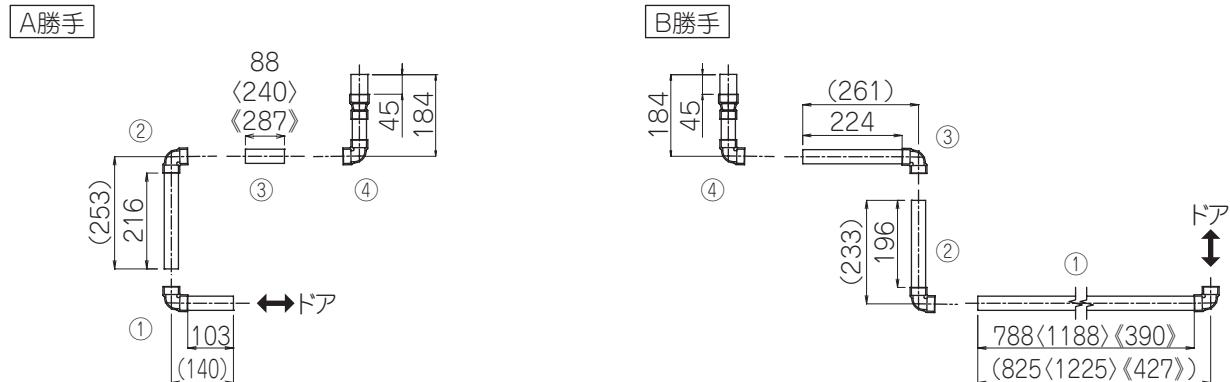
注) トラップに付属のチラシでは施工しないでください。

〈2024・2020・1624・1620・1616サイズの場合〉

〈床パン裏面図〉



〈ドア下排水管寸法図〉



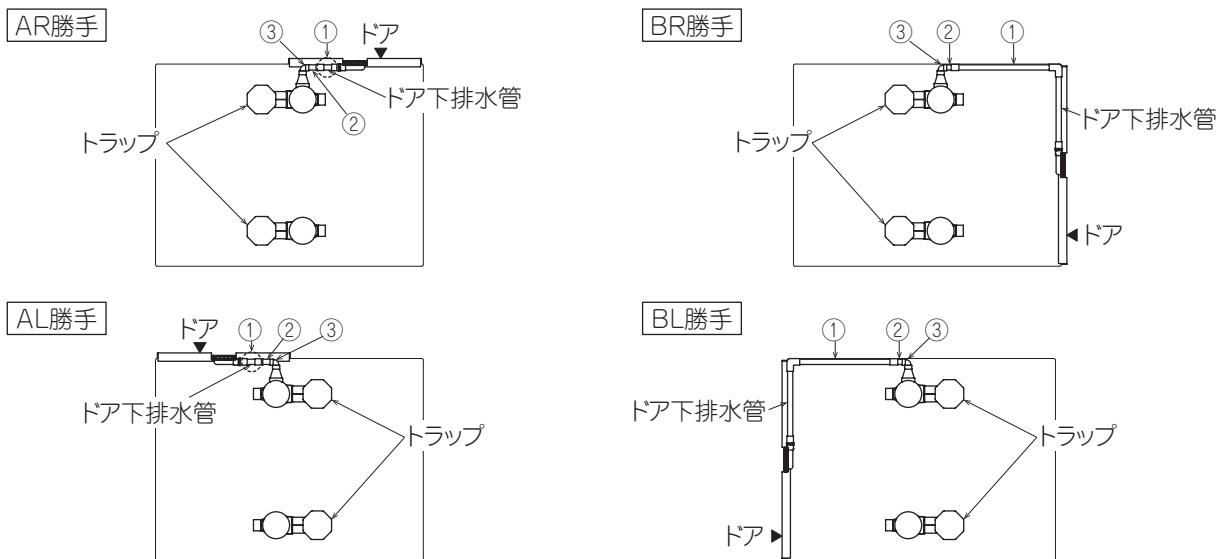
※〈 〉寸法は 2024・1624 サイズを示します。

※〈 〉寸法は 1616 サイズを示します。

※ドア側との接着は、床固定後に行ってください。

〈1216サイズの場合〉

〈床パン裏面図〉



〈ドア下排水管寸法図〉



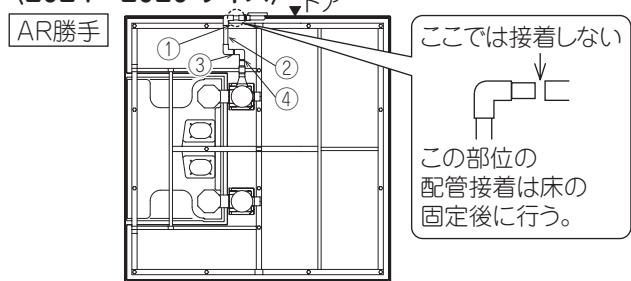
※ドア側との接着は、床固定後に行ってください。

3 ドア下排水管の接続

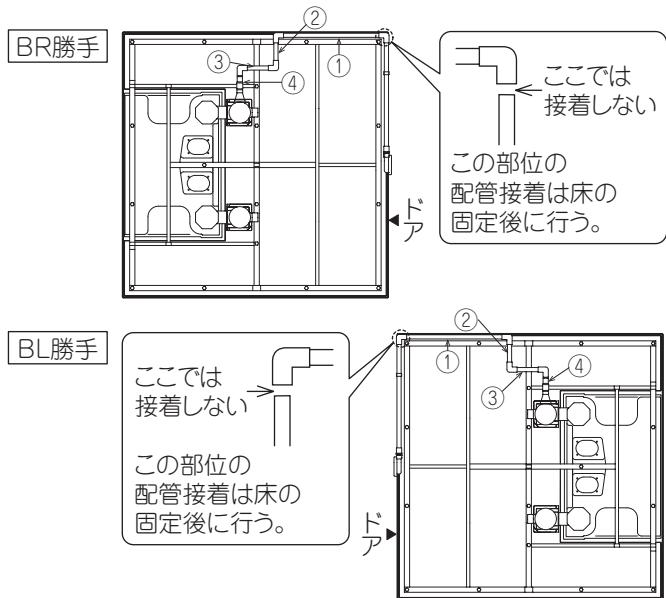
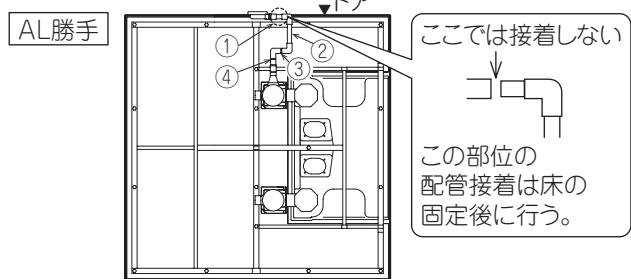
①ドア下排水管部材を確認する。

〈浴槽裏面図〉

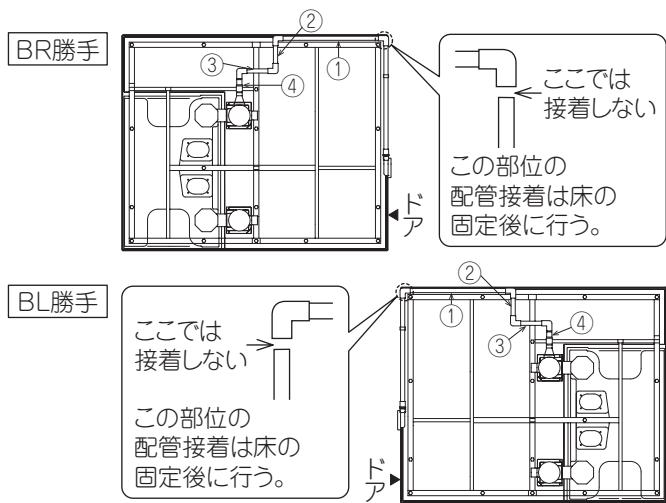
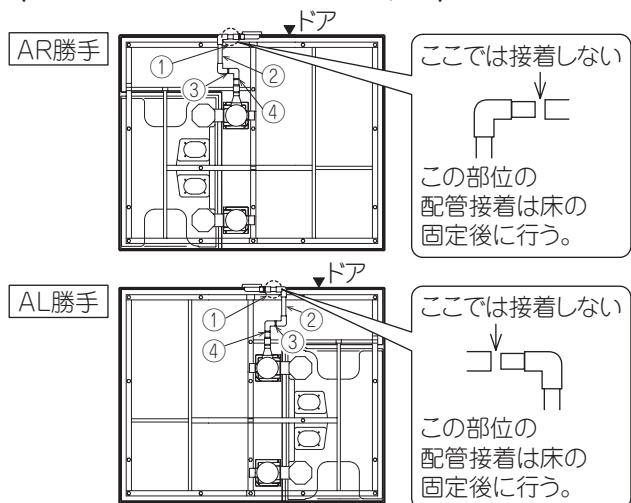
〈2024・2020 サイズ〉



※現場の状況によって、ドア下排水管を仮組みしてから一旦取り外す場合があります。配管接着は最後に行ってください。

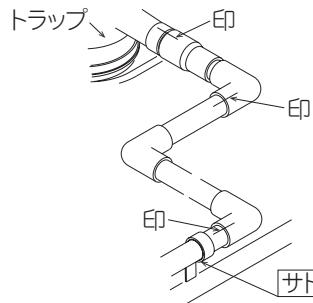


〈1216 サイズ〉



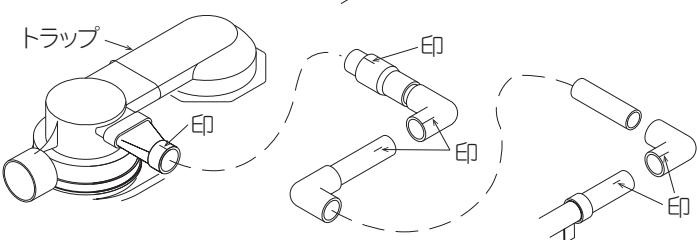
**② ドア排水管セットを仮組みし勾配を決め、接続する
排水管に印を付ける。**

- 逆勾配でないことを確認してください。
- 必要な場合は、サドルバンドを取り外し、排水管接続後に確実に取り付けてください。



③ ドア排水管セットを接着剤で接続する。

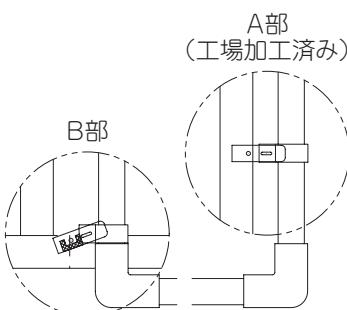
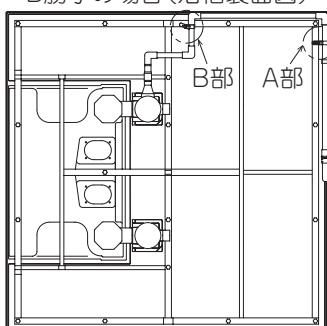
- 仮組み時に付けた印が合う
ように接続してください。



4 ドア下排水管固定金具の取り付け（B勝手の場合のみ）

① 〈B勝手の場合のみ〉 指定個所にドア下排水管固定支持金具を取り付ける。

B勝手の場合(浴槽裏面図)



ドリリングなべタッピンねじ
4x19
(ドア下排水管固定セットに付属)

ドリリングなべタッピンねじ
4x19 Fe
(ドア下排水管固定セットに付属)

スペーサー
(t=1:1枚, t=2:2枚)
(ねじセットに付属)
※B部固定時に使用

※A勝手の場合は取り付け不要です。

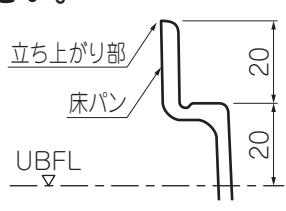
小物セット付属部材で使用しない場合もあります。

5 排水管経路図

- Wスピード排水性能確保の為、排水管取出位置は変更できません。
- 排水方向により排水管部材構成内容が変わります。
- ()寸法はUBFLからの寸法です。

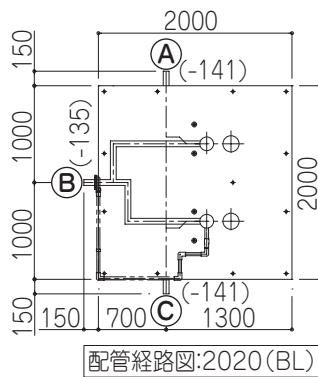
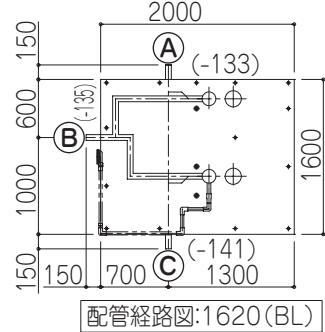
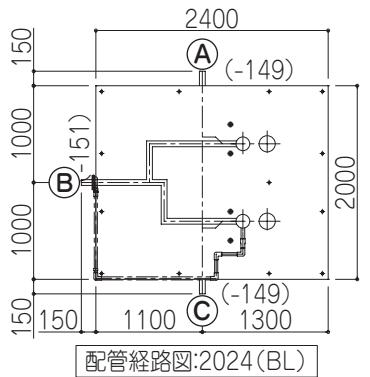
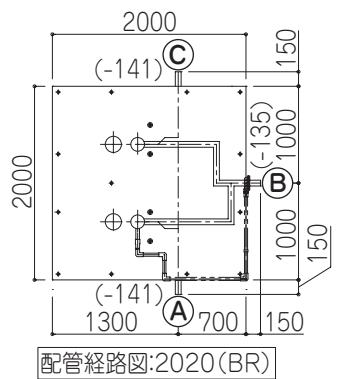
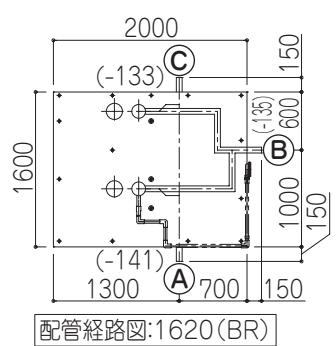
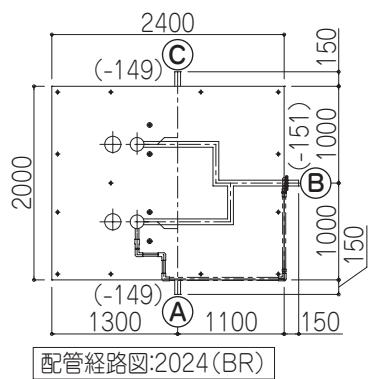
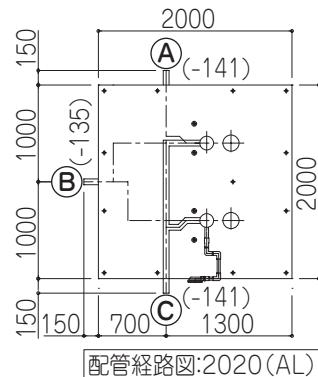
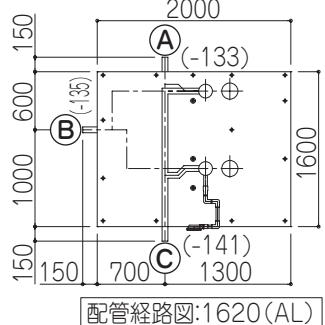
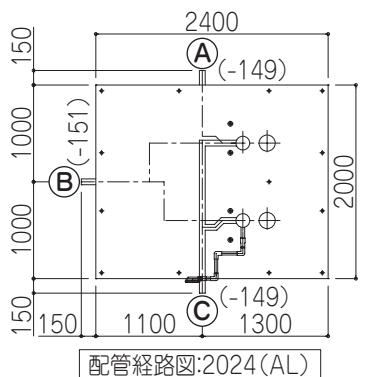
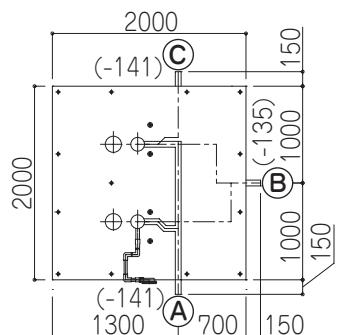
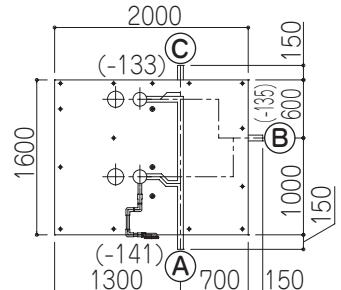
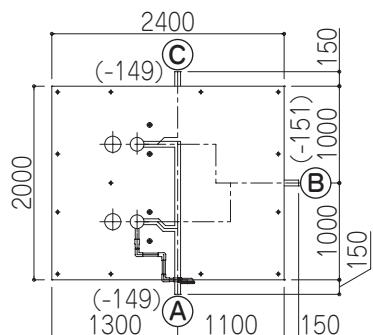
勾配寸法をご確認ください。

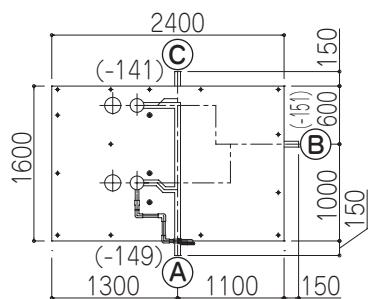
・床パンの立ち上がり部
からの寸法は、UBFLの
()寸法に「-40」を
足してご確認ください。
【例】 UBFLから「-141」
→ 床パンの立ち上がり部から「-181」



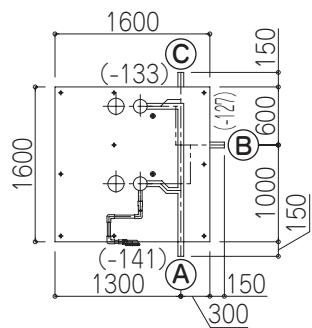
雑排水管セット品番対応表

取出 方向	セット名 品番	セット名 品番
Ⓐ	雑排水管セットA(VP) PN-S208089A	雑排水管セットA(トミジVP) PN-S208076A
Ⓑ	雑排水管セットB(VP) PN-S208089B	雑排水管セットB(トミジVP) PN-S208076B
Ⓒ	雑排水管セットC(VP) PN-S208089C	雑排水管セットC(トミジVP) PN-S208076C

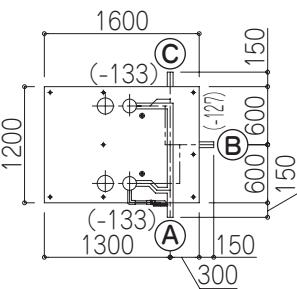




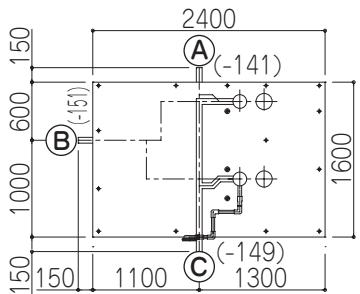
配管経路図:1624(AR)



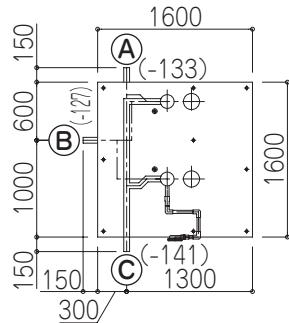
配管経路図:1616(AR)



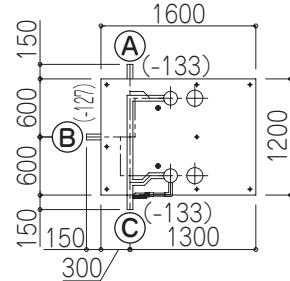
配管経路図:1216(AR)



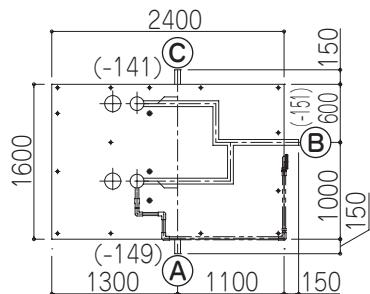
配管経路図:1624(AL)



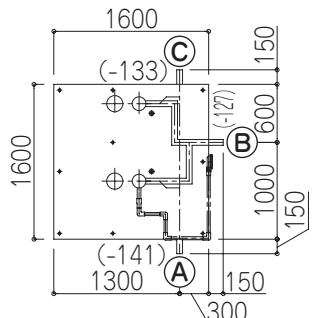
配管経路図:1616(AL)



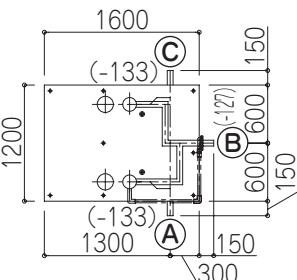
配管経路図:1216(AL)



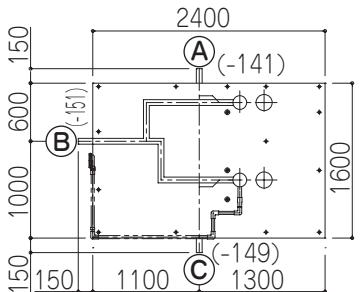
配管経路図:1624(BR)



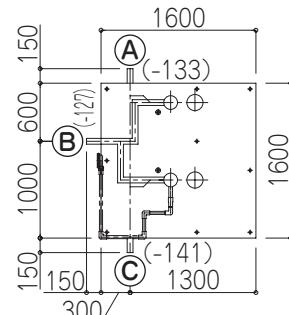
配管経路図:1616(BR)



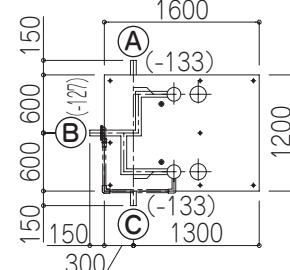
配管経路図:1216(BR)



配管経路図:1624(BL)



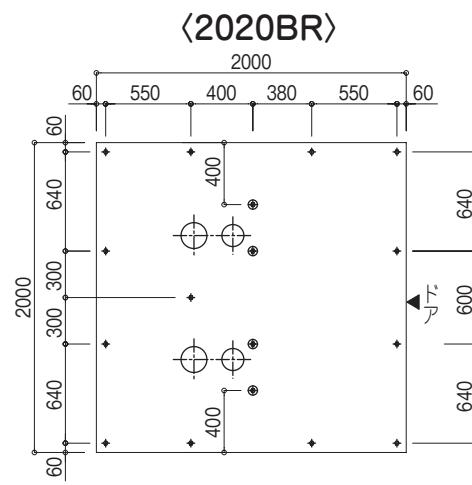
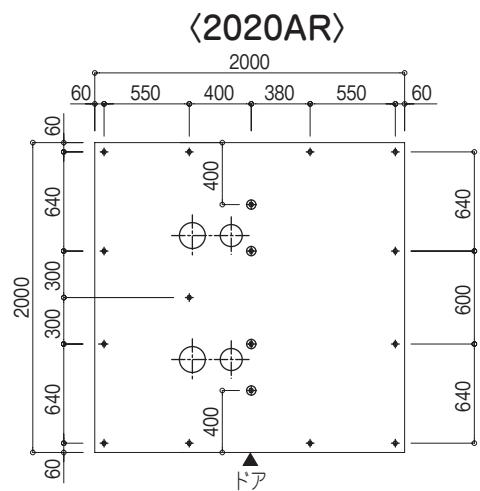
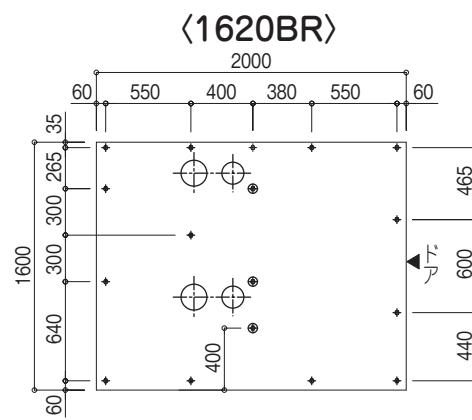
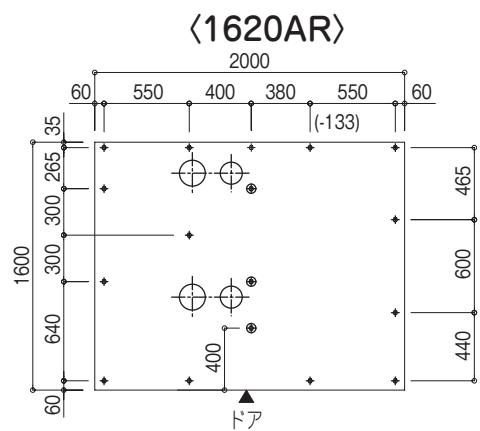
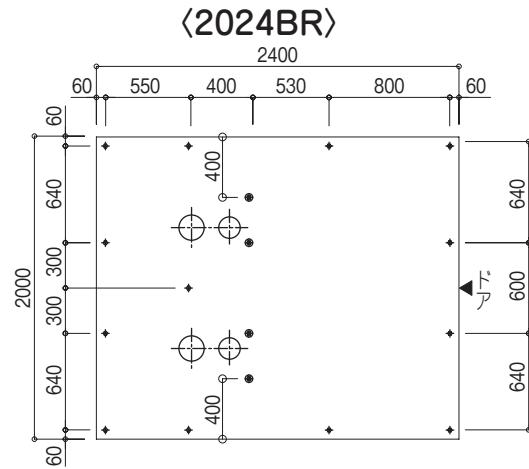
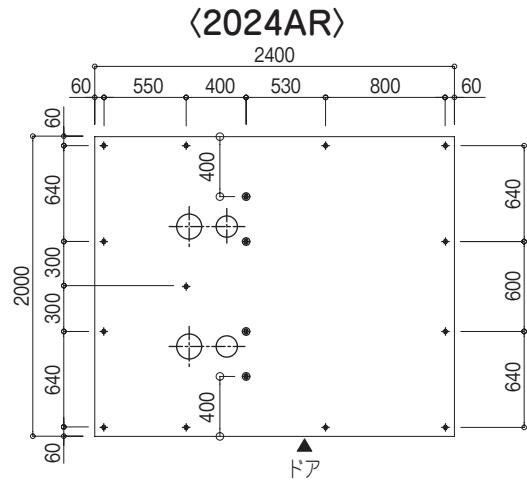
配管経路図:1616(BL)

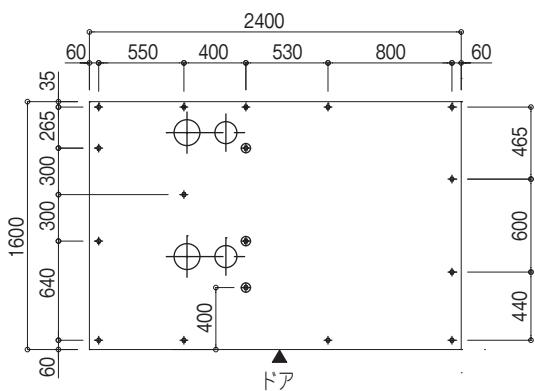
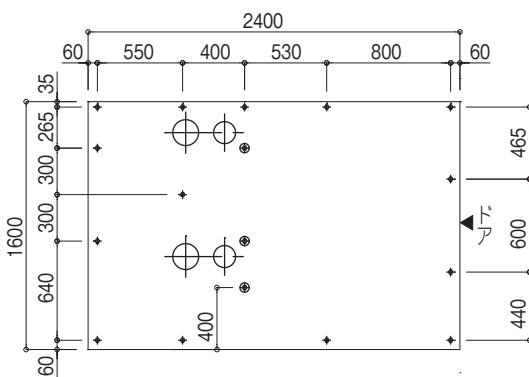
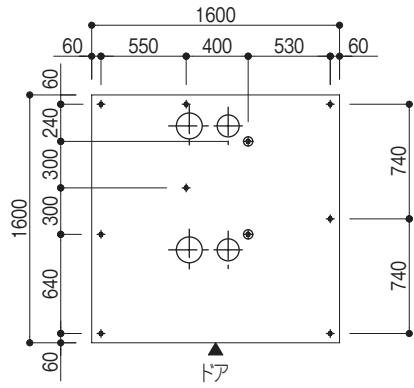
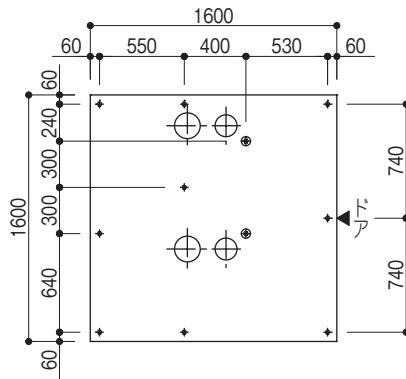
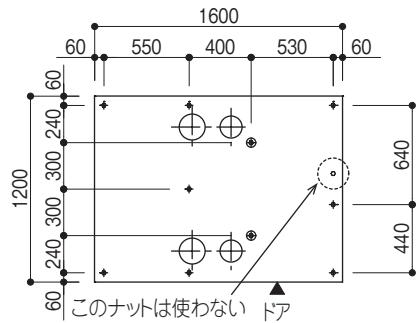
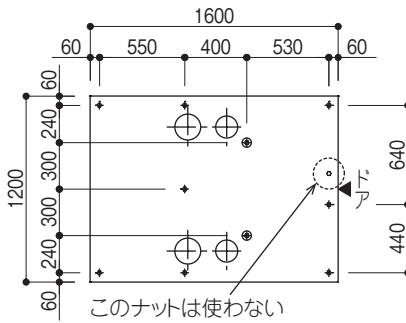
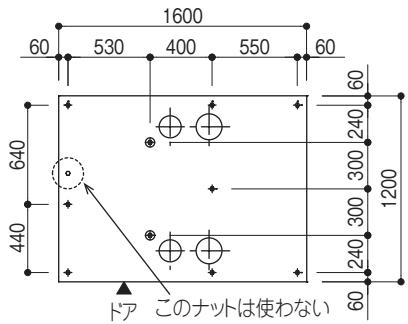
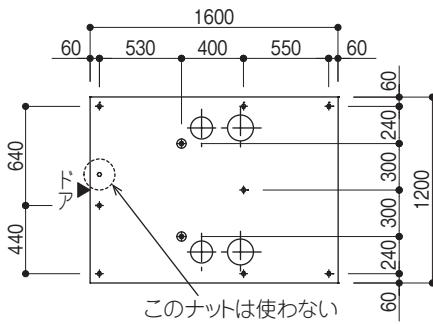


配管経路図:1216(BL)

6 床支持位置図

- 本図はAR・BR勝手の支持位置を表す。
AL・BL勝手は本図と対称です。



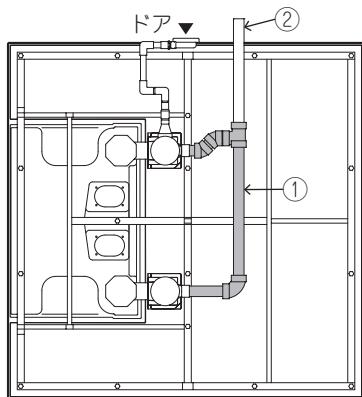
<1624AR>**<1624BR>****<1616AR>****<1616BR>****<1216AR>****<1216BR>****<1216AL>****<1216BL>**

7 雜排水管の取り付け スラブコロガシ配管

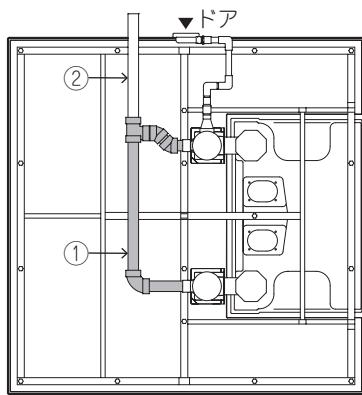
①雑排水管部材を確認する。

〈床パン裏面図〉

雑排水管セットA
AR勝手の場合



雑排水管セットC
AL勝手の場合



⚠ 注意



●工場組付けの雑排水管は切断しない。
(排水の能力が出ない可能性があります。)

雑排水管セットB
BR勝手の場合

1216、1616サイズの場合

①L=746 ⇒

切断後L=346

②L=595 ⇒

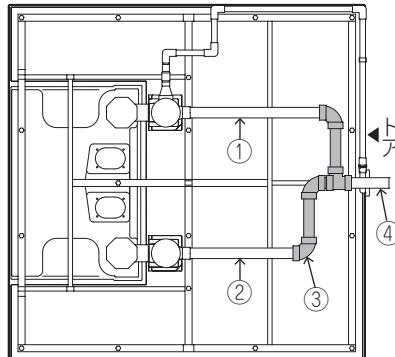
切断後L=195

と400mm切断して
取り付けが必要です。

※排水目皿はポップアップ
に同梱の金属製の目皿
をご使用ください。

189ページ参照

※①②現場での排水管接続部を確認してから切断してください。



雑排水管セットB
BL勝手の場合

1216、1616サイズ
の場合

①L=746 ⇒

切断後L=346

②L=595 ⇒

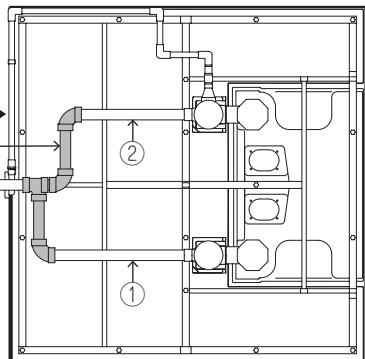
切断後L=195

と400mm切断して
取り付けが必要です。

※排水目皿はポップアップ
に同梱の金属製の目皿
をご使用ください。

189ページ参照

※①②現場での排水管接続部を確認してから切断してください。

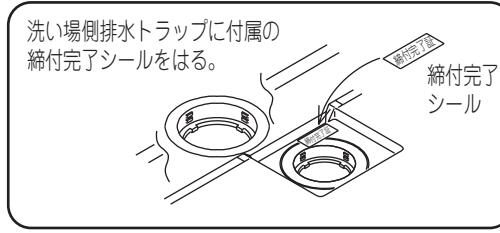
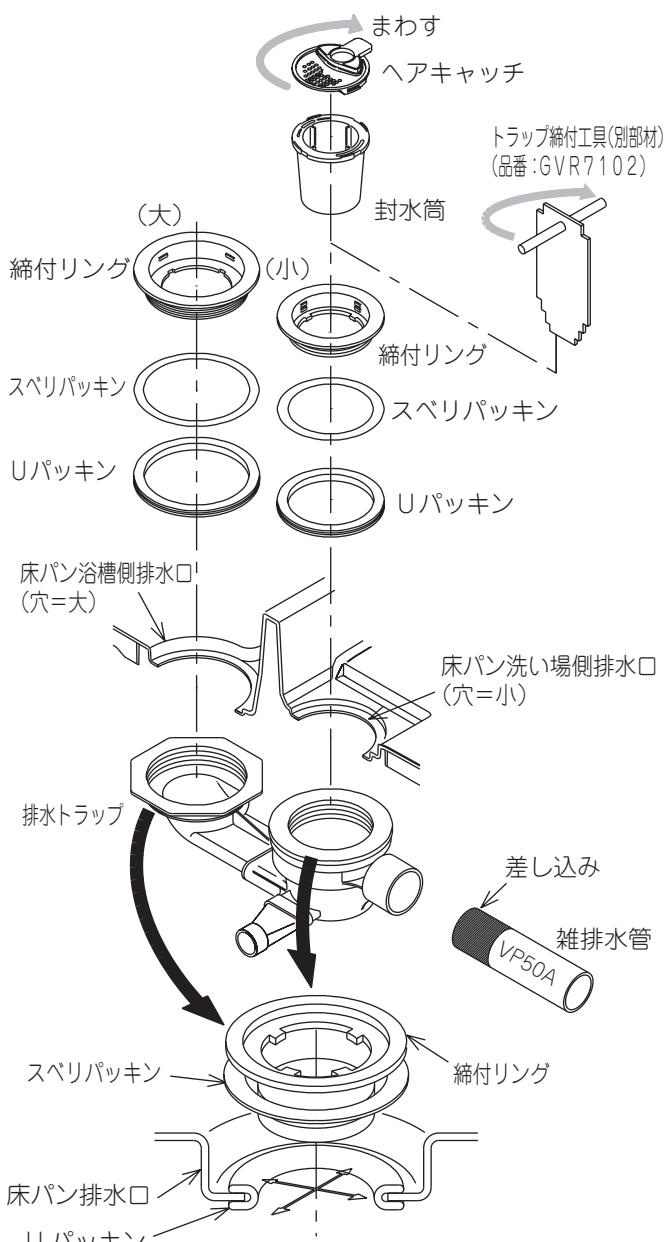
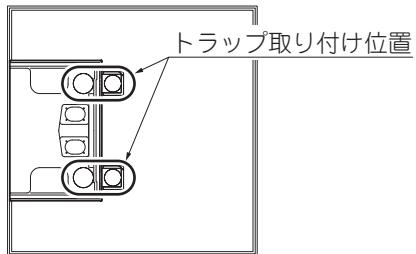


品番	●雑排水管セットA 標準：PN-S208089A 耐火：PN-S208076A	●雑排水管セットB 標準：PN-S208089B 耐火：PN-S208090B	●雑排水管セットC 標準：PN-S208089C 耐火：PN-S208090C
姿図	<p>① L=614</p>	<p>④ L=685 ① L=746 ② L=595</p>	<p>② L=614 ①</p>

8 トラップの取り付け スラブコロガシ配管

①床パンにトラップを取り付ける。

- ・トラップは2個所に取り付けてください。
※三方壁などで外側からアジャスター bolt の調整ができない場合はアジャスター bolt 調整後に取り付けてください。
- ・トラップ取り付け穴の大きさは、浴槽側（大）・洗い場側（小）で違いますのでご注意ください。



!**注意**



- ・必ず専用工具を使用する。
(専用工具を使用しないと、部材などが破損し水漏れの原因となります。)

!**注意**





!**注意**

取付設置上のお願い

- ・Uパッキンを取り付ける際、矢印のように外側へ押し広げて取り付けてください。（締付リングが入りにくい場合があります。）

9 フロート本体の取り付け

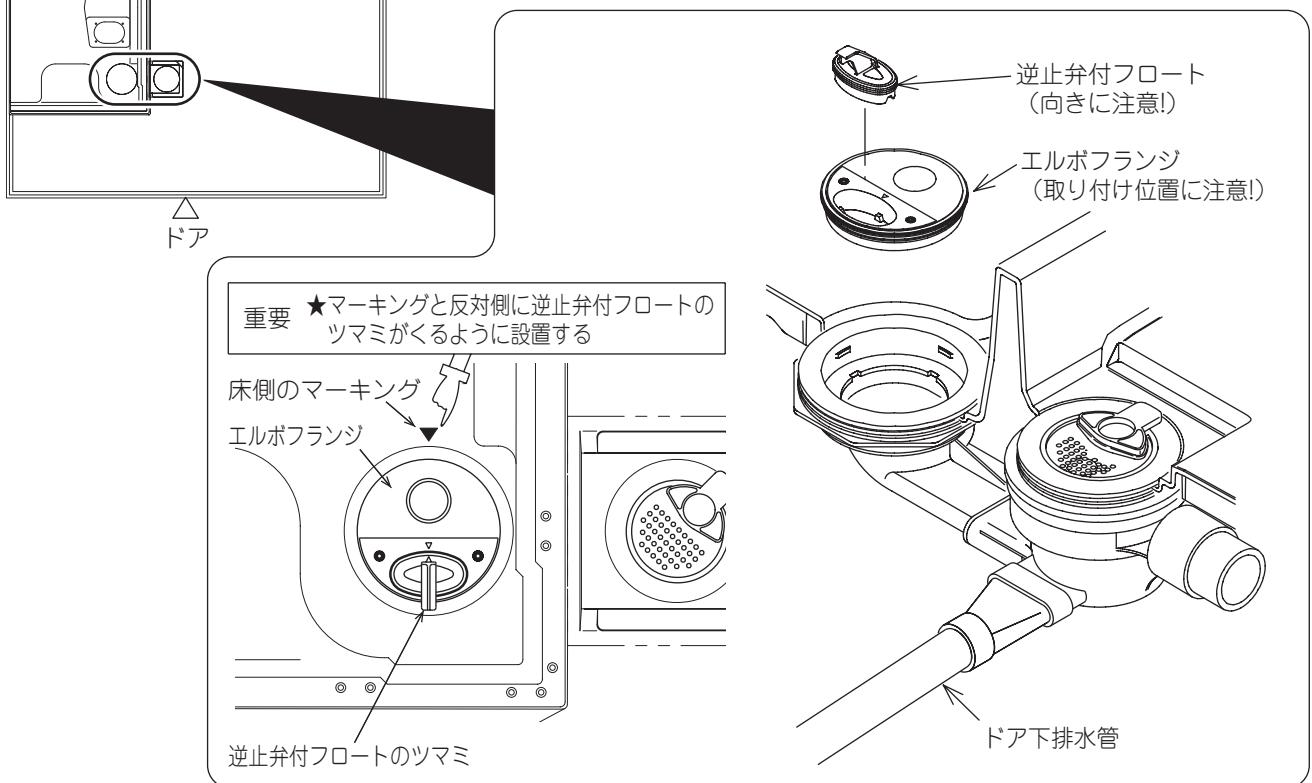
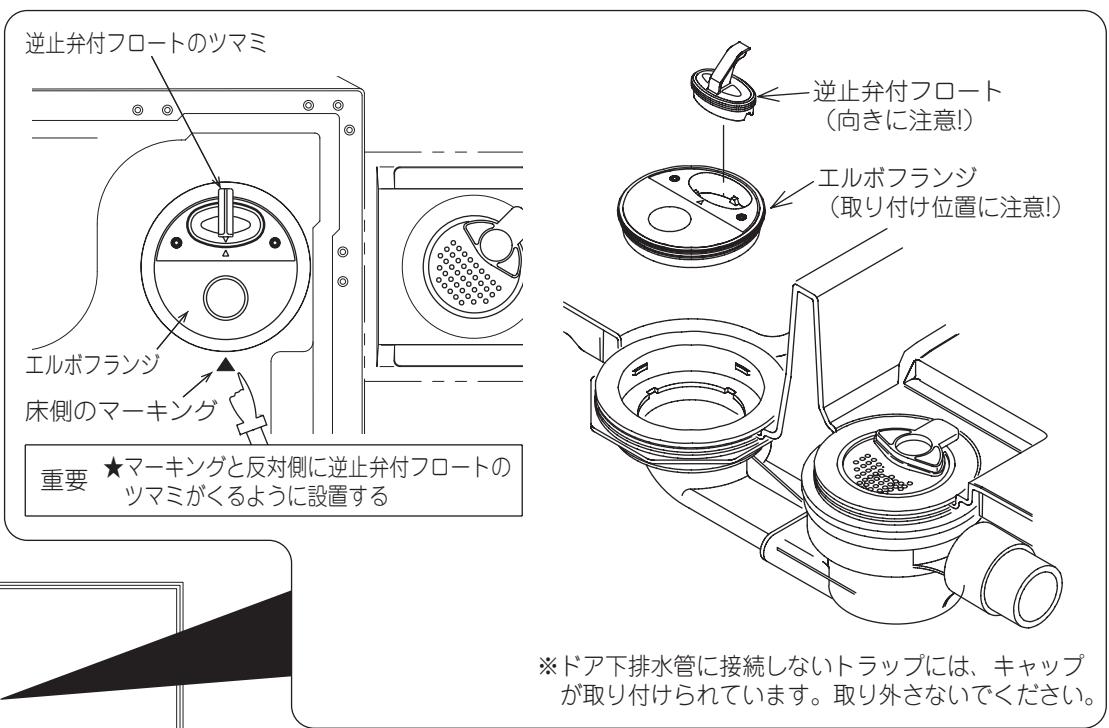
①逆止弁付フロートを、エルボ法兰ジに取り付ける。

②エルボ法兰ジをトラップに取り付ける。

★床パン側のエルボ法兰ジの取り付け方向を指示するマーキングと逆止弁付フロートのツマミ位置を合わせる。

★エルボ法兰ジを力強く押し込む。(トラップの法兰ジより5mm程度押し込む)

③ドア下排水管を接続しないトラップにキャップを取り付ける。



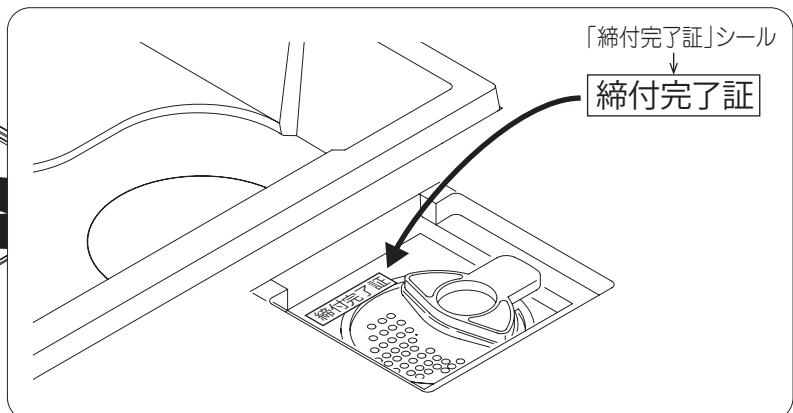
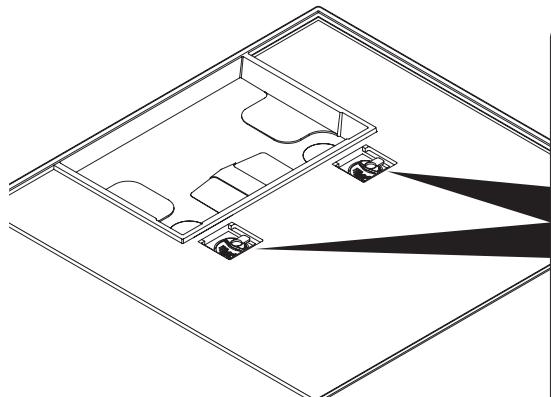
⚠ 注意



必ず守る

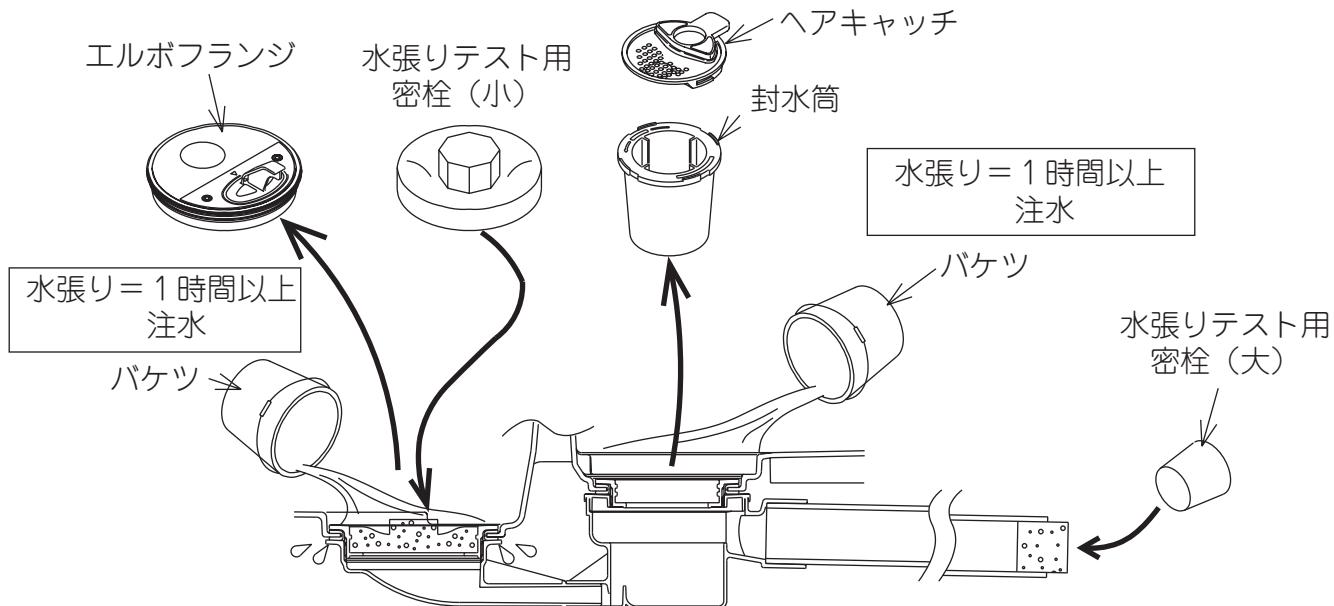
- ①エルボフランジの位置を、床パン側のマーキングに合わせる
(位置を合わせないと、浴槽設置後、浴槽排水口とトラップ排水口の穴がずれ、浴槽排水時に床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)
- ②エルボフランジをトラップのフランジに確実に押し込む
(確実に押し込まないと、浴槽設置時に、浴槽排水栓部との干渉や、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水がドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)
- ③逆止弁付フロートにゴミ詰まりがない事を確認する
(ゴミ詰まりがあると、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)
- ④逆止弁フロートを確実にエルボフランジに押し込む
(確実に押し込まないと、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)

④ トラップ締め付け後に、「締付完了証」シールをはり付ける。



10 水張りテスト

- ①ヘアキャッチ、封水筒、エルボフランジをはずして密栓を取り付け、水張りテストを行ない、水漏れのないことを確認する。
- 再度エルボフランジを取り付ける場合、取り付け方向などに注意してください。
 - 水張り時間、方法、場所などの詳細は件名ごとに打ち合わせ、決定してください。



⚠ 注意

必ず守る
!

- エルボフランジの位置を、床パン側のマーキングに合わせてください。
(位置を合わせないと、浴槽設置後、浴槽排水口とトラップ排水口の穴がずれ、浴槽排水時に床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)
- エルボフランジをトラップのフランジに確実に押し込んでください。
(確実に押し込まないと、浴槽設置時に、浴槽排水栓部との干渉や、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水がドア下配水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)

11 雜排水支持固定金具の取り付け

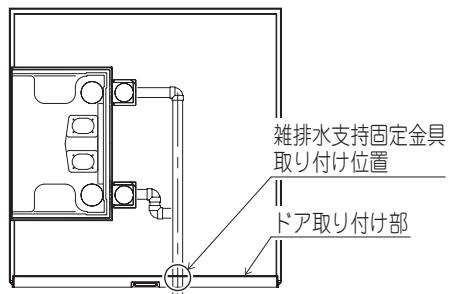
- ①雑排水支持固定金具を取り付ける。
(取り付けねじは、雑排水管固定金具セットに付属)
- ②雑排水管をサドルバンドで固定する。

※1624・1620・1616・1216サイズのC方向の場合は取り付け不要です。

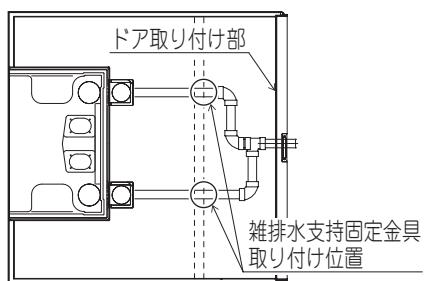
取付設置上のお願い

- 雑排水管の勾配は必ず1'10" (1.17°) を確保してください。(排水管の勾配を確保しないと排水に支障が出ます。)
- 雑排水支持固定金具は必ずフレームに固定してください。

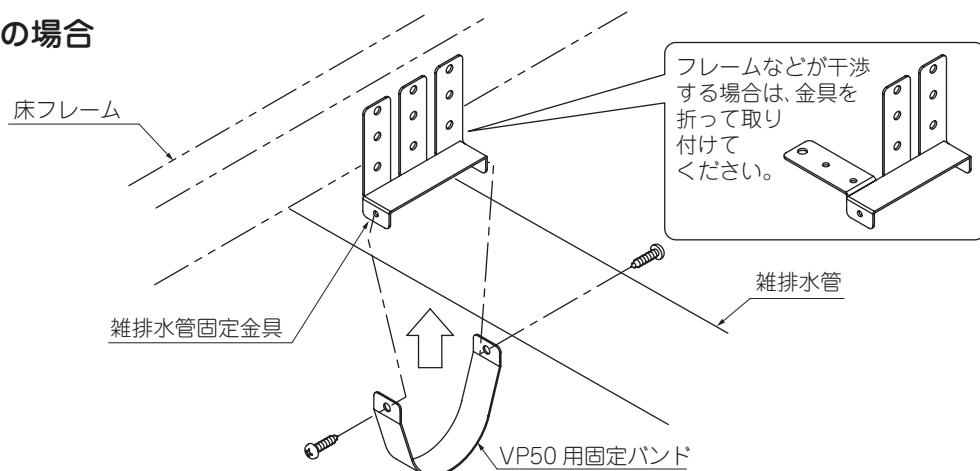
A勝手の場合



B勝手の場合

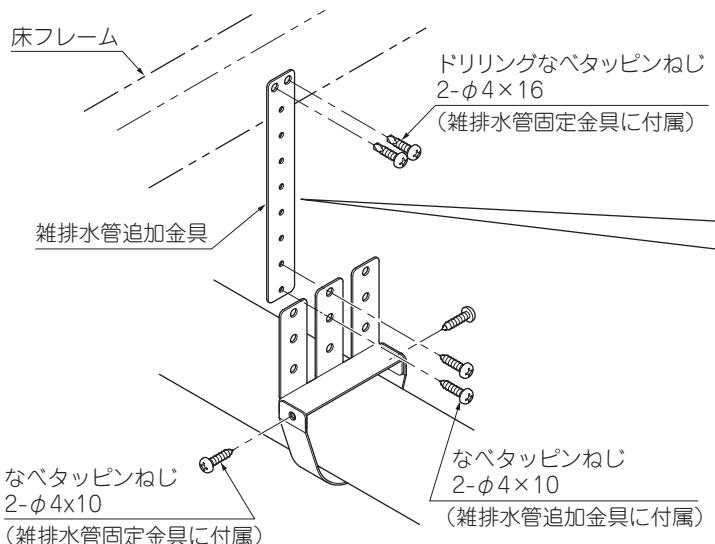


■通常取り付けの場合

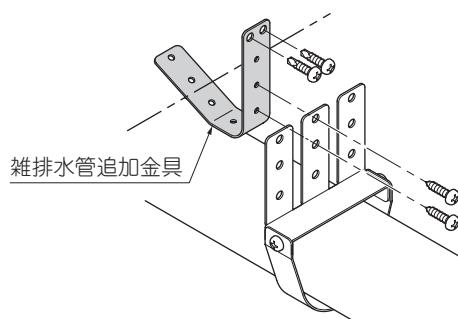


■床フレームに届かない場合

雑排水管追加金具を追加してください。



高い位置に取り付ける際は、雑排水管追加金具を折り曲げてから取り付けてください。



取付設置上のお願い

- 他部材と接触する場合は複数回曲げてください。接触すると、排水時に音鳴りが発生するおそれがあります。

小物セットの部材は現場によって部材の余る場合があります。

12 床据え付け高さとアジャスター ボルトの確認(2020・1620サイズ(UBFL=200)、1624・2024サイズ(UBFL=215)の場合)

①アジャスター ボルトの長さを確認し、床に取り付ける。

取付設置図より 床据え付け高さ (ユニットFL) を求める UBFL=200mm (沓づり高さ=203)							
浴室サイズ 【アジャスター ボルト 据え付け寸法】	品番	アジャスター ボルト (L寸法)					
①170	②150	③140	④90	⑤80	ロック ナット	ゴムキャップ GD7701	

2020サイズ 【FL+200】	PN-S208058	10	-	4	2	1	17	4
---------------------	------------	----	---	---	---	---	----	---

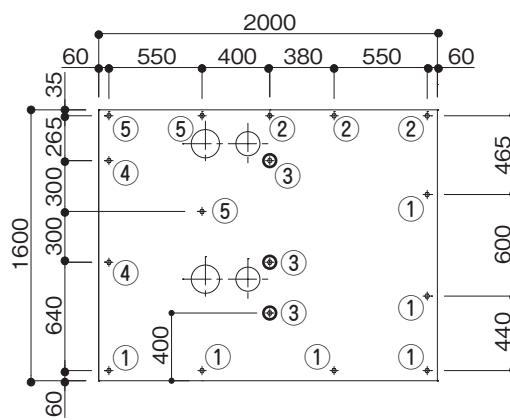
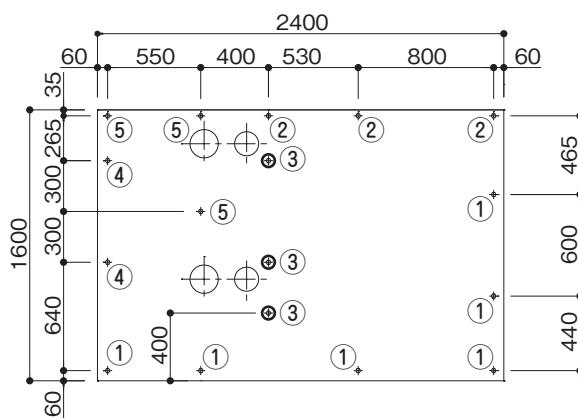
1620サイズ 【FL+200】	PN-S208051	6	3	3	2	3	17	3
---------------------	------------	---	---	---	---	---	----	---

浴室サイズ 【アジャスター ボルト 据え付け寸法】	品番	アジャスター ボルト (L寸法)					ロック ナット	ゴムキャップ GD7701
1624サイズ 【FL+215】	PN-S208052	6	3	3	2	3	17	3

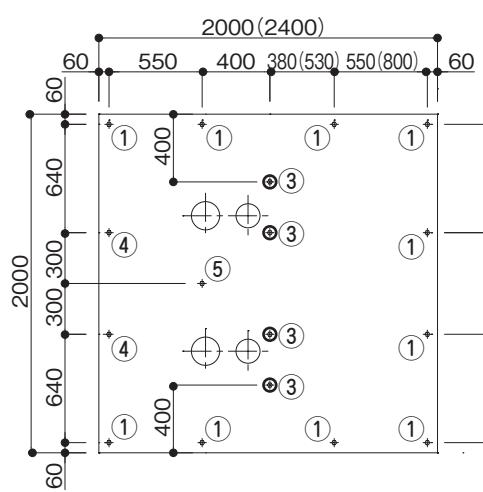
浴室サイズ 【アジャスター ボルト 据え付け寸法】	品番	アジャスター ボルト (L寸法)					ロック ナット	ゴムキャップ GD7701
2024サイズ 【FL+215】	PN-S208059	10	-	4	2	1	17	4

※上記は1620・2020サイズUBFL=200、1624・2024サイズUBFL=215の場合の長さです。
UBFL違いのボルトを手配した場合は長さが違うのでご注意ください。

〈計算方法〉手配したUBFLボルト - 上記FL + 上記アジャスター ボルト (L寸法)

<1620AR/BR>**<1624AR/BR>****<2024・2020AR/BR>**

※()寸法は2024サイズの場合



※O部は、ゴムキャップ付きです。

※本図はAR勝手・BR勝手共通です。

※本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

アジャスター
ボルト

ゴムキャップ

<コンクリート用>

アジャスター
ボルト

ゴムキャップ

ライナー

<木造用>

13 床据え付け高さとアジャスター bolt の確認 (1616・1216 サイズ (UBFL=200) の場合)

①アジャスター bolt の長さを確認し、床に取り付ける。

取付設置図より 床据え付け高さ (ユニット FL) を求める UBFL=200mm (沓づり高さ=203)

浴室サイズ 【アジャスター bolt 据え付け寸法】	品番	アジャスター bolt (L寸法)					ロック ナット	ゴムキャップ GD7701
		①170	②160	③150	④80	⑤110		
1616 サイズ [FL+200]	PN-S208176	4	1	2	2	2	11	2

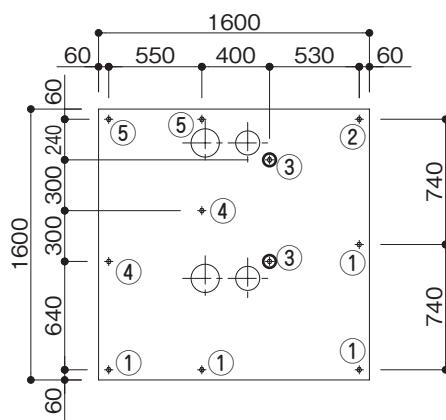
浴室サイズ 【アジャスター bolt 据え付け寸法】	品番	アジャスター bolt (L寸法)					ロック ナット	ゴムキャップ GD7701
		①170	②150	③140	④80	⑤110		
1216 サイズ [FL+200]	PN-S208182	1	2	2	1	4	10	2

※上記は1616・1216 サイズ UBFL=200 の場合の長さです。

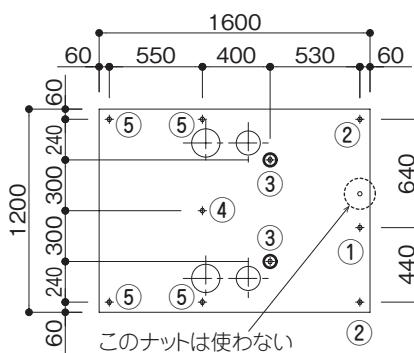
UBFL 違いのボルトを手配した場合は長さが違うのでご注意ください。

〈計算方法〉 手配した UBFL ボルト - 上記 FL + 上記アジャスター bolt (L寸法)

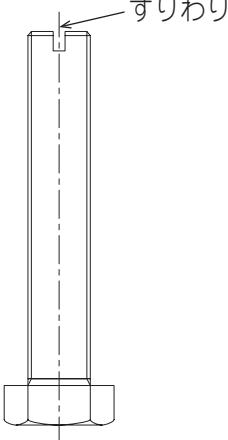
〈1616AR/BR〉



〈1216AR/BR〉



⑤



※O部は、ゴムキャップ付きです。

※本図は AR 勝手・BR 勝手共通です。

※本図は R 勝手を示し、L 勝手は本図と対称です。

アジャスター
ボルト

ゴムキャップ

〈コンクリート用〉

アジャスター
ボルト

ゴムキャップ

ライナー
〈木造用〉

14 床据え付け高さとアジャスター・ボルトの確認 (2024・2020・1620・1624サイズ UBFL=295 木造1階・低床設置の場合)

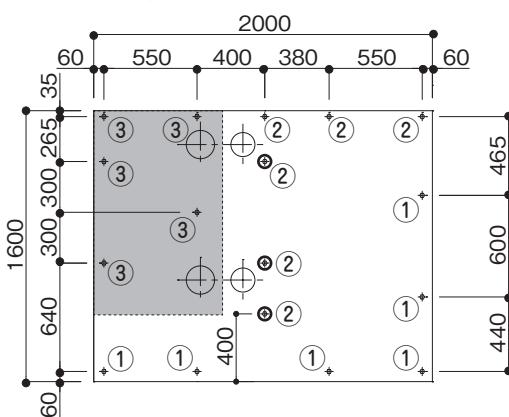
①アジャスター・ボルトの長さを確認し、床に取り付ける。

〈FL295 木造1階・低床設置の場合〉

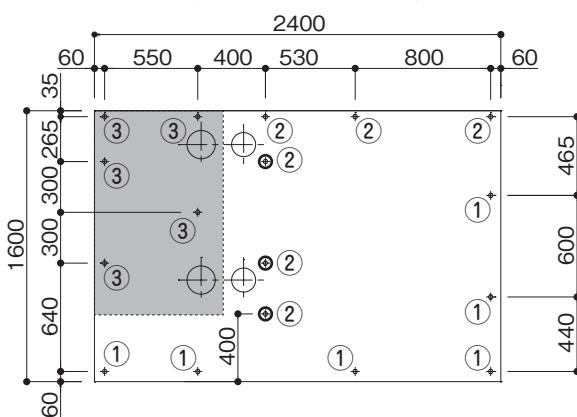
取付設置図より
床据え付け高さ
(ユニットFL) を求める
UBFL=295mm
(沓づり高さ=298)

浴室サイズ 【アジャスター・ボルト 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター・ボルト (L寸法)			発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
		浴槽側 75	洗い場側 112	①170	②	③120	
2024サイズ [FL+295]	PN-S208326	3	14	10	4 (寸法140)	3	4
2020サイズ [FL+295]							
1620サイズ [FL+295]	PN-S208328	5	12	6	6 (寸法150)	5	4
1624サイズ [FL+295]							

〈1620AR/BR〉

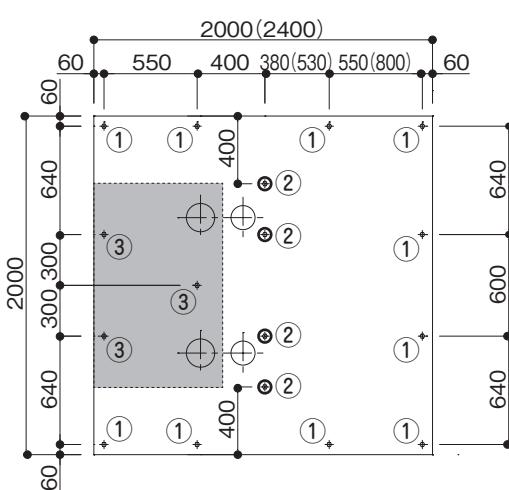


〈1624AR/BR〉



〈2024・2020AR/BR〉

※()寸法は2024サイズの場合

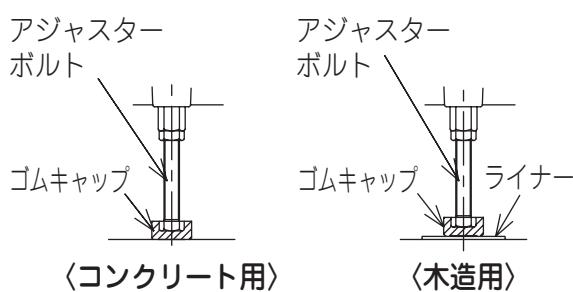


※■部に浴槽を設置します。床支持バー（浴槽側）を取り付けてください。

※○部は、ゴムキャップ付きです。

※本図はAR勝手・BR勝手共通です。

※本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。



15 床据え付け高さとアジャスター・ボルトの確認 (2024・2020・1620・1624サイズ UBFL=370 木造1階・低床設置の場合)

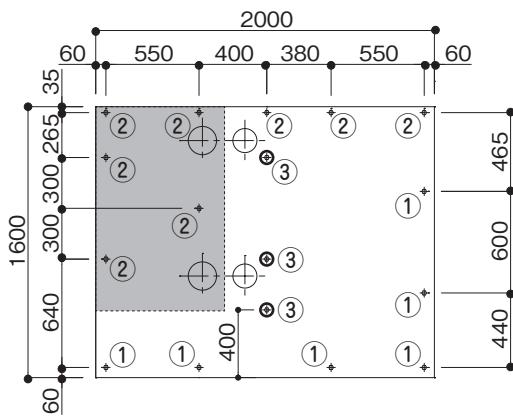
①アジャスター・ボルトの長さを確認し、床に取り付ける。

〈FL370 木造1階・低床設置の場合〉

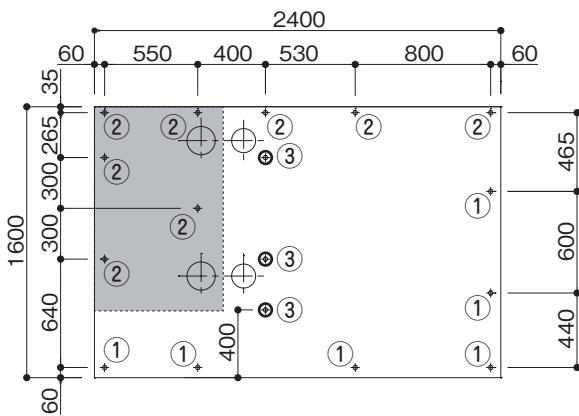
取付設置図より
床据え付け高さ
(ユニットFL) を求める
UBFL=370mm
(沓づり高さ=373)

浴室サイズ 【アジャスター・ボルト 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター・ボルト (L寸法)			発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
		浴槽側 112	洗い場側 180	①190	②170	③160	
2024サイズ [FL+370]	PN-S208325	3	14	10	3	4	4
2020サイズ [FL+370]							
1620サイズ [FL+370]	PN-S208327	5	12	6	8	3	4
1624サイズ [FL+370]							

〈1620AR/BR〉

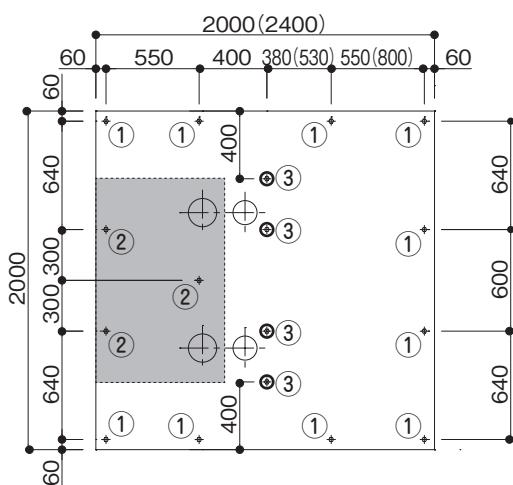


〈1624AR/BR〉

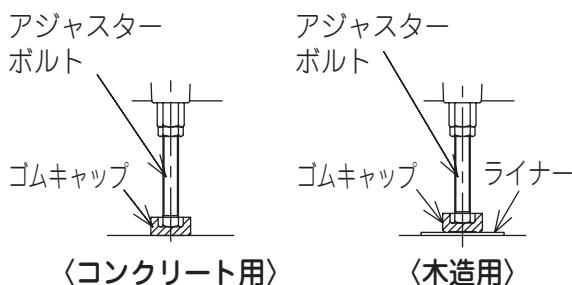


〈2024・2020AR/BR〉

※()寸法は2024サイズの場合



- ※■部に浴槽を設置します。床支持バー（浴槽側）を取り付けてください。
- ※○部は、ゴムキャップ付きです。
- ※本図はAR勝手・BR勝手共通です。
- ※本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。



16 床据え付け高さとアジャスター bolt の確認 (2024・2020・1620・1624 サイズ UBFL=475・555 木造1階・高床設置の場合)

①アジャスター bolt の長さを確認し、床に取り付ける。

〈FL475 木造1階設置の場合〉

取付設置図より
床据え付け高さ
(ユニットFL) を求める
UBFL=475mm
(沓づり高さ=478)

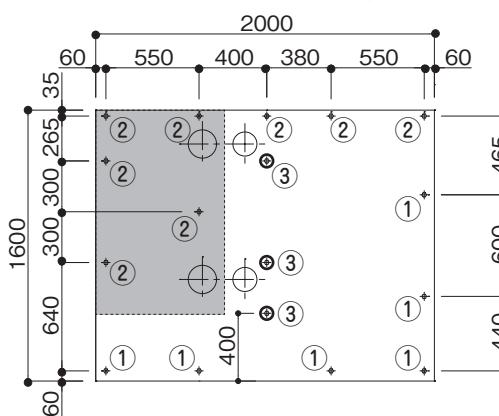
浴室サイズ 【アジャスター bolt 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター bolt (L寸法)			発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
		浴槽側 212	洗い場側 280	①230	②210	③200	
2024サイズ [FL+475]	PN-S208070	3	14	10	3	4	4
2020サイズ [FL+475]							
1620サイズ [FL+475]	PN-S208071	5	12	6	8	3	4
1624サイズ [FL+475]							

〈FL555 木造1階・高床設置の場合〉

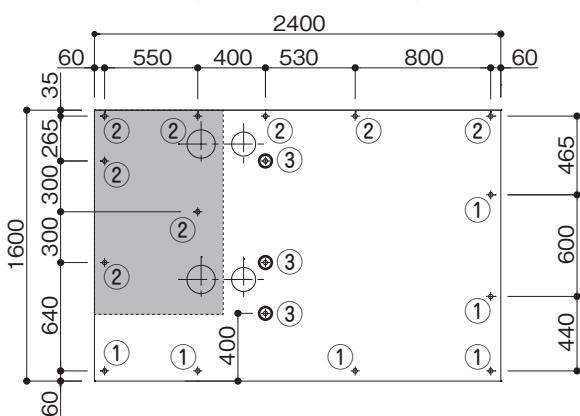
取付設置図より
床据え付け高さ
(ユニットFL) を求める
UBFL=555mm
(沓づり高さ=558)

浴室サイズ 【アジャスター bolt 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター bolt (L寸法)			発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
		浴槽側 280	洗い場側 345	①230	②210	③200	
2024サイズ [FL+555]	PN-S208155	3	14	10	3	4	4
2020サイズ [FL+555]							
1620サイズ [FL+555]	PN-S208156	5	12	6	8	3	4
1624サイズ [FL+555]							

〈1620AR/BR〉

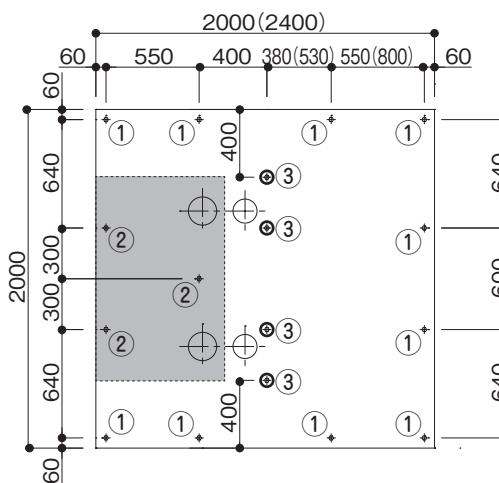


〈1624AR/BR〉



〈2024・2020AR/BR〉

* ()寸法は2024サイズの場合

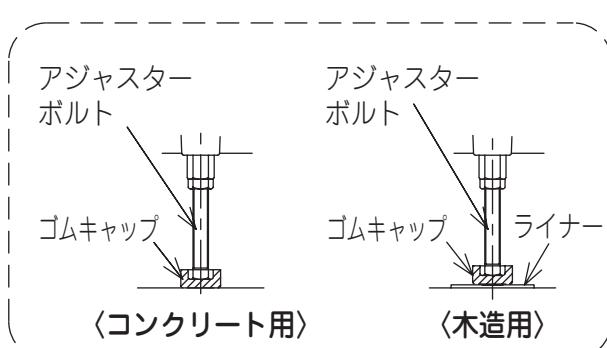


* ■部に浴槽を設置します。床支持バー（浴槽側）を取り付けてください。

* ○部は、ゴムキャップ付きです。

* 本図はAR勝手・BR勝手共通です。

* 本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。



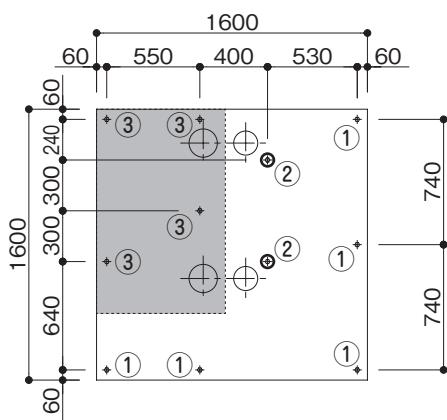
17 床据え付け高さとアジャスター・ボルトの確認(1616・1216サイズ UBFL=295 木造1階・低床設置の場合)

①アジャスター・ボルトの長さを確認し、床に取り付ける。

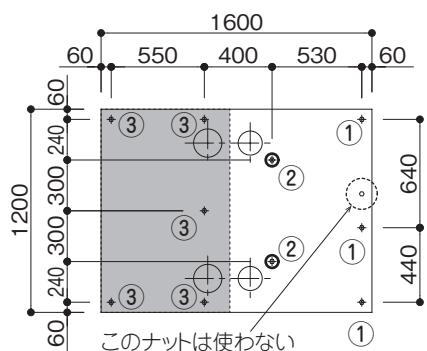
〈FL295 木造1階・低床設置の場合〉

取付設置図より 床据え付け高さ (ユニットFL) を求める UBFL=295mm (沓づり高さ=298)	浴室サイズ 【アジャスター・ボルト 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター・ボルト (L寸法)			発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
			浴槽側 75	洗い場側 112	①170	②150	③110	
1616サイズ [FL+295]	PN-S208330	4	7	5	2	4	4	
1216サイズ [FL+295]	PN-S208332	5	5	3	2	5	4	

〈1616AR/BR〉



〈1216AR/BR〉



※■部に浴槽を設置します。床支持バー（浴槽側）を取り付けてください。

※○部は、ゴムキャップ付きです。

※本図はAR勝手・BR勝手共通です。

※本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

アジャスター
ボルト



〈コンクリート用〉

アジャスター
ボルト



〈木造用〉

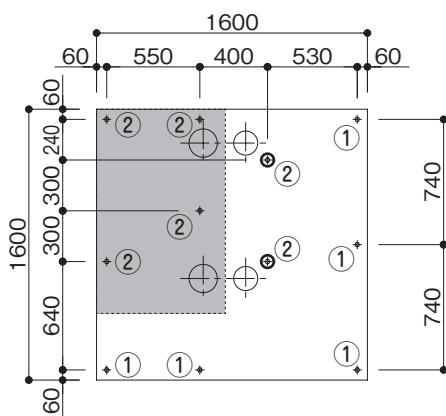
18 床据え付け高さとアジャスター・ボルトの確認(1616・1216サイズ UBFL=370 木造1階・低床設置の場合)

①アジャスター・ボルトの長さを確認し、床に取り付ける。

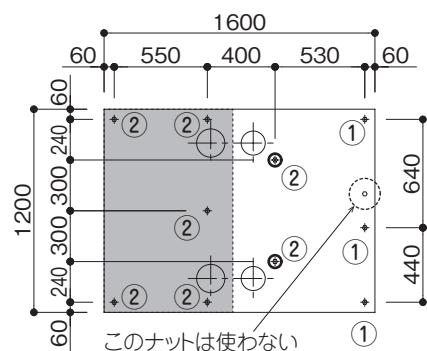
〈FL370 木造1階・低床設置の場合〉

取付設置図より 床据え付け高さ (ユニットFL) を求める UBFL=370mm (沓づり高さ=373)	浴室サイズ 【アジャスター・ボルト 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター・ボルト (L寸法)		発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
			浴槽側 112	洗い場側 180	①190	②170	
1616サイズ [FL+370]	PN-S208329	4	7	5	6	4	
1216サイズ [FL+370]	PN-S208331	5	5	3	7	4	

〈1616AR/BR〉



〈1216AR/BR〉

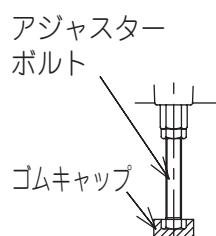


※■部に浴槽を設置します。床支持バー（浴槽側）を取り付けてください。

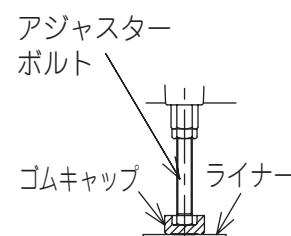
※○部は、ゴムキャップ付きです。

※本図はAR勝手・BR勝手共通です。

※本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。



〈コンクリート用〉



〈木造用〉

19 床据え付け高さとアジャスター bolt の確認 (1616・1216 サイズ UBFL=475・555 木造 1 階・高床設置の場合)

①アジャスター bolt の長さを確認し、床に取り付ける。

〈FL475 木造 1 階設置の場合〉

取付設置図より
床据え付け高さ
(ユニット FL) を求める

UBFL=475mm
(沓づり高さ=478)

浴室サイズ 【アジャスター bolt 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター bolt (L寸法)		発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
		浴槽側 212	洗い場側 280	①230	②210	
1616 サイズ [FL+475]	PN-S208188	4	7	5	6	4
1216 サイズ [FL+475]	PN-S208189	5	5	3	7	4

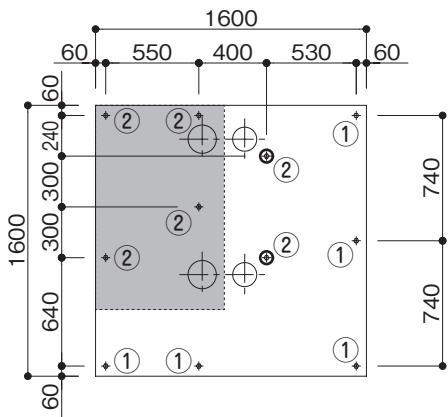
〈FL555 木造 1 階・高床設置の場合〉

取付設置図より
床据え付け高さ
(ユニット FL) を求める

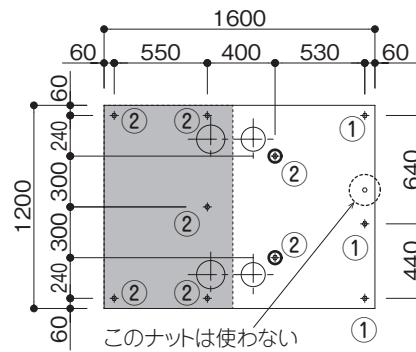
UBFL=555mm
(沓づり高さ=558)

浴室サイズ 【アジャスター bolt 据え付け寸法】	品番	床支持バー (L寸法)		アジャスター bolt (L寸法)		発砲スチロール □300×60×50 VARL9593
		浴槽側 280	洗い場側 345	①230	②210	
1616 サイズ [FL+555]	PN-S208190	4	7	5	6	4
1216 サイズ [FL+555]	PN-S208191	5	5	3	7	4

〈1616AR/BR〉



〈1216AR/BR〉



※ ■ 部に浴槽を設置します。床支持バー（浴槽側）を取り付けてください。

※ ○部は、ゴムキャップ付きです。

※ 本図は AR 勝手・BR 勝手共通です。

※ 本図は R 勝手を示し、L 勝手は本図と対称です。

アジャスター
bolt



〈コンクリート用〉

アジャスター
bolt



〈木造用〉

20 アジャスター ボルト位置図 (2024サイズ (UBFL=215)、2020・1620サイズ (UBFL=200) の場合)

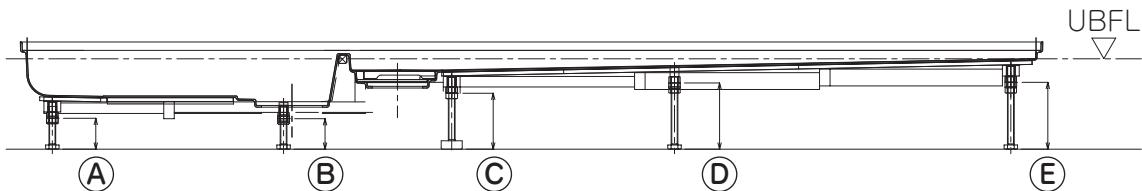
*本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

*本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

<アジャスター ボルト 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

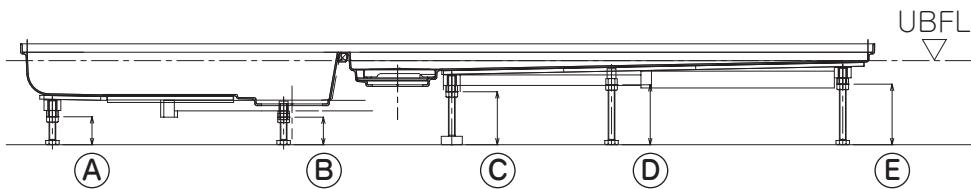
2024サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208059の場合ボルト長さ参考図】



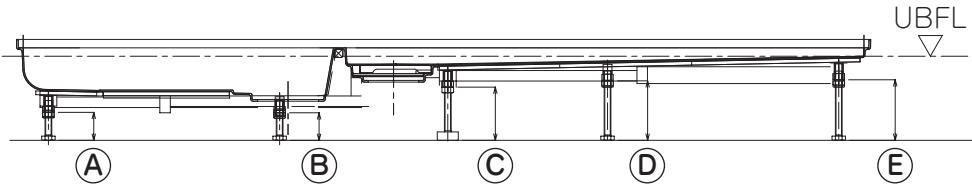
2024サイズ

	Ⓐ寸法	Ⓑ寸法	Ⓒ寸法	Ⓓ寸法	Ⓔ寸法
UBFL=215	74	67	133	157	159
UBFL=220	79	72	138	162	164
UBFL=230	89	82	148	172	174
UBFL=240	99	92	158	182	184
UBFL=250	109	102	168	192	194

2020サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208058の場合ボルト長さ参考図】



1620サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208051の場合ボルト長さ参考図】



2020サイズ

	Ⓐ寸法	Ⓑ寸法	Ⓒ寸法	Ⓓ寸法	Ⓔ寸法
UBFL=200	67	60	126	143	144
UBFL=210	77	70	136	153	154
UBFL=220	87	80	146	163	164
UBFL=230	97	90	156	173	174
UBFL=240	107	100	166	183	184
UBFL=250	117	110	176	193	194

1620サイズ

	Ⓐ寸法	Ⓑ寸法	Ⓒ寸法	Ⓓ寸法	Ⓔ寸法
UBFL=200	67	60	126	127	144
UBFL=210	77	70	136	137	154
UBFL=220	87	80	146	147	164
UBFL=230	97	90	156	157	174
UBFL=240	107	100	166	167	184
UBFL=250	117	110	176	177	194

21 アジャスター ボルト位置図 (1624サイズ (UBFL=215)、1616・1216サイズ (UBFL=200) の場合)

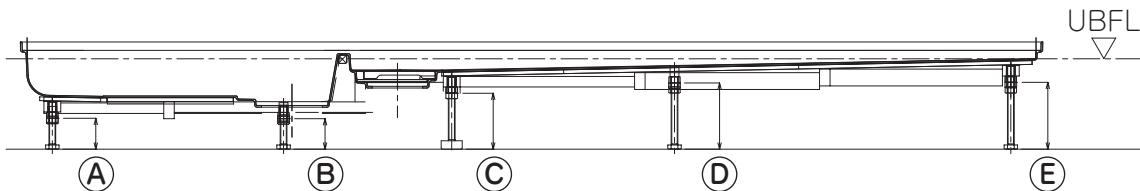
*本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

*本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

<アジャスター ボルト 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

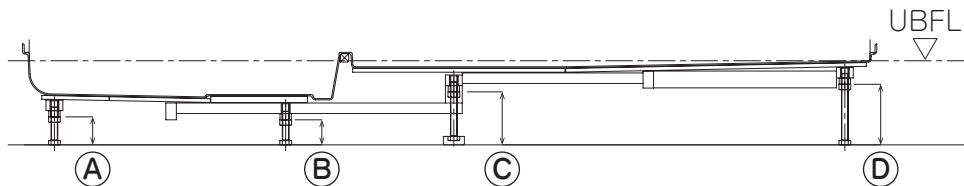
1624サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208052の場合ボルト長さ参考図】



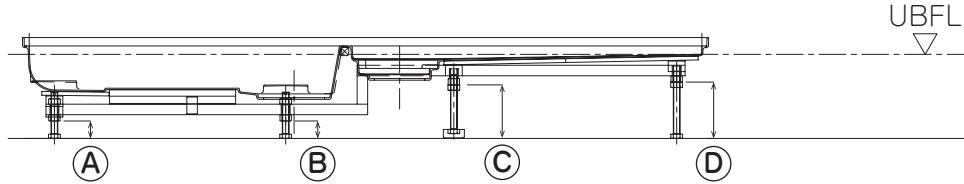
1624サイズ

	Ⓐ寸法	Ⓑ寸法	Ⓒ寸法	Ⓓ寸法	Ⓔ寸法
UBFL=215	74	67	133	134	159
UBFL=220	79	72	138	139	164
UBFL=230	89	82	148	149	174
UBFL=240	99	92	158	159	184
UBFL=250	109	102	168	169	194

1616サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208176の場合ボルト長さ参考図】



1216サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208182の場合ボルト長さ参考図】



1616サイズ

	Ⓐ寸法	Ⓑ寸法	Ⓒ寸法	Ⓓ寸法
UBFL=200	61	59	134	144
UBFL=210	71	69	144	154
UBFL=220	81	79	154	164
UBFL=230	91	89	164	174
UBFL=240	101	99	174	184
UBFL=250	111	109	184	194

1216サイズ

	Ⓐ寸法	Ⓑ寸法	Ⓒ寸法	Ⓓ寸法
UBFL=200	42	59	131	144
UBFL=210	52	69	141	154
UBFL=220	62	79	151	164
UBFL=230	72	89	161	174
UBFL=240	82	99	171	184
UBFL=250	92	109	181	194

22 アジャスター ボルト位置図 (UBFL=295 木造1階・低床設置の場合)

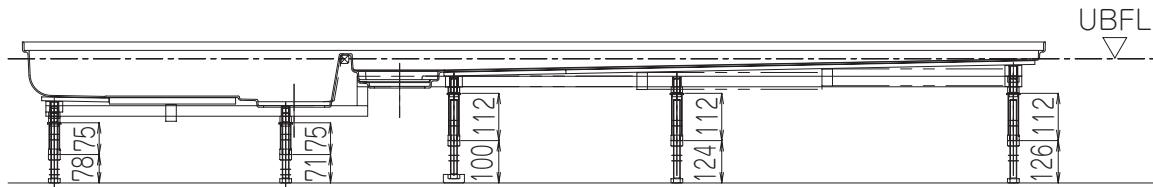
*本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

*本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

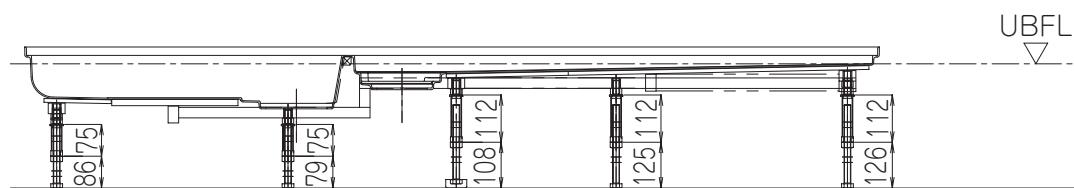
<アジャスター ボルト 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

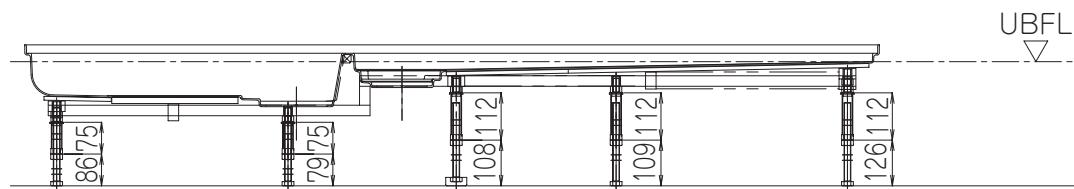
2024サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208326の場合ボルト長さ参考図】



2020サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208326の場合ボルト長さ参考図】



1620サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208328の場合ボルト長さ参考図】



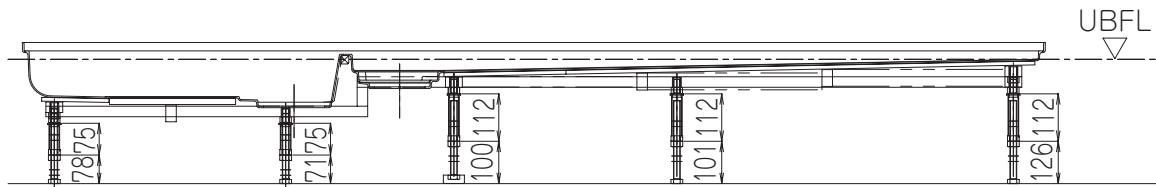
* 本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

* 本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

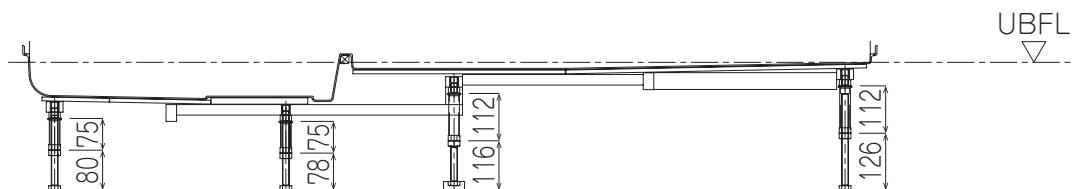
<アジャスターべルト目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

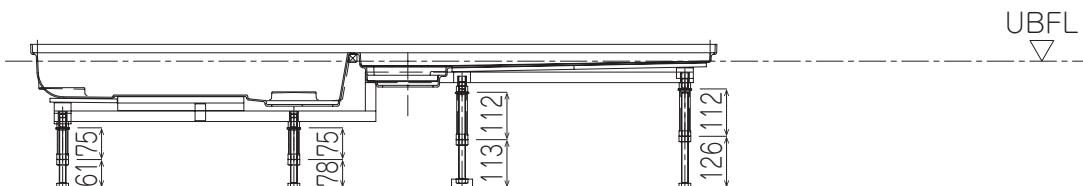
1624サイズ 【アジャスターべルト品番：PN-S208328の場合ベルト長さ参考図】



1616サイズ 【アジャスターべルト品番：PN-S208330の場合ベルト長さ参考図】



1216サイズ 【アジャスターべルト品番：PN-S208332の場合ベルト長さ参考図】



23 アジャスター ボルト位置図 (UBFL=370 木造1階・低床設置の場合)

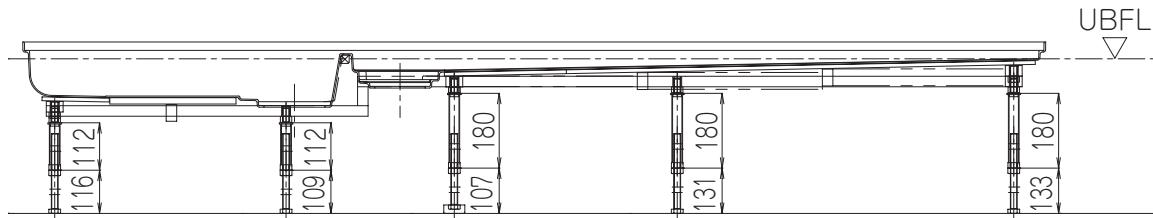
*本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

*本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

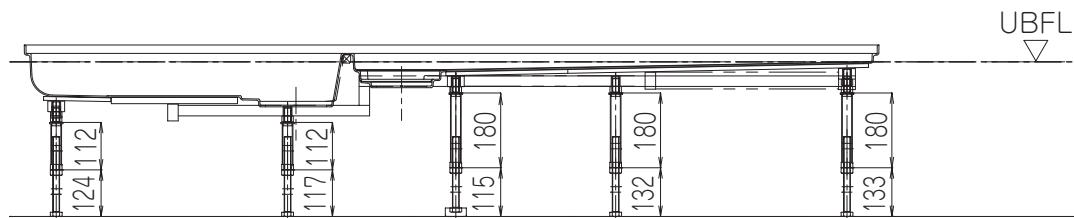
<アジャスター ボルト 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

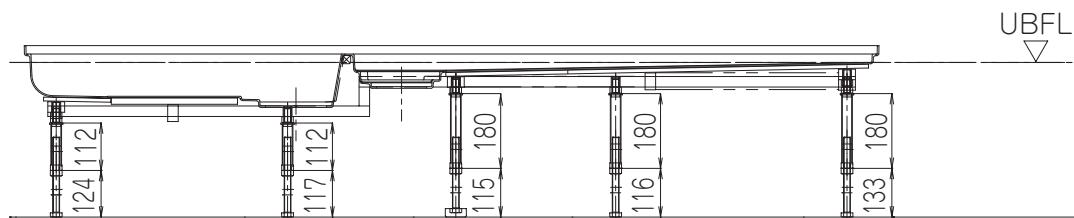
2024サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208325の場合ボルト長さ参考図】



2020サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208325の場合ボルト長さ参考図】



1620サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208327の場合ボルト長さ参考図】



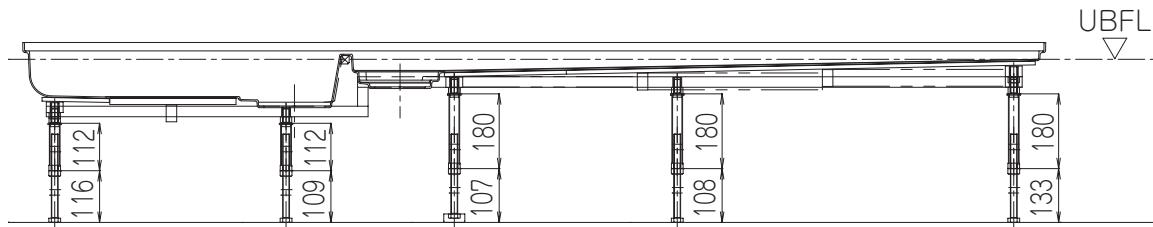
* 本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

* 本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

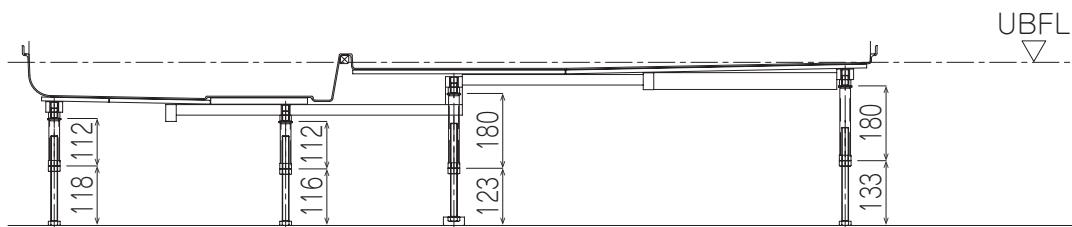
<アジャスター bolt 目安寸法図>

※ 現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

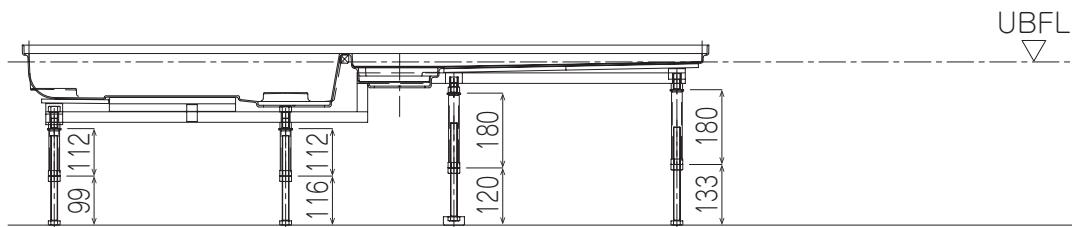
1624サイズ 【アジャスター bolt 品番：PN-S208327の場合 bolt 長さ参考図】



1616サイズ 【アジャスター bolt 品番：PN-S208329の場合 bolt 長さ参考図】



1216サイズ 【アジャスター bolt 品番：PN-S208331の場合 bolt 長さ参考図】



24 アジャスター ボルト位置図 (UBFL=475 木造1階設置の場合)

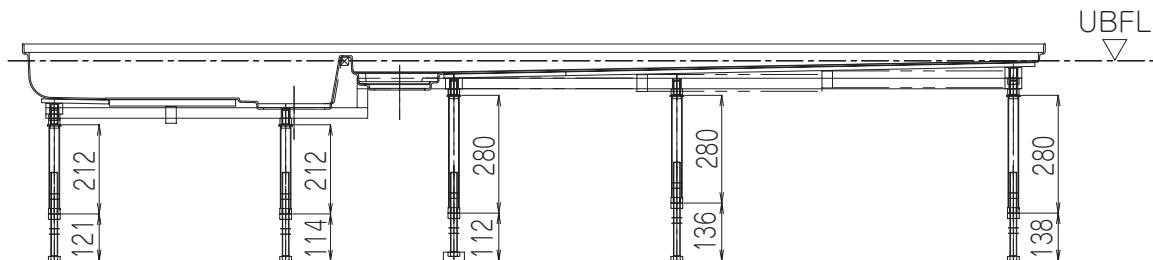
*本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

*本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

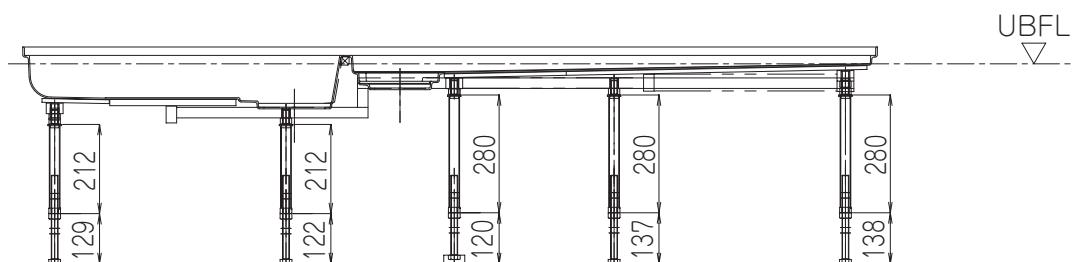
<アジャスター ボルト 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

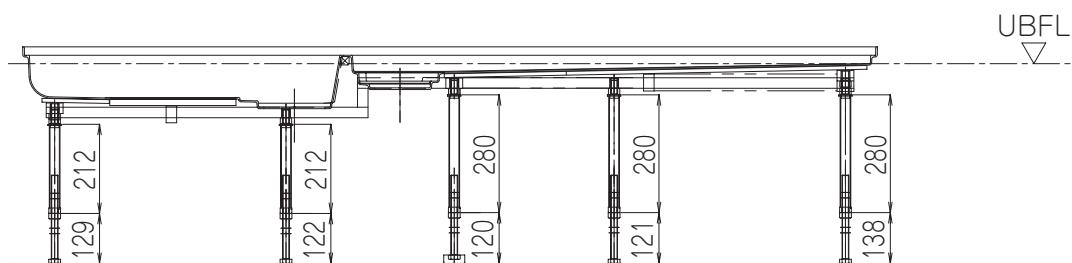
2024サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208070の場合ボルト長さ参考図】



2020サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208070の場合ボルト長さ参考図】



1620サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208071の場合ボルト長さ参考図】



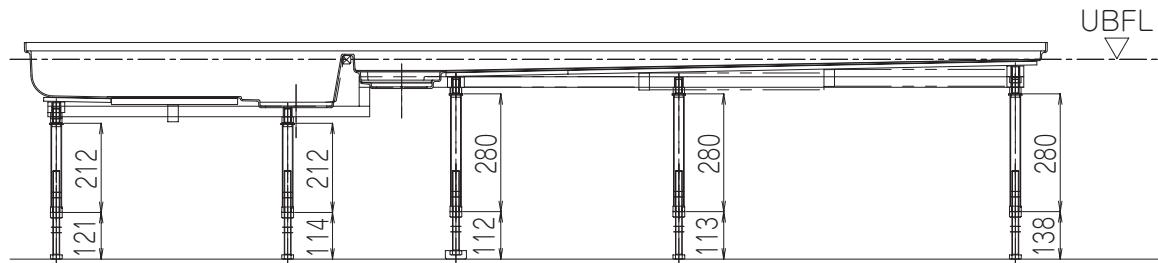
* 本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

* 本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

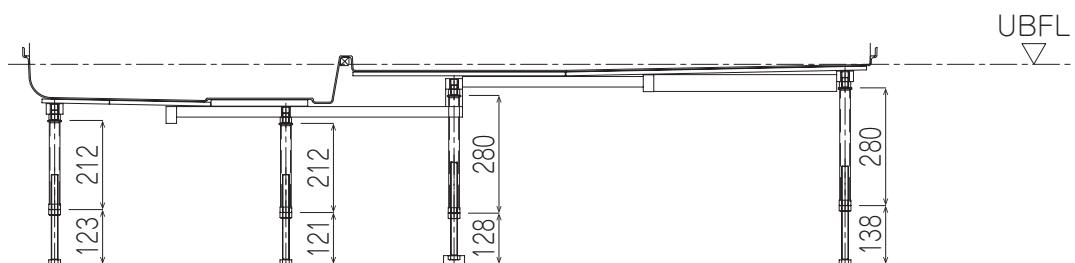
<アジャスター bolt 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

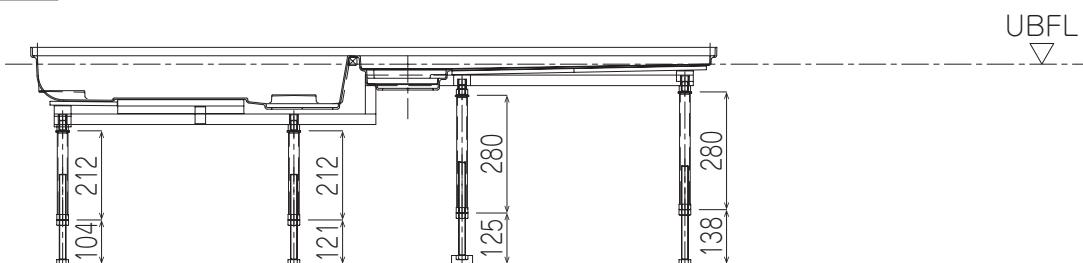
1624サイズ 【アジャスター bolt 品番：PN-S208071の場合 bolt 長さ参考図】



1616サイズ 【アジャスター bolt 品番：PN-S208188の場合 bolt 長さ参考図】



1216サイズ 【アジャスター bolt 品番：PN-S208189の場合 bolt 長さ参考図】



25 アジャスター ボルト位置図 (UBFL=555 木造1階・高床設置の場合)

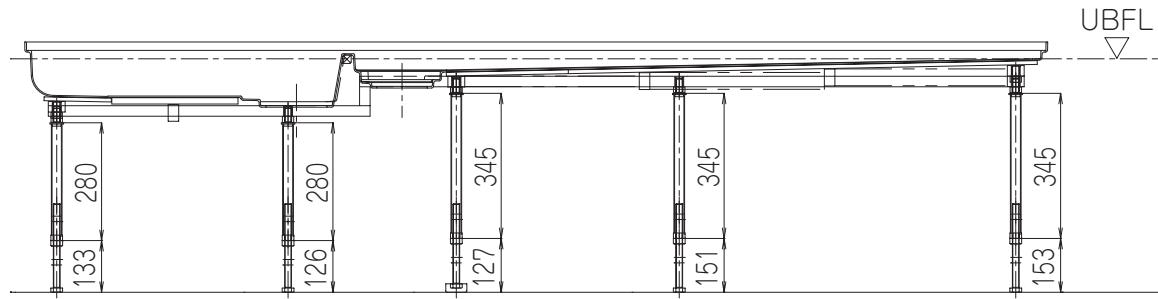
*本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

*本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

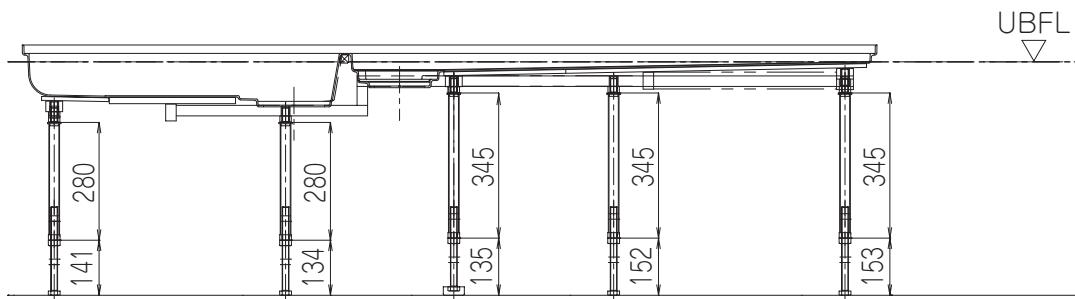
<アジャスター ボルト 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

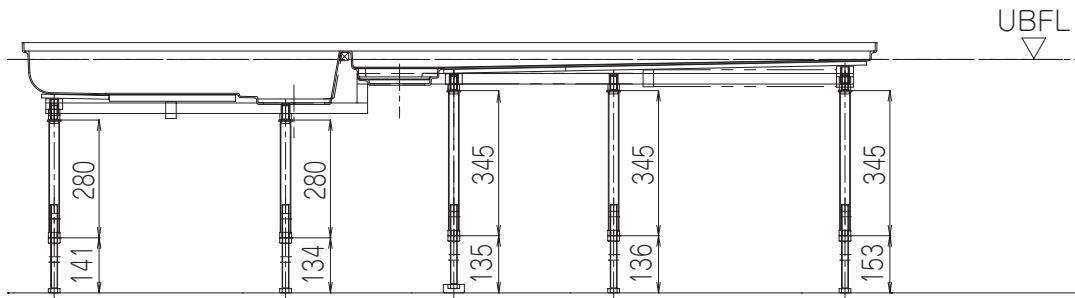
2024サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208155の場合ボルト長さ参考図】



2020サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208155の場合ボルト長さ参考図】



1620サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208156の場合ボルト長さ参考図】



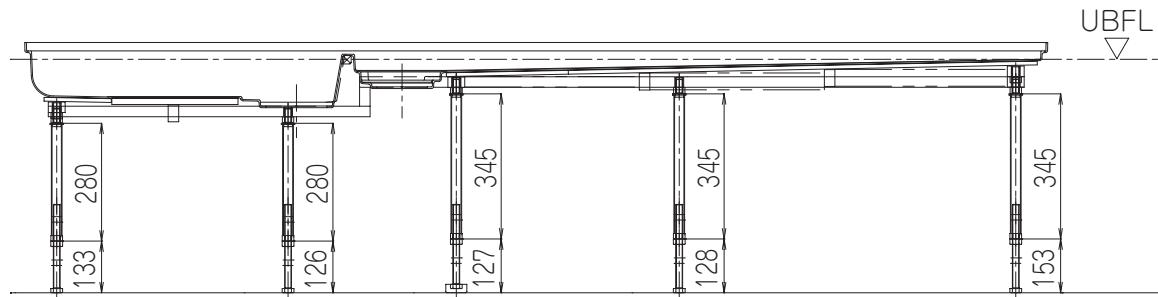
* 本図はA R勝手・B R勝手共通です。(本図の入口位置はA R勝手を示す。)

* 本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称です。

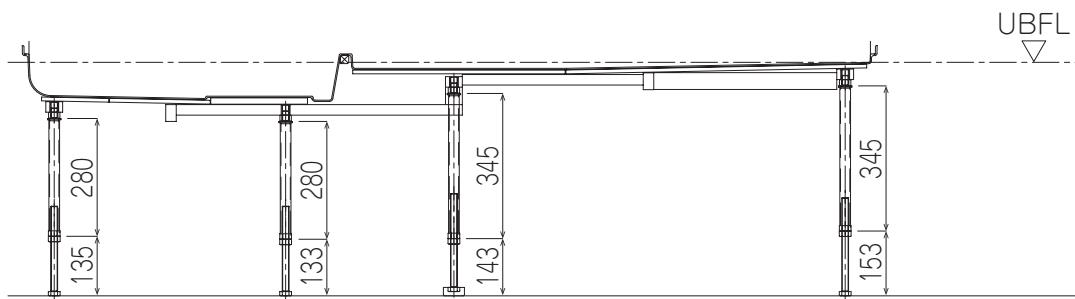
<アジャスター bolt 目安寸法図>

※現場では寸法が違う場合があります。現場の寸法に合わせて取付設置してください。

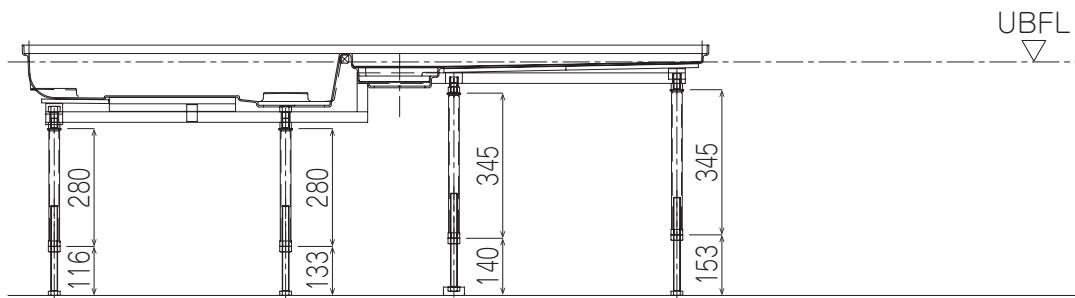
1624サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208156の場合ボルト長さ参考図】



1616サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208188の場合ボルト長さ参考図】



1216サイズ 【アジャスター ボルト品番：PN-S208189の場合ボルト長さ参考図】



26 アジャスター ボルトの確認

①周囲のアジャスター ボルトは床据え付け時にレベル調整し、中央のアジャスター ボルトは壁・天井組み立て後の床固定のときに調整する。

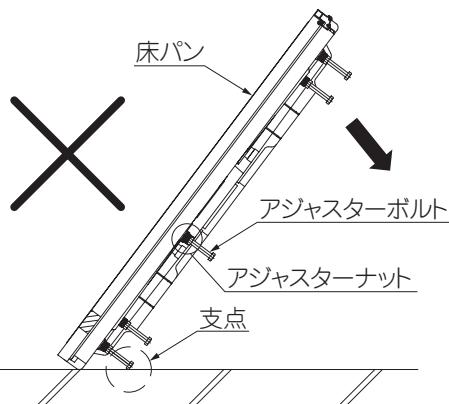
・中央のアジャスター ボルトがカタカタと床鳴りしないようにしてください。

点検項目	基準	点検方法
1. アジャスター ボルトの本数	2024・2020・1624・1620 サイズ：17本 1616 サイズ：11本 1216 サイズ：10本	目 視
2. ナットの取り付け（有無）	各ボルトに1個	目 視
3. アジャスター ボルトの取り付け寸法	取り付け参考寸法	スケール
4. 中央のアジャスター ボルトにゴムキャップ またはゴム板の取り付け（取り付けないと 床鳴りの原因になります。）	中央アジャスター ボルト 2024・2020 サイズ：4本 1624・1620 サイズ：3本 1616・1216 サイズ：2本	目 視

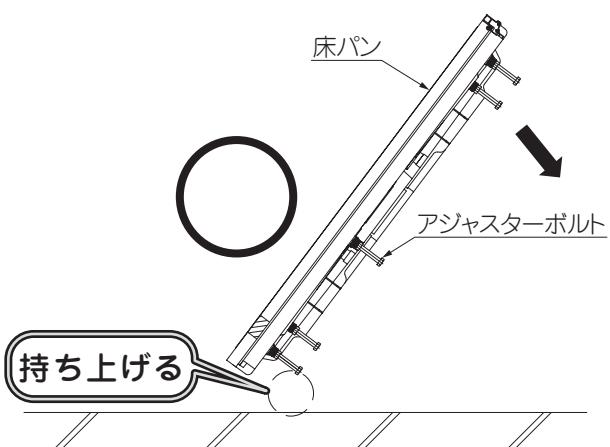
27 床パン設置

取付設置上のお願い

- 床パンを設置するときは、アジャスター bolt を支点にして倒さないでください。
(アジャスターナットが外れるおそれがあります。)

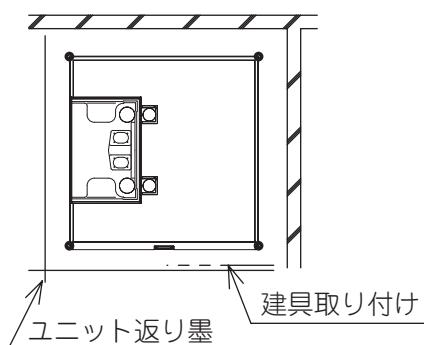
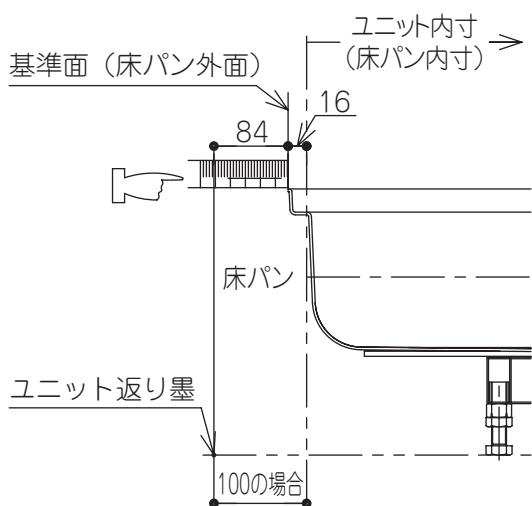


- 床パンを持ち上げ、アジャスター bolt に負荷をかけないでください。



28 位置出し

- 床パン外面を基準にユニット返り墨までの位置出し（寸法調整）を行なう。

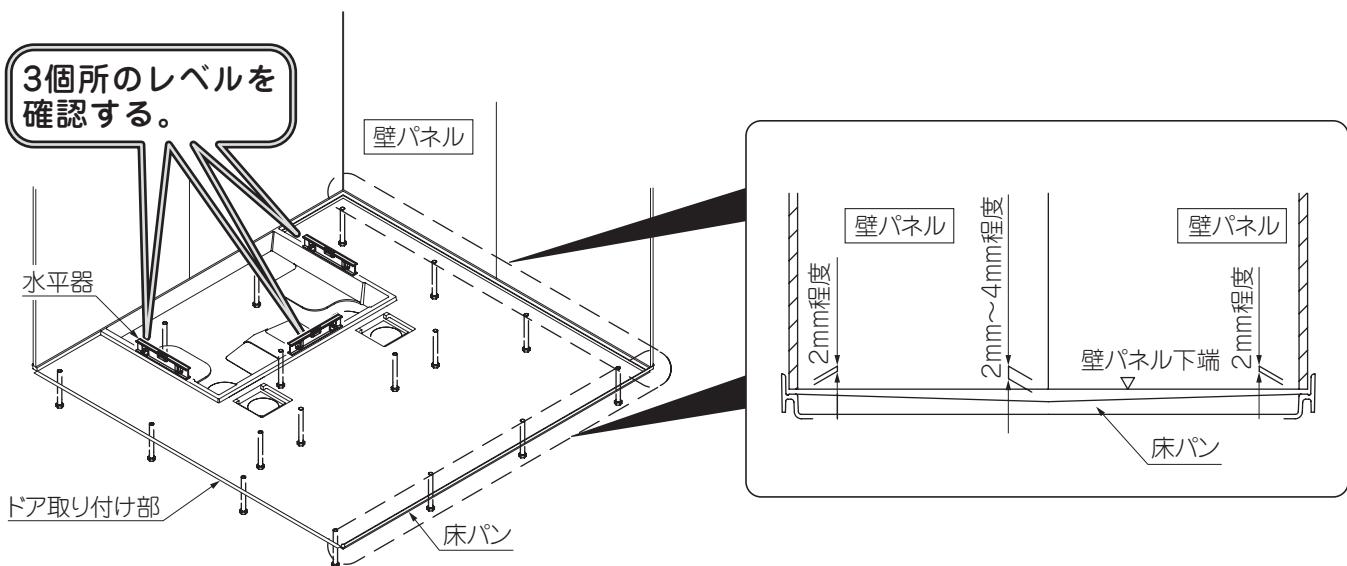


ユニット返り墨から基準面（床パン外面）までの計算方法

$$100 - 16 = 84$$

* 位置出しは、長辺、短辺の二面で行ない、位置出し後、建具取り出し部の位置出しを最終確認してください。

②壁パネル設置後に床パンと壁パネル下端のすき間が、ほぼ均一（2mm～4mm）になるように仮設置したアジャスターべルトを調整する。

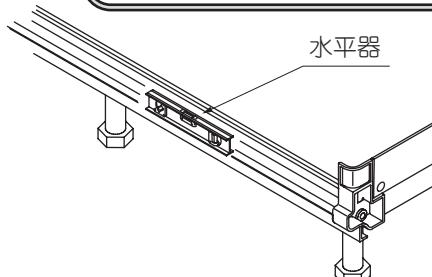


③ドア取り付け部は、レベルが水平になるように調整する。

④仮設置部のロックナットを固定する。

- ただし、ゴムキャップ付き、もしくはゴム板敷きアジャスターべルトのロックは床固定のときに行います。

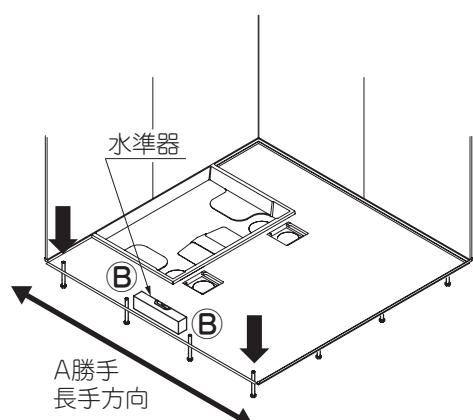
ドア取り付け部の
左右のレベルを確認する。



取付設置上のお願い

〈トラップ～VP管直接接続の場合〉

- 壁・天井組み立て後の調整ができませんので、床据付時にA勝手長手方向の水平出しを行ってください。
- 床パン成形品のA勝手長手方向の水平出しが困難な場合は、部を押えて②のアジャスターべルトを突き上げて水平出しを行ってください。



29 床レベル調整

取付設置上のお願い

- 床レベル～位置出しの基準となる陸墨、ユニット返り墨は事前に必ず確認してください。あわせて取付設置図の收まり寸法も確認してください。
(確認せずに取付設置すると、建築仕上げが出来なくなるおそれがあります。)

手順1 陸墨を墨基準としてレベルの設置高さ寸法 (B) を測定してください。

手順2 レベル出し基準面から、レベルの設置高さの寸法：4点(X₁)(X₂)(X₃)(X₄)を測定し、アジャスター bolt で高さを調整してください。

高さ調整の計算式 測定値： X₁ = X₂ = X₃ = X₄ = A + B - H

(H) 寸法の求め方

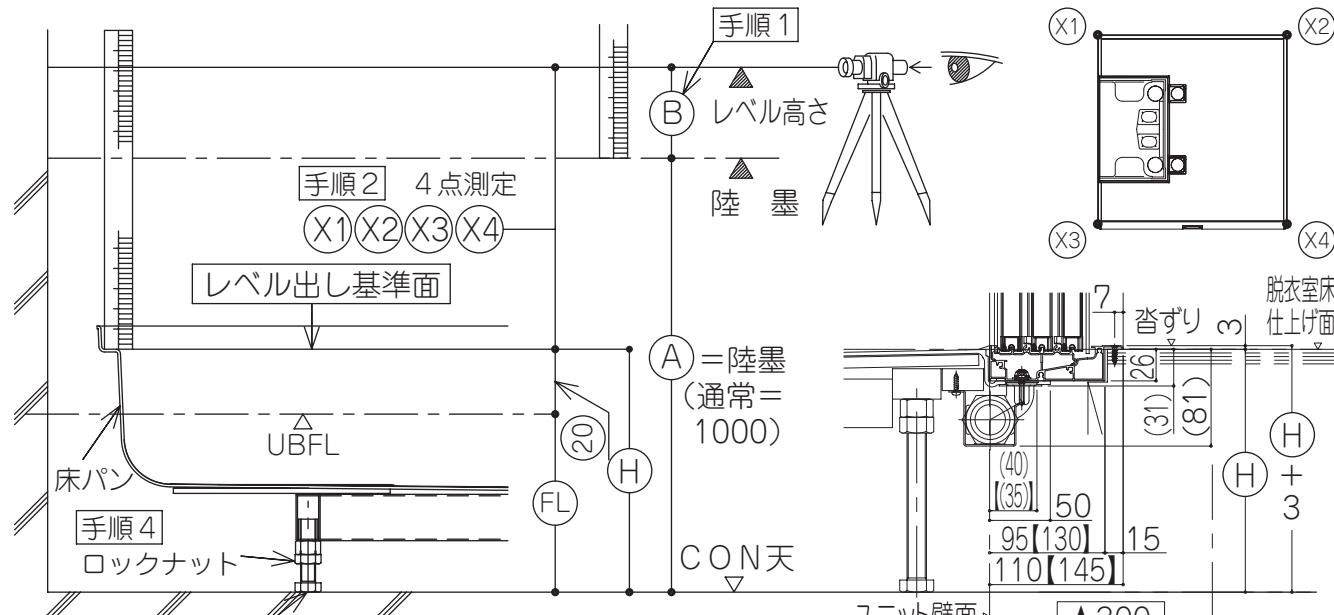
$$H = FL + 20$$

ユニットFL
レベル出し基準面の高さ寸法

手順3 アジャスター bolt : (ハンドレイ床：17点)支持、全数の調整後再度レベルを確認してください。

手順4 ロックナットを固定してください。

床の洗い場側中央部の4本のアジャスター bolt (ゴムキャップ付きもしくはゴム板敷き) の
ロックは床固定のときに行ないます。



手順3
アジャスター bolt : 高さ調整

*【】寸法は1216サイズ
A勝手(2枚引き戸)の場合を示します。

★アジャスター bolt 調整及び雑排水管接続の為
ドア前に300mm程度ピット寸法確保願います。

取付設置上のお願い

- 床パンにはり付けた養生フィルムは、取付設置後、引き渡し直前まで外さないようお願いします。

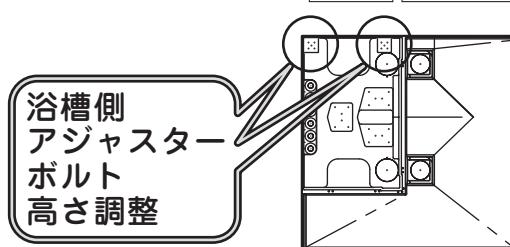


〈1616・1216サイズ床パンの場合〉

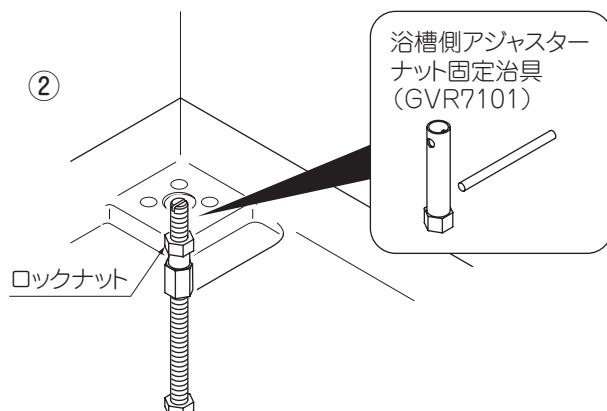
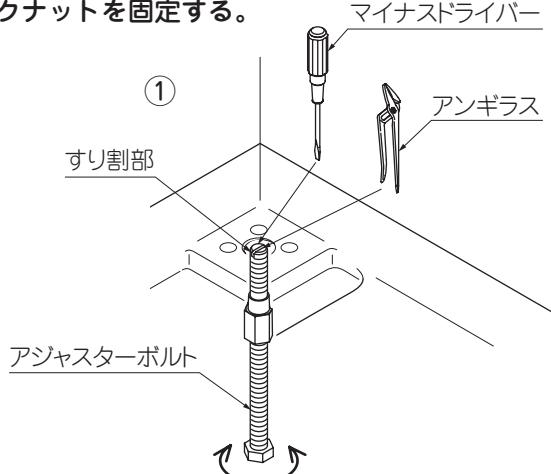
※浴槽側アジャスター bolt は、ユニット内から高さ調整してください。
1616サイズ：2個所
1216サイズ：4個所

※図は1616サイズの場合

浴槽側 洗い場側

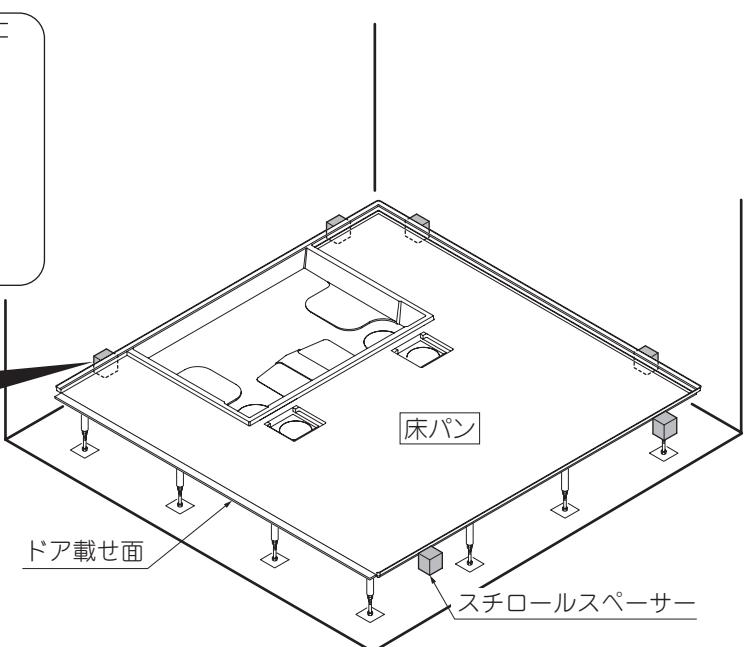
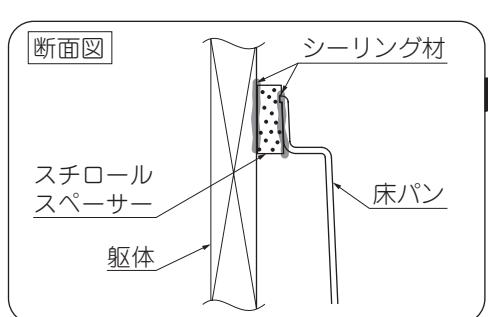
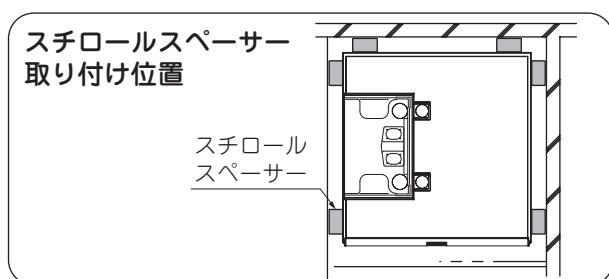


- ①アジャスター bolt の高さ調整をする。
- ②ロックナットを固定する。



30 床固定用スチロールスペーサーの取り付け（木造1階・高床設置の場合）

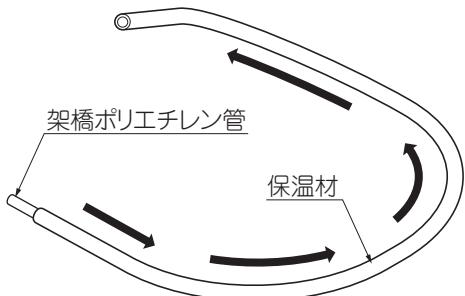
- ①洗い場床パンと躯体の寸法に合わせてスチロールスペーサーをカットする。
 - ②スチロールスペーサーにシーリング材を塗布する。
 - ③洗い場床パンと躯体の間にスチロールスペーサーを挟み込む。（6個所）
 - ④挟み込んだスチロールスペーサーをシーリング材で固定する。
- ・壁掛けハンガーを取り付ける位置には、スチロールスペーサーを取り付けないでください。



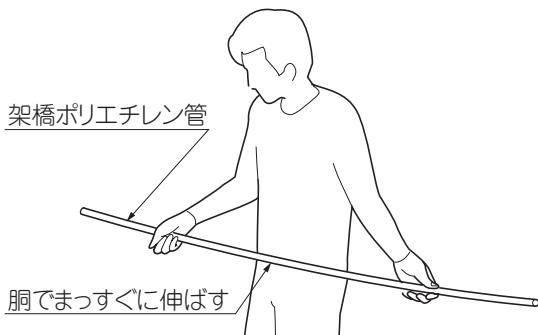
31 給水・給湯裏配管の前加工および敷設 (1616・1216サイズのみ)

- ・給水・給湯管の取り出し方向と位置については、給水・給湯管接続位置図を参照のうえ、事前に工務店様と打ち合わせしてください。

①配管の保温材をいったん取り外す。



②架橋ポリエチレン管を腹部にあてて、胴でまっすぐに伸ばす。

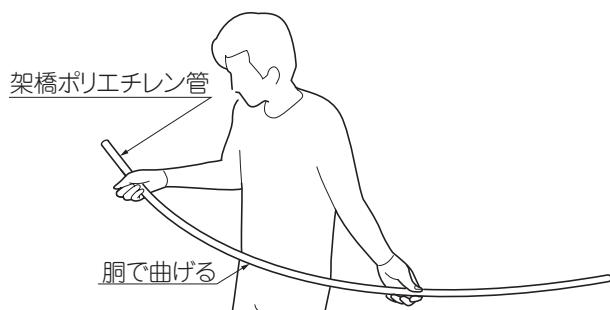


⚠ 注意



- 配管は急角度に曲げない
(配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。)

③給水・給湯管接続位置図を参照して、架橋ポリエチレン管を取り出し方向に合わせて曲げる。

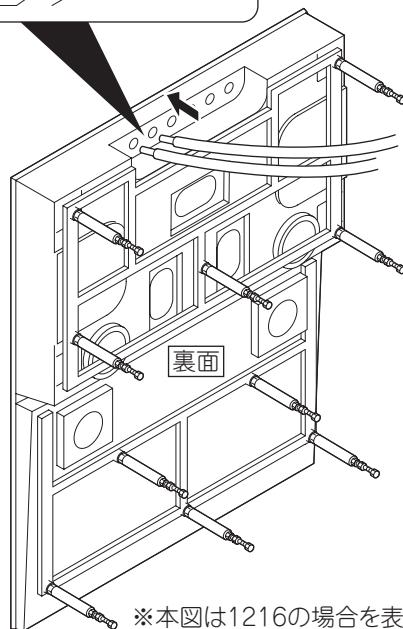
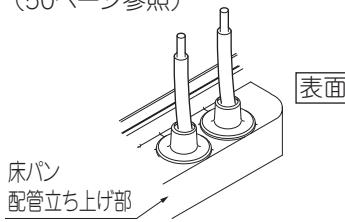


④保温材を取り付ける。



⑤配管を床パンの下に配置する。

固定は後で行います。
(50ページ参照)



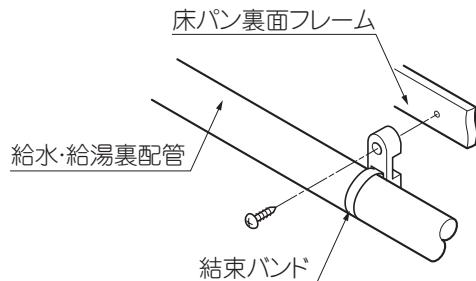
※本図は1216の場合を表します。

⑥配管を通す穴を確認し、ドリルガイドに合わせて、ホールソーφ30で穴開口を行う。

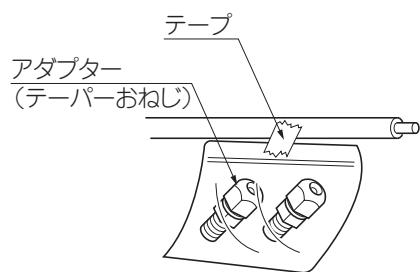
取付設置上のお願い

- 配管が通らない箇所には、穴開口を行わないでください。
- 架橋ポリエチレン管を引き出した後、先端部に変形・傷が見られた場合、必要に応じてカットしてください。

⑦結束バンドで配管を床パン裏側のフレームなどに固定する。

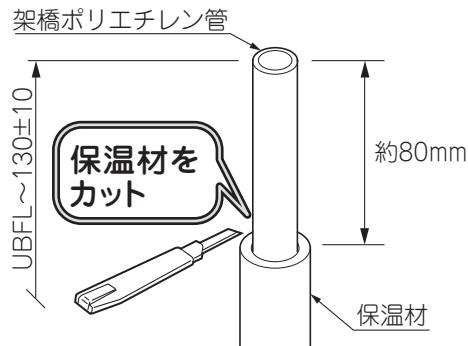


⑧アダプターが入ったビニール袋を配管の先端にテープで止めておく。
・ここから先は水道工事業者様の取付設置範囲となります。



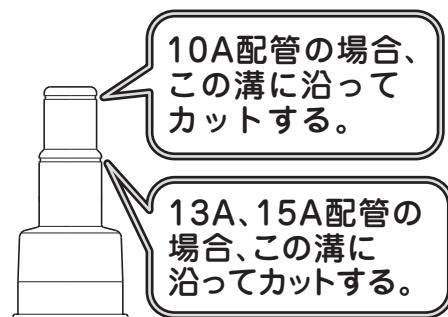
32 給水・給湯裏配管用ブーツの取り付け

①必要に応じて、架橋ポリエチレン管の保温材をカットする。



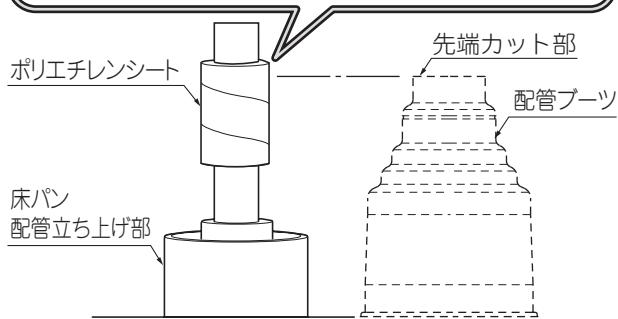
②配管ブーツの先端をカットする。

- ・配管が通らない穴には、配管ブーツは不要です。

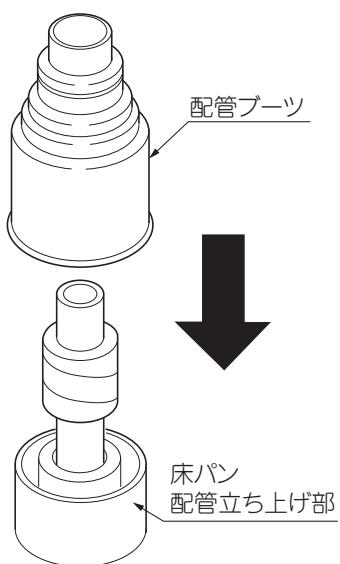


- ③架橋ポリエチレン管のまわりにポリエチレンシートを巻く。

配管ブーツの先端カット部よりポリエチレンシートが10~15mm高くなるように巻く。



- ④床パン配管立ち上げ部に、先端をカットした配管ブーツをかぶせる。



- ⑧以下の個所にシーリング材を塗布する。

- ・配管ブーツ下端と床パン配管立ち上げ部との間
- ・配管ブーツ上端とポリエチレンシートとの間

⚠ 注意



- シーリング材を架橋ポリエチレン管に付着させない
(シーリング材の成分が架橋ポリエチレン管を侵食してひび割れし、水漏れの原因となります。)

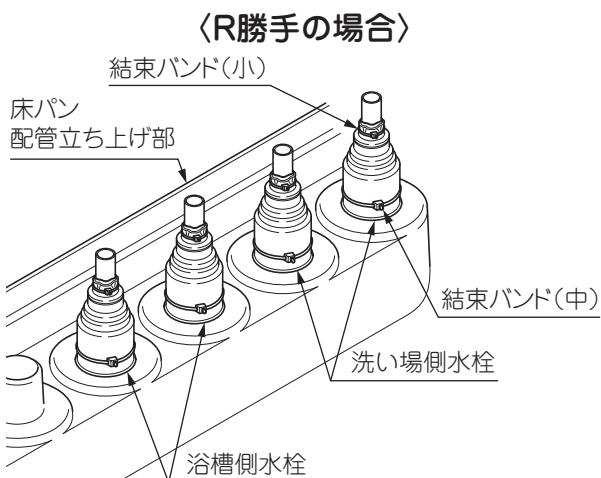


- シーリング材充てんは指定個所に確實に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

- ⑤かぶせた配管ブーツの根元に結束バンド(中)を巻き、配管ブーツが抜けないよう固定する。

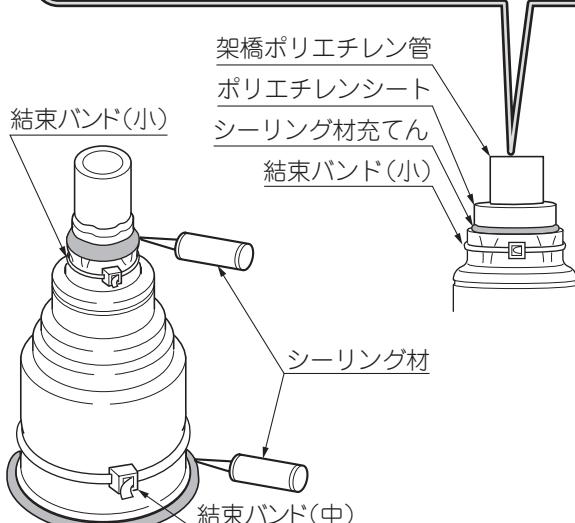
- ⑥配管ブーツの先端に結束バンド(小)を巻き、配管と配管ブーツを固定する。

- ⑦結束バンドの先端をカットする。



結束バンドは緩みのないよう、しっかりと締め付けてください。

架橋ポリエチレン管にシーリング材が付着しないよう注意

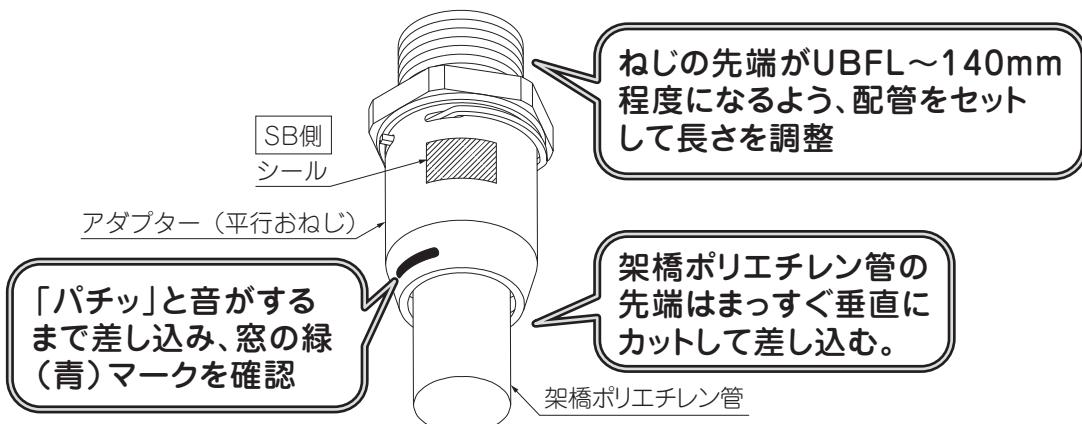


33 給水・給湯裏配管用先端部の取り付け（浴室内側）

①必要に応じて、架橋ポリエチレン管の先端をカットする。

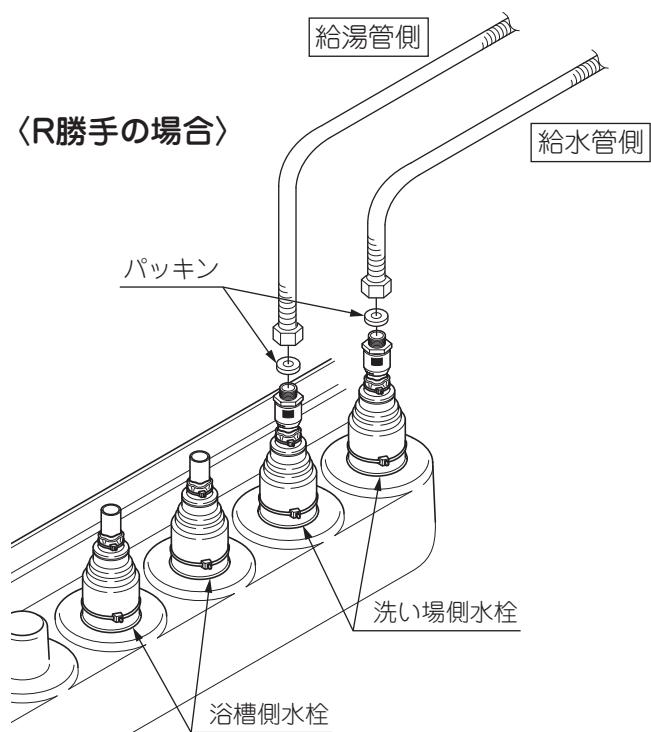
②アダプターを差し込む。

- ・SB側 シールがはられているアダプターを取り付ける。



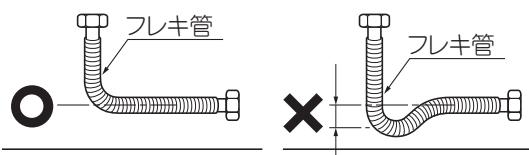
34 給水・給湯内部配管の接続

①フレキ管を取り付ける。



取付設置上のお願い

- ・給湯管側と給水管側を逆に接続しないよう、ご注意ください。
- ・配管時にフレキ管がトラップ状態にならないようにしてください。

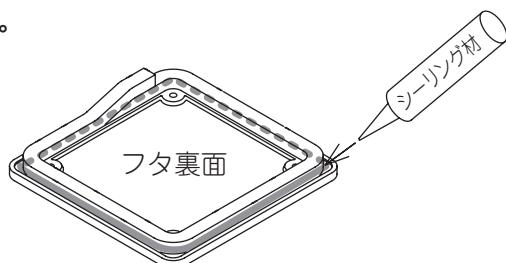
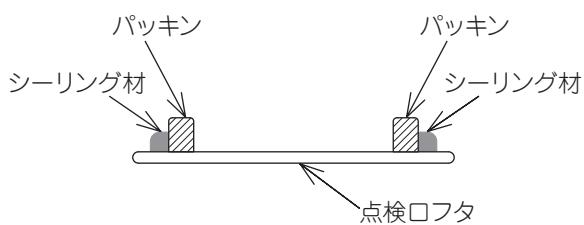


※フレキ管の接続については【スリム壁裏配管編】をご参照ください。

35 床点検口の取り付け

①床点検口フタのパッキンの外側に、シーリング材を塗布する。

- ・床点検口フタの取り付け前に塗布してください。



※パッキンの上にシーリング材を塗布しないでください。

②床パンにグロメットを挿入する。

③床点検口フタを床パンに固定後、フタの周囲とねじ頭部分に必ずシーリング材を充てんする。

- ・シーリング材は切れ目なく、多めに塗布してください。

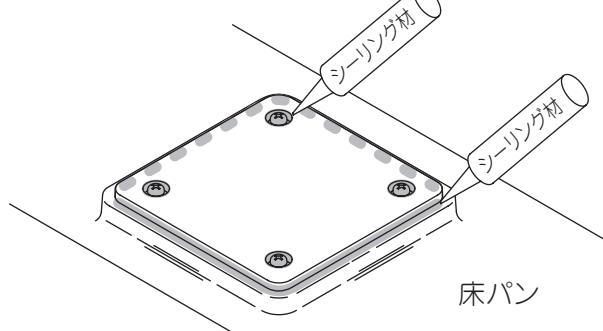
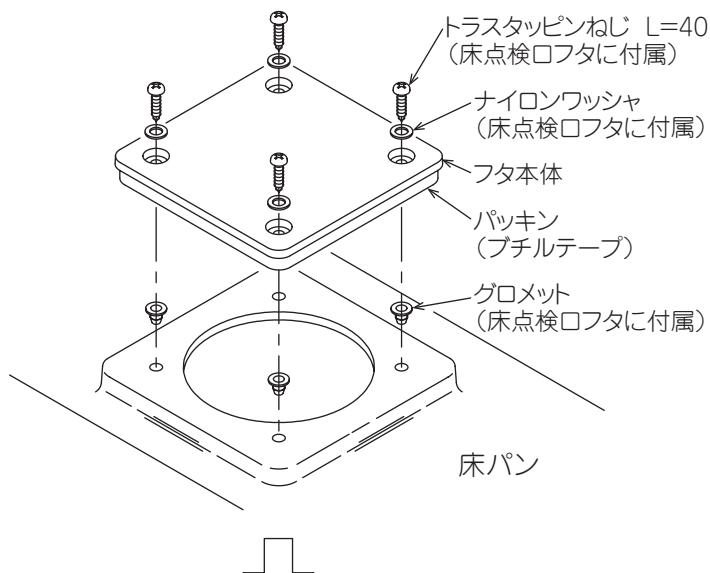
！注意



- 点検口取り付け部分は事前によく清掃してください。
(清掃しないと水漏れの原因となります。)
- 点検口周囲・ねじ頭部にはシーリング材を充てんしてください。
(シーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

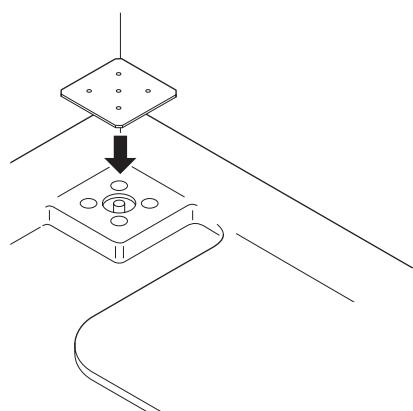
- ・機械浴槽の場合、マスキングを行ってからシーリング材を充てんしてください。



（1616・1216サイズ床パンの場合）

④浴槽側アジャスター bolt (2か所)の上にプレートを取り付ける。

取り付け方法は、床点検口の取り付け手順①～③と同じです。



36 軀体チェック

- ①ユニット周りの建築間仕切り工事前に、床、壁、天井、建具など軀体各部のチェックを行う。
 ・各部の納まり寸法は、取付設置図で確認のうえチェックしてください。

37 床固定

取付設置上のお願い

- 固定前に床鳴りのないことを確認してください。(床パンの上に乗り足踏みして確認してください。)

①ゴムキャップが取り付け指示位置にあることを確認する。

- ・すべてのアジャスター bolt が取り付けられていることを確認してください。

②床パン中央付近のアジャスターを調整する。

- ・ゴムキャップ取り付け部のアジャスター bolt は、ゴムが接地してから 1~1.5 回転つき上げてください。

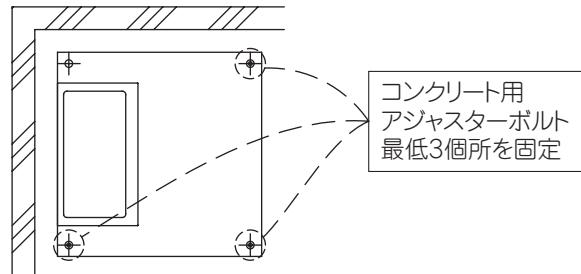
※スパナが使用できない場合は、プライヤーで回してください。

③下図の要領で固定する。

- ・コンクリート用アジャスター bolt : 最低 3 個所
 (ゴムキャップ取り付け部は固定不要です。)

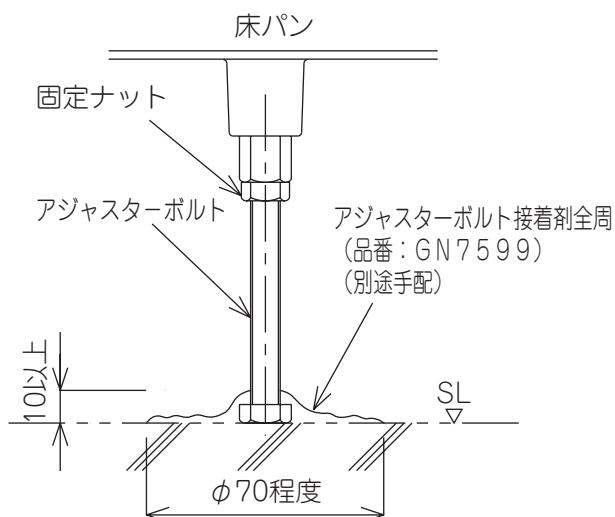
④アジャスター bolt の取り付け忘れがないか確認する。

⑤調整したアジャスター部のナットをロックする。



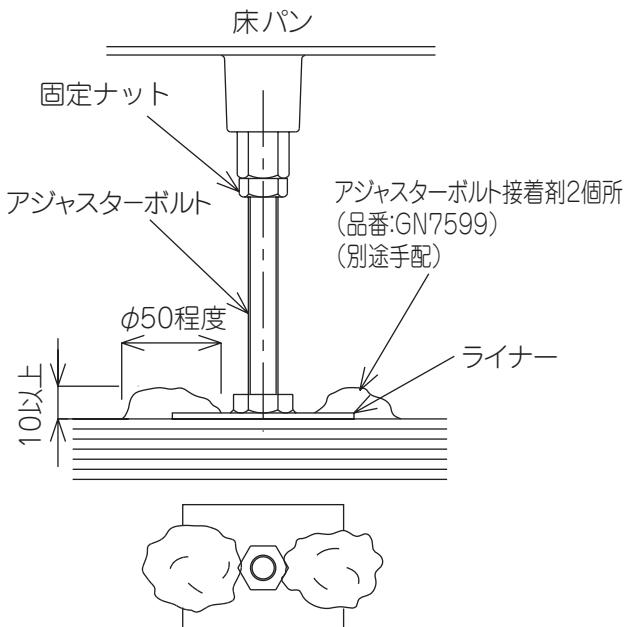
アジャスター bolt の接着は、接着材（例：コニシ E250 相当）を使用する。
 接着面の砂や塵、水、油などは、取り除いてから、取付設置する。

■コンクリート用アジャスター bolt : 接着剤固定



接着面の砂や塵、水、油などは、取り除いてから、取付設置してください。

■木造用アジャスター bolt : 接着剤固定



接着面の砂や塵、水、油などは、取り除いてから、取付設置してください。

3. 壁の組み立て

単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 壁パネルの加工

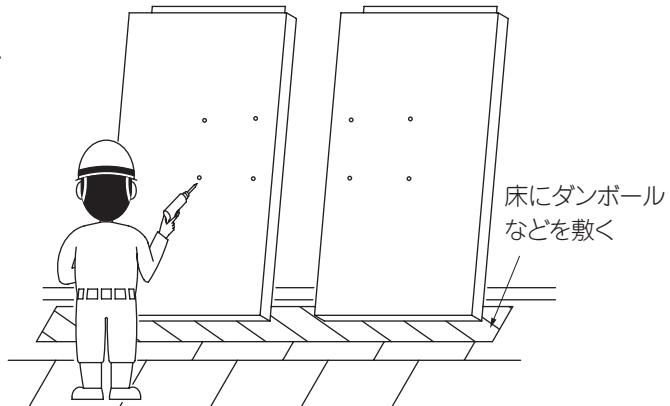
1 壁パネル加工の注意事項

※加工は、下記の事に注意して行ってください。

- ・加工時に発生する鉄粉により、もらいさび、すり傷などを防止するためです。

〈壁パネル組立前に加工する場合〉

- ①加工は「壁パネル加工図」を参照に、必ずユニット外にて行う。

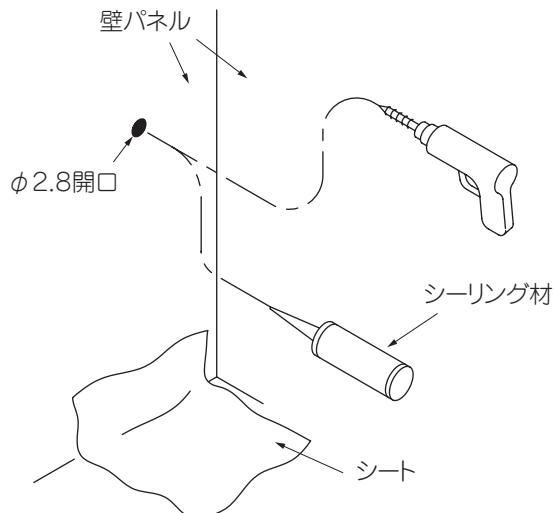


〈壁パネル組立後、現物合わせなどで加工する場合〉

- ①作業場所の下に、シートなどを敷く。

②加工箇所にシーリング材を塗布する。

- ・上記の作業をしてから、加工を開始してください。
(鉄粉の飛散防止、すり傷などを防止するためです。)
- ・加工後はシーリング材をふきとってください。
(強く擦らないでください。すり傷になるおそれがあります。)

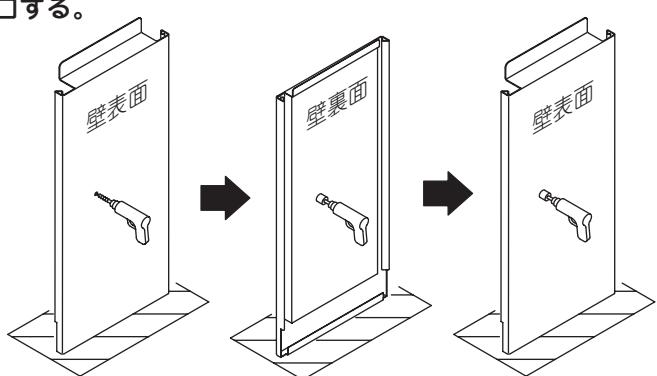


〈ホールソーでの穴開口手順〉

- ①表面から $\phi 2.8$ 程度のキリにて下穴を開ける。

- ②裏面からホールソーにて石こうボードのみ穴開口する。

- ③最終仕上げに、再度壁表面からホールソーにて穴を開口する。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

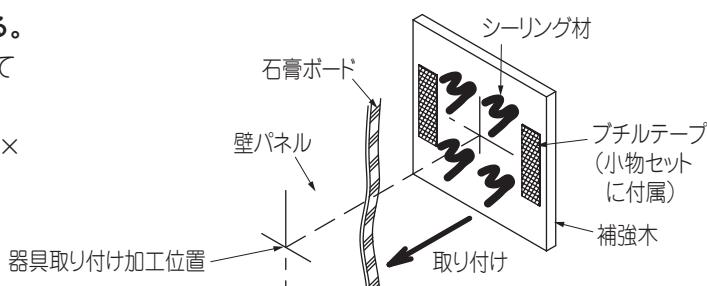
2 壁パネルの前加工

1 補強木取り付け

①器具取り付け加工位置の裏に、補強木を取り付ける。

- ・ ブチルテープとシーリング材を塗布してはり付けてください。

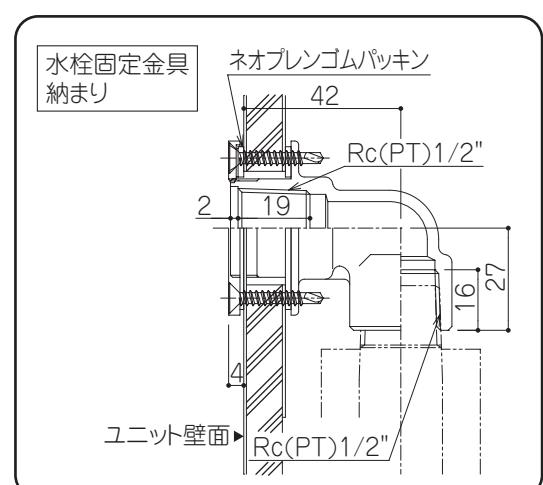
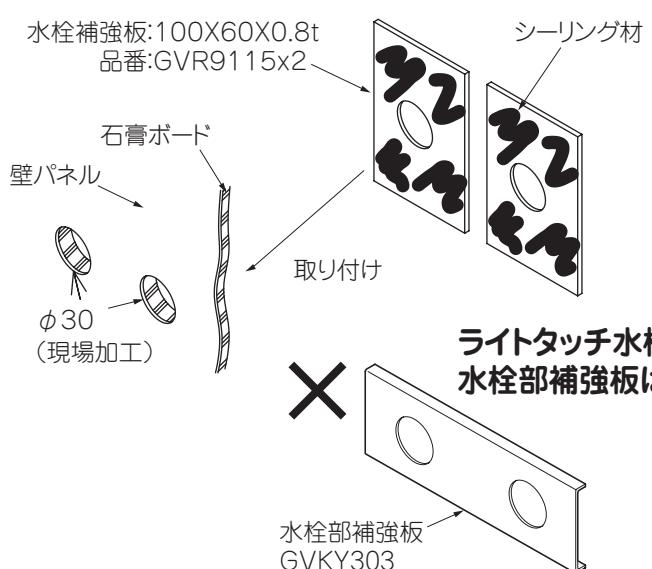
※おきラク手すりの場合は、壁補強図を参照して70×350×t9の合板を使用してください。



2 水栓固定金具補強プレート取り付け

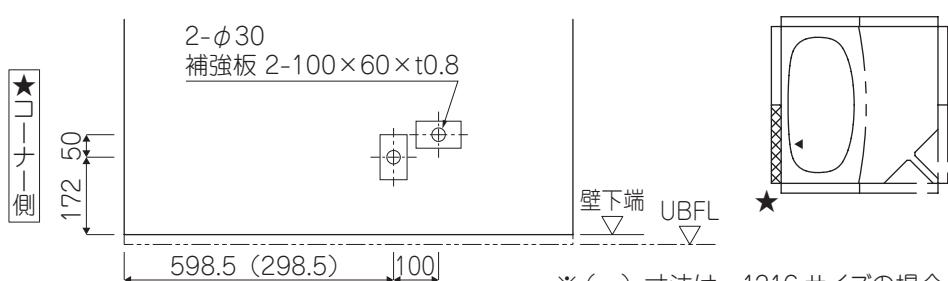
①壁パネルにφ30で開口する。(加工位置は、壁加工参考図参照)

②水栓補強板にシーリング材を塗布し、穴を合わせて、壁パネルに取り付ける。



3 水栓固定金具補強プレート取り付け 追焚循環アダプター（オプション）の場合

- ・ 下図はR勝手の場合です。
L勝手は本図と対称になります。
- ・ 1616・1216サイズに追焚循環アダプターを取り付ける場合は、床パン立ち上げも可能です。



3 水栓固定金具取り付け

⚠ 注意



必ず守る

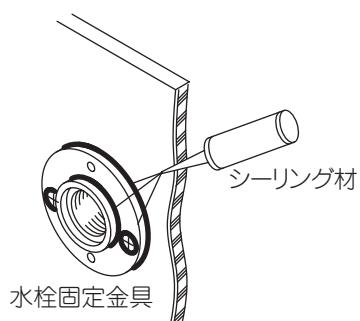
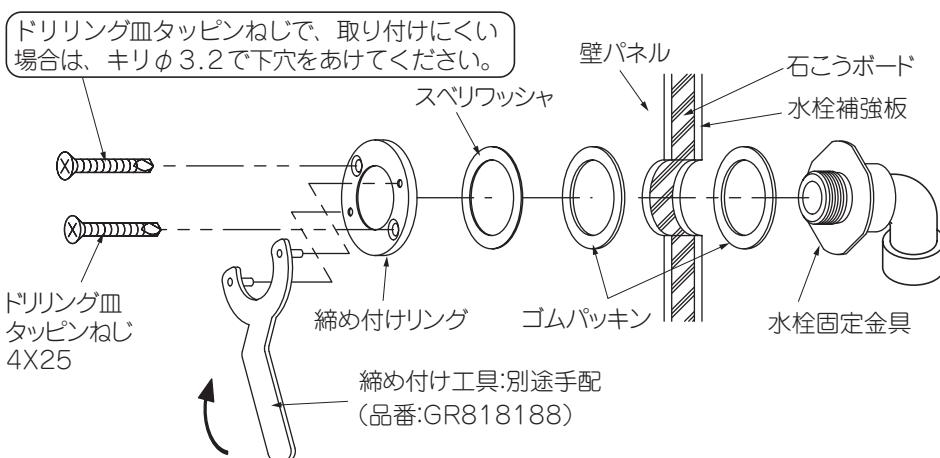
- 専用工具の使用箇所では必ず専用工具を使用する
(専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。)
- 締め付けリングを締め付け、ドリリング皿タッピンねじにて固定する
(ねじ固定をしないと、ゆるみにより水漏れおよび、落下によるけがの原因となります。)
- 締め付けリングのねじ固定は水平の位置で固定する
(水平位置で固定をしないと、キリ加工時に『配管を傷付け』、水漏れの原因となります。)



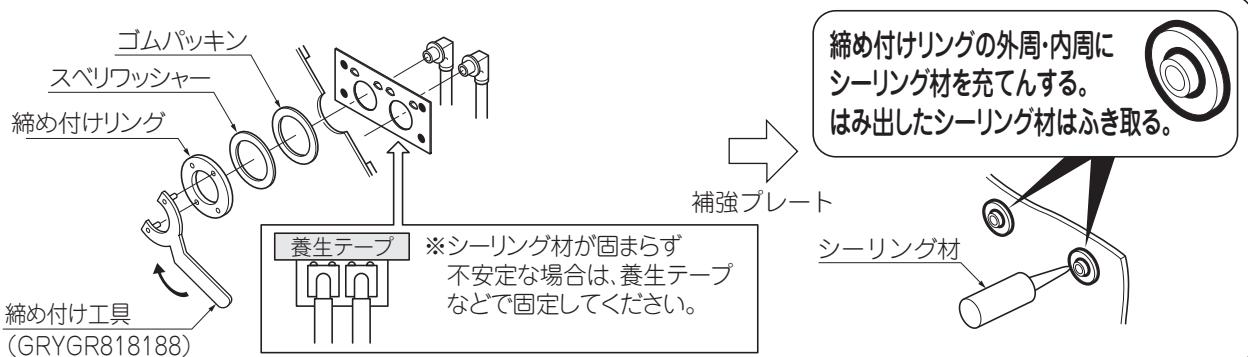
〈水栓固定金具の取り付けに関する打ち合せのポイント〉

- 建築納まり図面および設備配管図面を確認のうえ、取り付け工程（時期）を打ち合せ、調整してください。

- 金具の外、内周およびねじ頭部分にシーリング材を塗布する。



〈ワンタッチ水栓固定金具の場合〉



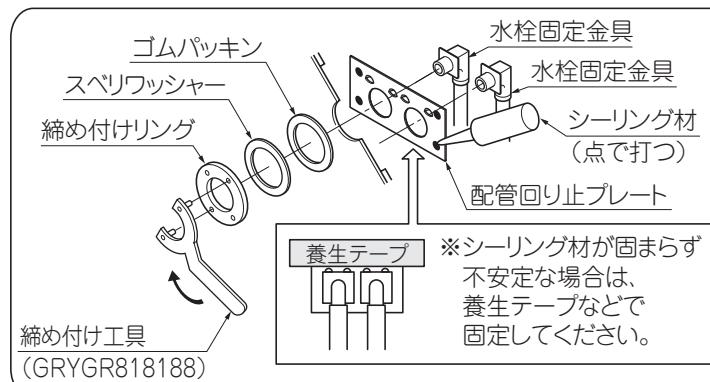
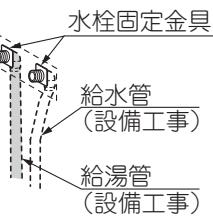
- ①水栓固定金具にゴムパッキンとスペリワッシャーを通す。
- ②締め付けリングを専用の締め付け工具で締め付ける。



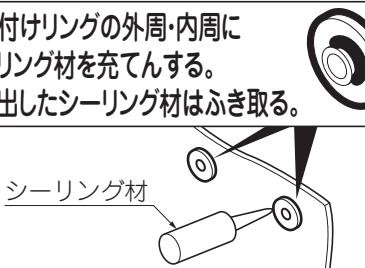
⚠ 注意

- 水栓固定金具の取り付けは、必ず専用工具を使用する
(専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんないと、水漏れの原因となります。)

まっすぐ水平になるよう調整後、本固定する。



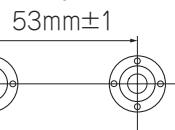
締め付けリングの外周・内周にシーリング材を充てんする。
はみ出したシーリング材はふき取る。



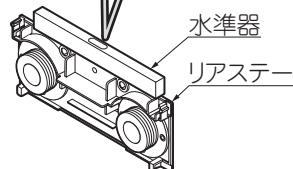
●水栓固定金具の本固定

水栓固定金具の出代が壁パネルから12mmになるよう調整してください

水栓固定金具間の寸法は、中心から中心が53mmになるよう調整してください

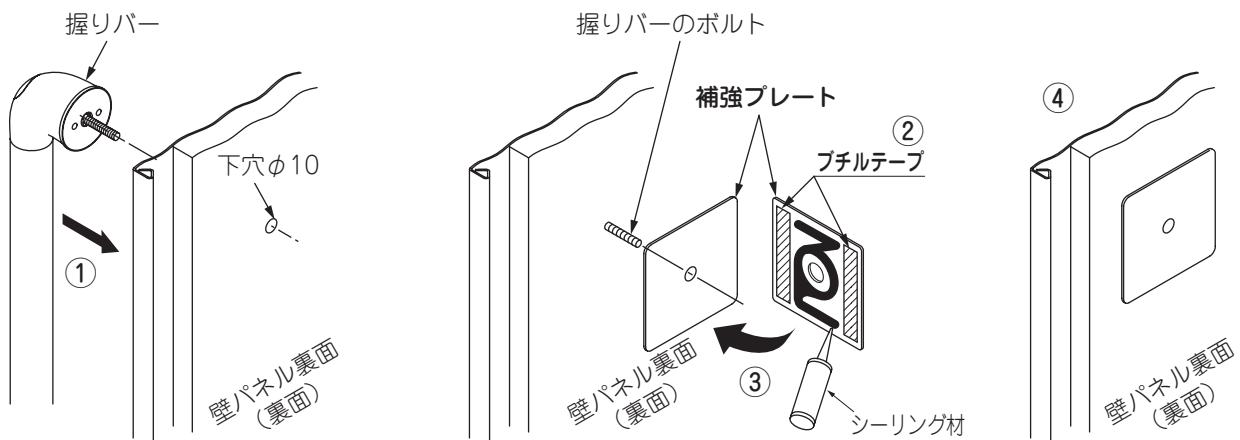


水栓に付属のリアステーを締め付けリングにあてて、水準器を載せ、水平になることを確認してください



4 握りバーの取り付け

- ① 握りバー取り付け穴に、握りバーのボルトを通す。
- ② 補強プレートにブチルテープをはり付ける。
- ③ 握りバーのボルトに、補強プレートを仮固定する。
- ④ 握りバーを外す。



※旧仕様の握りバー手すり裏合板を使用しないでください。

- ⑤ 握りバーを付属のボルトで取り付ける。

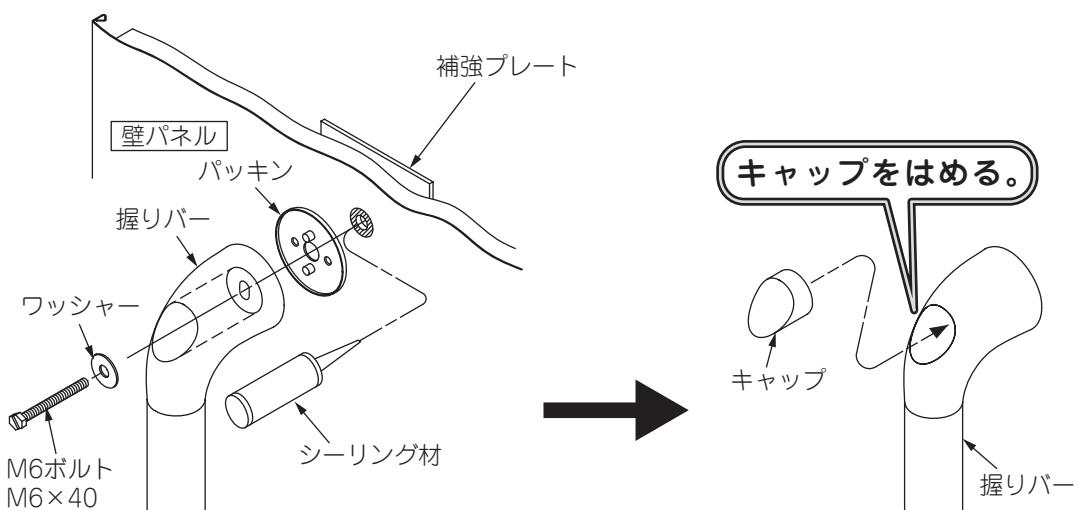
取付設置上のお願い

- パッキンはフラット面を壁側にして取り付けてください。

注意



- 握りバーを取り付け指定位置に確実に取り付ける
(確実に取り付けないと使用中に外れたりして、けがの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



5 照明の取り付け

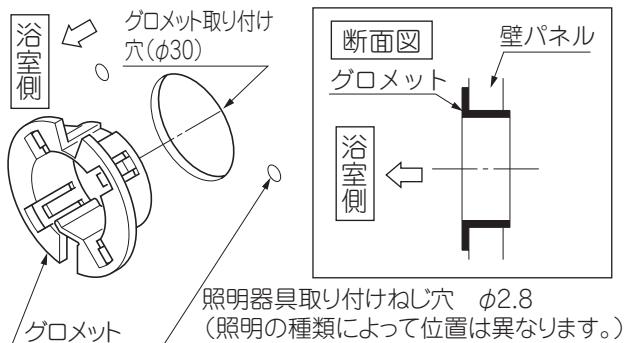
〈照 明〉

- ①グロメット取り付け穴にグロメットをはめる。
・穴の周囲がすべてグロメットの溝に入ったか確認してください。

⚠ 警告



- グロメットは確実に取り付ける
(確実に取り付けないと、火災や感電の原因となります。)



- ②照明取り付けねじ穴（ $\phi 2.8$ ）に、シーリング材を塗布する。

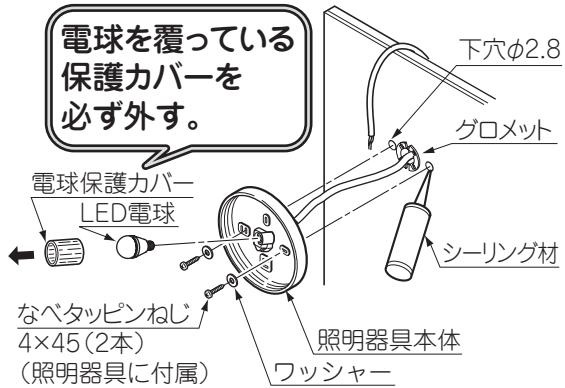
- ③グロメットに照明コードを通し、照明器具本体をねじとワッシャーで取り付ける。
・電源線およびアース線は天井上に載せておいてください。

⚠ 警告

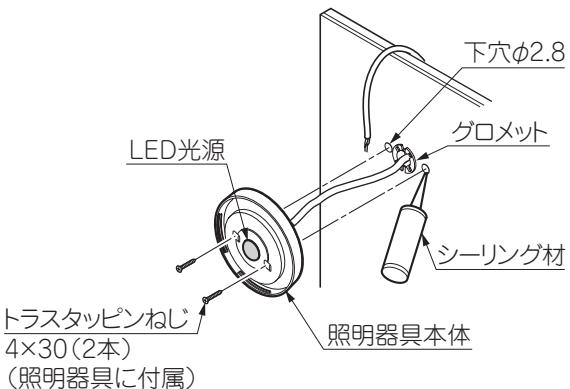


- 電球を覆っている保護カバーは、器具取り付け時に必ず外す
(保護カバーを付けたまま点灯させると、火災の原因となります。)

〈プラネット照明〉



〈サークルLED照明・スクエアLED照明〉



6 壁パネルの開口

取付設置上のお願い

- 窓開口を行う場合は、必ず事前に壁パネルの裏側に補強合板を取り付けて、裏補強を行ってください。

警告



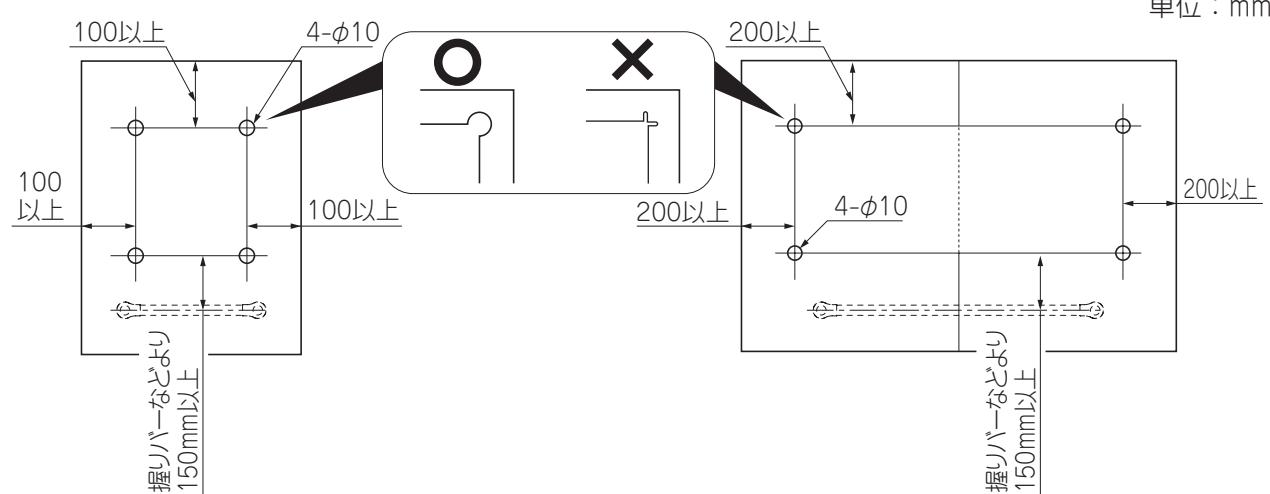
- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。)

①開口部の外側をマスキングテープで保護する。

②次ページの「窓開口パネル仕様の断面取り合い図」を参照のうえ、開口する四隅にφ10の穴を開ける。

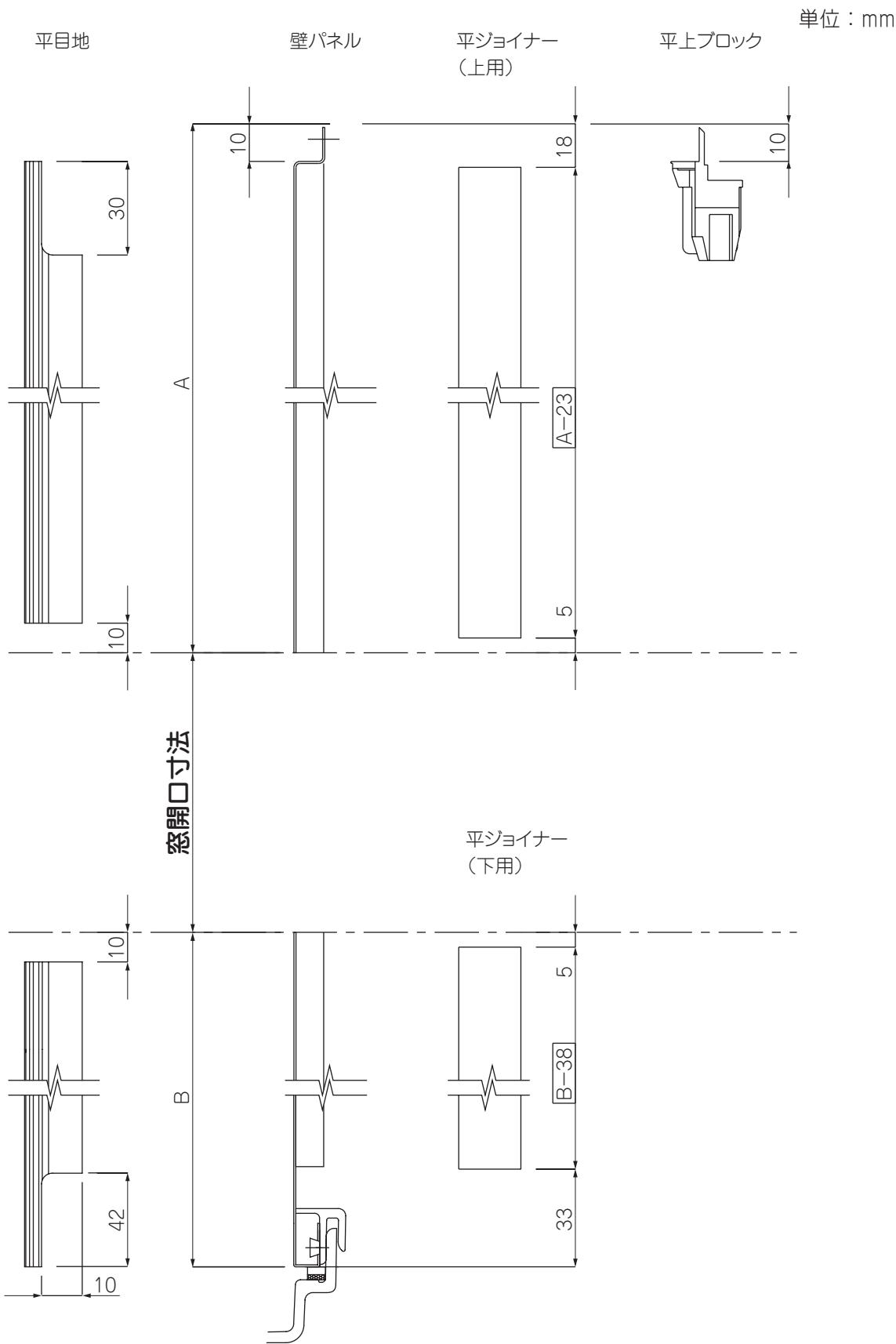
取付設置上のお願い

- 壁パネルを開口する際は、切りくずが壁パネルに飛び散らないよう、ご注意ください。



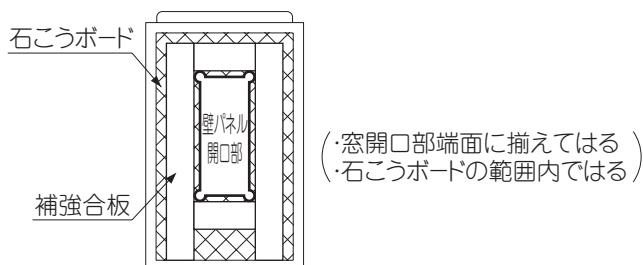
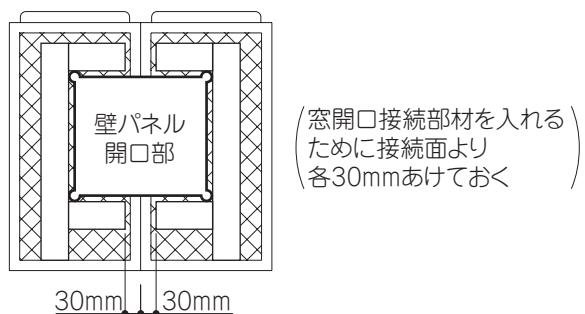
単位：mm

【窓開口パネル仕様の断面取り合い図】



③補強合板をはり付ける。

- ・ $\phi 10$ 穴中心より少し外の開口側に黒色テープ（ブチルテープ）をはり、その外側にシーリング材を塗布してください。
- ・窓開口がある場合、補強合板はり付け範囲は以下のとおりです。

〈壁パネル1枚で納まる場合〉**〈壁パネル2枚で納まる場合〉**

- ・開口四隅の $\phi 10$ 穴中心より1~2mm外側に補強合板を縦横ちではり付けてください。
- ・縦補強の内側に揃う寸法に補強合板をカットしてください。

⚠ 注意

- ・パネルに開口がある場合は必ず開口前に裏補強する
- ・開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する
(裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されません。)
- ・パネル3枚以上にまたがる窓開口はできません

④ジグソーまたはスレートノコで開口する。

- ・開口幅はパネルにより異なります。
窓開口が2枚の壁パネルにまたがる際は、壁パネル間に挟まる目地幅 (=3mm) 分を考慮して開口してください。

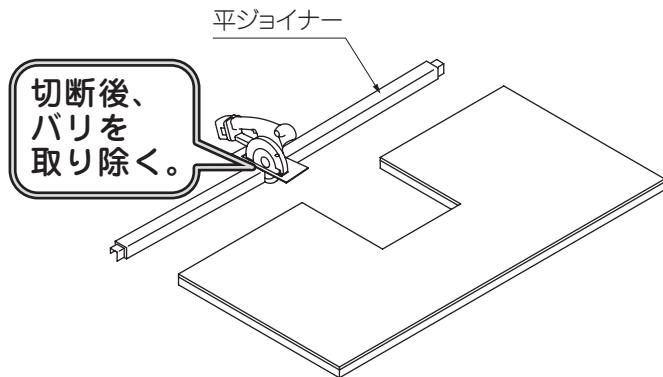
⑤切断部が凸状に残らないよう、きれいに仕上げる。

7 平ジョイナーの切断

①平ジョイナーを開口位置に合わせて切断する。

・断面取り合い図を参照してください。

②ジョイナー切断部は、平らにし、バリを取り除く。



取付設置上のお願い

- ・平ジョイナーには上下がありますので、ご注意ください。

背側にDOWN
の表示

下側

⚠ 注意



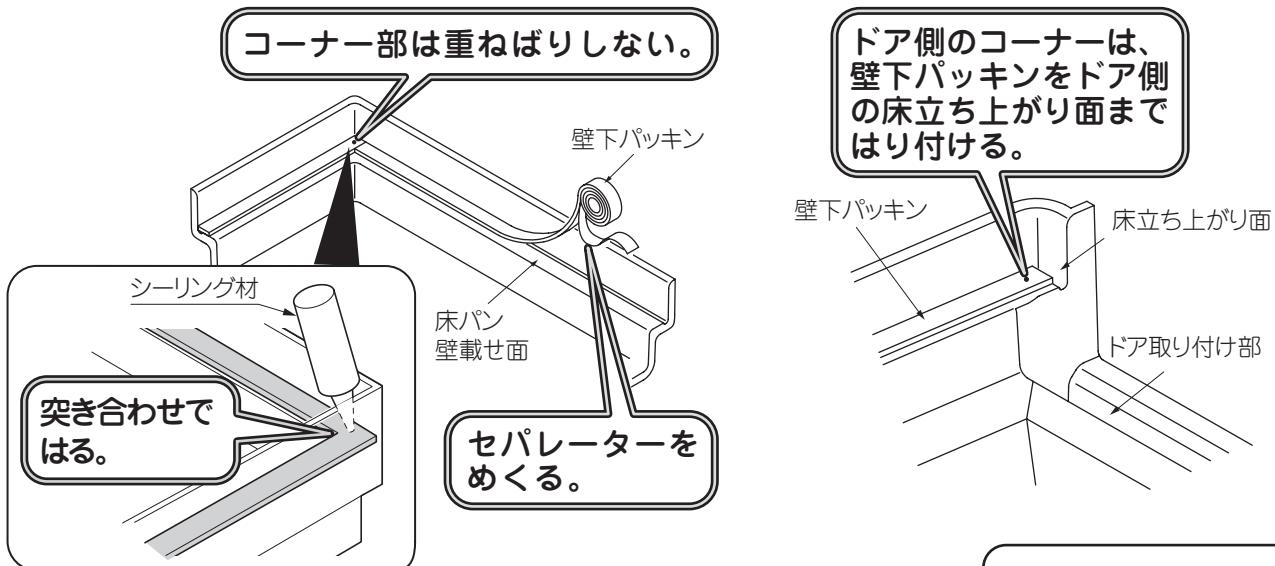
必ず守る

- ・壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入つてけがをするおそれがあります。)

8 床パン壁載せ面への壁下パッキンはり付け

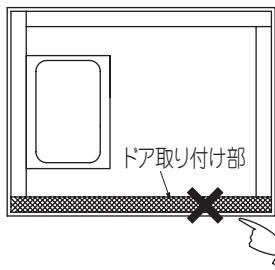
①床パン壁載せ面に、壁下パッキンを床立ち上り面にそわせてはり付ける。

- ドア取り付け部への壁下パッキンはり付けは不要です。

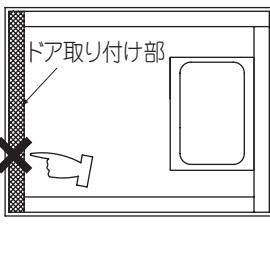


壁下パッキンはり付け不要

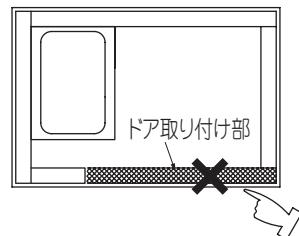
[AR勝手] (1216・1624・2024以外)



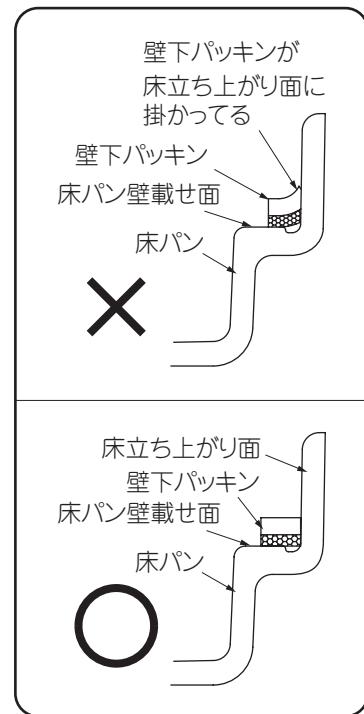
[BL勝手]



[AR勝手] (1216・1624・2024)



サイズ	壁下パッキン品番	幅	厚	長さ
1216・1616・1620・2020	VAAH100131	7	5	2050×4本
1624・2024	GVR3145	7	5	2450×4本



⚠ 注意



- ドア取り付け部分の壁下パッキンは、はり付けない
(壁パネルとドアの取り付けねじピッチが合わなくなります。)
- 床パンコーナー部の壁下パッキンは、重ねばりしない
(壁パネルと壁パネル目地高さなどが合わなくなります。)
- 壁下パッキンは、1辺に1本使用する
(途中でつないだりしないでください。)



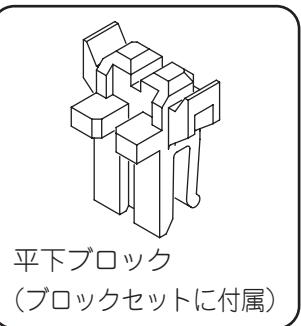
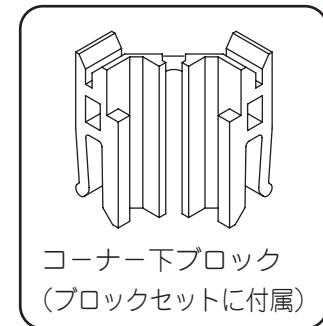
- 壁下パッキンは防水の補助となる物で、必ず壁パネル組立前にはり付ける
(壁下パッキンをはり忘れると、水漏れの原因となります。)

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

3 壁パネルの建て込み

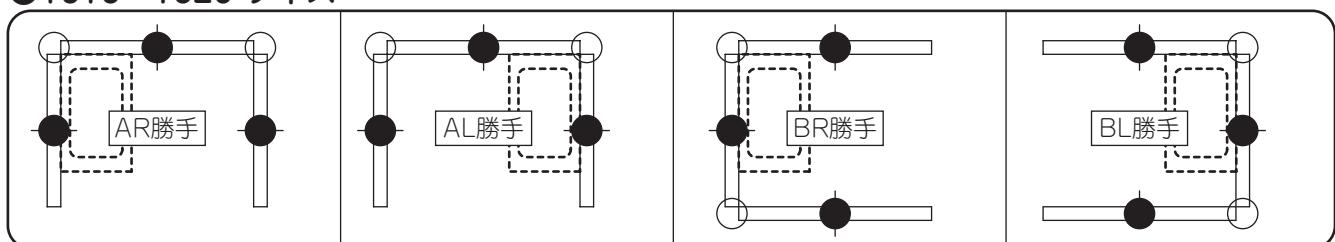
1 床ブロック配置図

- ①床ブロックを各床コーナー部、壁平ジョイント部（下図参照）に取り付ける。

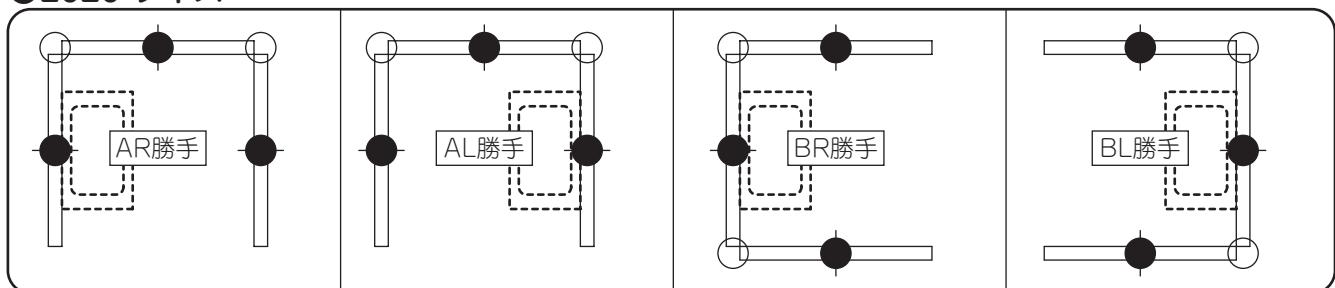


〈床ブロック配置図〉 ○…コーナー下ブロック ●…平下ブロック

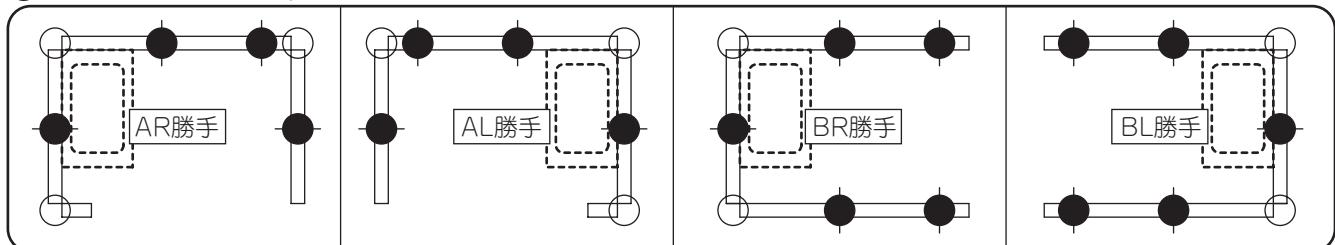
●1616・1620 サイズ



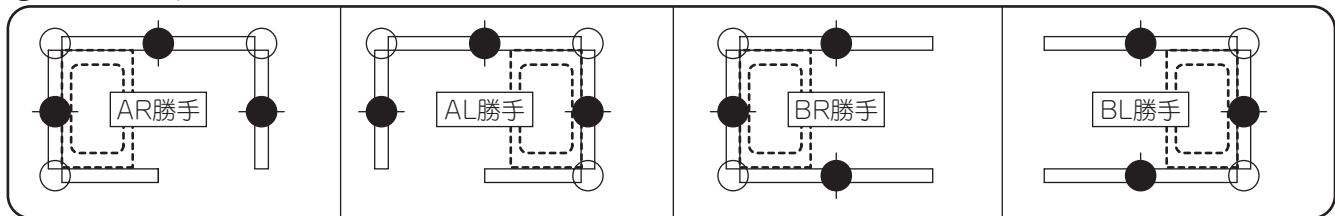
●2020 サイズ



●1624・2024 サイズ



●1216 サイズ

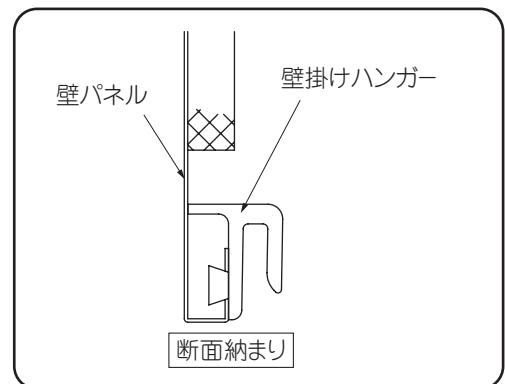
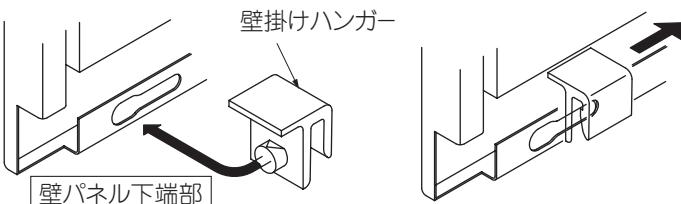


2 壁掛けハンガー取り付け

①壁パネル下端の長穴に、壁掛けハンガーを取り付ける。

・長穴へ入れてください。

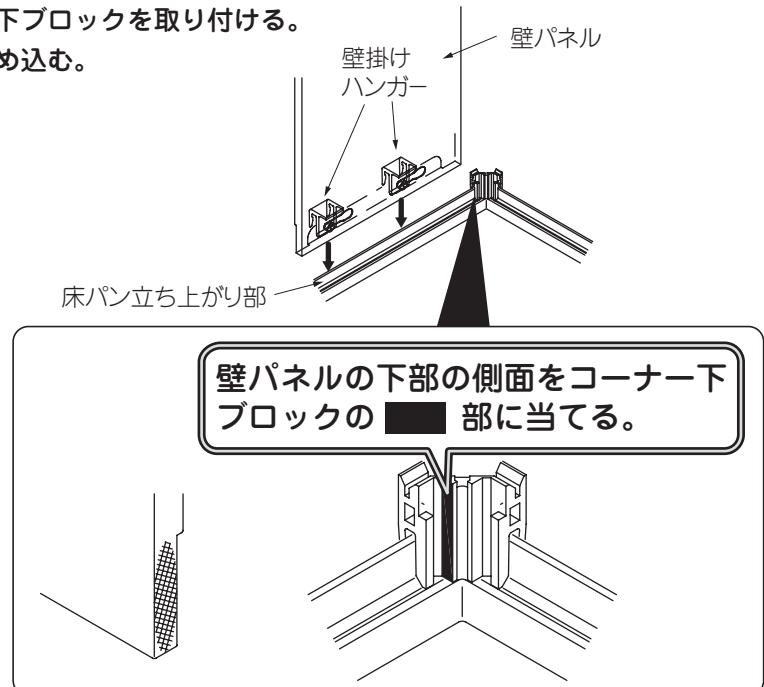
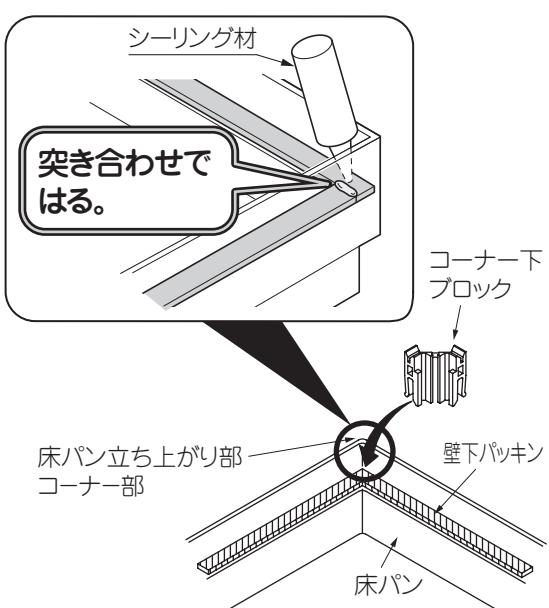
②長穴の端までずらす。



3 壁パネル建て込み

①床パン立ち上がり部のコーナー部にコーナー下ブロックを取り付ける。

②床パン立ち上がり部に、壁掛けハンガーをはめ込む。



取付設置上のお願い

- ・壁パネルを建て込む際に、壁掛けハンガーや壁パネル下端で壁下パッキンを傷付けないようしてください。
- ・壁パネルを持ち上げ、水返しに沿わすように載せ、隣り合う壁パネルどうし段差ができるないようにしてください。



4 壁パネルコーナー部の接続

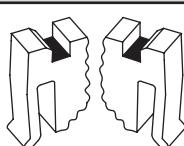
- ①壁パネルⒶにコーナージョイナーを取り付ける。
- ②コーナー上ブロックをジョイナー上部にはめて仮固定する。

取付設置上のお願い

- コーナージョイナーアー下端をコーナーブロックに
はめ込み（■部）ジョイナーを壁パネル側面
に合わせてください。

ジョイナー、ブロック納まり

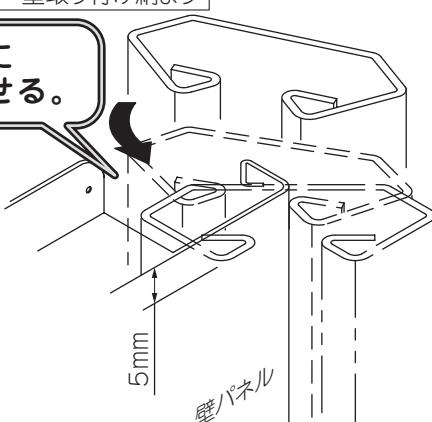
下図の **—** 部分に
コーナージョイナー
を差し込む。



はめ込む

ジョイナー～壁取り付け納まり

側面に
合わせる。



5mm

壁パネル

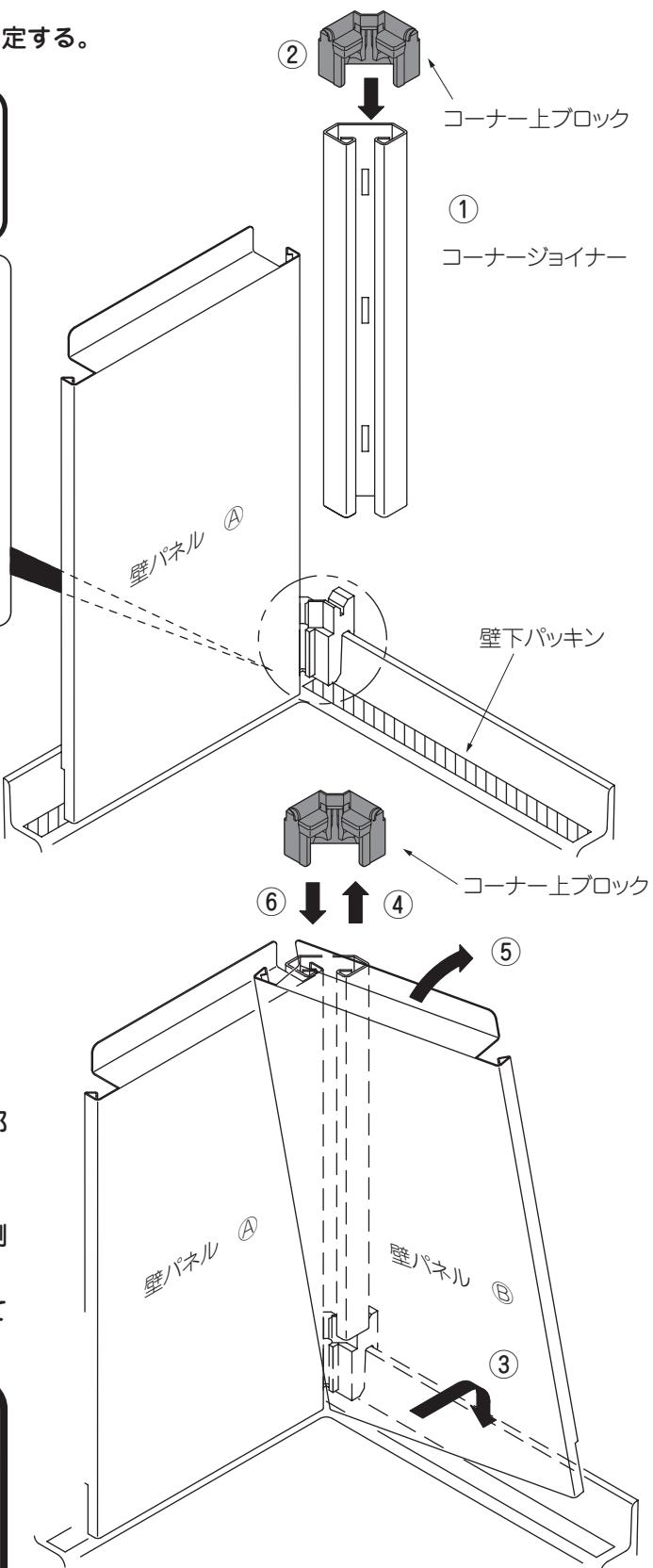
- ③壁パネルⒷの壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部
に、はめ込む。
- ④ジョイナーにはめたコーナー上ブロックを一旦取り外す。
- ⑤ジョイナーを支えながら壁パネルⒷをジョイナー側
に倒し、壁とジョイナーを合わせる。
- ⑥コーナー上ブロックを再度ジョイナー上部にはめて
固定する。

注意



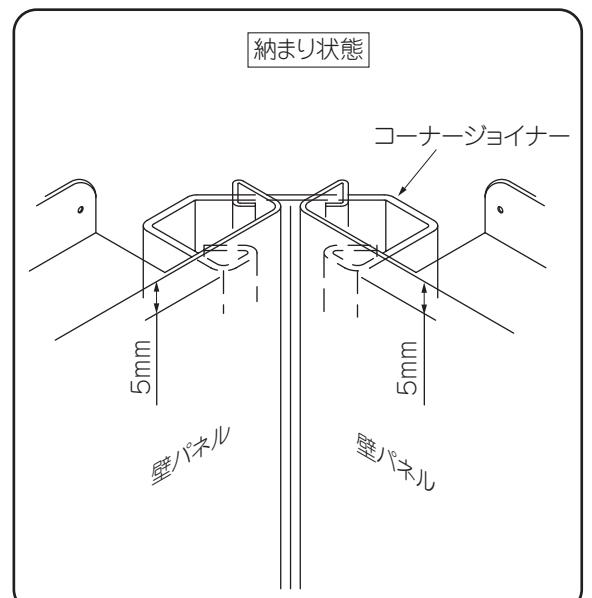
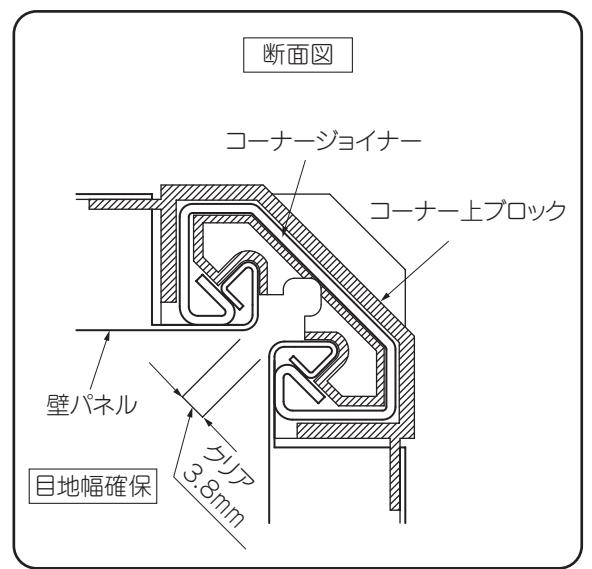
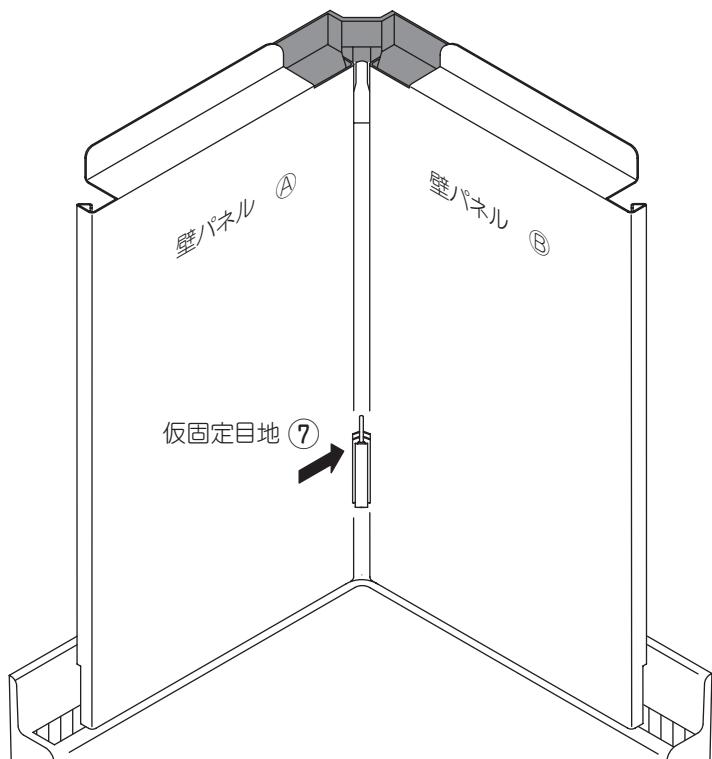
必ず守る

- 壁パネル、ジョイナーを確実に固定し
ブロックを取り付ける
(確実に固定をしないと、落下によるけが
の原因となります。)



⑦仮固定目地をパネル下端から200~300mmの位置に仮打ちする。

- ・壁パネルの間に斜めに打ち込んでください。

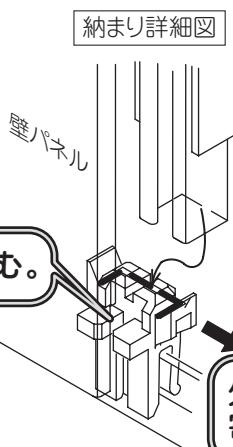


5 壁パネル平部の接続

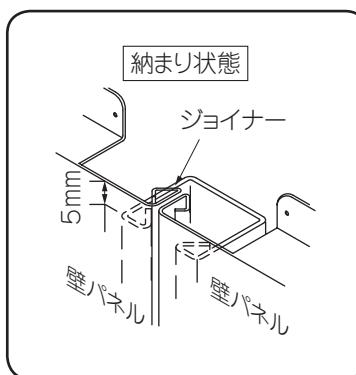
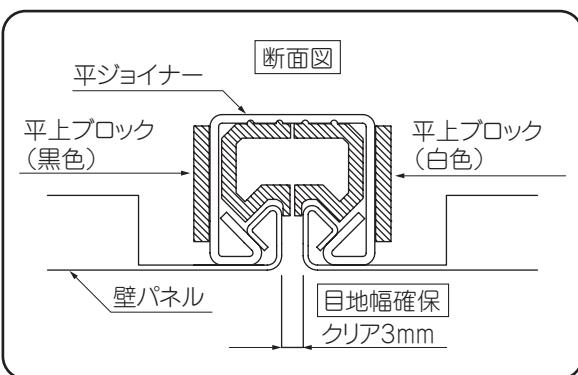
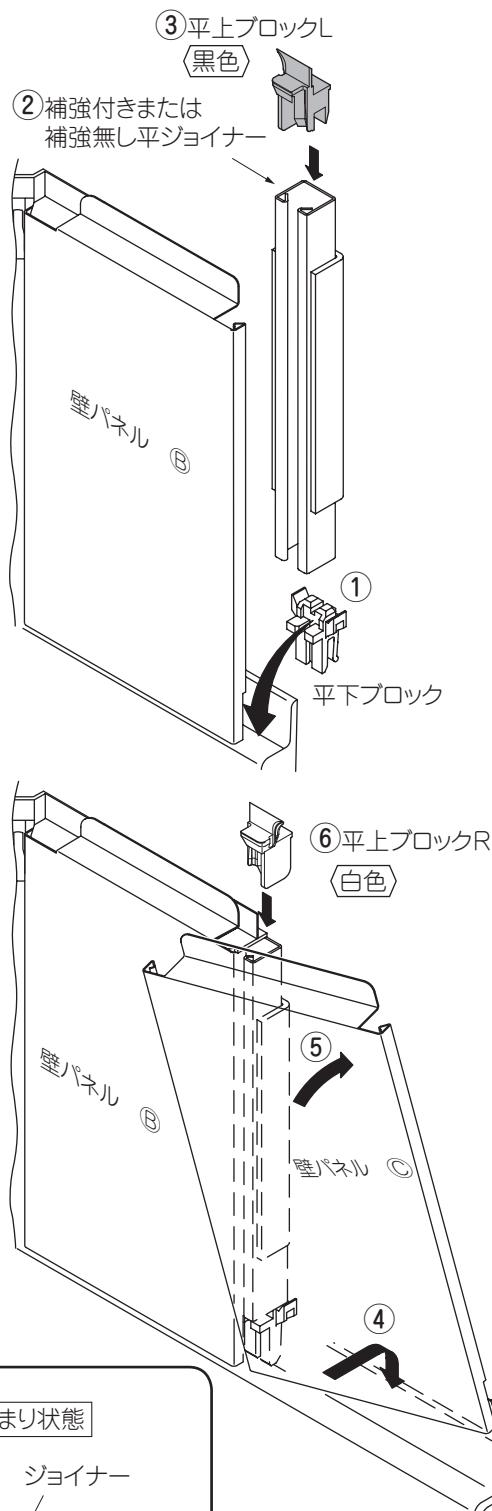
- ①壁パネルBに、平下ブロックを取り付けて、壁外側に引き寄せる。
- ②壁パネルBに平ジョイナーを取り付ける。
- ③平上ブロックL（黒色）をジョイナー上部にはめて壁パネルBを固定する。（79ページ「平上ブロックの取り付けかた」を参照）

取付設置上のお願い

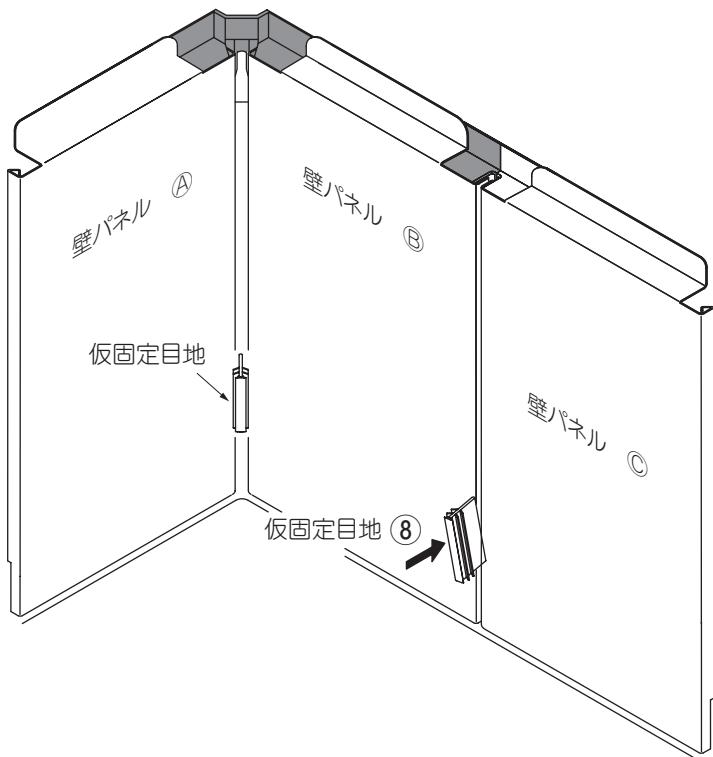
- 平ジョイナーアー下端を平下ブロックにはめ込み（■部）ジョイナーを壁パネル側面に合わせてください。



- ④壁パネルCの壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部にはめ込む。
- ⑤壁パネルCをジョイナー側に倒し、壁とジョイナーを合わせる。
- ⑥平上ブロックR（白色）をジョイナー上部にはめて壁パネルCを固定する。（79ページ「平上ブロックの取り付けかた」を参照）

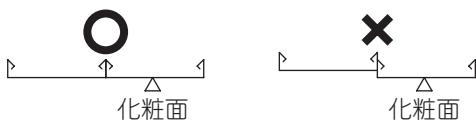


- ⑦仮固定目地をパネル下端から200~300mmの位置に仮打ちする。(壁パネルの間に斜めに打ち込む)
 ⑧ジョイナー固定治具をスリットから取る。

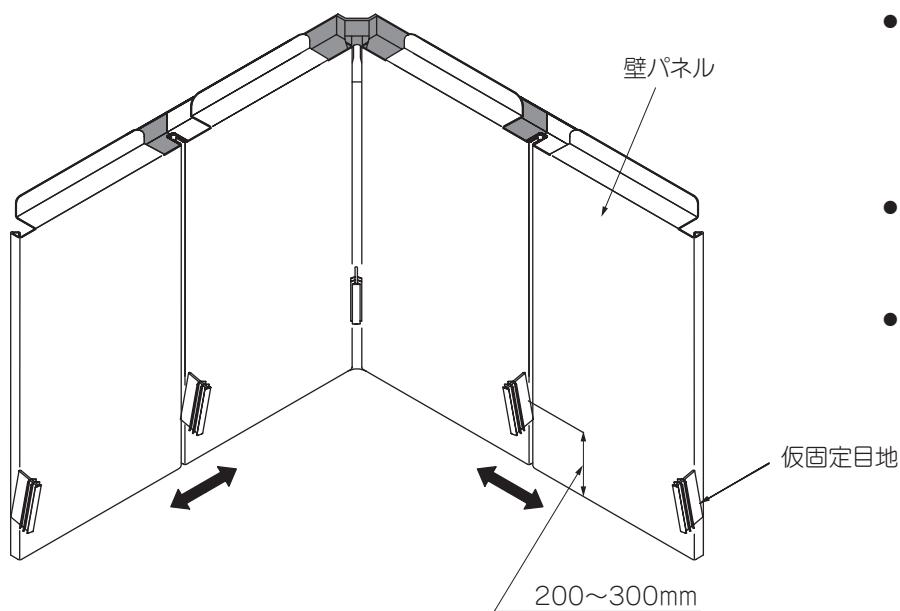


取付設置上のお願い

- 化粧面の出入りなきよう、面をそろえてください。



取付設置上のお願い



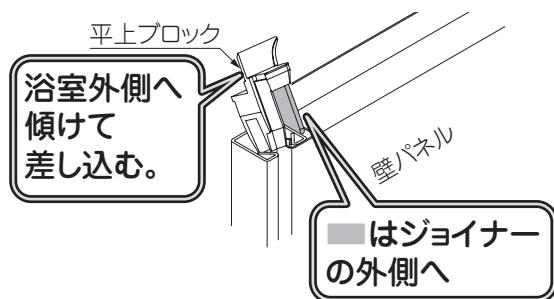
- 壁パネル組み立て都度、仮固定目地を打ち込んでください。(仮固定目地を打たないと、壁パネル間の寄り寸法が一定になりません。)
- 仮固定目地は、壁パネル下端より200~300mmを目安に打ち込んでください。
- 仮固定目地は目地打ち前まで、外さないでください。

取付設置上のお願い

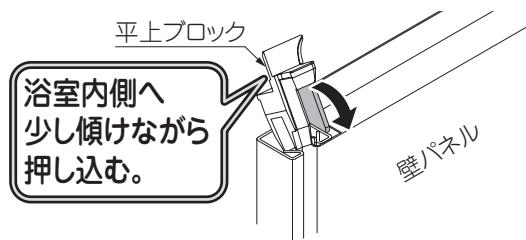
〈平上ブロックの取り付けかた〉 上からのぞきこみながら取付設置してください。

①平上ブロックをジョイナーと壁パネル間に差し込む。

- ・平上ブロックは浴室外側に傾けてください。
- ・平上ブロックのドア側の壁(■部)は、ジョイナーの外側にはまるように差し込んでください。



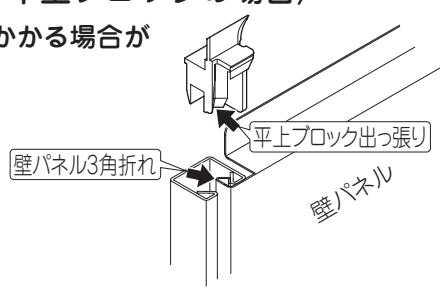
②平上ブロックを浴室内側へ倒しながら押し込む。



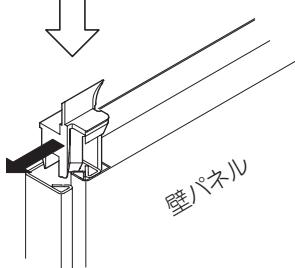
●平上ブロックが引っかかるとき

〈最初の平上ブロックの場合〉

→部分が引っかかる場合があります。



壁パネルの3角折れ部分をかわすようにはめる。



〈2個目の平上ブロックの場合〉

壁パネルを引っ張り、パネル間のすき間を広げてはめる。



断面図



正しい納まり

□ 平上ブロック(白色)

■ 平上ブロック(黒色)

■ ジョイナー

▨ 壁パネル

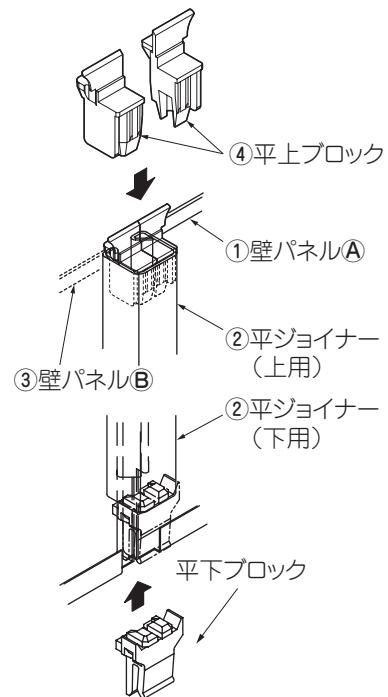
6 現場開口した壁パネルの建て込み

- ①床に平下ブロックを取り付け、壁パネルⒶを建て込む。
・平ジョイナーをスライドさせながら建て込んでください。
- ②平ジョイナー（上用）（下用）を取り付ける。
- ③壁パネルⒷを建て込む。
・平ジョイナー（上用）を上下にスライドさせながら建て込んでください。
- ④平上ブロックを取り付ける。

取付設置上のお願い

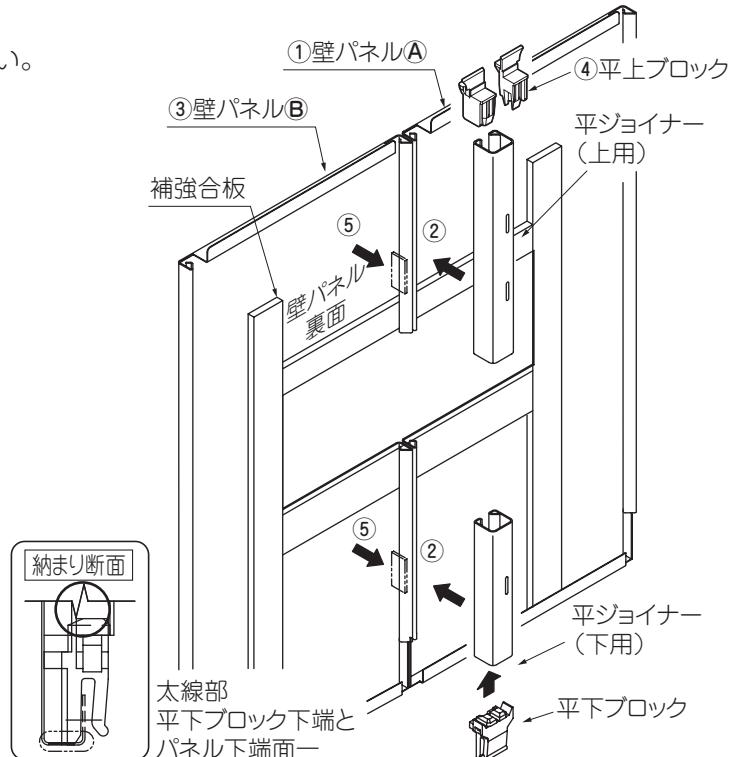
- 平ジョイナーには上下がありますのでご注意ください。
- 仮固定目地は目地打ち前まで外さないでください。
- 仮固定目地により、パネルの寄りを均一にしてください。

背側にDOWN
の表示



⑤仮固定目地を仮打ちする。

- ・浴槽側より上下2箇所に打ち込んでください。

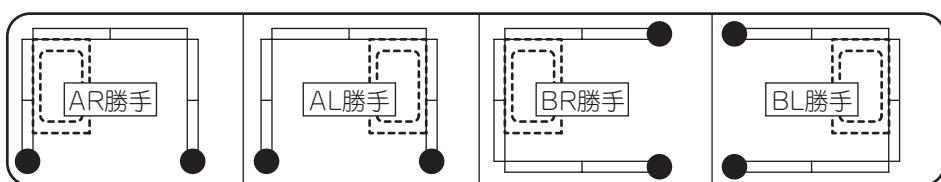


7 ドアコーナージョイナーの取り付け

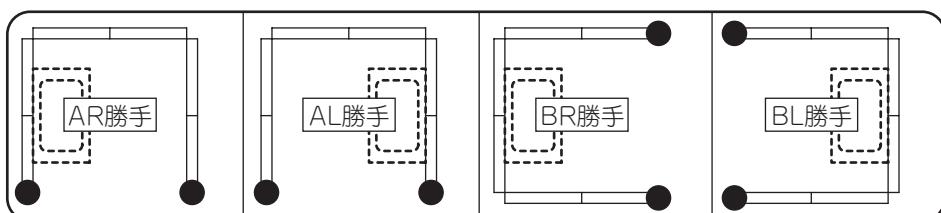
- ①ドアコーナージョイナーを壁パネルに取り付ける。

・●の位置に取り付けてください。

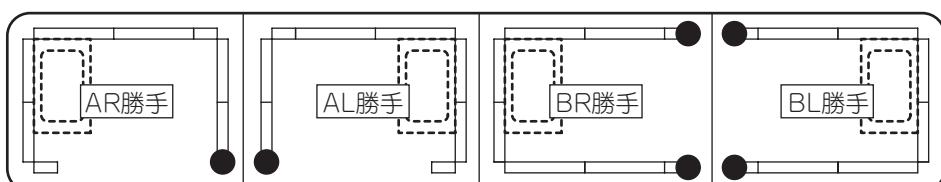
- 1616・
1620 サイズ



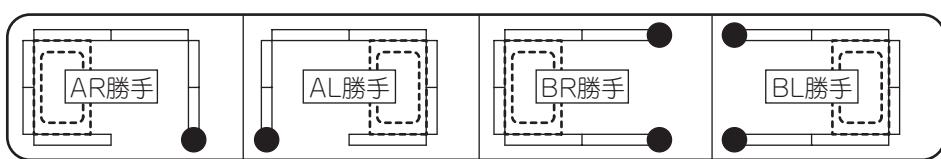
- 2020 サイズ



- 1624・
2024 サイズ

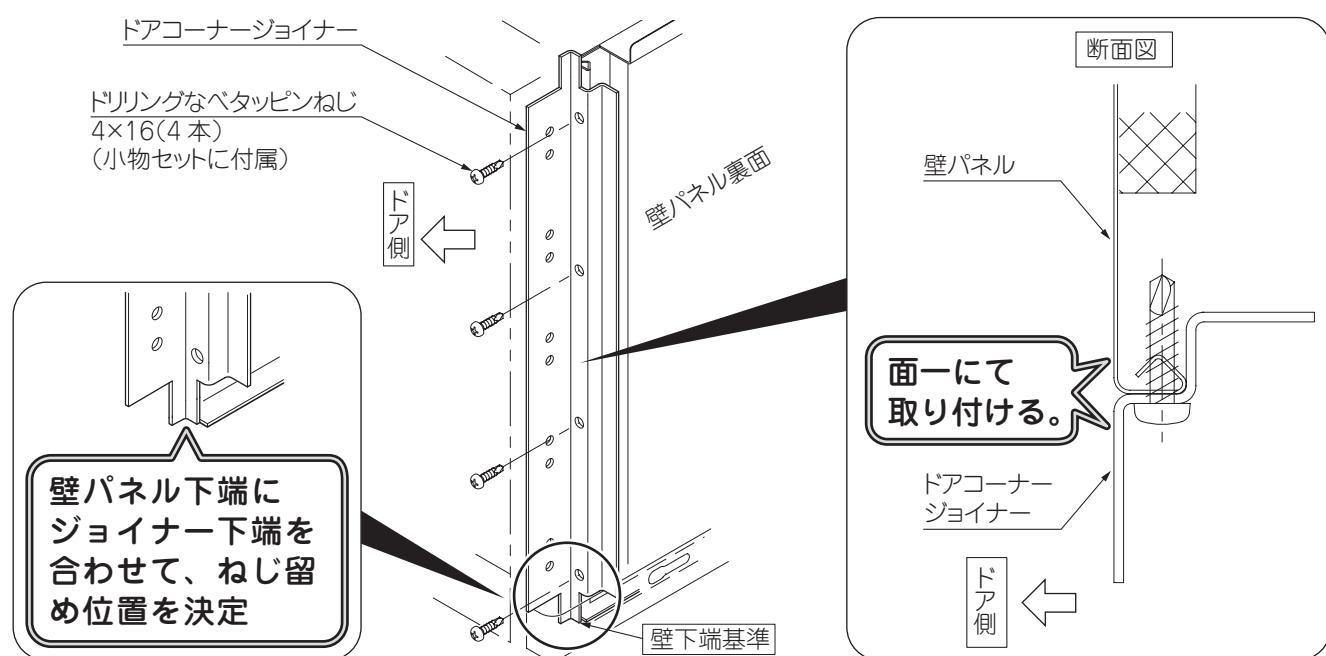


- 1216 サイズ



取付設置上のお願い

- ドアコーナージョイナーを取り付ける際は、奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わなくなるおそれがあります。)



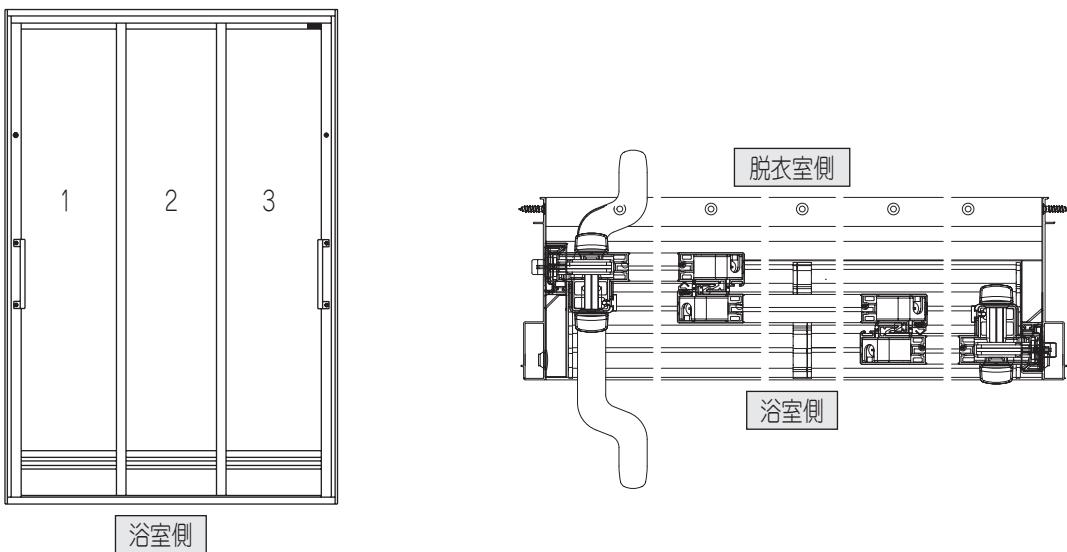
4. ドア枠の取り付け

単位：mm

本文中の図は、すべてAR・BL勝手の例です。AL・BR勝手は本図と対称になります。

1 3枚引き戸

1 付属部品一覧



表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。

姿図			
部材名	上枠	下枠	下枠レール(右)
品番	2K-69972	2K-69975	2K-93242
個数	1	1	1

姿図			
部材名	下枠レール(左)	右縦枠	左縦枠
品番	2K-93242	2K-73752	2K-73751
個数	1	1	1

番号	1	2	3
姿図			
品名	引手付側障子	中間障子	引手付側障子
品番			
個数	1	1	1

※取付設置方法の部品名の後に記載している（ ）数字は、表の「番号」を示しています。

部品袋No.	同梱包		部品袋1	部品袋2	部品袋3		部品袋4	部品袋5
番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
姿 図								
品 名	大型引き戸	ドア前カバー	小トラスッピンねじ (Φ5×30)	小トラスッピンねじ ガイド付き (M4×25)	十字穴付き なべ小ねじ (M4×20)	9の字ナット	9の字ナット	丸皿木ねじ (Φ3.5×20)
個 数	1セット	1	2個入り	13	11	11	11	16
備 考			引手取付用	縦枠組立用	縦枠取付用		小物セットに 付属	脱衣室側上枠 ・縦枠取付用

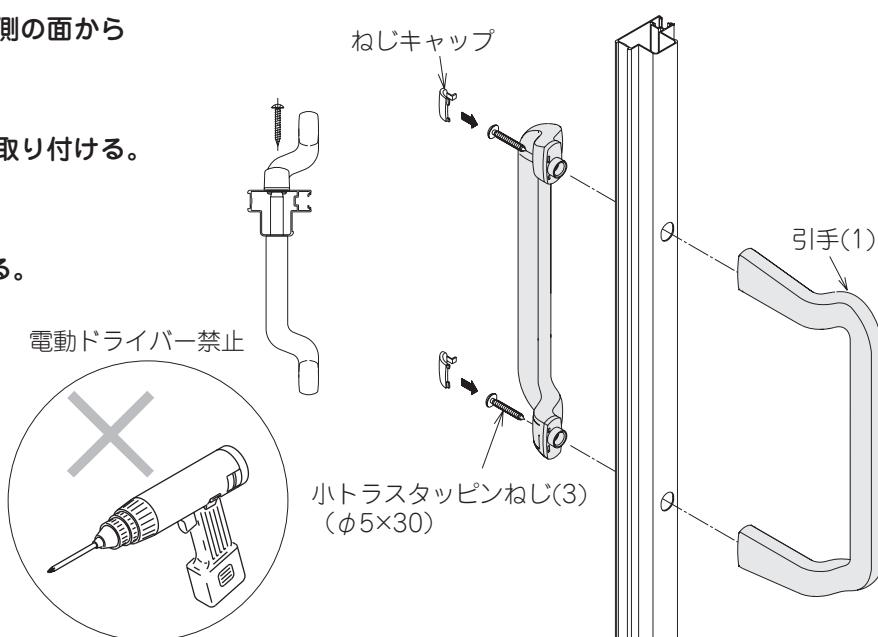
部品袋No.	部品袋6	部品袋7		部品袋8		部品袋9	部品袋10	部品袋11
番号	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
姿 図								
品 名	薄バインド木ねじ (Φ3.7~3.9 ×20)	シーリングドリリング なべタッピンねじ (Φ4×25)	座金組込み穴付ねじ (Φ5×14)	サムターン (浴室側)	サムターン (脱衣室側)	穴隠し	ねじ隠し	引き戸障子外 れ防止金具
個 数	6	9	2	2	2	4	11	1
備 考	脱衣室側下枠用	床との固定	ドア下排水 ガイド取付用					

2 引手の取り付け

- ①図のように、引手(1)をサムターン側の面からねじ(3)で取り付ける。

- ②引手(1)を固定後、ねじキャップを取り付ける。

- ③引手(1)を取り付けない側の穴に、穴隠しキャップ(14)を取り付ける。



3 ドア枠の組み立て

①図のように、ドア枠を組み立てる。

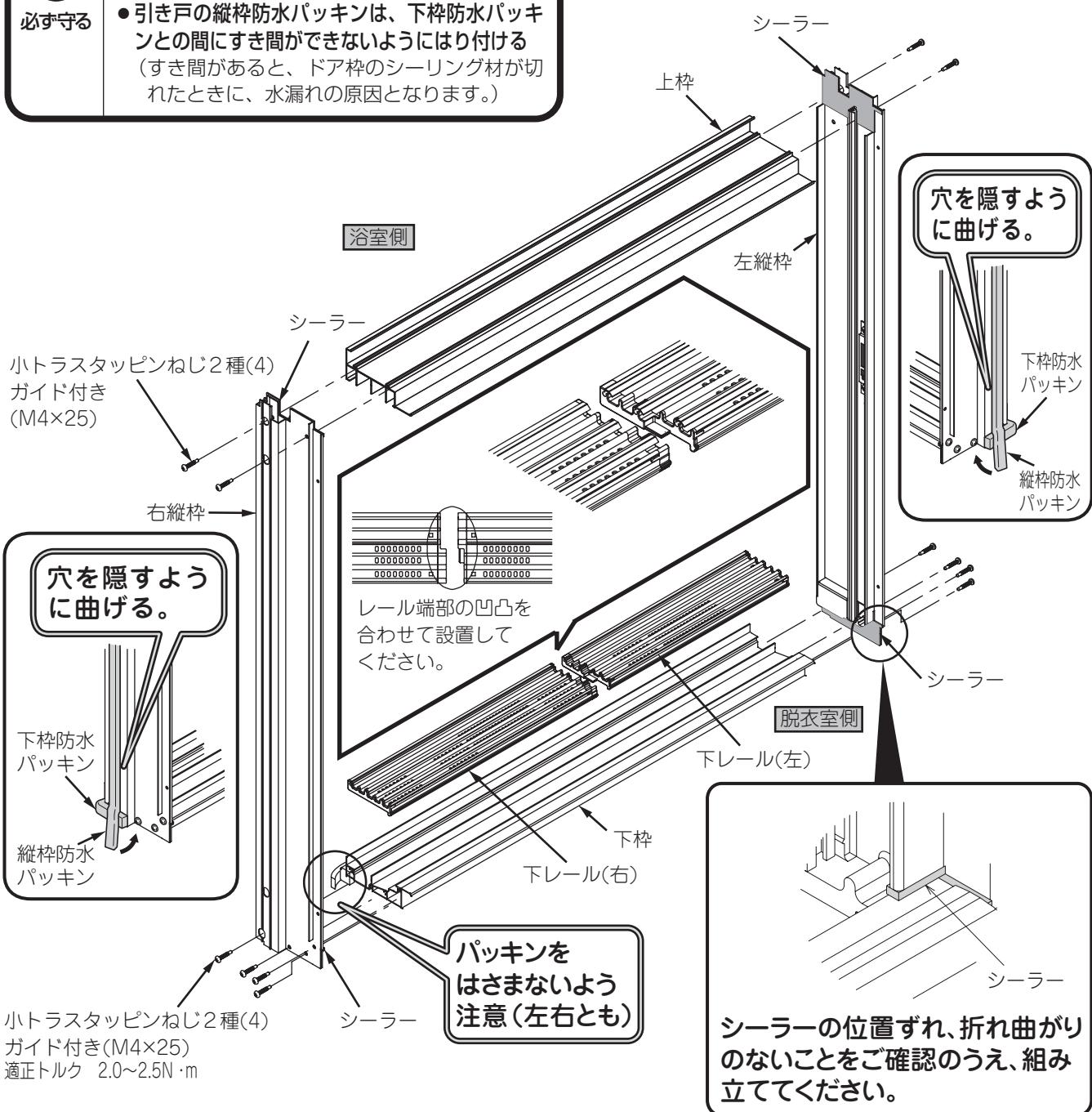
※枠の水仕舞を保持するため、縦枠にシーラーが貼ってあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする。また、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
(切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。)
- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができるないようにり付ける
(すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。)



取付設置上のお願い

- 縦枠と上枠・下枠の組立時、シーラーのはみ出し量が枠形状にそっていて、均一であることをご確認ください。
- ねじはシーラーの肉厚が半分になるまで、十分に締め付けてください。
- 下部のシーラーが縦枠の切断小口とズれないように組み立ててください。
- 締め付け不良は、漏水の原因になります。

- サッシ枠取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定し、インパクトドライバーの使用はさけてください。

サッシ枠：2.0～2.5N・m
(20～25kgf・cm)程度

4 ドア下のシーリング材充てん

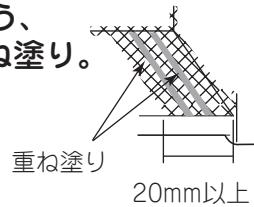
①床パンのドアのせ部三周および側面部にシーリング材を塗布し、ドア横の床立ち上がり部にシーリング材を充てんする。

取付設置上のお願い

- ドアの取り付けの前に  と  部にシーリング材を充てんしてください。
- ドアのせ部の三周と側面部には、必ず確実にシーリング材を充てんしてください。(シーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。)

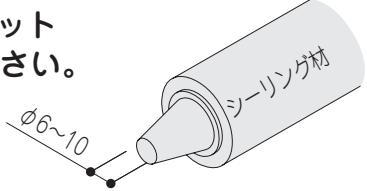
・たて3列にシーリング材を充てんする。

・すき間ができないよう、
2mm～3mm程度重ね塗り。
反対側も同様



ドアのせ部の三周及び、側面部を
シーリング材充てん

Φ6～10にカット
して塗布ください。



この部分シーリング材充てん

シーリング材
(色:ホワイト)

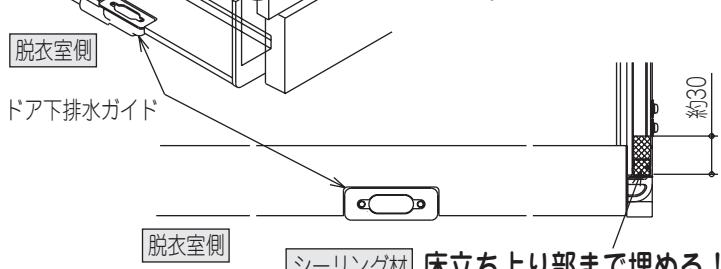
ドア取り付け部

床パン

壁パネル

溝部

ドア横の床立ち
上がり部
シーリング材
充てん



すき間部分にもシーリング材充てん
を行なう。完全にすき間を埋める
(少し盛り上がるくらいまで)

5 ドア枠の取り付け

- ①ドア枠の設置直前に注意ラベルをはがし、パッキン外周に先行シーリング材を塗布する。

！注意



- シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

水漏れ防止のポイント



- ③床パンのサッシ枠取り付け部（壁パネル開口部）に浴室外側からサッシ枠をのせる。

床パンとドア枠のすき間を**3mm以内**に調整してから、ドア前カバーをはめ込んでください。

※ドア枠を取り付け、床パンとドア枠のすき間を**3mm以内**に調整する。

取付設置上のお願い

- 床パンとドア枠のすき間が**3mm以内**になるよう納めてください。（ドア前カバーが浮きあがる原因となります。）

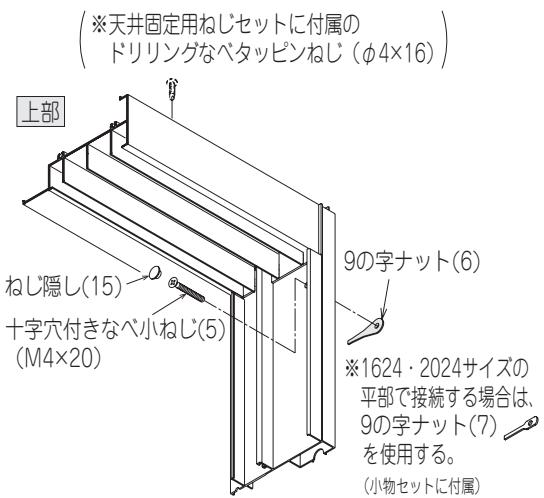
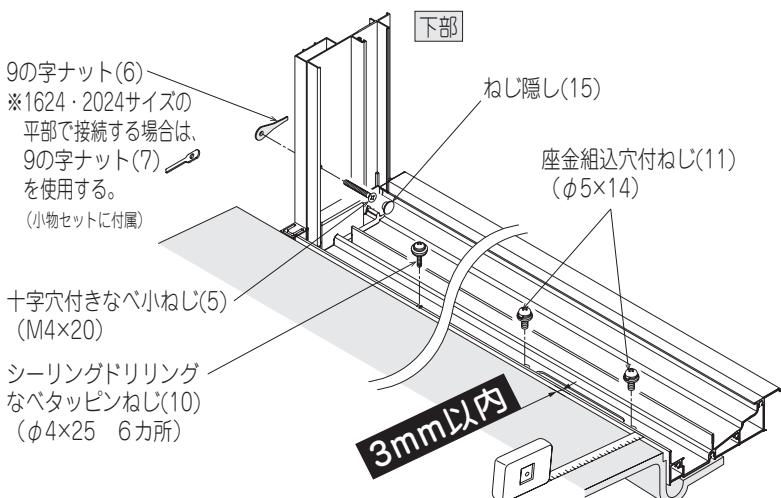
- ④座金組込穴付ねじ(11)でドア下排水ガイドと確実に固定し、下げる・振り・水準器・巻尺などを使用し、水平・垂直・対角寸法を確認する。

- ⑤枠の左右出入を調整する。

・枠内部を十字穴付きなべ小ねじ(5)とシーリングドリリングなベタッピンねじ(10)でしっかりと固定してください。

- ⑥天井固定用ねじセットに付属のドリリングなベタッピンねじで、枠を天井に固定する。

- ⑦上下枠に対して、縦枠は十分、直角に注意して取り付ける。



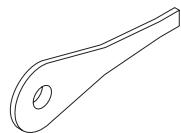
取付設置上のお願い

- シーリングドリリングなベタッピンねじは専用のものを使用してください。(専用のものを使わないと、水漏れの原因となります。)
- ねじは全数を浮きがないように確実に固定してください。(全数確実に固定しないと、水漏れの原因となります。)
- 下記の作業は特に注意して行ってください。

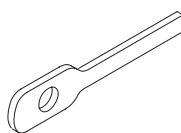


- ドア枠に平部で接続する壁パネルがある場合は、9の字ナット(7)を使用して固定して下さい。(1624・2024サイズのみ)

9の字ナット(6)

コーナー側で接続
(ドアジョイナー使用)

9の字ナット(7)

平部側で接続
(ドアジョイナー不使用)
小物セットに付属

※平部で接続する際に、誤って9の字ナット(6)で固定すると、壁パネルが変形するおそれがあります。

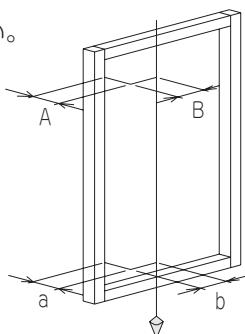
開口部について

枠取付時には、以下の寸法をお守りください。

垂直度（前後・左右）・対角寸法は、
 ± 2 以内としてください。

枠のねじれ・広がり・狭まりのない
ように注意してください。

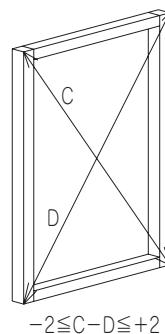
■垂直度の確認



$$-2 \leq A-a \leq +2$$

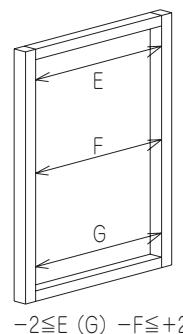
$$-2 \leq B-b \leq +2$$

■対角寸法の確認



$$-2 \leq C-D \leq +2$$

■広がり・狭まりの確認



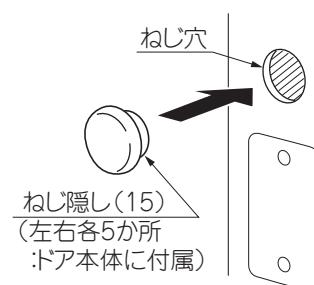
$$-2 \leq E(G) - F \leq +2$$

③ドア枠ねじ穴にねじ隠し（キャップ）をはめる。

! 注意



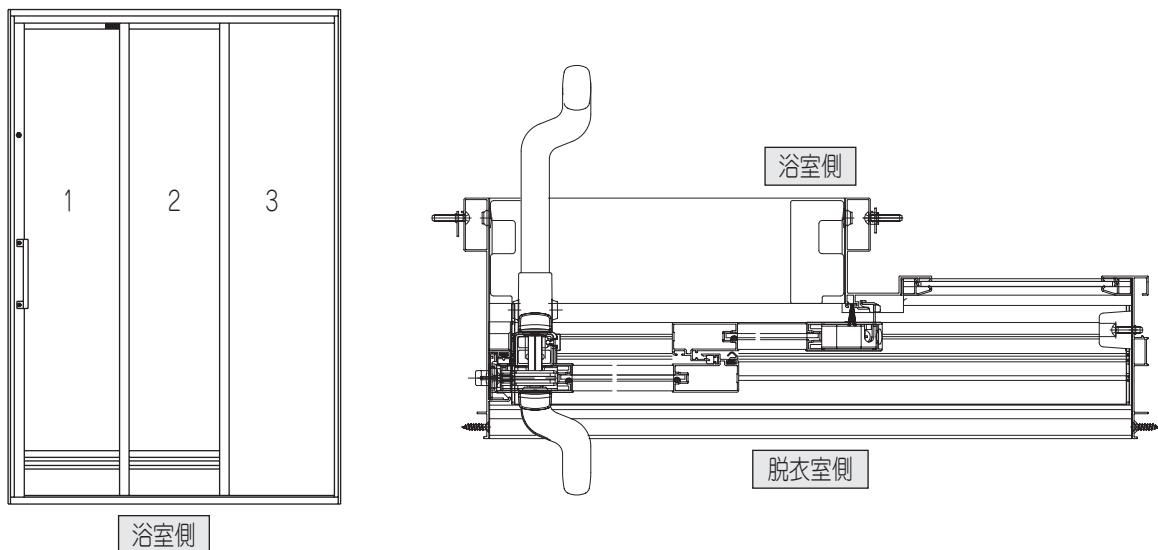
- ねじ隠し（キャップ）はドア枠ねじ穴に確実にはめる
(取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります)



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 2枚引き戸

1 付属部品一覧



表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。

姿図			
部材名	上枠	上枠アタッチメント	下枠
個数	1	1	1

姿図			
部材名	下枠アタッチメント	縦枠(戸先側)	縦枠(戸尻側)
個数	1	1	1

姿図				
部材名	下枠レール	下枠前カバー	方立て	縦押し縁
個数	1	1	1	2

番号	1	2	3
姿図			
品番	フベル		
品名	引手付側障子	戸尻障子	袖パネル
個数	1	1	1

※取付設置方法の部品名の後に記載している（ ）数字は、表の「番号」を示しています。

部品袋No.	同梱包	部品袋1	部品袋2	部品袋3	部品袋4	部品袋5	部品袋6	部品袋7
番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
姿図								
品名	大型引き戸	引手台座	小トラス タッピンねじ (Φ5×70)	小トラス タッピンねじ ガイド付き (M4×25)	十字穴付き なべ小ねじ (M4×20)	9の字ナット	トラス小ねじ (M4×6)	丸皿木ねじ (Φ3.5×20)
個数	1セット	2	2	17	11	11	7	15
備考			引手取付用	縦枠組立用	縦枠取付用		上枠と方立て 下枠と方立て 下枠アタッチ メントと下枠 組立	脱衣室側上枠 ・縦枠取付用

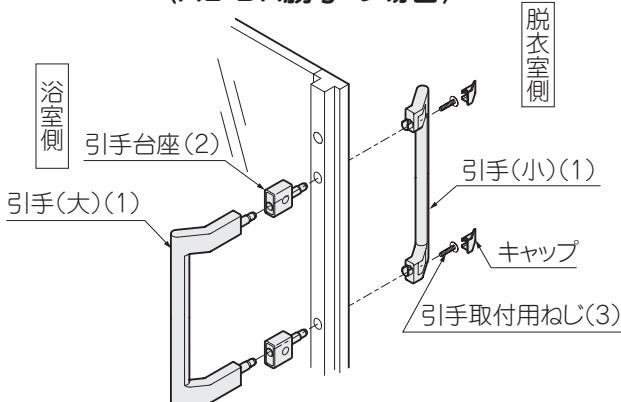
部品袋No.	部品袋8	部品袋9	部品袋10	部品袋11		部品袋12	部品袋13	部品袋14	部品袋15
番号	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
姿図									
品名	薄バインド木ねじ (Φ3.7～ 3.9×20)	シーリング ドリリング なべタッピン ねじ (Φ4×25)	座金組込み 穴付ねじ (Φ5×14)	サムターン (浴室側)	サムターン (脱衣室側)	ねじ隠し	ドア前カバー	ストッパー	十字穴付き トラス小ねじ (4×16)
個数	5	5	2	2	2	11	1	2	1
備考	脱衣室側下枠用	床との固定	ドア下排水 ガイド取付用						ストッパー 取付用

2 取っ手・サムターンの取り付け

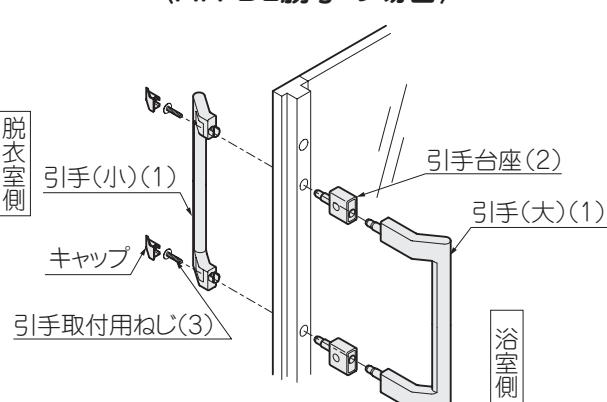
①引手（1）を取り付け、ねじキャップをはめる。

- ・引手取り付けねじ（3）で固定してください。

〈AL・BR勝手の場合〉

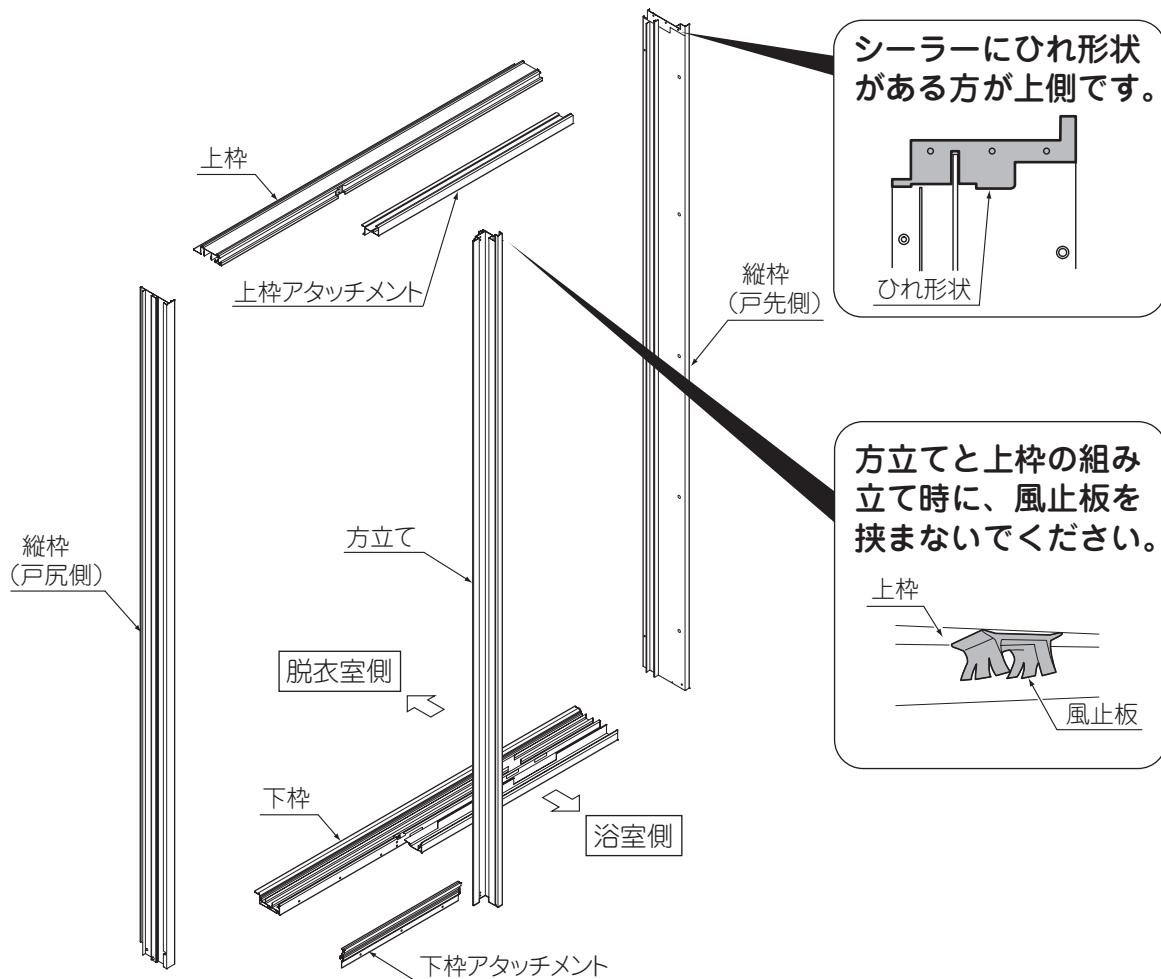


〈AR・BL勝手の場合〉

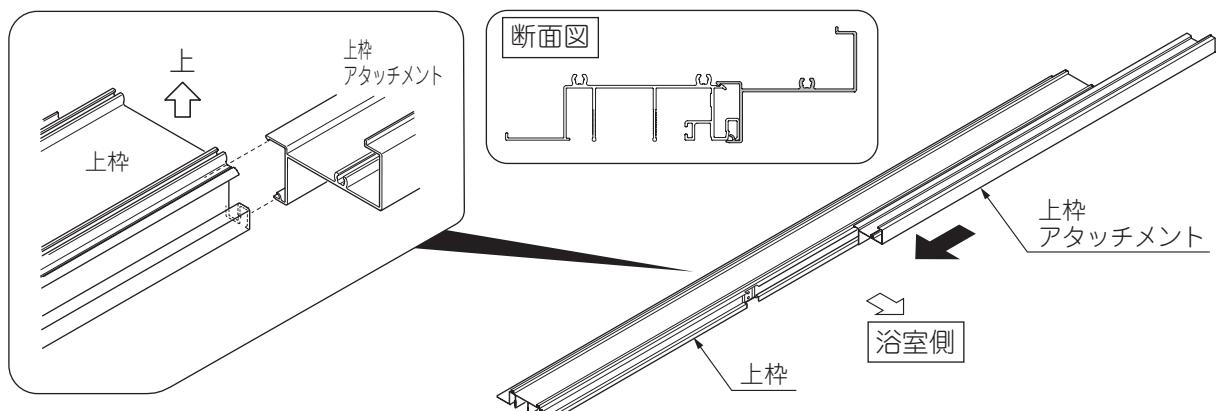


3 ドア枠の組み立て

- ドア枠の構成は図のようになっています。下記以降の手順で組み立ててください。
上枠アタッチメントは、上枠から取り外しておいてください。

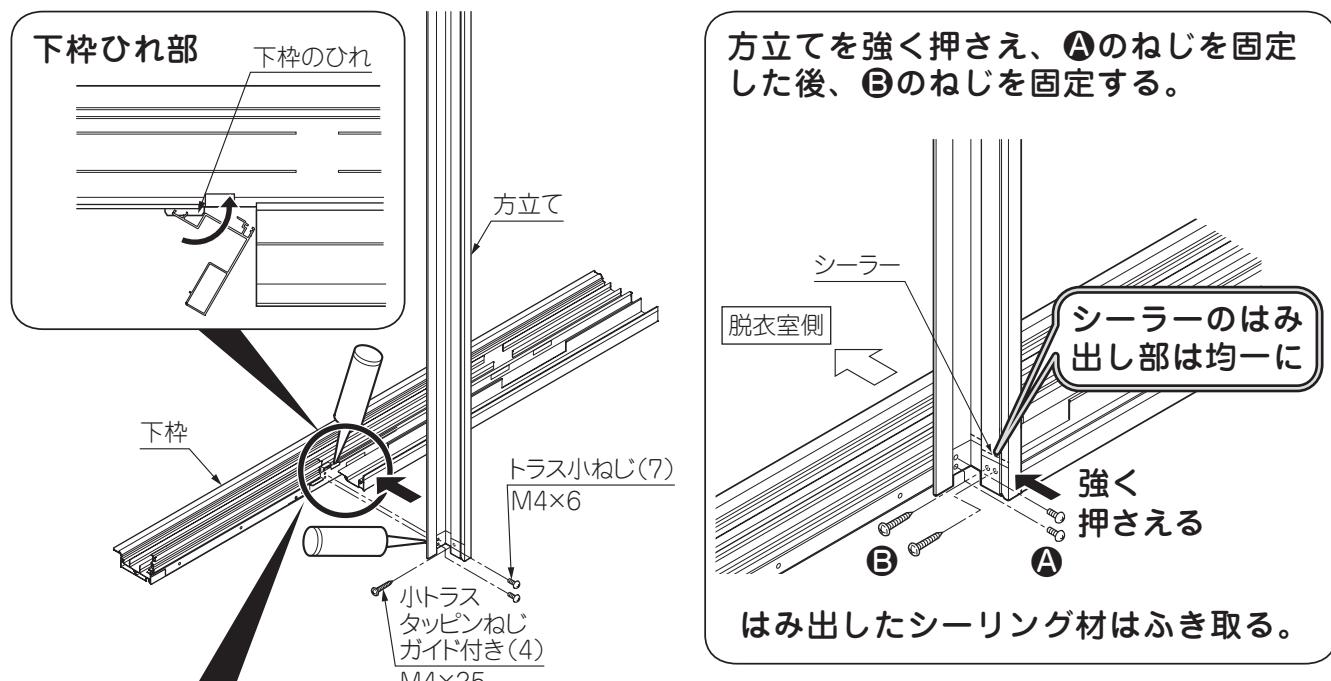


- ①上枠に上枠アタッチメントをスライドさせて取り付ける。



②下枠に方立てを取り付ける。

- ・方立ては下枠ひれにあて、回転させるように取り付けてください。
- ・方立てと下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。



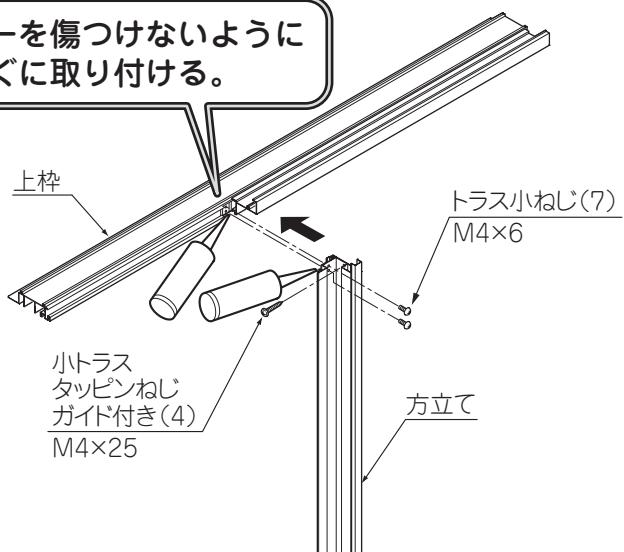
シーリング材塗布位置

下枠の部材にシーリング
材を付けない

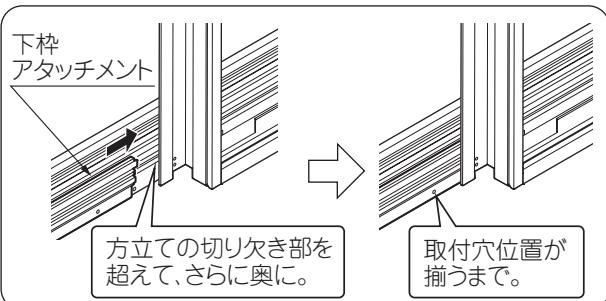
③上枠に方立てを取り付ける。

- ・方立ては上枠に対し、垂直にセットして下さい。

シーラーを傷つけないように
まっすぐに取り付ける。



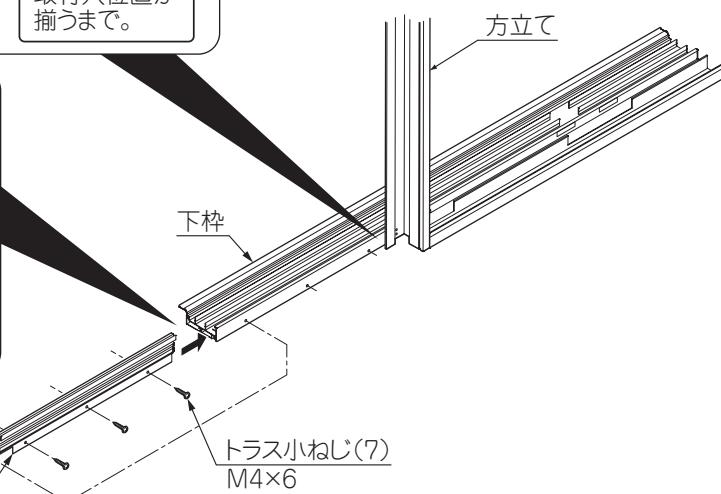
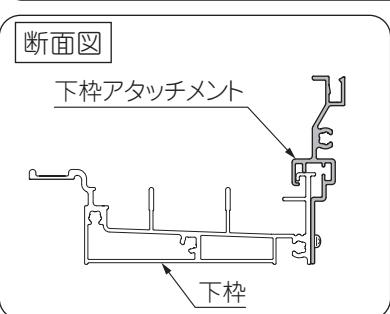
④下枠に下枠アタッチメントをスライドさせて取り付ける。



⚠ 注意



- 下枠アタッチメントの下枠への取り付けは、必ず下枠に方立てを取り付けた後に行う
(水密性能を発揮できず、水漏れの原因となります。)



⑤上枠・下枠に縦枠（戸先側）・縦枠（戸尻側）を取り付ける。

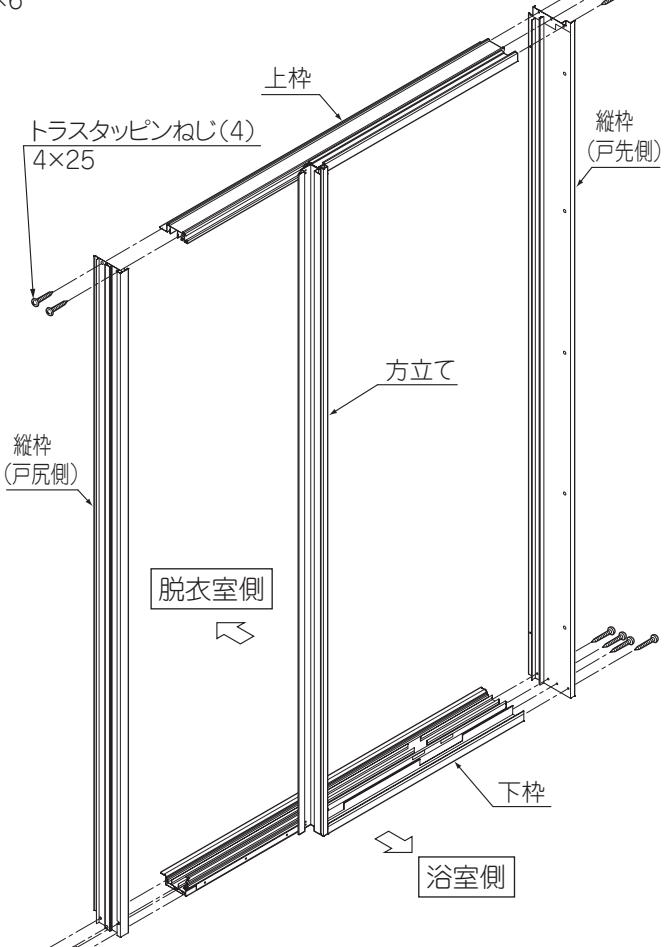
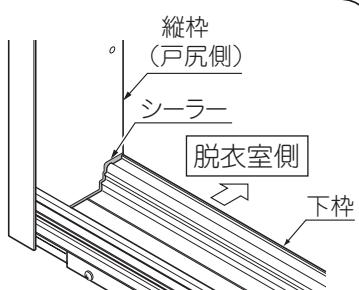
- ・ 縦枠（戸先側）と下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。

⚠ 注意



- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする
(切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。)

シーラーのはみ出し部は均一に



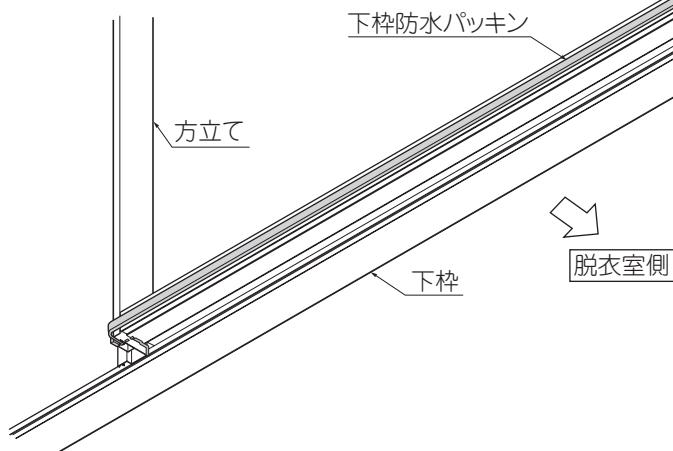
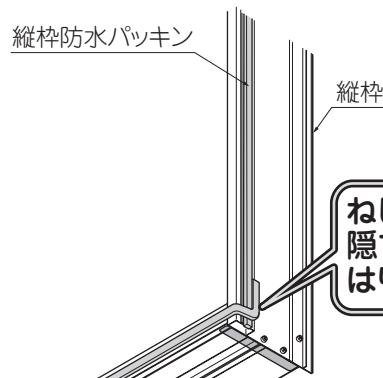
⑥下枠と縦枠の継ぎ目、下枠と方立ての継ぎ目にシーリング材を塗布する。

⑦下枠防水パッキンを縦枠側に折り返して、ねじ穴を隠すように縦枠にはり付ける。

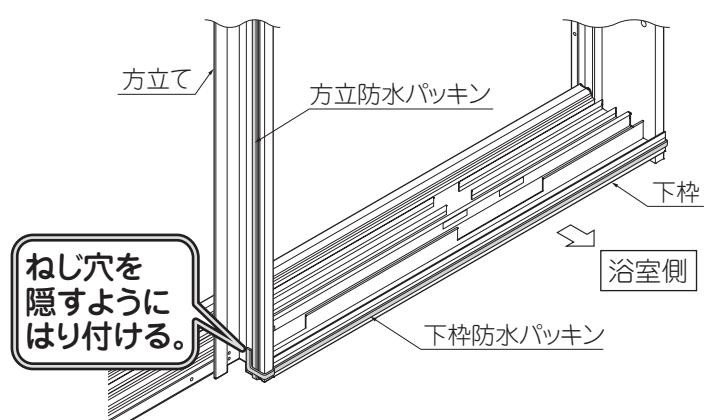
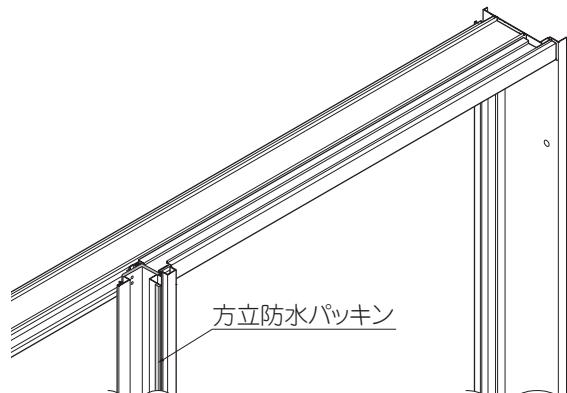
⚠ 注意



- 引き戸の下枠防水パッキンは、縦枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
(すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



⑧縦枠側と同様に下枠防水パッキンを方立て側に折り返し、ねじ穴を隠すようにはり付ける。



取付設置上のお願い

- ・縦枠と上枠・下枠の組立時、シーラーのはみ出し量が枠形状にそっていて、均一であることをご確認ください。
- ・ねじはシーラーの肉厚が半分になるまで、十分に締め付けてください。
- ・下部のシーラーが縦枠の切断小口とズれないように組み立ててください。
- ・締め付け不良は、漏水の原因になります。

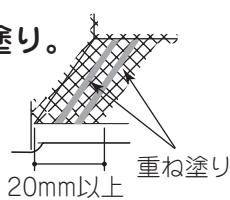
- ・サッシ枠取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定し、インパクトドライバーの使用はさけてください。

サッシ枠：2.0～2.5N·m
(20～25kgf·cm)程度

4 ドア下のシーリング材充てん

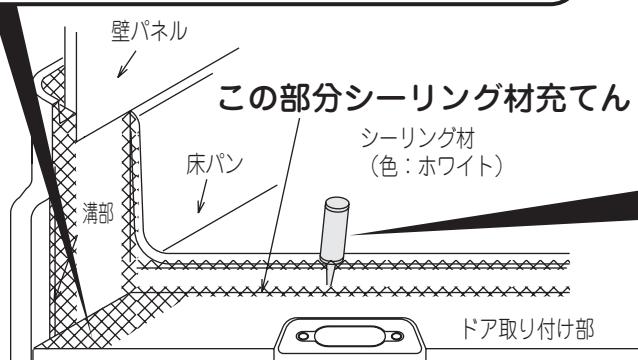
- ①床パンのドアのせ部三周および側面部にシーリング材を塗布し、ドア横の床立ち上がり部にシーリング材を充てんする。

- ・たて3列にシーリング材を充てんする。
- ・すき間ができるよう、
2mm～3mm程度重ね塗り。
反対側も同様



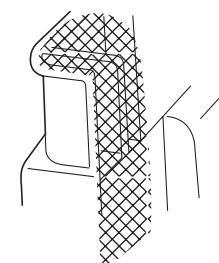
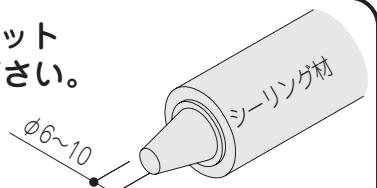
取付設置上のお願い

- ・ドアの取り付けの前に と 部にシーリング材を充てんしてください。
- ・ドアのせ部の三周と側面部には、必ず確実にシーリング材を充てんしてください。(シーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。)



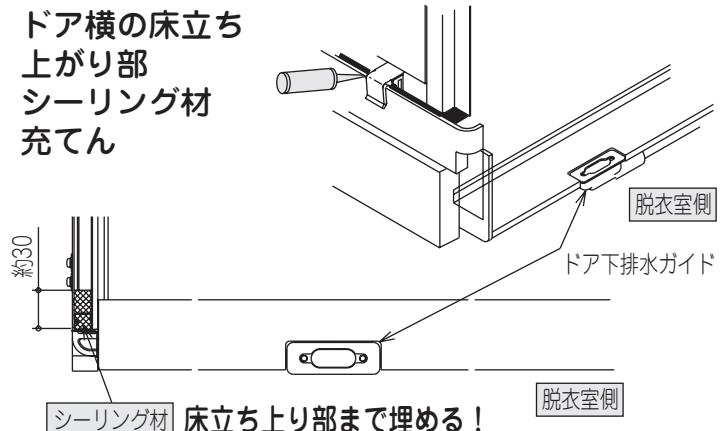
ドアのせ部の三周及び、側面部をシーリング材充てん

- Φ6～10にカットして塗布ください。



すき間部分にもシーリング材充てんを行なう。完全にすき間を埋める（少し盛り上がるくらいまで）

ドア横の床立ち上がり部 シーリング材充てん



5 ドア枠の取り付け

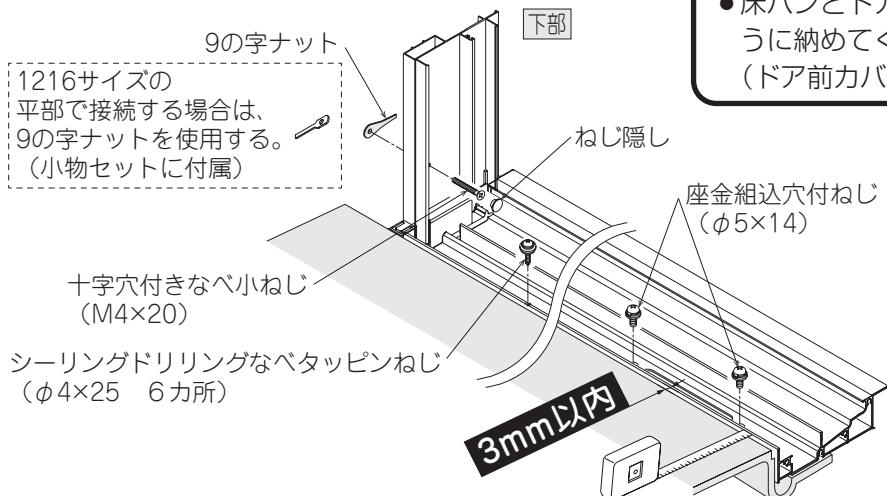
- ①ドア枠の設置直前に注意ラベルをはがし、パッキン外周に先行シーリング材を塗布する。

！注意



- シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

- ③床パンのサッシ枠取り付け部（壁パネル開口部）に浴室外側からサッシ枠をのせる。



水漏れ防止のポイント



取付設置上のお願い

- 床パンとドア枠のすき間が **3mm以内** になるよう納めてください。（ドア前カバーが浮きあがる原因となります。）

床パンとドア枠のすき間を **3mm以内 に調整してから、ドア前カバーをはめ込んでください。**

※ドア枠を取り付け、床パンとドア枠のすき間を **3mm以内** に調整する。

- ④座金組込穴付ねじ(11)でドア下排水ガイドと確実に固定し、下げ振り・水準器・巻尺などを使用し、水平・垂直・対角寸法を確認する。

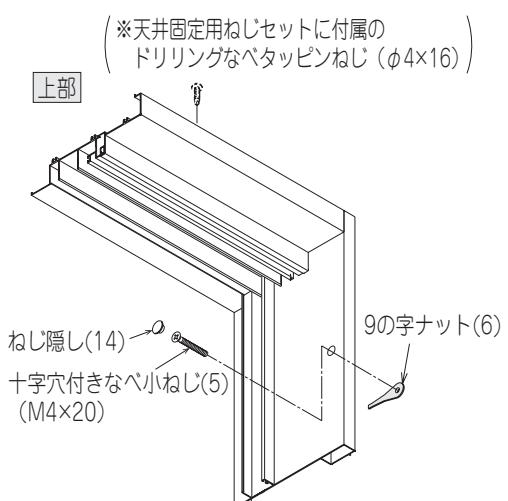
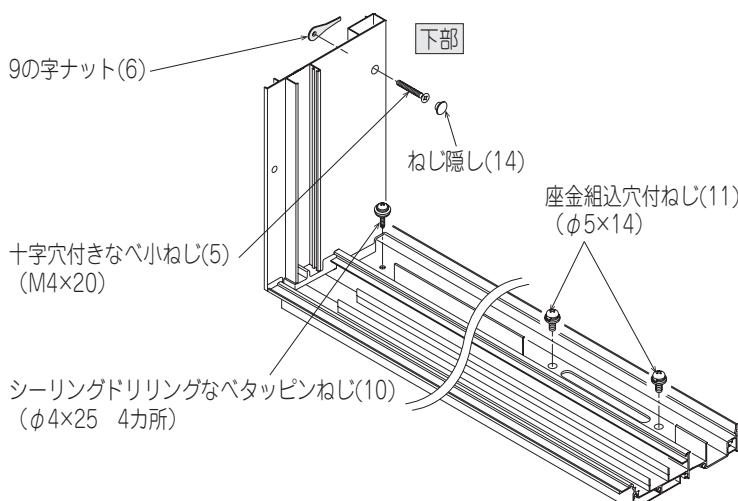
- ⑤枠の左右出入を調整する。

・下枠部を座金組込穴付ねじ(11)とシーリングドリリングなベタッピンねじ(10)でしっかりと固定してください。

- ⑥ドア縦枠と壁パネルを、十字穴付きなべ小ねじ (5) で仮固定する。

- ⑦天井固定用ねじセットに付属のドリリングなベタッピンねじで、枠を天井に固定する。

- ⑧上下枠に対して、縦枠は十分、直角に注意して本固定する。

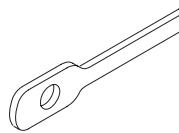


取付設置上のお願い

- シーリングドリリングなベタッピンねじは専用のものを使用してください。(専用のものを使わないと、水漏れの原因となります。)
- ねじは全数を浮きがないように確実に固定してください。(全数確実に固定しないと、水漏れの原因となります。)
- 下記の作業は特に注意して行ってください。



- ドア枠に平部で接続する壁パネルがある場合は、9の字ナット（小）を使用して固定してください。



9の字ナット(小)

平部側で接続
(ドアジョイナー不使用)
小物セットに付属

※平部で接続する際に、誤って9の字ナット(6)で固定すると、壁パネルが変形するおそれがあります。

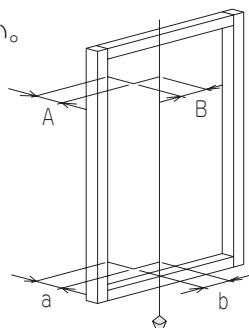
開口部について

枠取付時には、以下の寸法をお守りください。

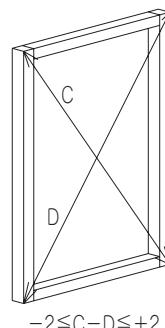
垂直度（前後・左右）・対角寸法は、
 ± 2 以内としてください。

枠のねじれ・広がり・狭まりのない
ように注意してください。

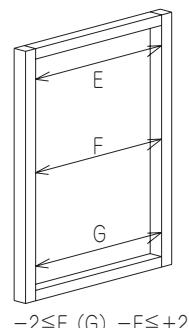
■垂直度の確認



■対角寸法の確認



■広がり・狭まりの確認

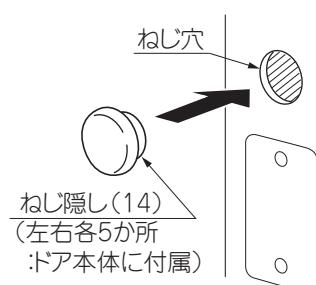


⑨ドア枠ねじ穴にねじ隠し（キャップ）をはめる。

! 注意



- 必ず守る**
- ねじ隠し（キャップ）はドア枠ねじ穴に確実にはめる
(取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります)



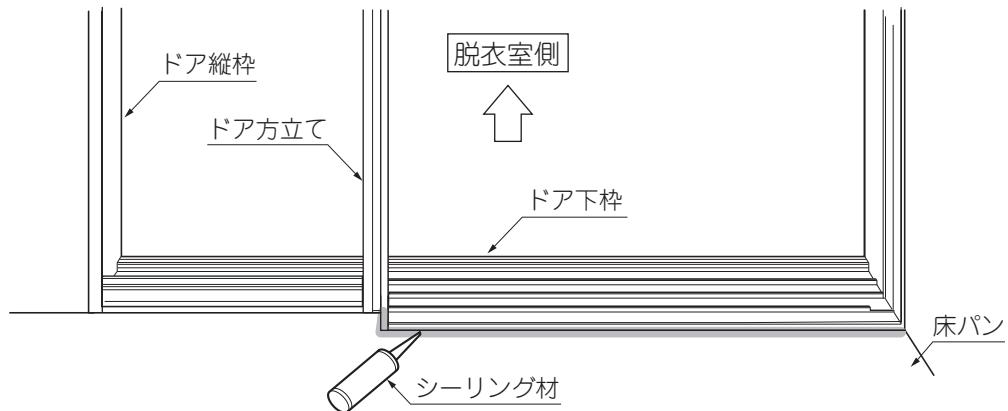
6 下枠レール・下枠前カバーの取り付け

- ①ドア枠と洗い場床パンの境い目にシーリング材を塗布する。

！注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因
となります。)

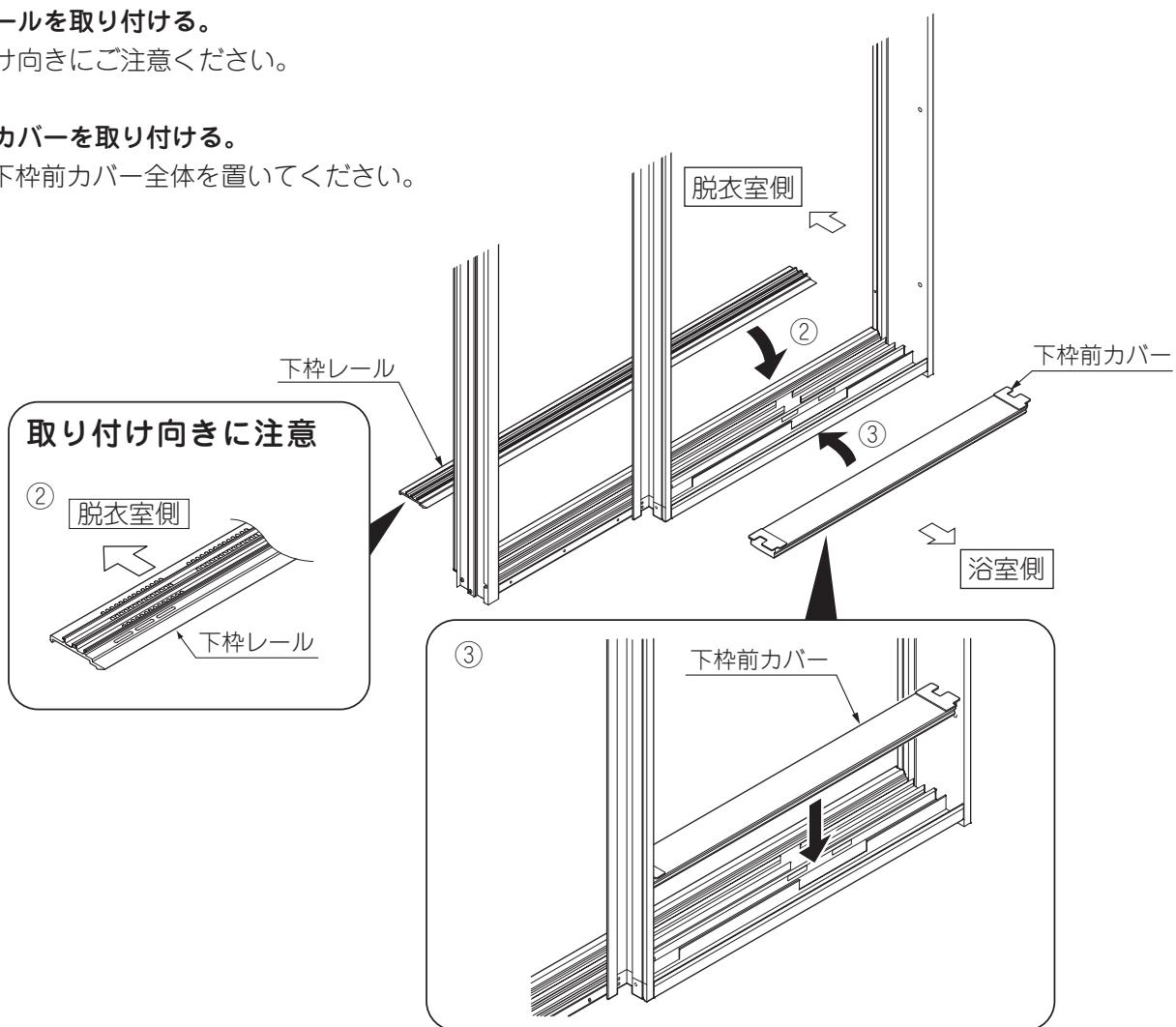


- ②下枠レールを取り付ける。

- ・取り付け向きにご注意ください。

- ③下枠前カバーを取り付ける。

- ・下枠に下枠前カバー全体を置いてください。



5. 天井の設置

1 天井組み立て前の作業

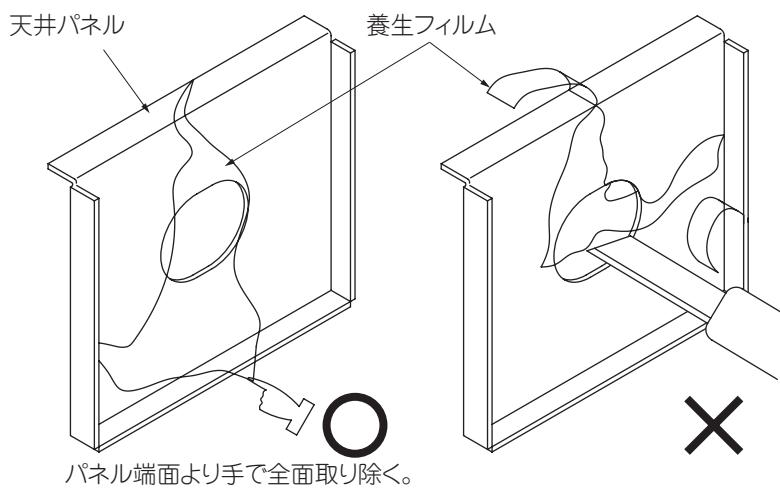
1 天井養生フィルム取り外し

【組立前確認、準備】

- ①ユニットタイプとパネル番号および枚数を確認する。
- ②養生フィルムの取り外しと併せてパネル表面の損傷の有無を確認する。

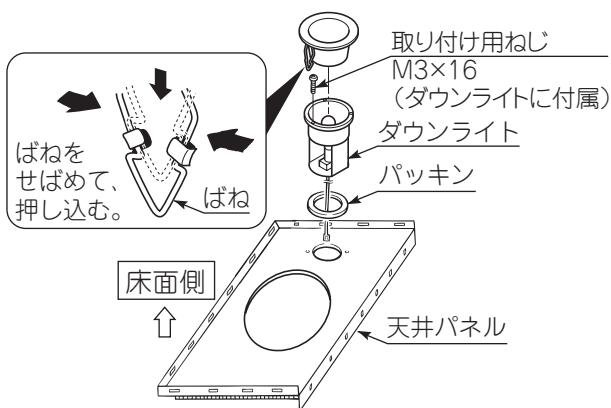
取付設置上のお願い

- 天井パネルの養生フィルムは組立前に全面取り除いてください。
- カッター、ナイフなどの使用は厳禁です。必ず手で取り除いてください。
(カッター、ナイフなどで取り除くと天井を傷付けるおそれがあります。)



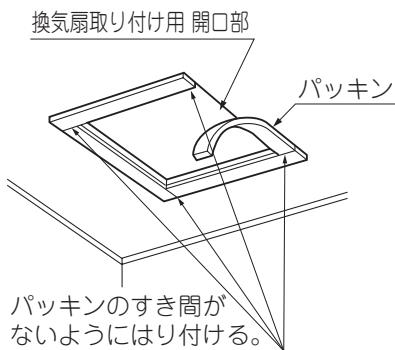
2 ダウンライトの取り付け

- ①ダウンライトを取り付ける。



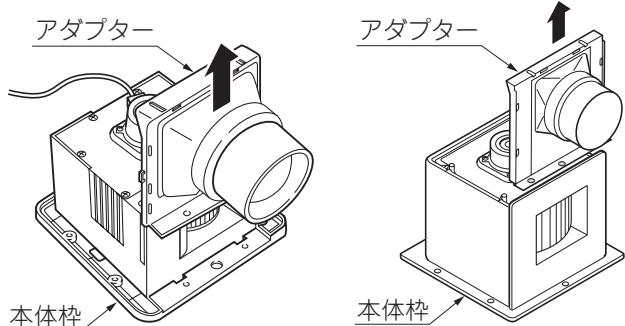
3 換気扇の取り付け

- ①換気扇取り付け
用開口部に沿って、付属のパッキン（4個）をはり付ける。

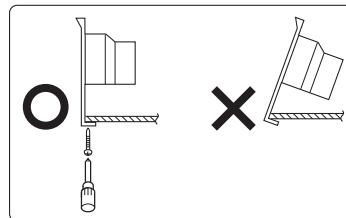
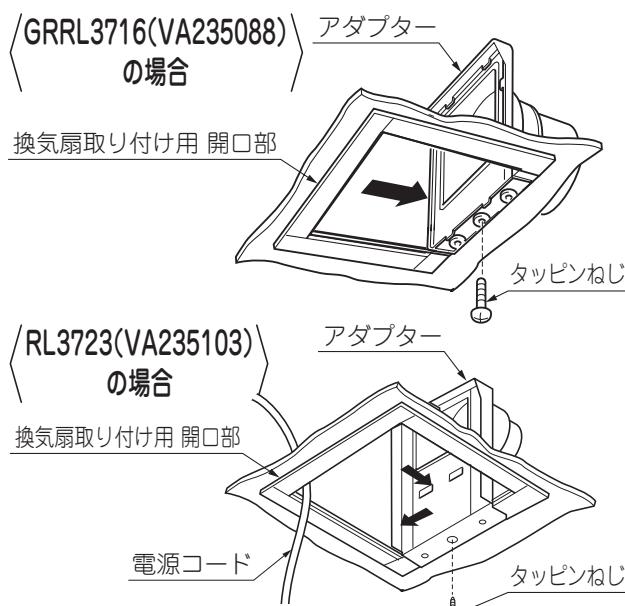


- ②本体枠から、アダプターを取りはずす。

〈GRR3716(VA235088)の場合〉 〈RL3723(VA235103)の場合〉

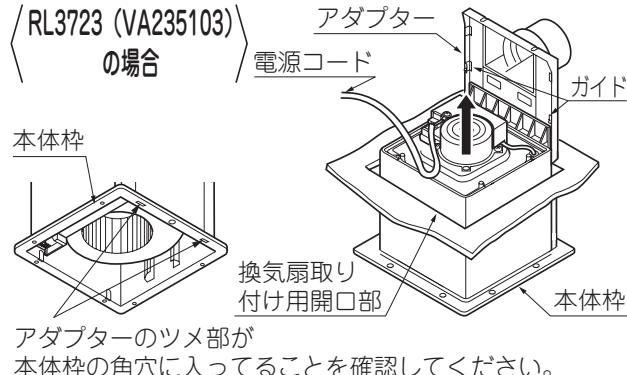
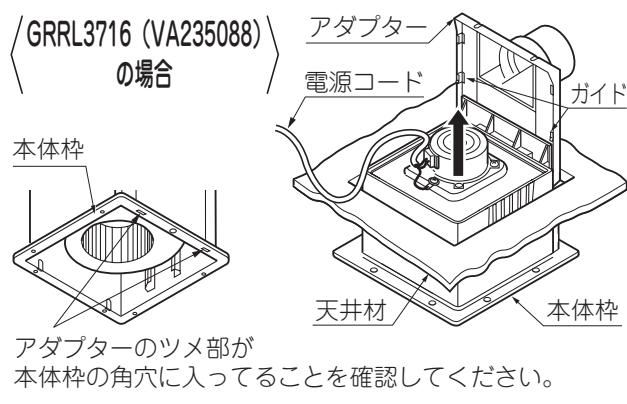


- ③アダプター側部を換気扇取り付け用開口部の隅に合わせて付属のタッピンねじ（1個）で取り付ける。

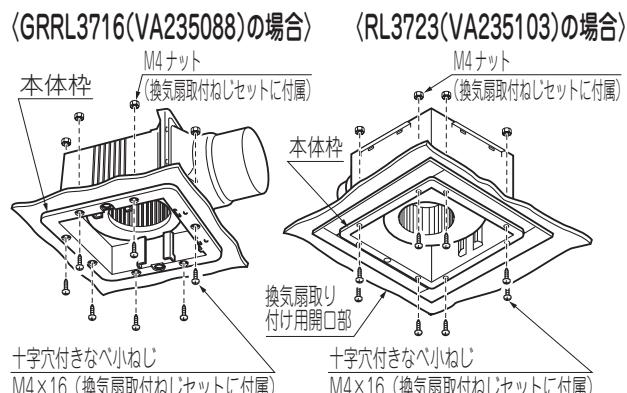


■傾いて取り付けないようしてください。

- ④本体枠をアダプターのガイドに確実に引っ掛け、開口部に挿入する。



- ⑤換気扇取付ねじセット（VA235037）に付属の十字穴付きなべ小ねじとM4ナット（各8個）で固定する。



■取付穴はすきま防止のため薄肉がついていますので取り付けの際、 $\phi 5$ キリで薄肉部を突き破ってください。

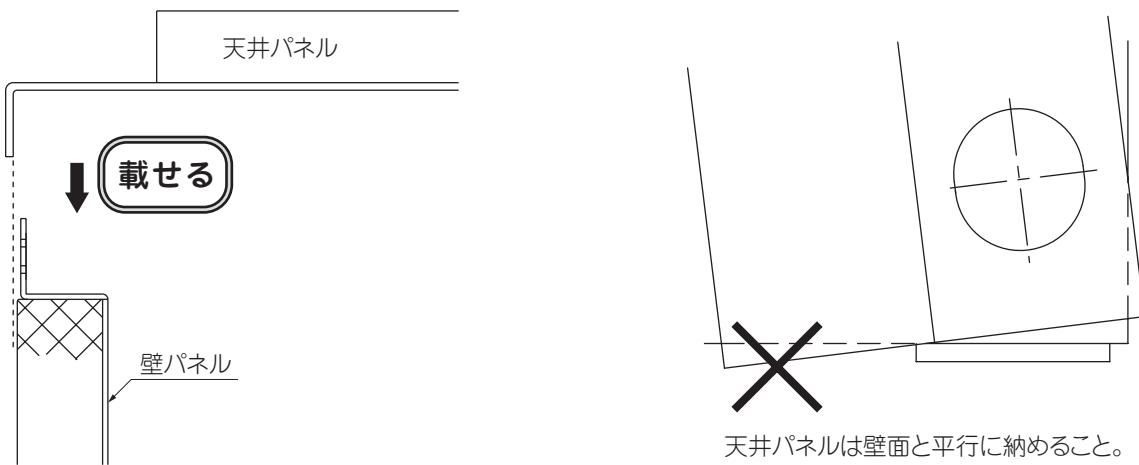
■本体枠の取り付けはすき間のないように確実に取り付けてください。風漏れおよび蒸気漏れの原因になります。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 フラット天井の組み立て

1 天井取り付け

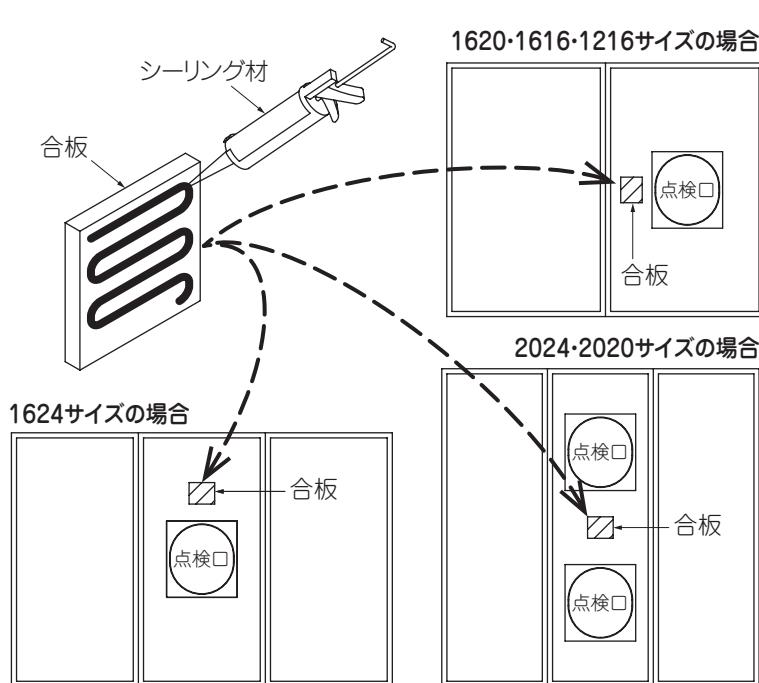
- ①天井点検口の位置（方向）を取付設置図で確認し、壁パネルに天井パネルをのせる。



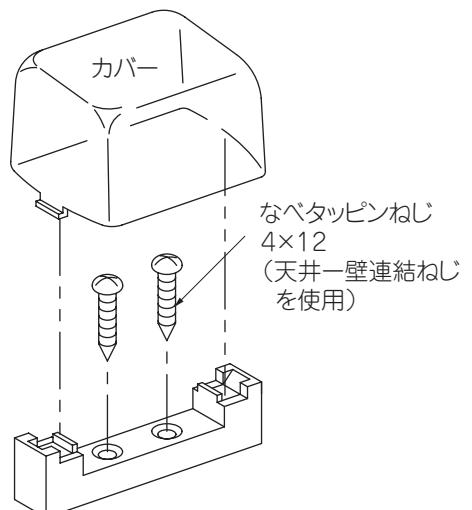
2 ジョイントボックス取り付け

- ①点検口側の天井裏面に□100×t9合板をはり付ける。

- 合板のはり付け位置は、換気扇ダクト経路の下にならない点検口の周囲に、シーリング材ではり付けてください。



- ②天井裏面の□100×t9合板に、ジョイントボックスを取り付ける。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

3 壁パネル・ドア枠と天井の接続

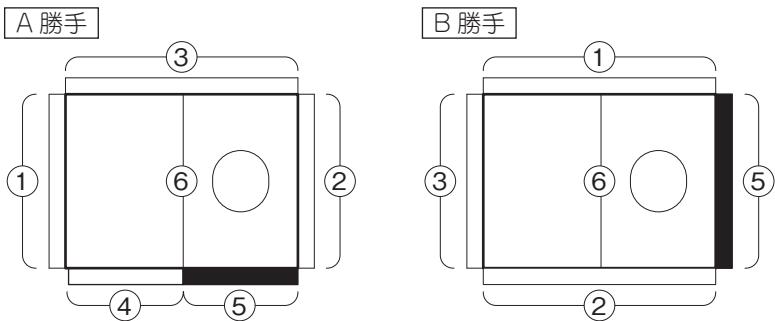
1 天井固定順序

*パネル・受け具と壁天井をタッピン
ねじで固定する。

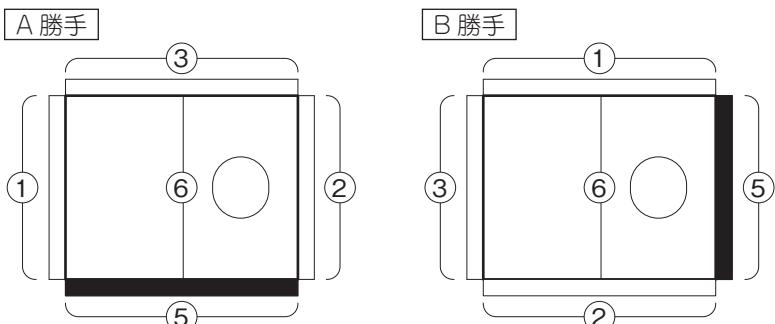
天井一壁固定順序

- ①②③④ 天井一壁固定
- ↓
- ドア建て起こし
- ↓
- ⑤ 天井ードア枠固定
- ↓
- ⑥天井-天井固定 または
- ⑦天井-フラットラインLED照
明固定

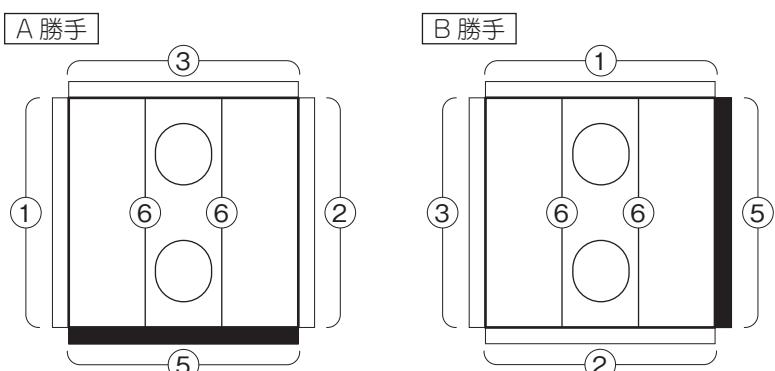
1216 サイズ



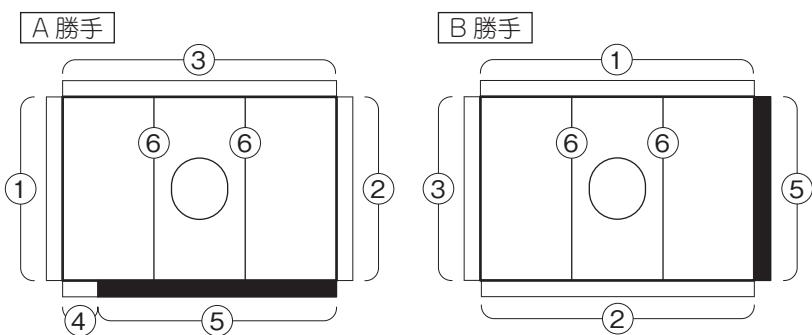
1620・1616 サイズ



2024・2020 サイズ

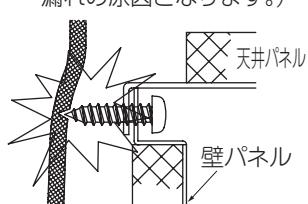


1624 サイズ



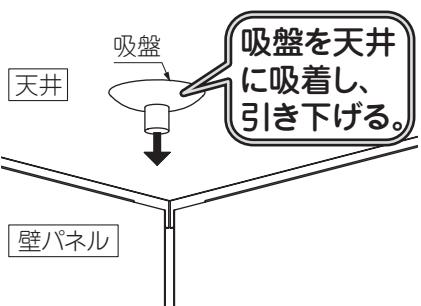
注意

- ねじ固定の際、裏側に
電気配線や設備配管な
どがないか確認する
(タッピンねじが壁裏の配
線や配管を貫通し漏電・水
漏れの原因となります。)

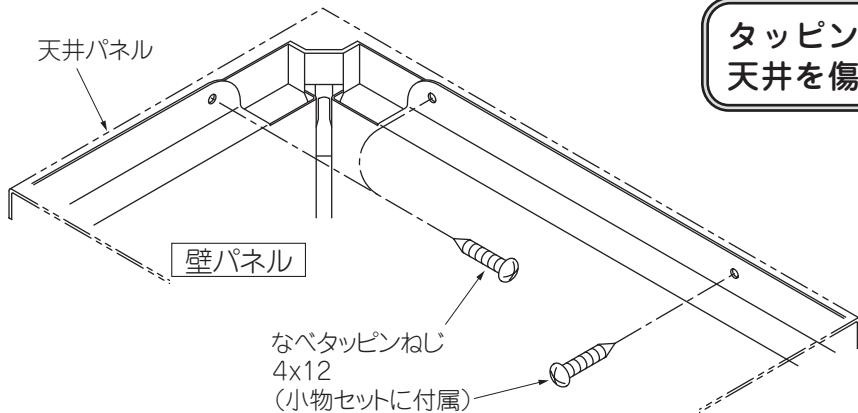


取付設置上のお願い

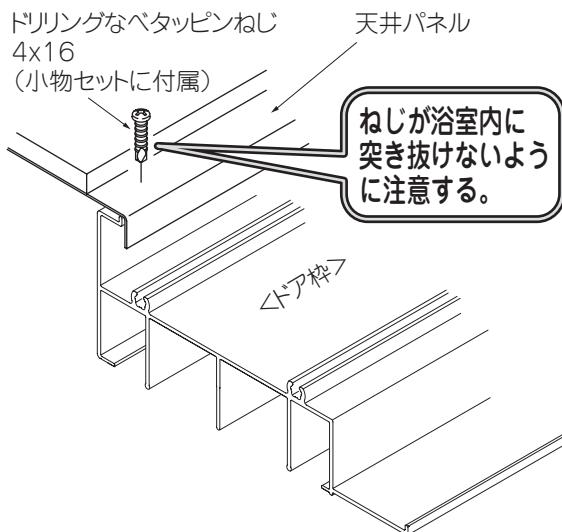
- 天井のコーナー部が反り上がり
天井固定の穴位置が合わない場
合は、吸盤（現場調達）（耐荷重
2Kg以上）を使用して天井のコ
ーナー部を引き下げてください。



①②③④：天井一壁固定

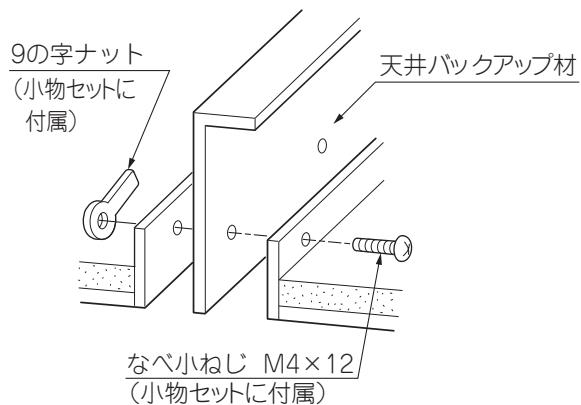


⑤：天井ードア枠固定



ドア建て起こし調整後に固定する。

⑥：天井一天井固定

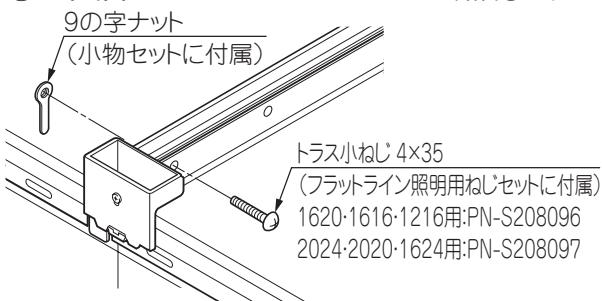


⚠ 注意



- 天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する
(落下し、けがや破損のおそれがあります。)

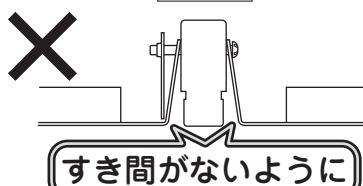
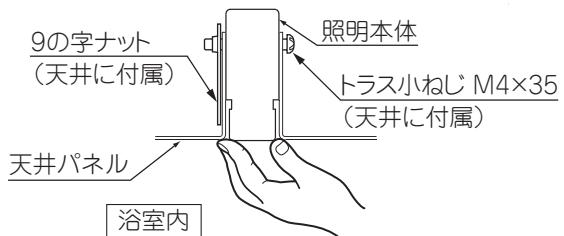
⑦：天井ーフラットラインLED照明固定



取付設置上のお願い

- 締め付けトルクは0.7～1.5N・mとしてください。
(締め付けすぎると変形破損のおそれがあります。)

天井パネルと照明本体の間に段差がないよう、浴室内から指で確認する。



すき間がないように

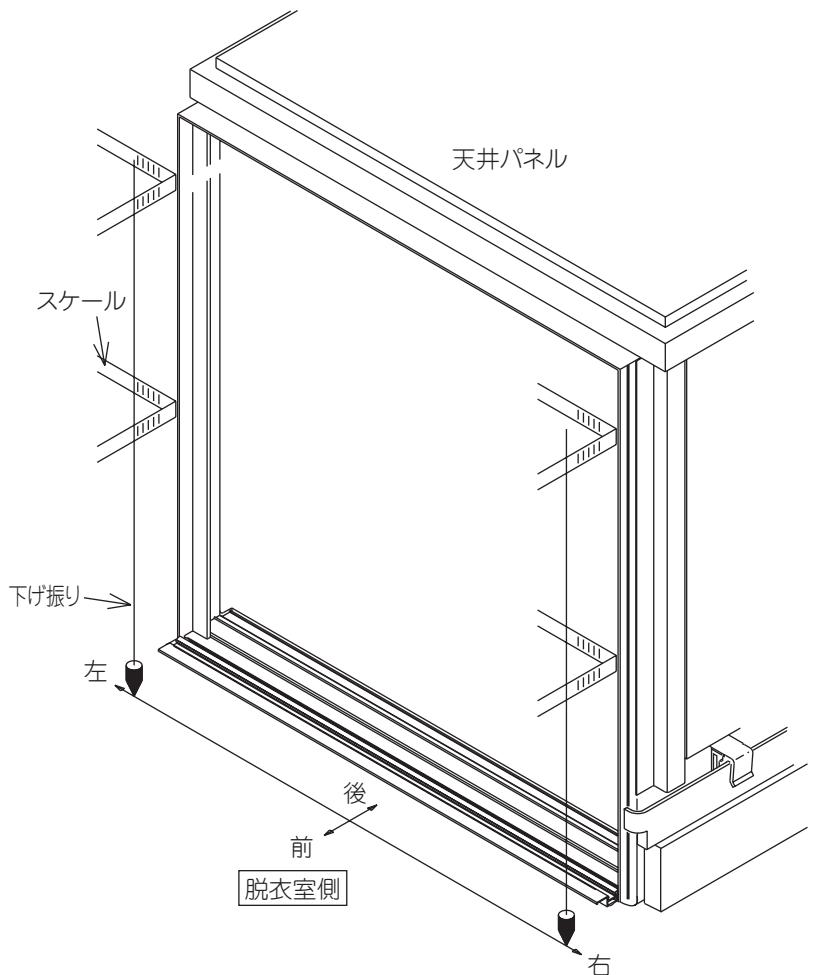
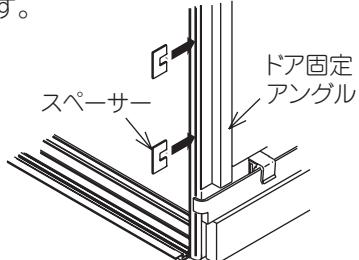
2 ドアの建て起こし（ドア枠鉛直度の調整）

①下げる振りを使用してレベルを調整しながら、必要に応じて縦枠内側よりスペーサーを挿入する。

取付設置上のお願い

- ドア枠の前後・左右の垂直度（たおれ）を測定し、たおれは2mm以下に調整してください。
- あわせてドア枠（先端）の位置を再確認してください。
- ドア枠の建て起こし調整は天井～ドア枠のねじ固定時の調整とあわせて、ドア縦枠～ドア固定アングルの間にスペーサーを入れて調整してください。（建て起こし調整を行なわないと、ドア開閉がスムーズに出来なくなるおそれがあります。）

ドア固定アングルとドア枠の間にスペーサーを入れて調整する事もできます。



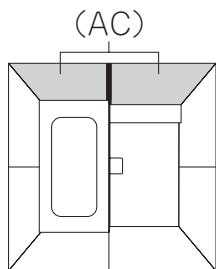
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

4 壁と天井の仕上げ

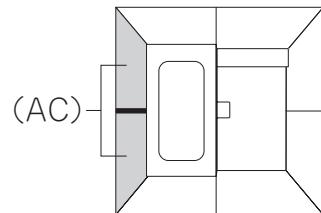
1 壁柄と壁目地・シーリング材

- ・**目地柄**：アクセントパネル仕様の場合、アクセントパネルと周囲パネルの平目地の色が異なるパターンがあります。下記参照のうえ、壁目地の色を使い分けてください。
- ・**シーリング材色**：下記を参照のうえ、シーリング材の色を使い分けてください。

〈正面アクセント〉



〈側面アクセント〉



〈白・淡色系〉

壁色	目地柄	シーリング材色
シャクダニ石		
グレイッシュグリーン		
エクリュベージュ		
サンドグレー		
モルタルトープグレー		
モルタルモープピンク		
シャンパン		
アイスラックグレー		
サニーベージュ		
ガラスタイルクリア	オフホワイト	ホワイト
ガラスタイルピンク		
ガラスタイルホワイト		
ドラマホワイト		
クレマストーン		
グレイスホワイト		
ヒノキ		
グレーランダムライン		
ベージュランダムライン		
ターナーホワイト		

〈濃・多色系〉

壁色	目地柄	シーリング材色
ヘリンボーンブラック		
アイスラックブラウン		
ガラスタイルブラック		
アンティークブラウン		
アンティークブラック	ディープグレー	ブラック
ツイルネイビー		
ツイルボルドー		
ブラックランダムライン		
レンプラントグレー		

壁色	目地柄	シーリング材色
ウォールナット		
チェスナットグレージュ		
ダークマーブル	ベージュ	ホワイト
チエリー		
フラゴナールブラウン		

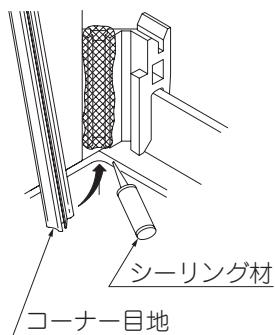
ヒノキ天井のシーリング色・天井廻し縁の色はホワイトにする。

2 壁パネルの目地打ち込み

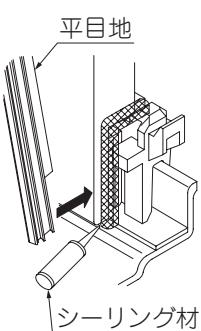
- ①目地を打ち込む前に下端から2~3cm程度シーリング材を塗布する。

※切り欠きが大きな平目地は、正面パネルに取り付けてください。

〈コーナー部〉

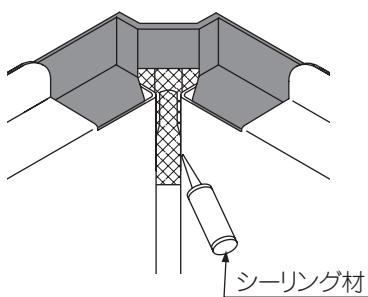


〈平部〉

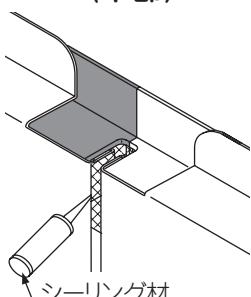


- ②上端から2~3cm程度、シーリング材を塗布する。

〈コーナー部〉



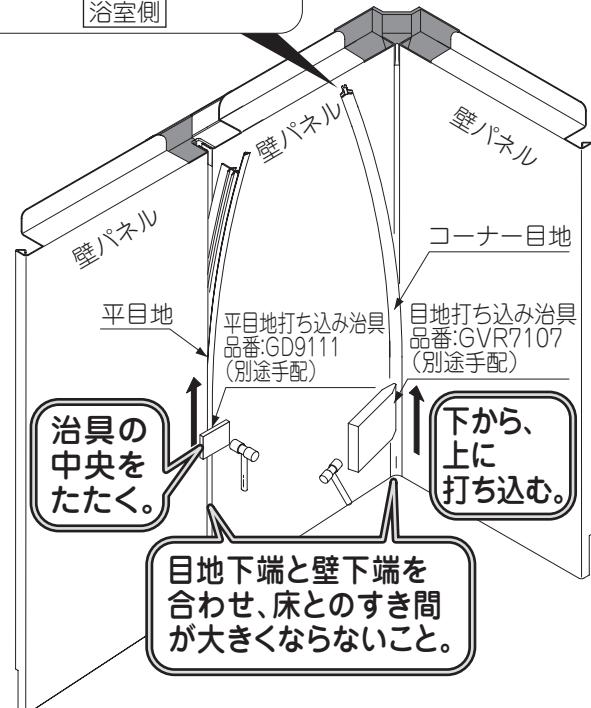
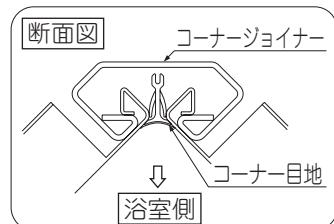
〈平部〉



- ③仮打ちした仮固定目地を外す。

- ④コーナー目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。

- ⑤平目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。



⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

⚠ 注意



必ず守る

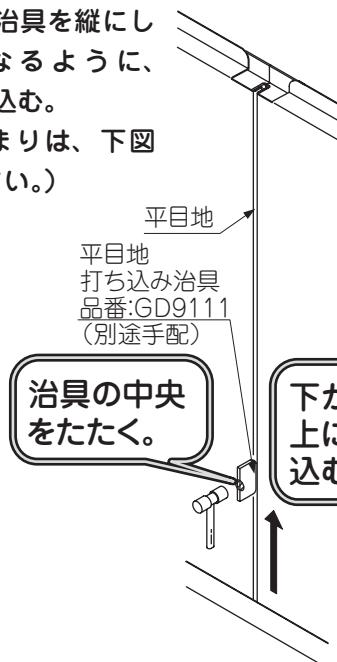
- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)
〈上側〉 13 10 (単位:mm)
〈下側〉 30 42

取付設置上のお願い

- 目地は力まかせに一気に打ち込みます、少しづつまんべんなく、打ち込み治具を使用して打ち込んでください。
(直接目地をたたいたり無理に打ち込むと、目地が割れたり壁が変形するおそれがあります。)
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。)

- ⑥平目地は、治具を縦にし
奥目地になるように、
目地を打ち込む。

(平目地納まりは、下図
参照ください。)

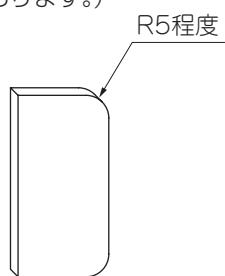


⚠ 注意

- 平目地の上下形状を確認し、目地と壁パネル下端を合わせ必ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)
- 平目地打ち込み治具を使用の際は角を削る
(別部材 : GD9111)
(目地に打痕が付くことがあります。)

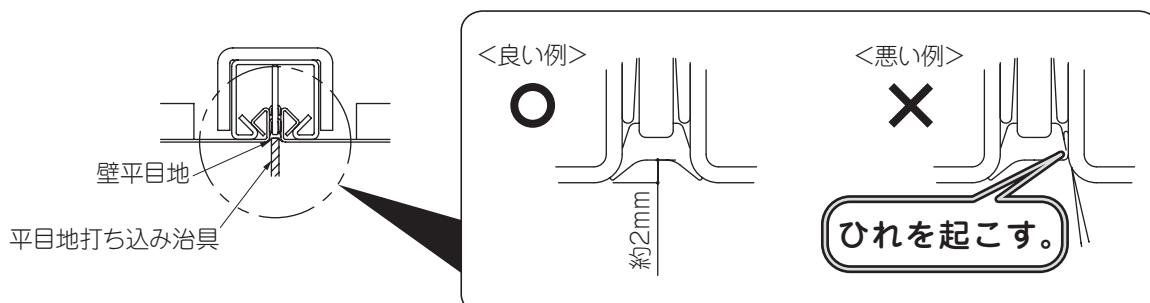


必ず守る

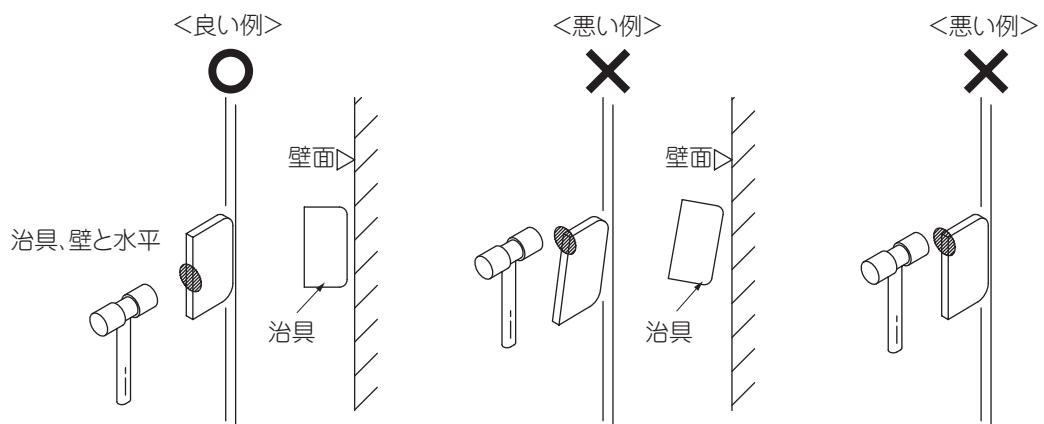


取付設置上のお願い

- 壁平目地は一度に打ち込まないで徐々に叩き込んでください。
(一度に打ち込むと、目地が破損するおそれがあります。)
- 打ち込み治具は平目地のセンターに当てて打ち込んでください。
(センターに当てないと、ひれが入り込むおそれがあります。)
- ひれが入り込んだ場合は先がとがった物で壁を傷付けないようにひれを起こしてください。

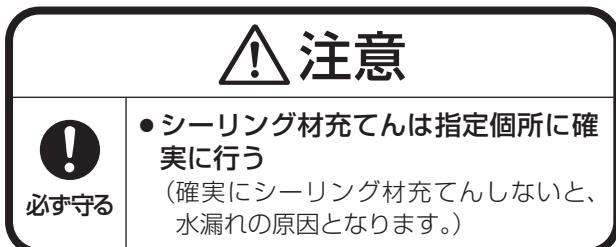


- 治具を壁パネルと平行にして中央を叩く。
(治具の端部だと目地に打痕が付く場合があります。)

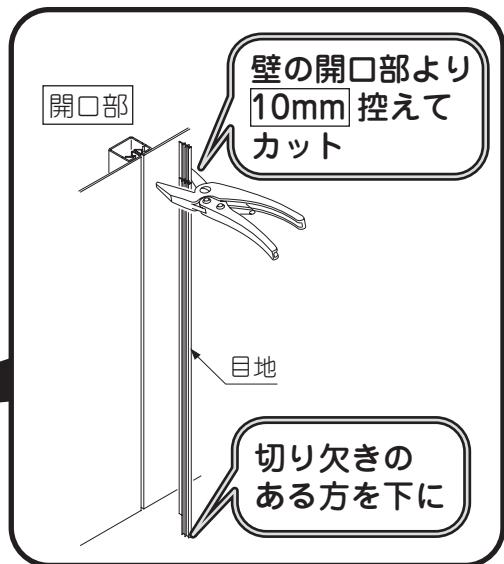
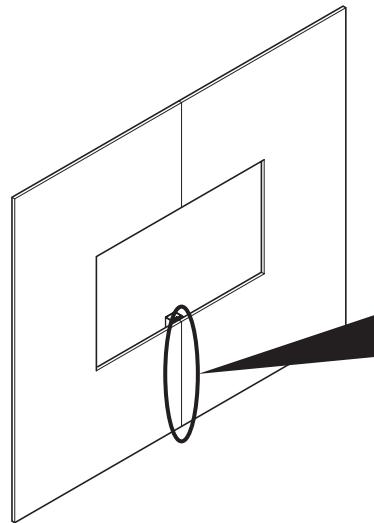


3 壁パネルの目地打ち込み

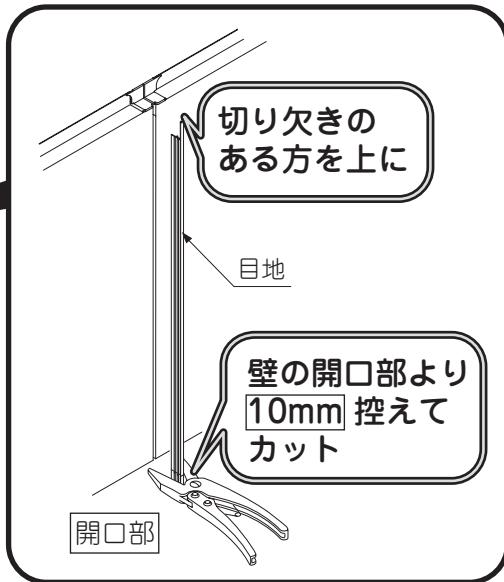
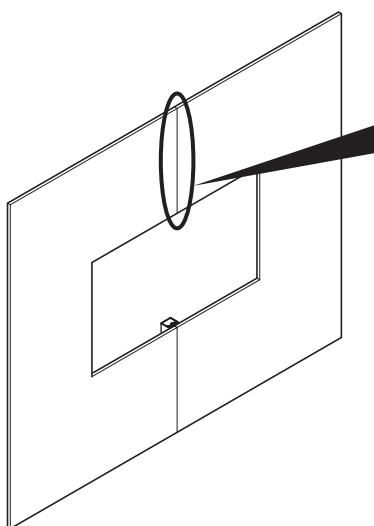
- ①平目地を打ち込む前に下端から2~3cm程度シリング材を塗布する。



- ②平目地を下部の壁に合わせて、
壁の開口部より10mm控えて
カットする。



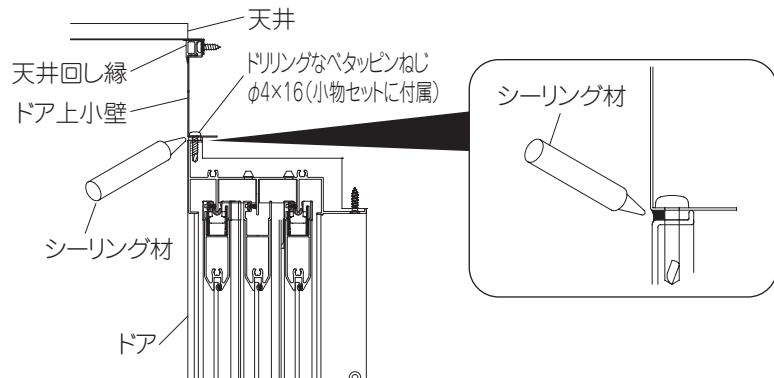
- ③壁に平目地を打ち込む。
・目地は下（床側）から上へと
打ち込んでください。



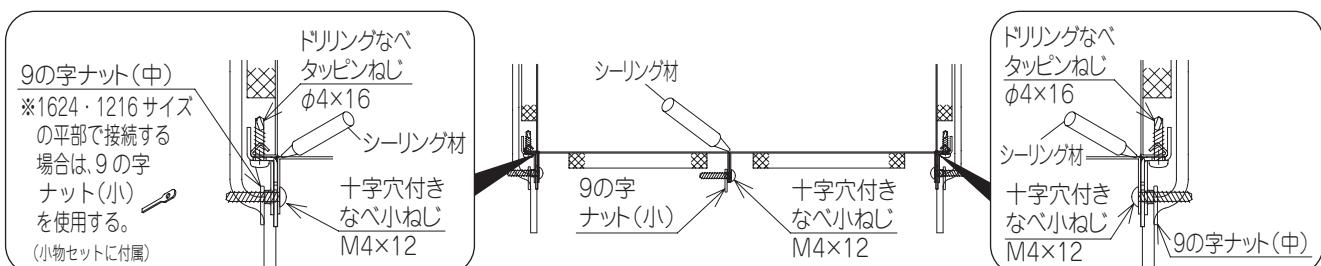
4 ドア上小壁の取り付けと仕上げ（全高2150の場合）

①ソフトテープではり付けたすき間に、シーリング材を塗布する。

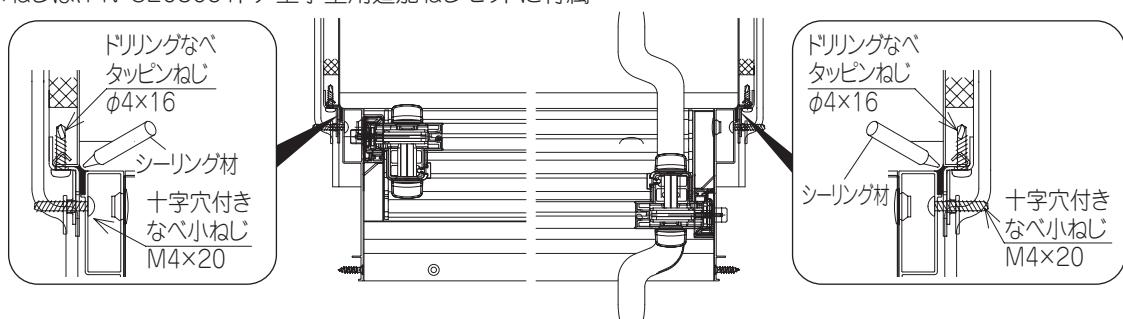
【シーリング材塗布箇所：——部】



【ドア上小壁部横断面】 ※ねじは、PN-S208091ドア上小壁用追加ねじセットに付属



【ドア部横断面】 ※ねじは、PN-S208091ドア上小壁用追加ねじセットに付属

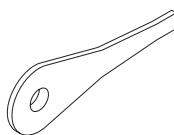


取付設置上のお願い

- シーリングドリリングなべタッピンねじは専用のものを使用してください。（専用のものを使わないと、水漏れの原因となります。）
- ねじは全数を浮きがないように確実に固定してください。（全数確実に固定しないと、水漏れの原因となります。）

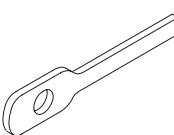
- ドア枠に平部で接続する壁パネルがある場合は、9の字ナット（小）を使用して固定して下さい。（2024・1624・1216サイズA勝手のみ）

9の字ナット(中)



コーナー側で接続
(ドアジョイナー使用)

9の字ナット(小)



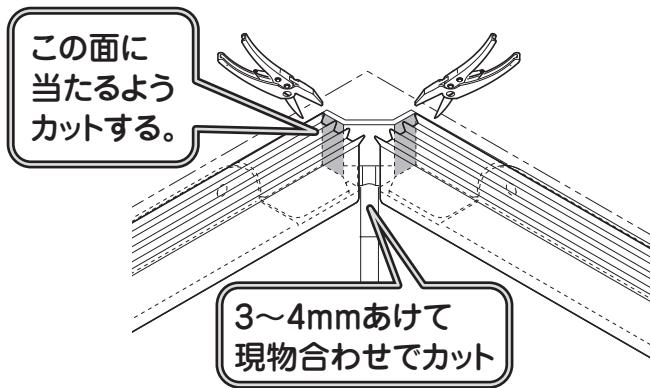
平部側で接続
(ドアジョイナー不使用)
小物セットに付属

※平部で接続する際に、誤って9の字ナット（中）で固定すると、壁パネルが変形するおそれがあります。

5 天井回し縁の取り付け

①天井回し縁をカットする。

- コーナー部分は、内寸から3~4mmあけ、シリコンバックアップに当たるようにカットしてください。
(天井回し縁カット長さの目安はユニット内寸-6mmになりますが、現物を確認してカットしてください。)

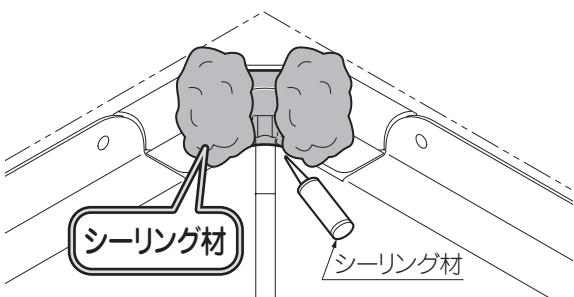


②コーナーブロックに先行シーリング材を打つ。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確實に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

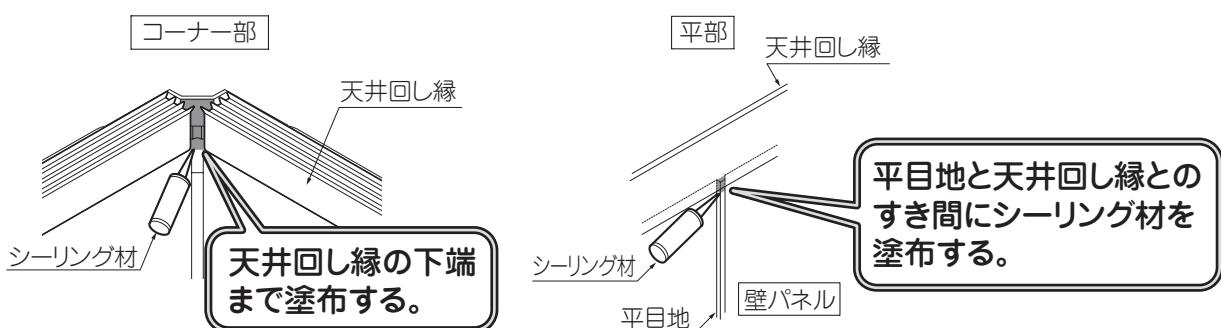


③天井回し縁を取り付ける。

- 天井回し縁を取り付けるときは、ねじ位置をプラスチックハンマーで軽く打ち込んでください。
- 天井回し縁はドアを含む全周取り付けます。



④天井回し縁の突き合わせ部にシーリング材を塗布する。



6. 浴槽の設置

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

機械浴槽・檜浴槽の場合は、下記の取付設置は不要です。

1 浴槽の据え付け

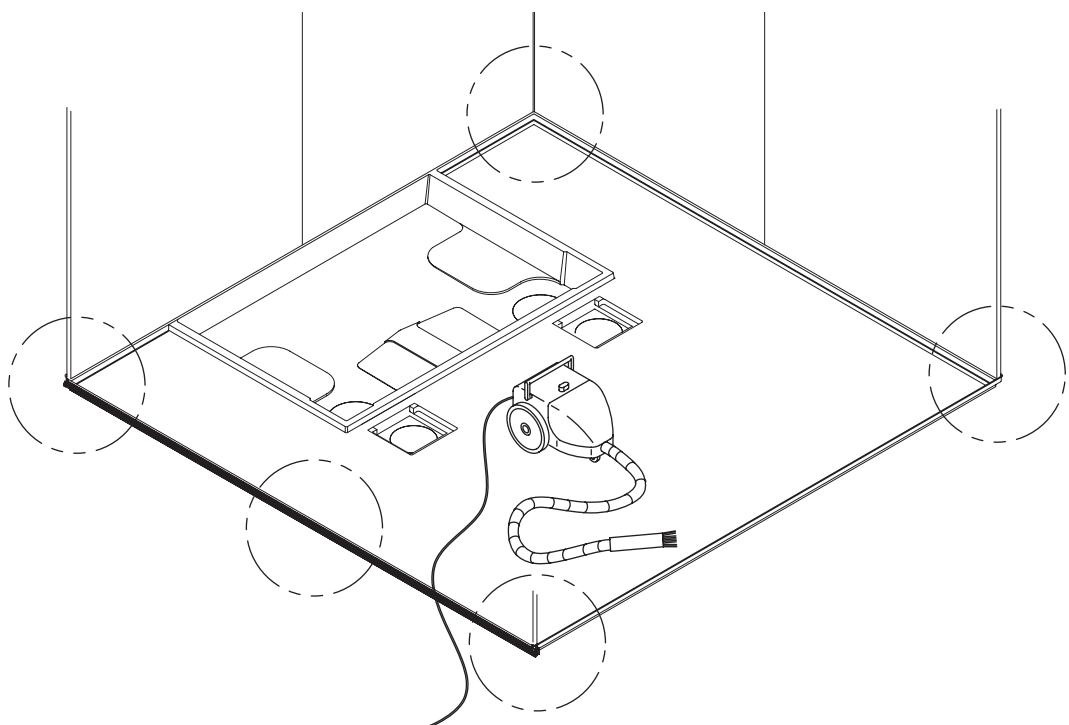
- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1 浴槽据え付け前作業 | 10 フロート弁の取り付け |
| 2 浴槽バックハンガー・浴槽のねじ固定・エプロン水返し位置図 | 11 エプロン固定金具へのシーリング材充てん |
| 3 浴槽バックハンガーの取り付け | 12 エプロン支持具の取り付け |
| 4 追い焚き釜穴開口 | 13 浴槽のねじ固定 |
| 5 排水パッキンの取り付け | 14 エプロン水返しの取り付け |
| 6 フロート弁付き目皿の前加工 | 15 サイドエプロンの取り付け |
| 7 浴槽の据え付け | 16 ポップアップ排水栓ボタンの取り付け |
| 8 浴槽支柱の取り付け | 17 エプロンの取り付け |
| 9 ポップアップ排水栓の取り付け | 18 エプロン高さ調整 |
| | 19 シーリング材充てん（浴槽周り） |

1 浴槽の据え付け

1 浴槽据え付け前作業

- ・コーナー部
- ・浴槽側の床
- ・トラップ周辺（内部）
- ・ドア枠（溝部）

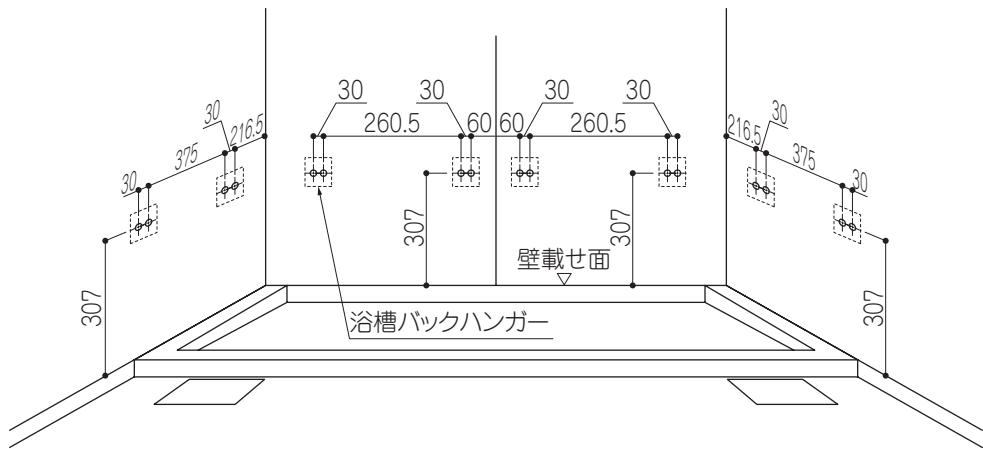
上記場所は重点的に清掃する。



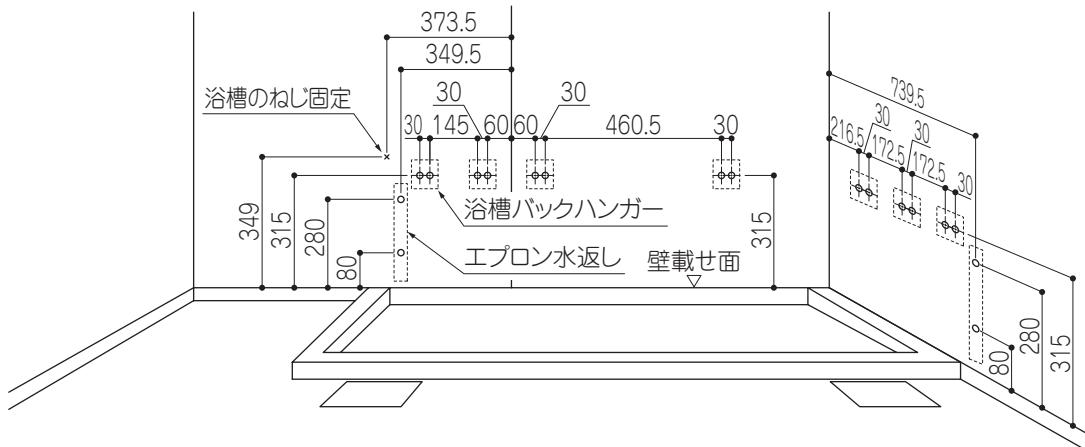
2 浴槽バックハンガー・浴槽のねじ固定・エプロン水返し位置図

- ・浴槽バックハンガー・浴槽のねじ固定・エプロン水返しの取り付け用下穴位置を示す。
(下記に示す高さ寸法は、壁載せ面からの寸法を示します。)

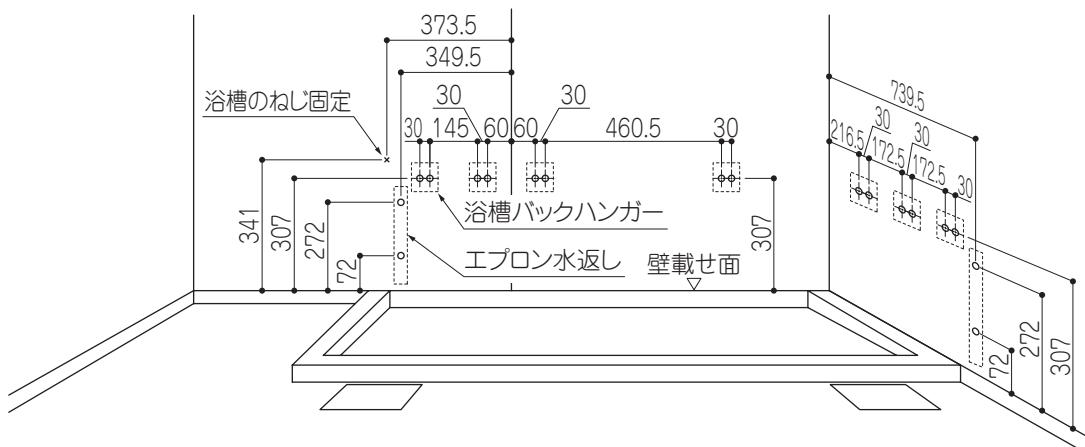
<1216サイズ>



<1616・1620サイズ>

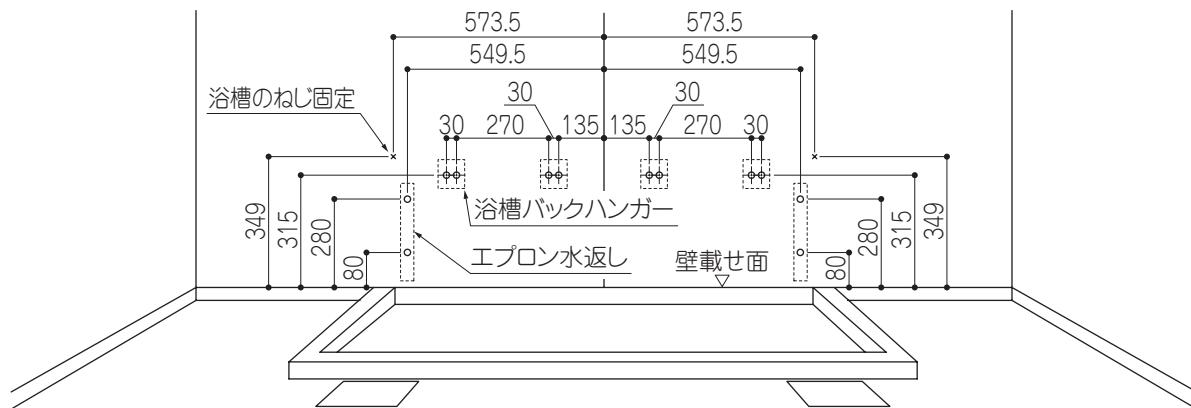


<1624サイズ>

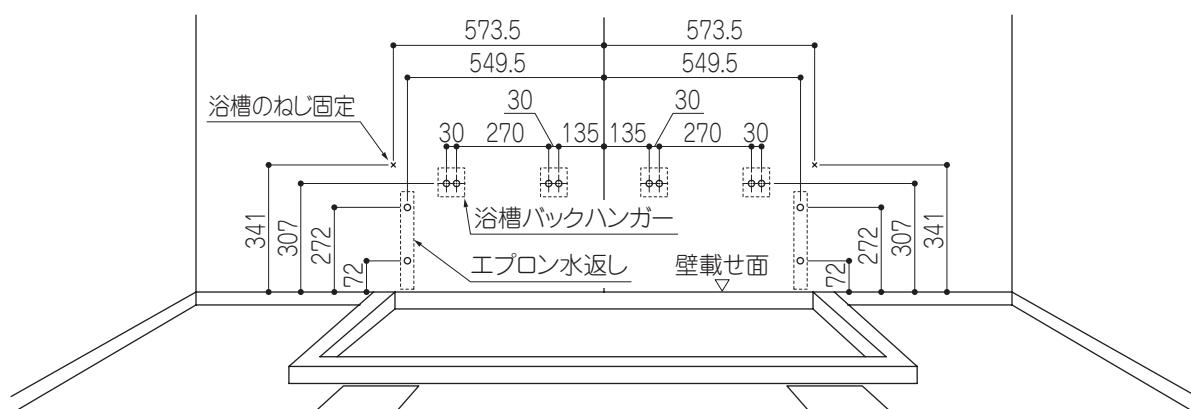


- ・浴槽バックハンガーの取り付け用下穴位置を示す。
(下記に示す高さ寸法は、壁載せ面からの寸法を示します。)

W1200浴槽

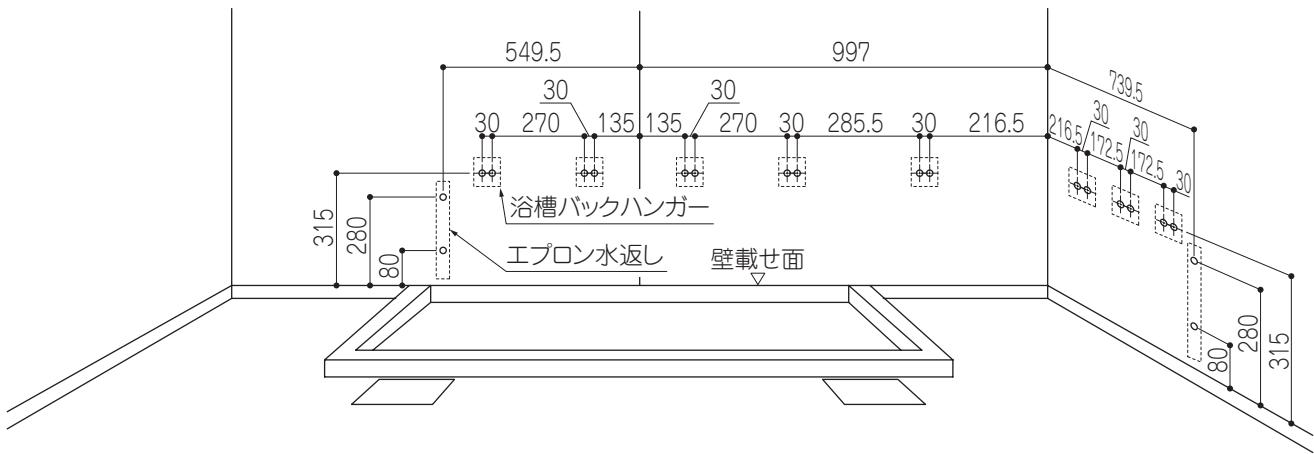


W1200浴槽

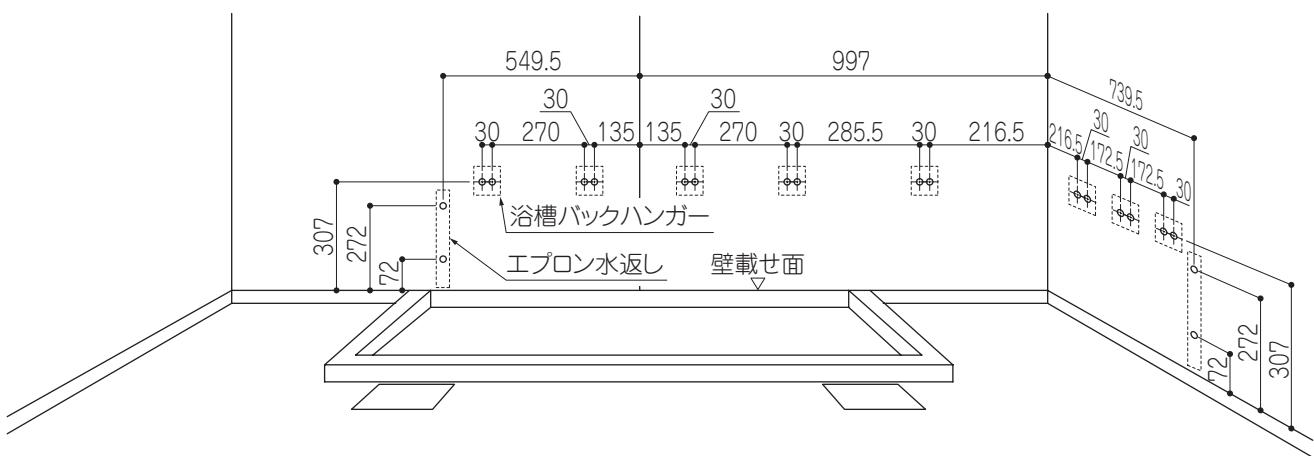


- ・浴槽バックハンガーの取り付け用下穴位置を示す。
(下記に示す高さ寸法は、壁載せ面からの寸法を示します。)

W1600浴槽



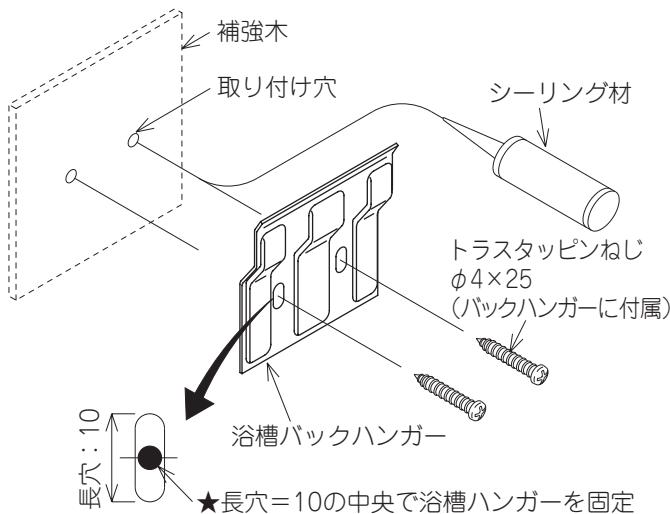
W1600浴槽



3 浴槽バックハンガーの取り付け

①浴槽バックハンガーを取り付ける。

- ・浴槽バックハンガー取り付け穴にシーリング材を注入してください。
- ・浴槽バックハンガーは取り付け穴（長穴=10）の中央で固定してください。



! 注意



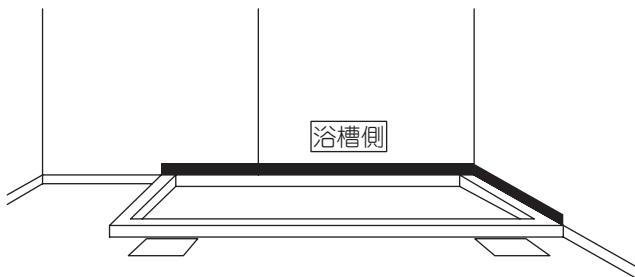
必ず守る

- 器具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を注入してください。
(シーリング材を注入しないと、水もれの原因となります。)
- 壁パネルと床の接合部にシーリング材充てんしてください。
(シーリング材充てんしないと、水もれの原因となります。)
- 浴槽バックハンガーの取り付けは、確実に行なってください。
(確実に取り付けないと、浴槽が倒れて、転倒やケガの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

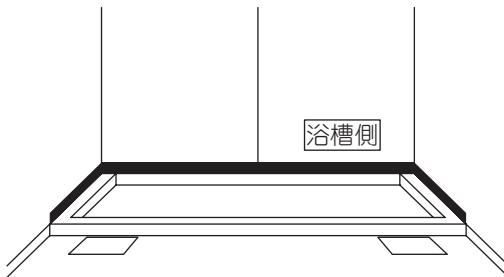
——部をシーリング材充てんしてください。

浴槽据え付け前に、壁パネルと床パンの取合い部および壁パネルと壁パネルの接続部（目地）をシーリング材充てんしてください。

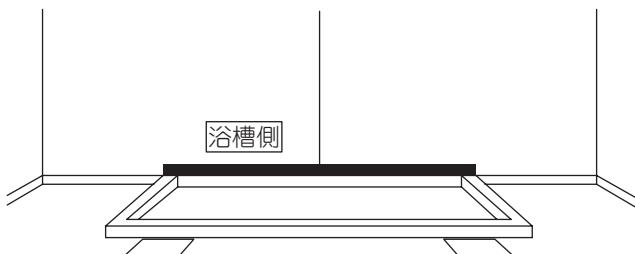
<1624・1620・1616サイズ>



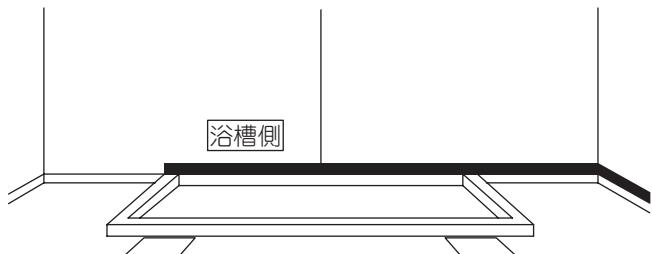
<1216サイズ>



<2024・2020サイズ>W1200浴槽



<2024・2020サイズ>W1600浴槽

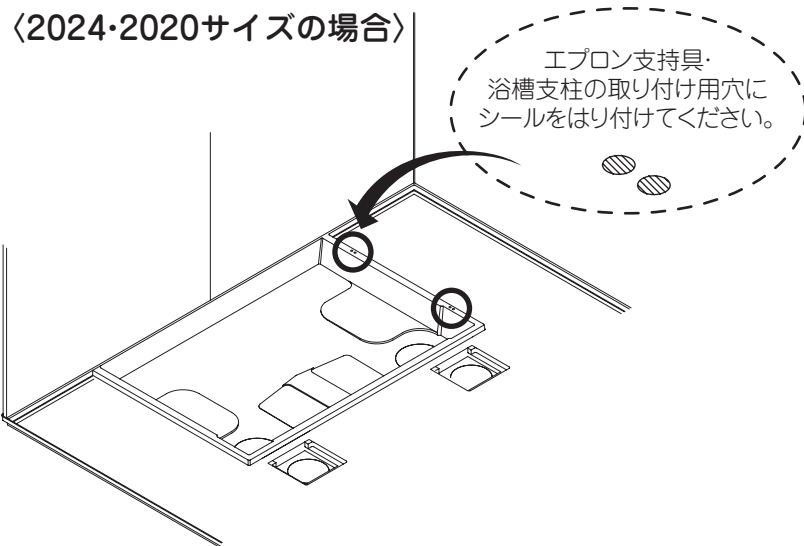


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

4 床パンへのシールはり付け

- ①床パンの穴（エプロン支持具・浴槽支柱の取り付け用穴）に、シールをはり付ける。

W1600浴槽の場合

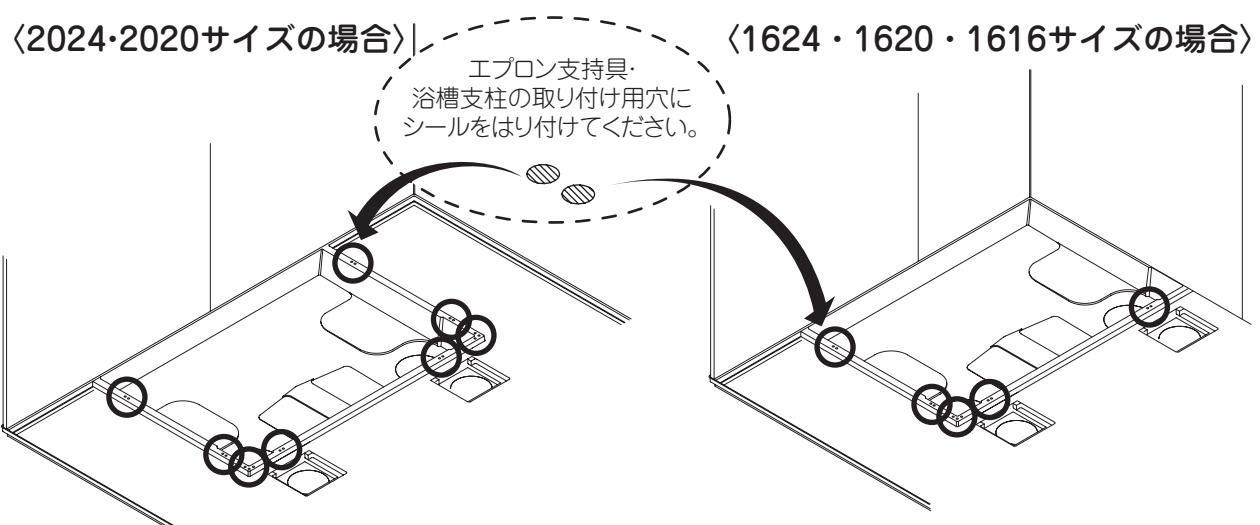


機械浴槽・檜浴槽の場合は、下記の取付設置が必要です。

5 床パンへのシールはり付け

- ①床パンの穴（エプロン支持具・浴槽支柱の取り付け用穴）に、シールをはり付ける。

機械浴槽・檜浴槽の場合



※1616サイズは檜浴槽のみ対応しております。

※1216サイズは機械浴槽・檜浴槽には対応しておりません。

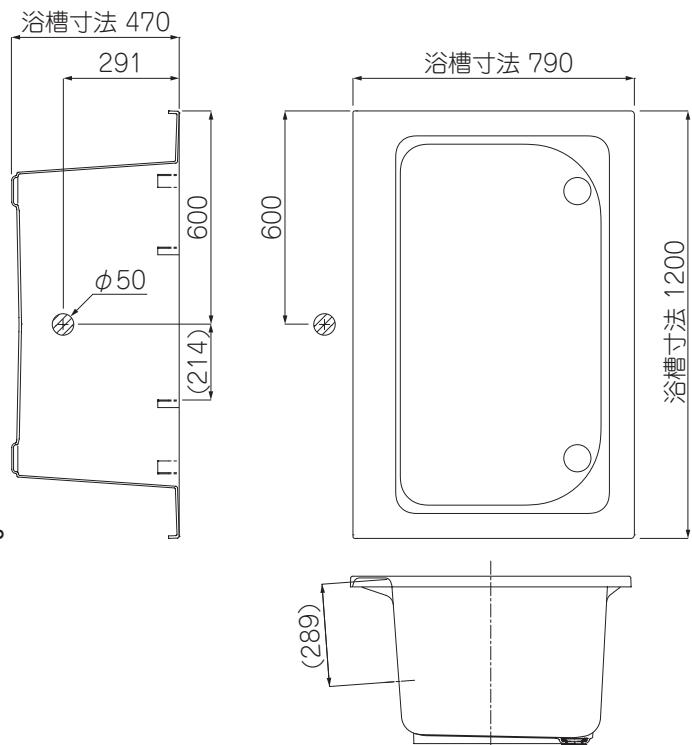
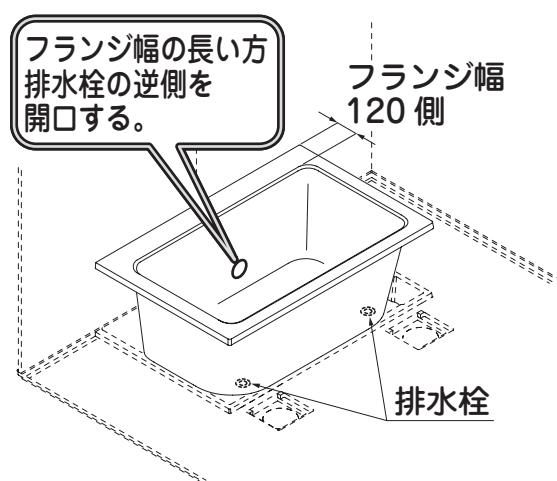
6 追い焚き釜穴開口

①浴槽に追い焚き釜の穴を開口する。

※追い焚き釜の穴開けは、必ず浴槽据え付け前に行ってください。

※自然循環釜（2穴開口）は設置できません。

※追い焚き釜の穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。



※洗い場側を開口しないようにご注意ください。

7 追い焚き釜穴開口

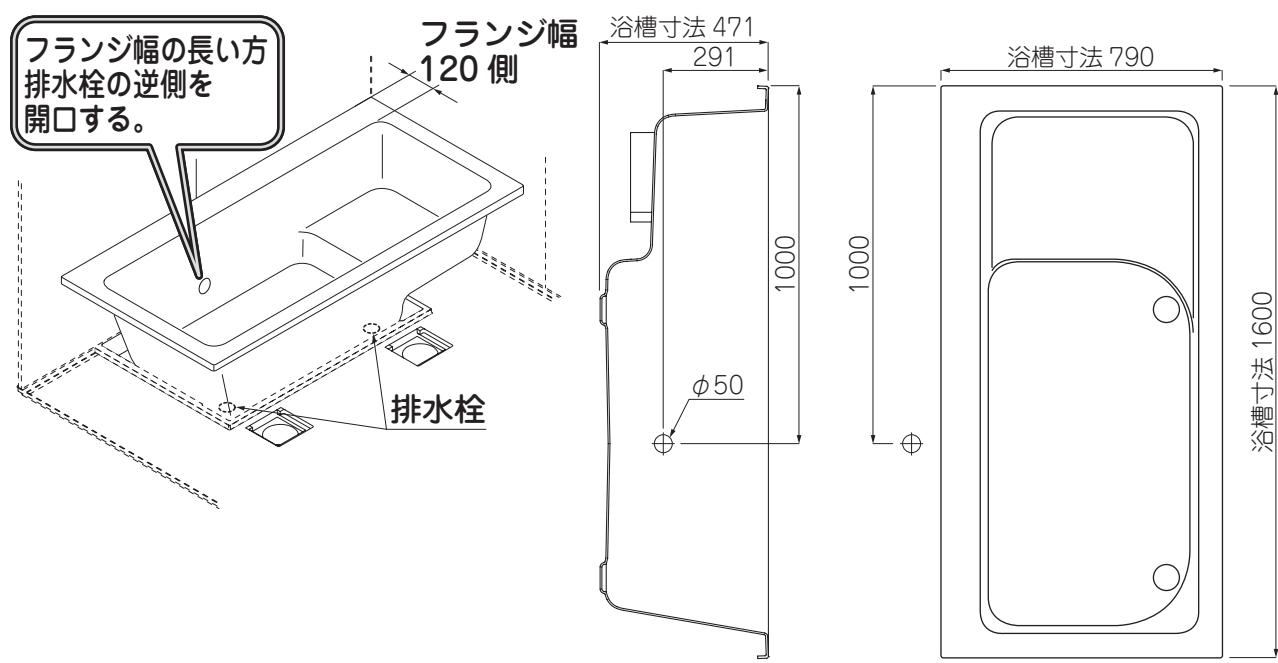
①浴槽に追い焚き釜の穴を開口する。

※追い焚き釜の穴開けは、必ず浴槽据え付け前に行ってください。

※自然循環釜（2穴開口）は設置できません。

※追い焚き釜の穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。

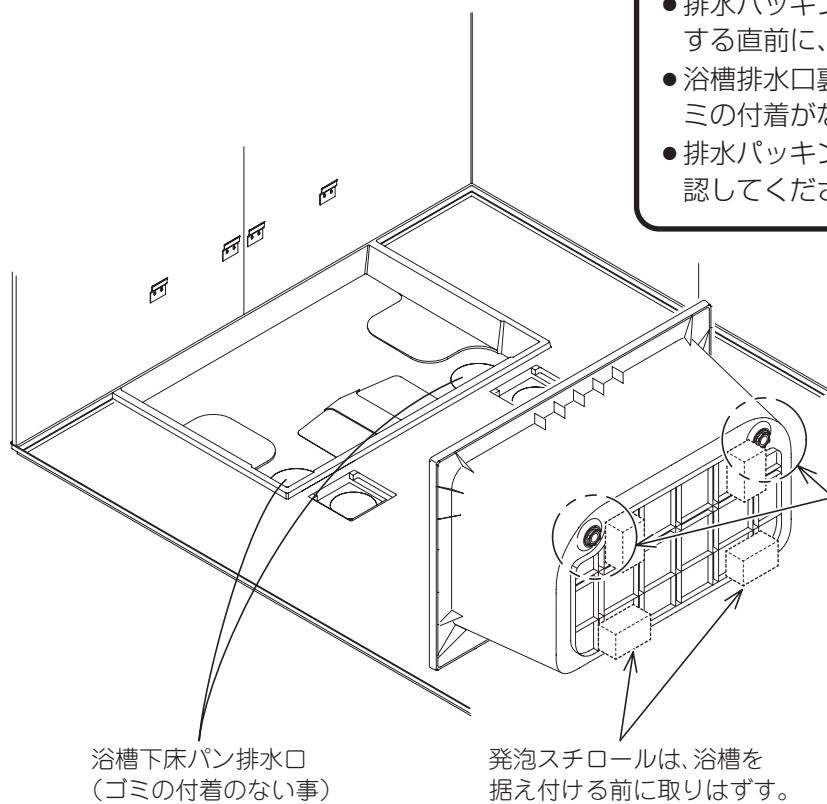
W1600浴槽の場合



8 排水パッキンの取り付け

- ①浴槽を床パン据え付け部に仮置きし、排水パッキンを取り付ける。

W1200浴槽の場合



取付設置上のお願い

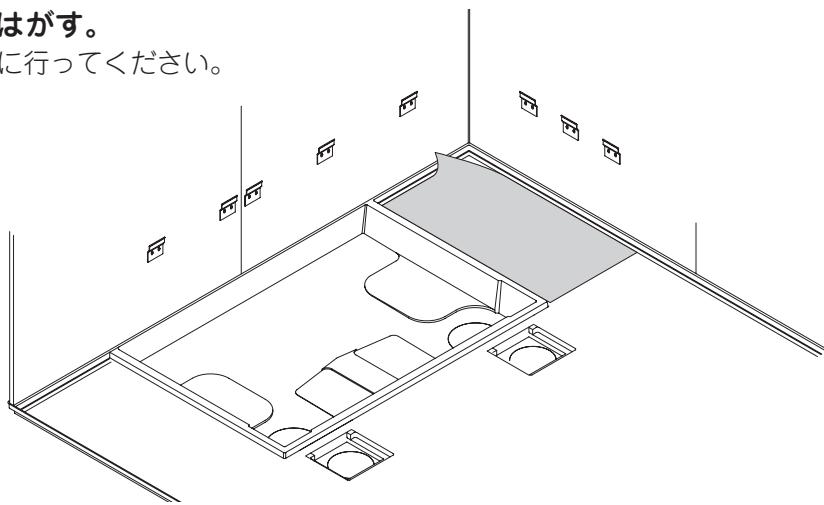
- 排水パッキンはユニットバスルームに浴槽設置する直前に、取り付けてください。
- 浴槽排水口裏面および浴槽下床パン排水口にゴミの付着がない事を確認してください。
- 排水パッキンのたおれ／ずれなどがない事を確認してください。



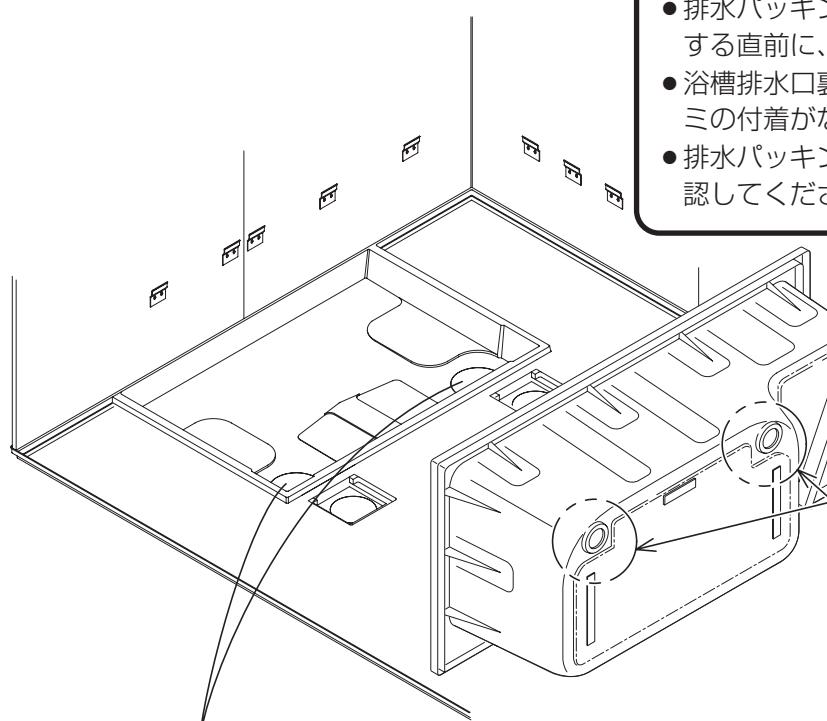
9 排水パッキンの取り付け

①養生シートをはがす。

※必ず据え付け前に行ってください。



②浴槽を床パン据え付け部に仮置きし、排水パッキンを取り付ける。



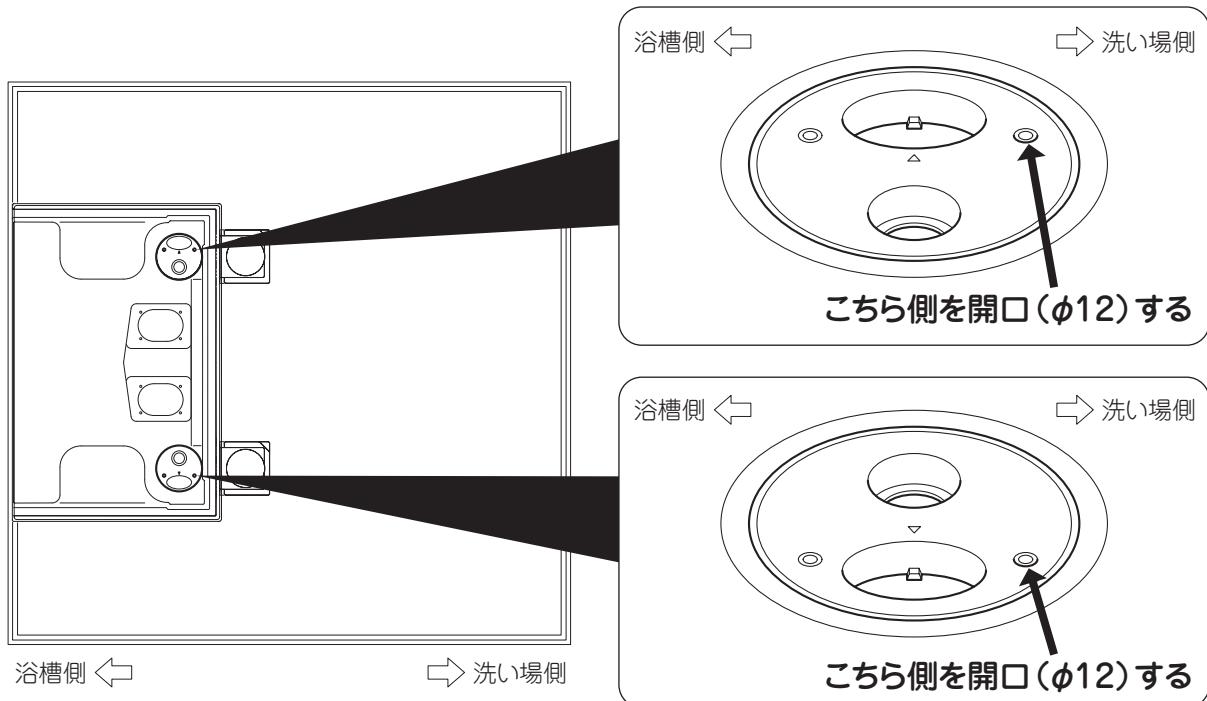
取付設置上のお願い

- 排水パッキンはユニットバスルームに浴槽設置する直前に、取り付けてください。
- 浴槽排水口裏面および浴槽下床パン排水口にゴミの付着がない事を確認してください。
- 排水パッキンのたおれ／ずれなどがない事を確認してください。



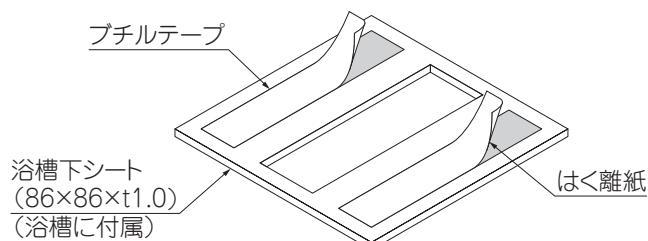
10 フロート弁付き目皿の前加工

- ・浴槽据え付け前行なってください。
- ①浴槽に付いているフロート弁付き目皿のポップアップ排水ボタン側（片方のみ）を、 $\phi 12$ で穴開口する。
- ・洗い場側に来る方を開口してください。
- ②浴槽下床パン排水口に取り付ける。
- ・フロート弁は外しておいてください。浴槽据え付け後に取り付けます。



11 浴槽下シートの取り付け (W1600浴槽のみ)

- ①浴槽下シートにブチルテープをはり付けて、はく離紙をはがす。



- ②浴槽下シートを浴槽床パンの浴槽脚載せ部にはり付ける。

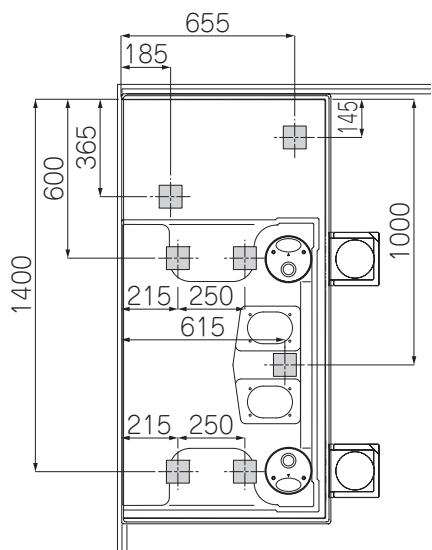
・図の位置にはり付けてください。

床パンの図の位置に

浴槽下シート(GVAY871)(浴槽小物セットに付属)を置いてください。

■の位置に

浴槽下シート
(GVAY871)
86x86(t1)
を置く。



12 浴槽の据え付け

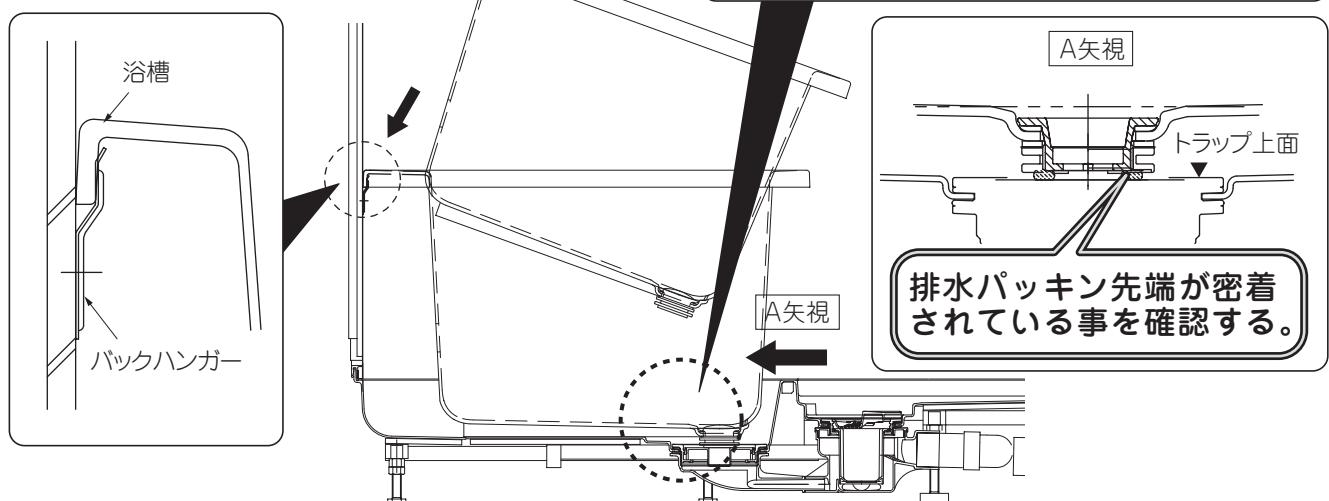
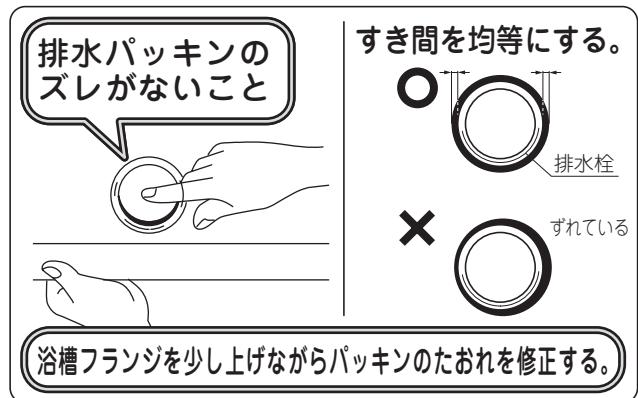
取付設置上のお願い

- 浴槽を据え付ける時点で必ず浴槽への追い焚き釜工事を行なってください。(浴槽据え付け後の工事はできません。)

①浴槽をバックハンガーにはめ込み、据え付ける。

- 浴槽据え付け時に、排水パッキンを破損しないようにしてください。

②浴槽据え付時に排水パッキンを確実にトラップ上面に密着させる。



⚠ 注意



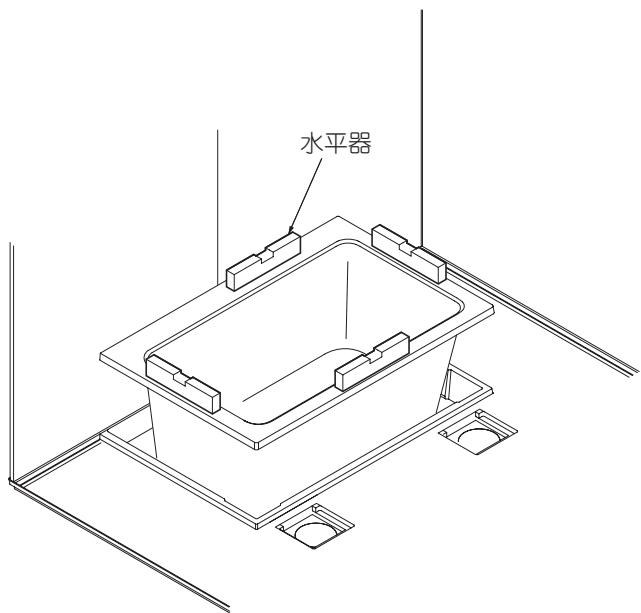
- 排水パッキンが密着されてる事、ゴミ詰まりが無い事を確認ください。
(排水パッキンが密着されてなかつたり、ゴミ詰まりがあると、浴槽排水時に、床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下排水管を通じてドア排水口へ流出し、水もれの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 排水パッキンはユニットバスルームに浴槽設置する直前に、取り付けてください。
- 浴槽排水口裏面および浴槽下床パン排水口にゴミの付着のない事。
- 排水パッキンのたれ／ズレなど無きことを確認してください。

W1200浴槽の場合

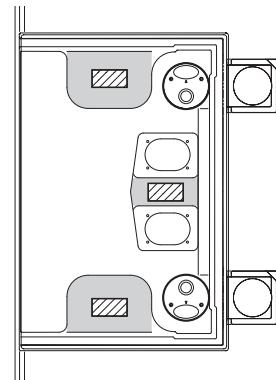
③浴槽のレベルを調整する。



浴槽の高さ調整が必要な場合は、床パンの図の位置に浴槽下用スペーサー(GN7810)(小物セットに付属)を置いてください。

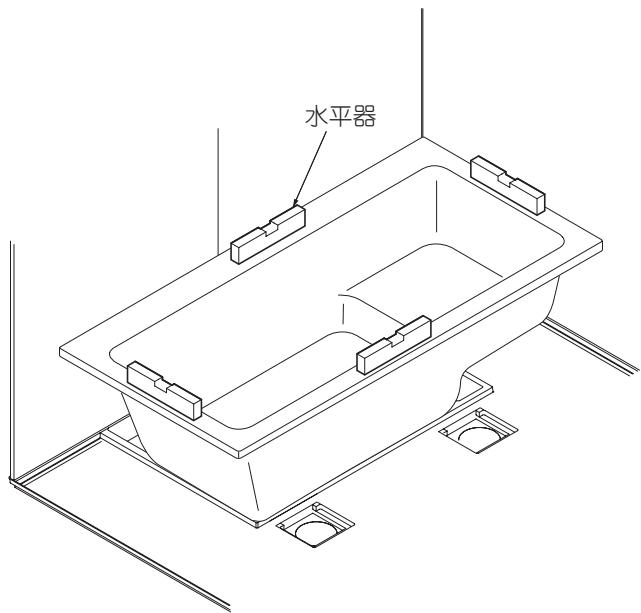
■の位置に
浴槽下用スペーサー
を置く。

浴槽下用スペーサー
(GN7810)
50×100(t1)



W1600浴槽の場合

③浴槽のレベルを調整する。



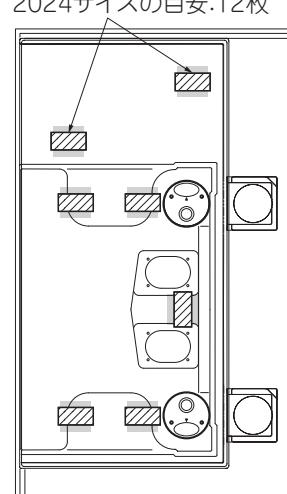
床パンの図の位置に浴槽下用スペーサー(GN7810)(小物セットに付属)を置いて、浴槽の高さ調整をしてください。

■の位置に
浴槽下用スペーサー
を置く。

浴槽下用スペーサー
(GN7810)
50×100(t1)

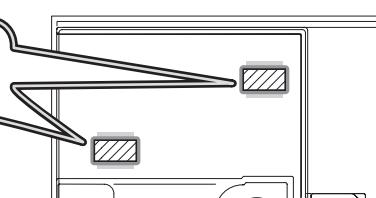


ステップ部分は
ガタツキがないように
すき間を埋める。



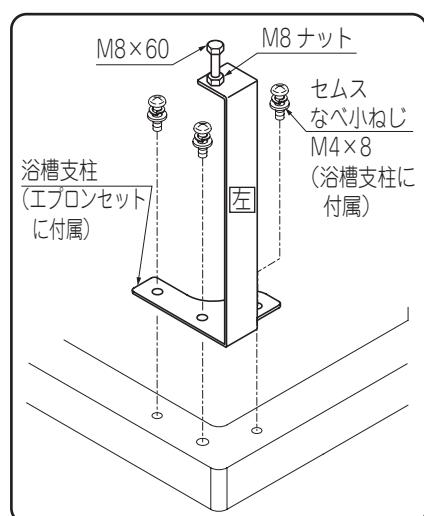
④シーリング材を塗布する。

シーリング材
を塗布

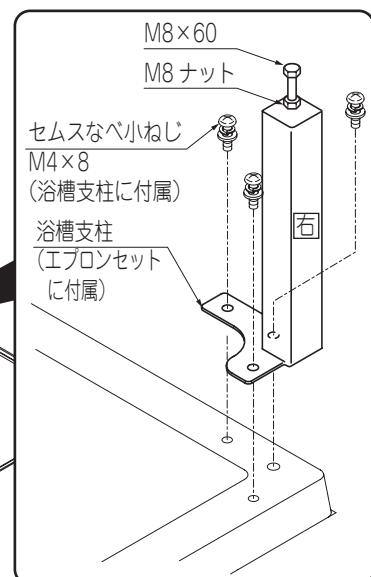
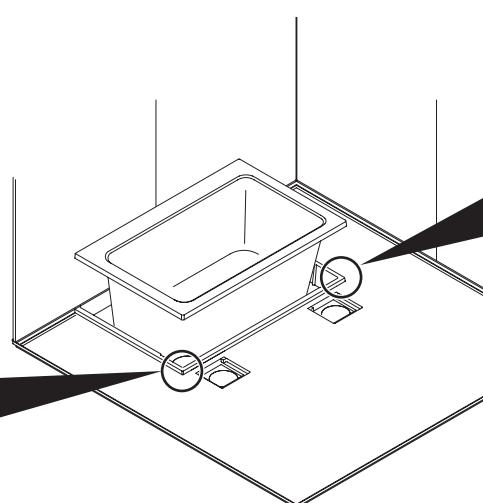


13 浴槽支柱の取り付け

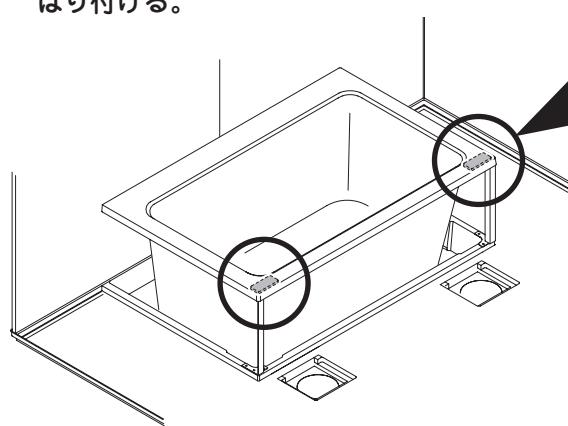
①床パンに浴槽支柱を取り付ける。



(図は2020 サイズの場合)

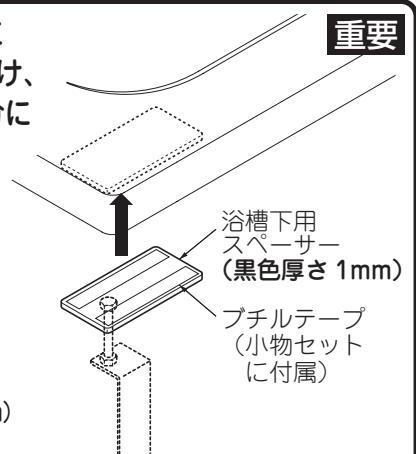
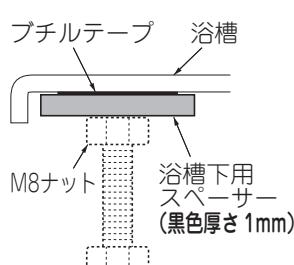


②浴槽正面の裏面に、浴槽下用スペーサーをはり付ける。

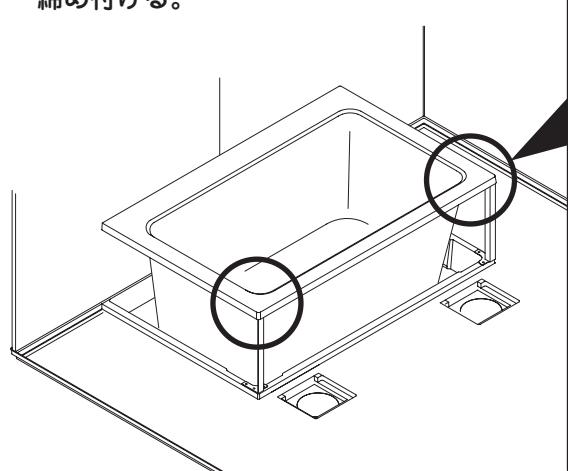


**浴槽下用スペーサーに
ブチルテープをはり付け、
M8ナットが当たる部分に
はり付ける。**

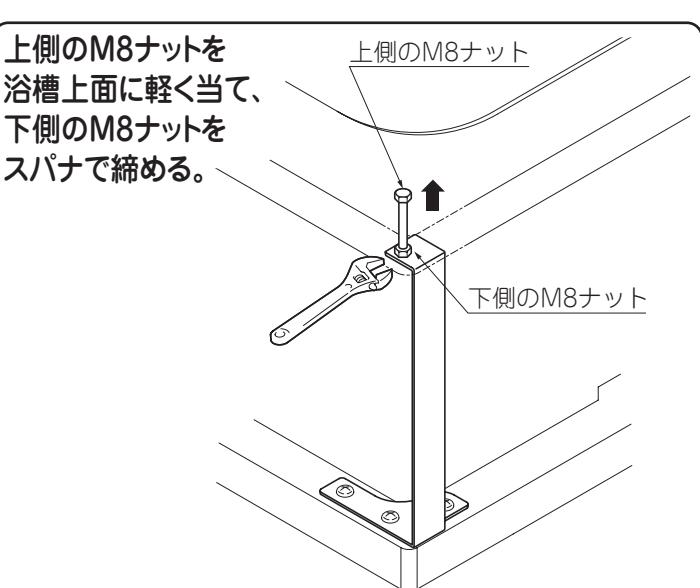
重要



③上側のM8ナットを浴槽上面に軽く当てた
状態で、下側のM8ナットをスパナで
締め付ける。



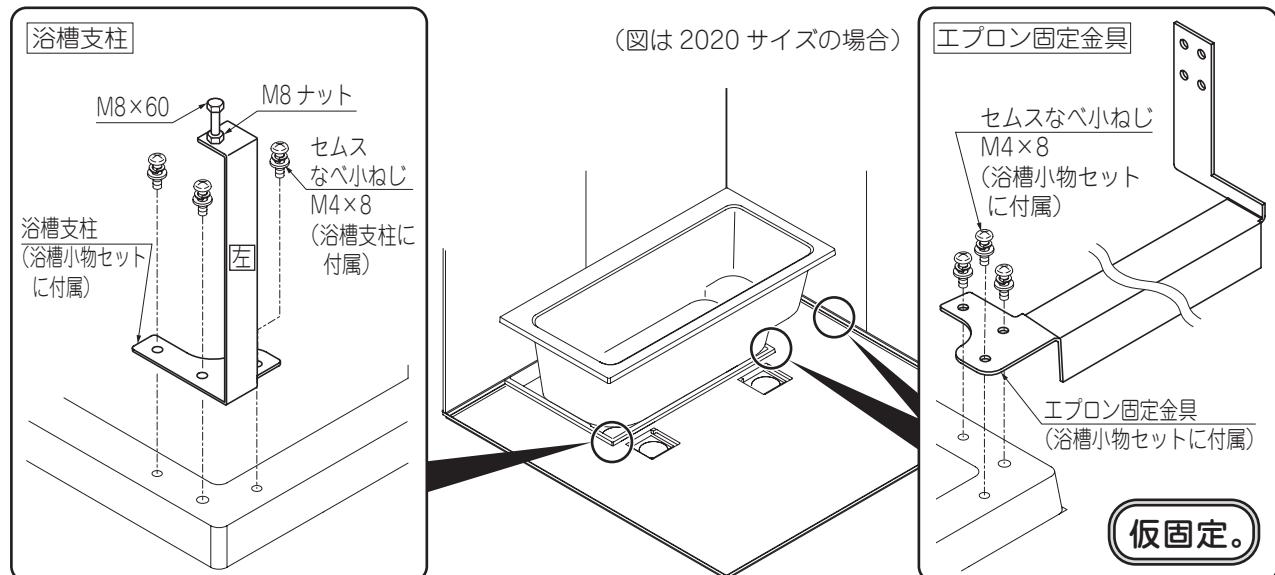
**上側のM8ナットを
浴槽上面に軽く当て、
下側のM8ナットを
スパナで締める。**



W1200浴槽の場合

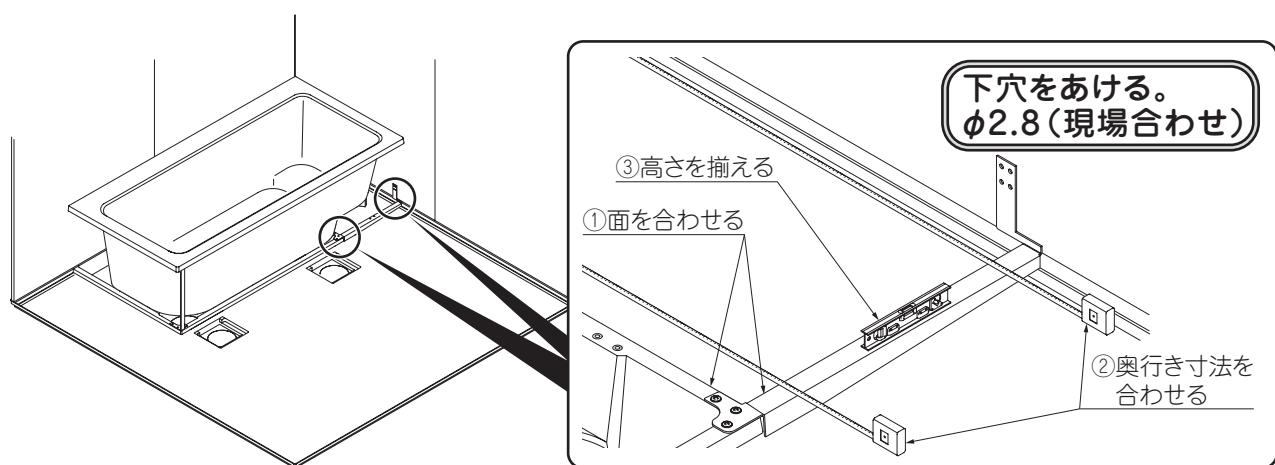
14 浴槽支柱の取り付け

①床パンに浴槽支柱・エプロン固定金具を取り付ける。

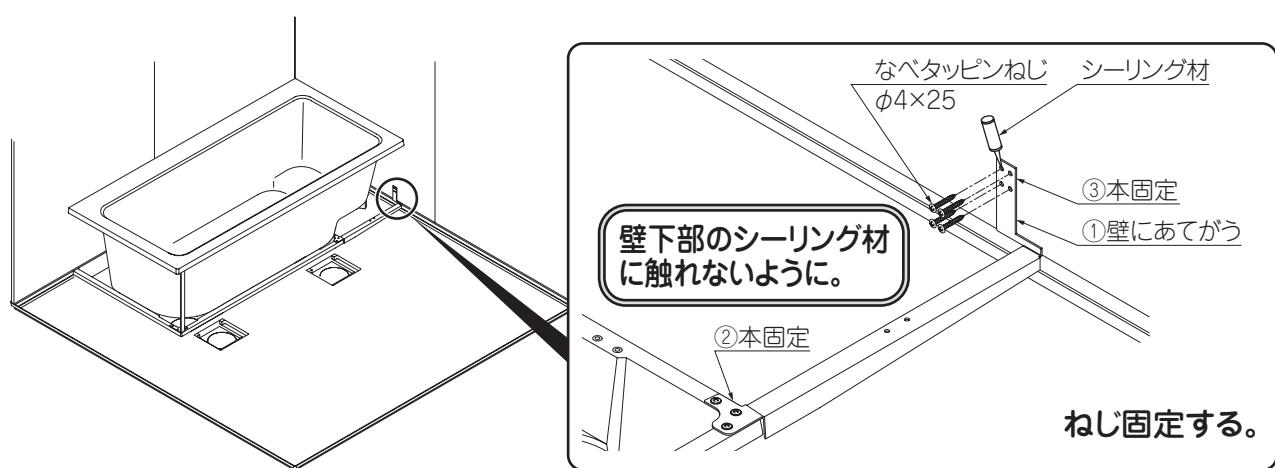


W1600浴槽の場合

②エプロン固定金具がエプロンセキと同じ高さになるよう、高さを調整する。



③エプロン固定金具を壁パネルに固定する。

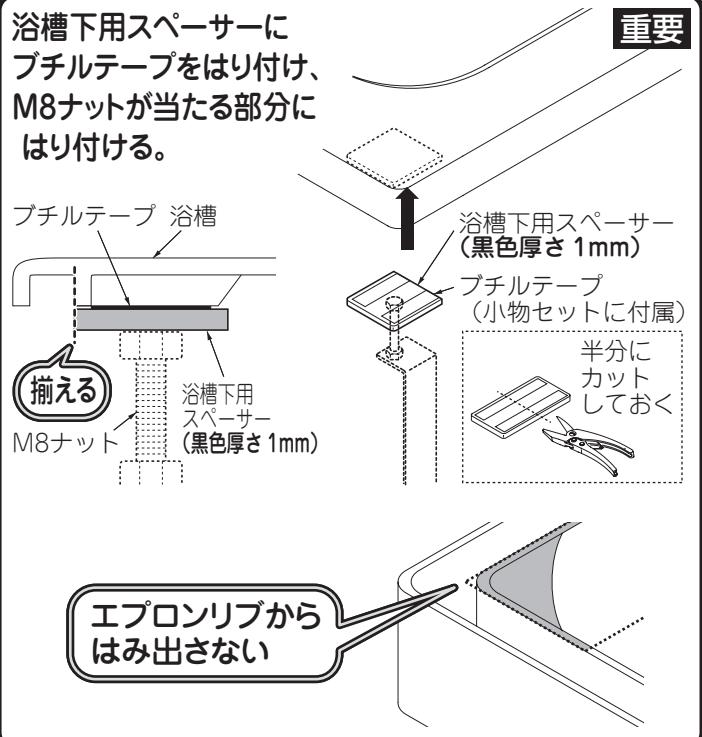
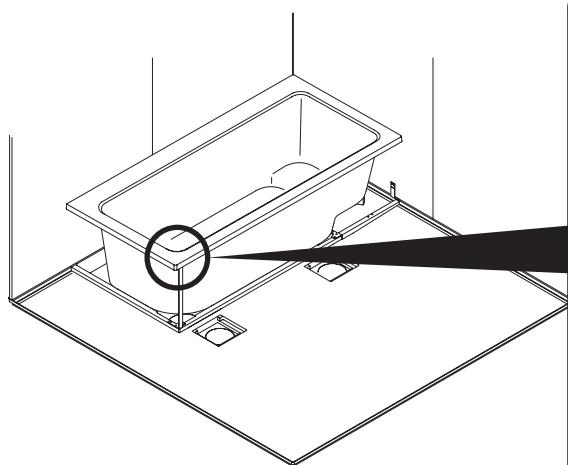


W1600浴槽の場合

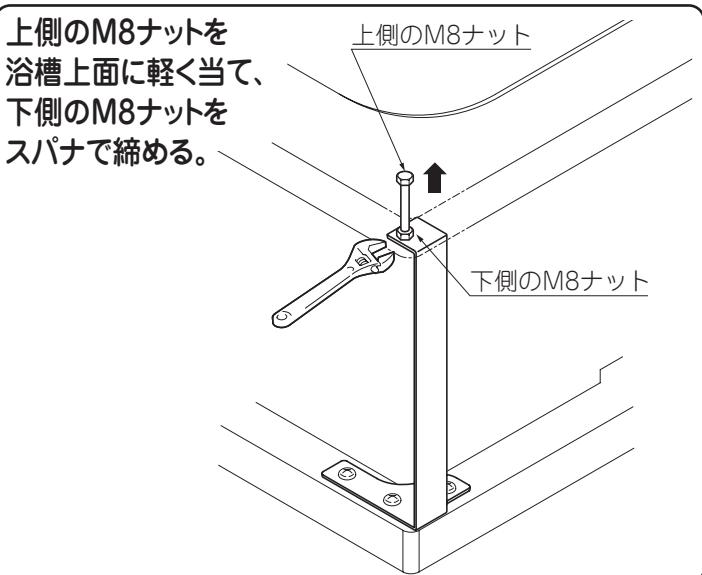
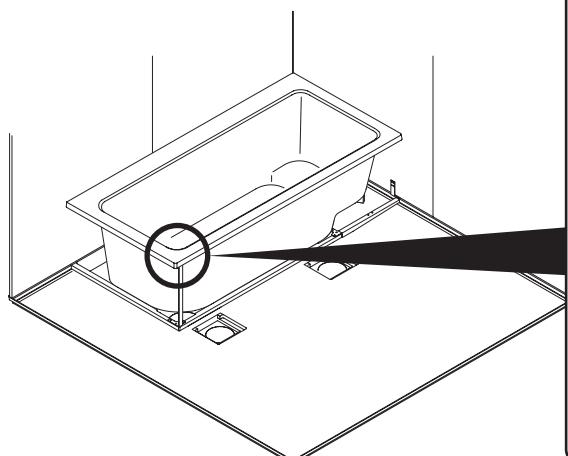
④浴槽正面の裏面に、浴槽下用スペーサーをはり付ける。

・エプロンリブからはみ出さないようにはり付ける。

※はみ出ると、エプロンの取り付けが行いにくくなります。



⑤上側のM8ナットを浴槽上面に軽く当てた状態で、下側のM8ナットをスパナで締め付ける。

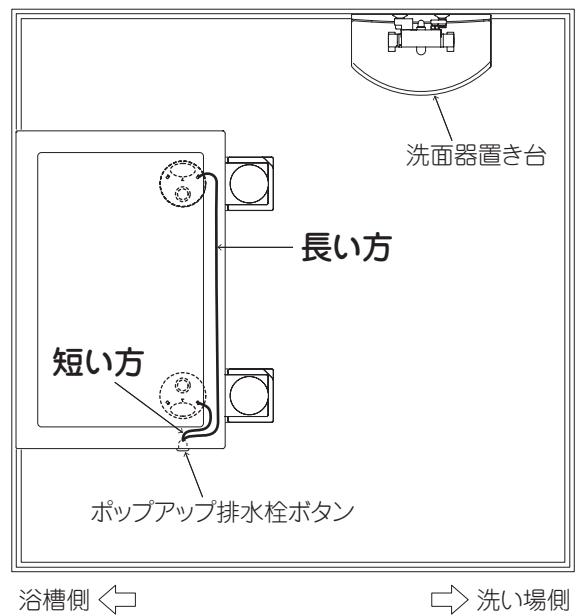


15 ポップアップ排水栓の取り付け

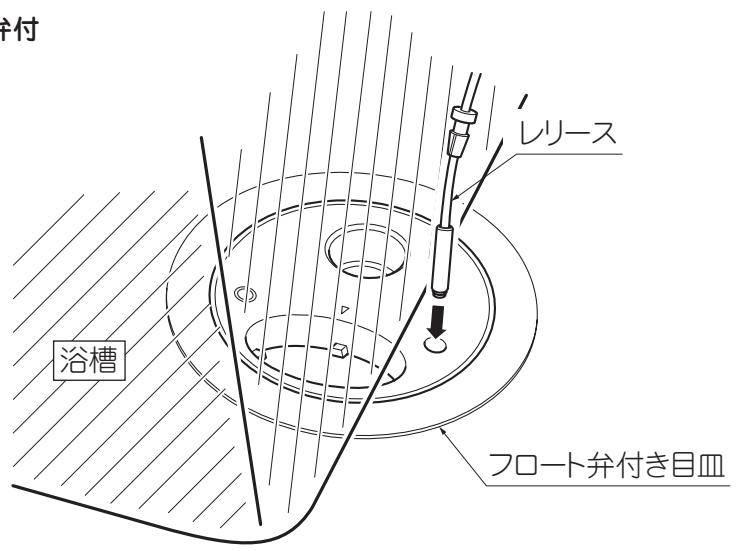
- ①ポップアップ排水栓用レリースの取り付け位置を確認する。

ポップアップ排水栓ボタンに**近い**：**短いレリース**
ポップアップ排水栓ボタンに**遠い**：**長いレリース**

※ポップアップ排水栓ボタンは、洗面器置き台と反対側の短尺エプロンに取り付けます。

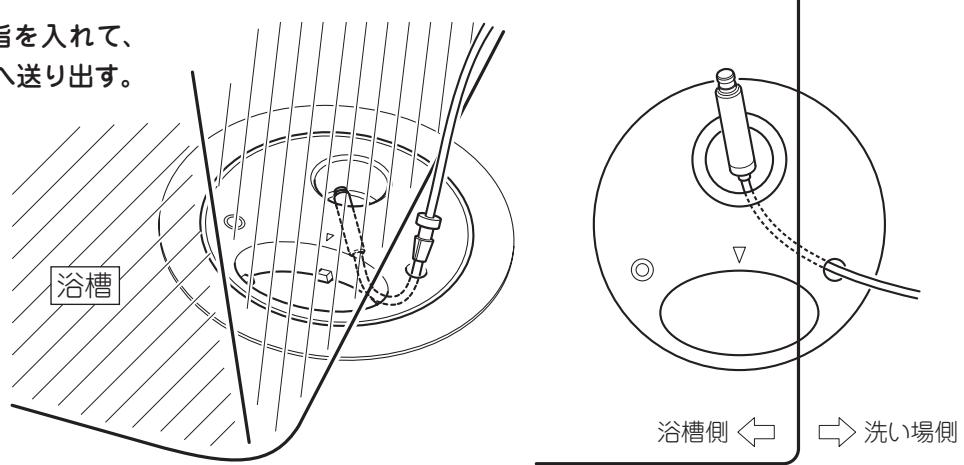


- ②ポップアップ排水栓用レリースの先端をフロート弁付き目皿に開口した穴に差し込む。

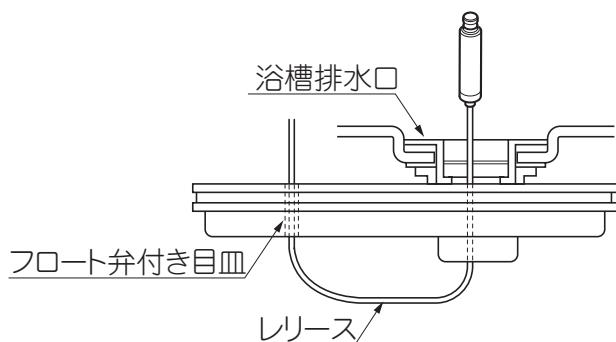


〈真上から見た図〉

- ③フロート弁取り付け穴から指を入れて、レリースの先端を浴槽排水口へ送り出す。

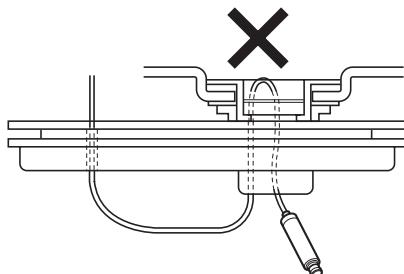


④浴槽排水口からレリースの先端を引っ張り出す。



取付設置上のお願い

- レリースのワイヤー部分を折り曲げて引き出さないでください。(ワイヤー部分を折り曲げると、ポップアップ排水栓が開閉しにくくなることがあります。)



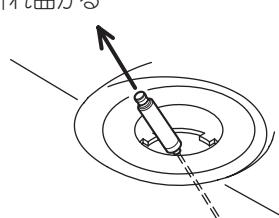
ワイヤー部分を折り曲げない。

!**注意**

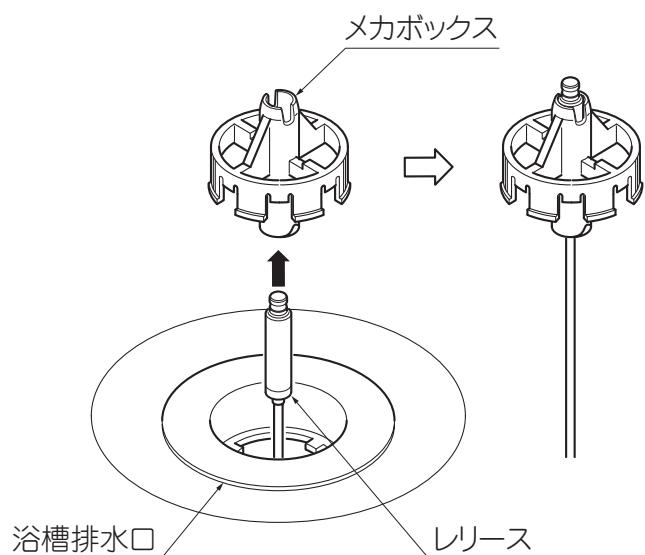


- 浴槽排水口からレリースを引き出す際
無理に引っ張らない
(無理に引っ張るとレリースが折れ曲がる
など、変形して作動不良となります。)

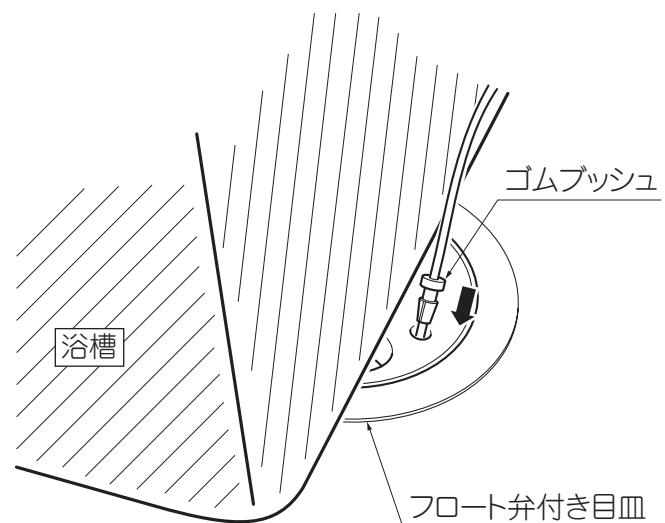
無理に引っ張ると
折れ曲がる



⑤レリース先端の保護先キャップを取りはずし、メカボックスを取り付ける。

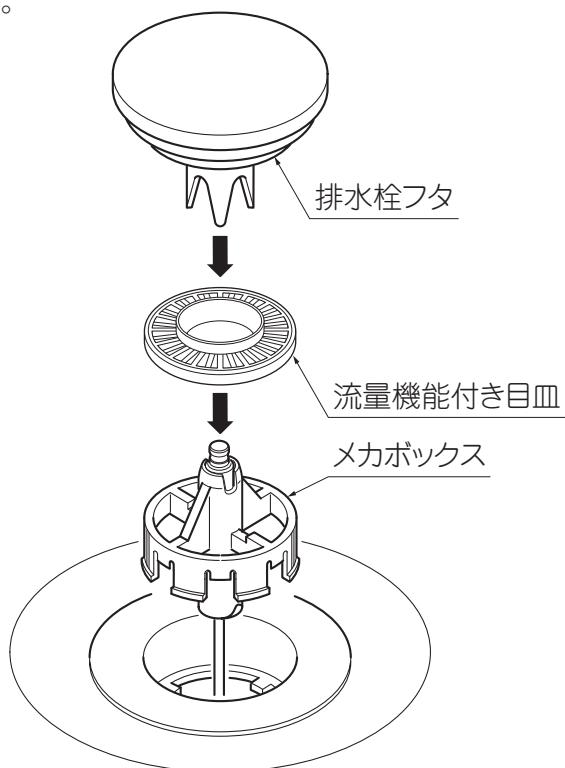


⑦ゴムブッシュをフロート弁付き目皿の穴に押し込み、レリース位置を固定する。



⑥メカボックスを浴槽排水栓に押し込み、レリースの先端に排水栓フタを取り付ける。

- 排水栓フタはカチッと音がするまで押し込んでください。



⑧以上の取り付け作業が終わったら、ポップアップ排水栓を2~3回開閉させて、異常がないかチェックする。
・以下の点をご確認ください。

取付設置上のお願い

- ポップアップ排水ボタンを押すたびに、排水栓フタが正しく上下することを確認してください。
- 排水栓フタが下がった状態の時、スヰンガーブルでできていないことを確認してください。
- ポップアップ排水ボタンを押す際、引っ掛かりや異常に重い感じがしないことを確認してください。
- 水張り検査を行ない、排水栓フタから水抜けがないことを確認してください。

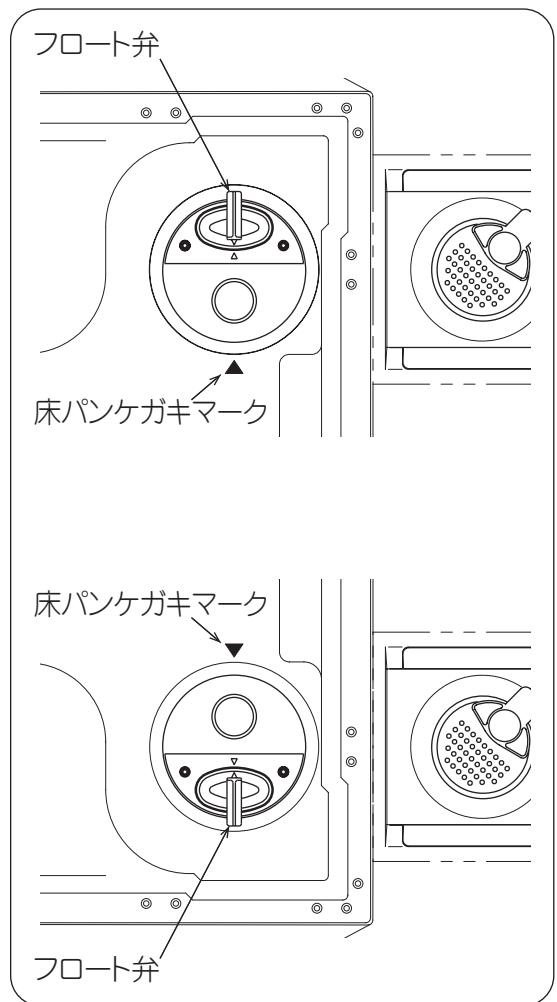
16 フロート弁の取り付け

- ①浴槽排水口と接続したフロート弁付き目皿にフロート弁を取り付ける。

!**注意**



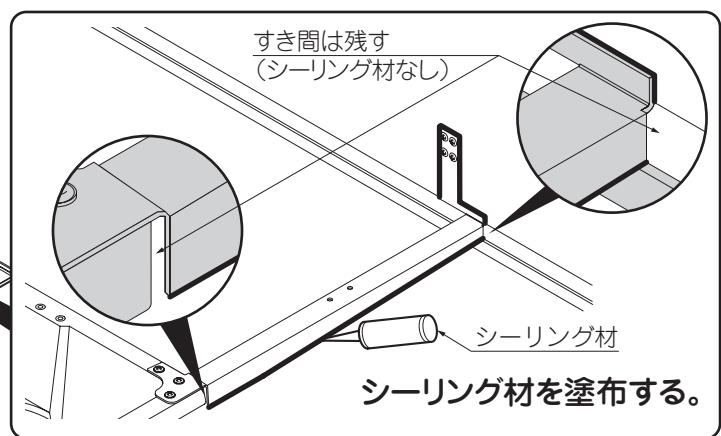
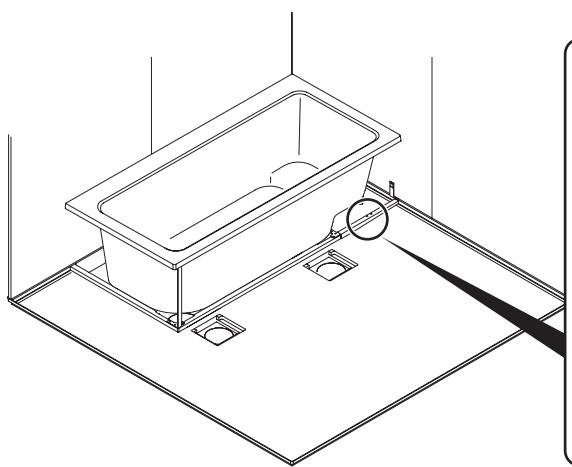
- フロート弁は床パンのケガキ（△マーク）に合わせて取り付けてください。
(位置を合わせないと、浴槽設置後、浴槽排水口とトラップ排水口の穴がずれ、浴槽排水時に床パン浴槽側にあふれた水が、ドア下排水管を通じてドア排水口へ流出し、水漏れの原因となります。)



17 エプロン固定金具へのシーリング材充てん

- ①エプロン固定金具と洗い場床パンの間にシーリング材を塗布する。

W1600浴槽の場合



18 エプロン支持具の取り付け

- ①床パンのセキに、エプロン支持具を小型丸座金組込み十字穴付きトラス小ねじ（ばね座金、平座金組込みねじ）で取り付ける。

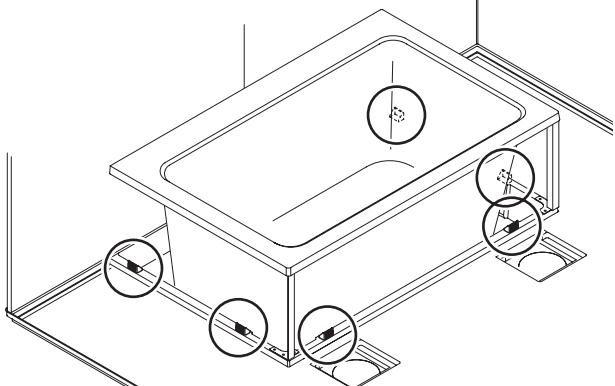
⚠ 注意



- ねじは、必ず手回しドライバーで固定する。
電動ドライバー・インパクトドライバーの使用禁止。
(ねじの空回りや素地の破壊により固定フランジを確実に取り付けられず、水漏れの原因となります。)

<W1200浴槽>

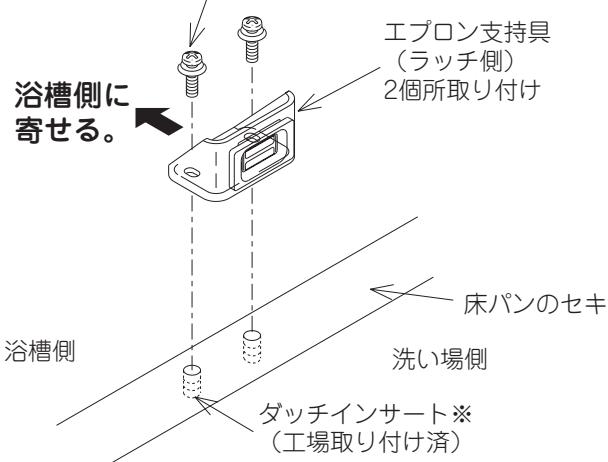
※図は2020サイズの場合



○部

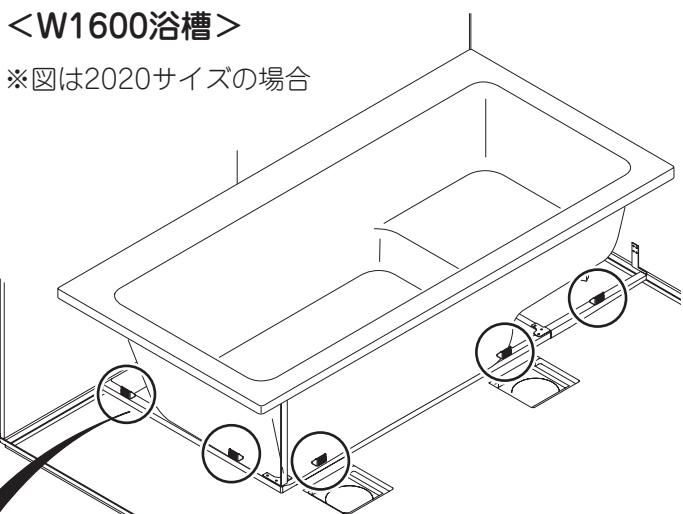
2024・2020サイズ：6個所
1624・1620・1616サイズ：4個所
1216サイズ：2個所

小型丸座金組込み十字穴付きトラス小ねじ
M4×8 SUS
(エプロン支持具セットに同梱)



<W1600浴槽>

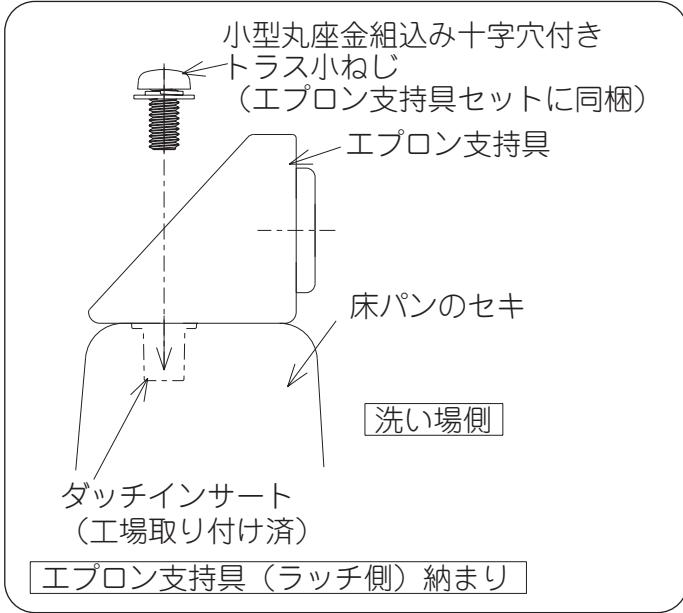
※図は2020サイズの場合



○部

2024・2020サイズ：5個所

注) エプロン支持具(ラッチ側) 取り付け方向に注意
・床パンセキに2個所取り付ける。



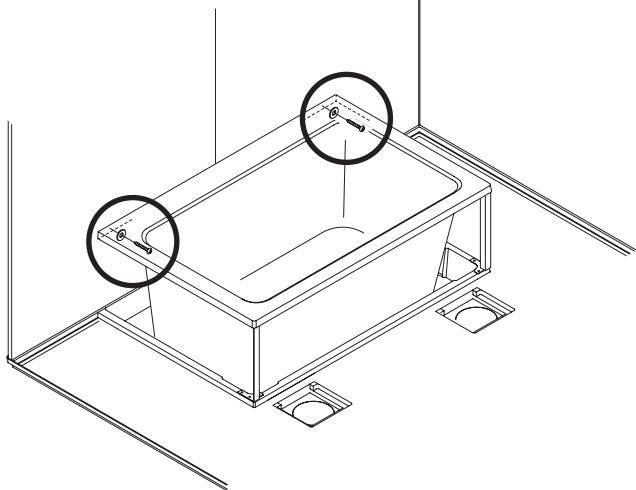
19 浴槽のねじ固定

①付属のタッピンねじで浴槽と壁を固定する。(図の○部の個所を固定してください。)

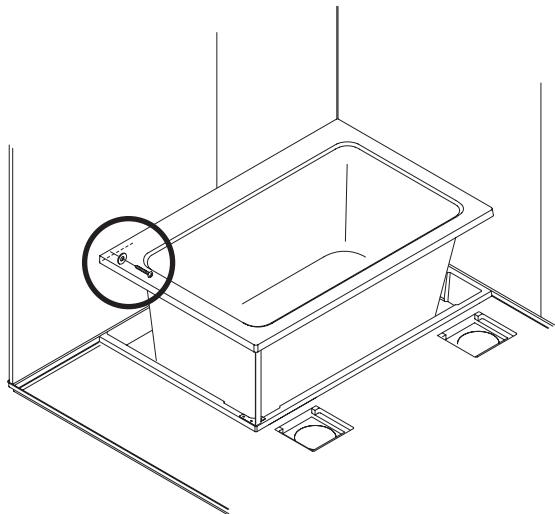
*インパクトドライバーは使用しないでください。

*W1600浴槽の場合は作業不要です。

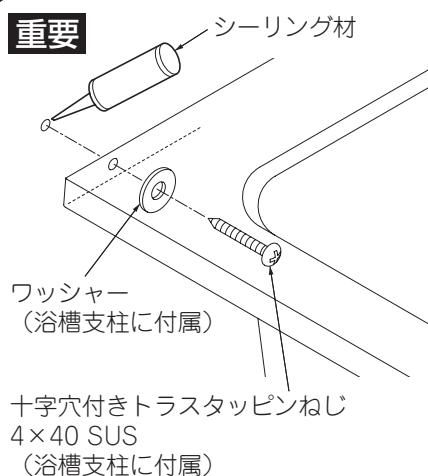
<2024・2020サイズの場合>



<1616・1620・1624サイズの場合>



重要



注意



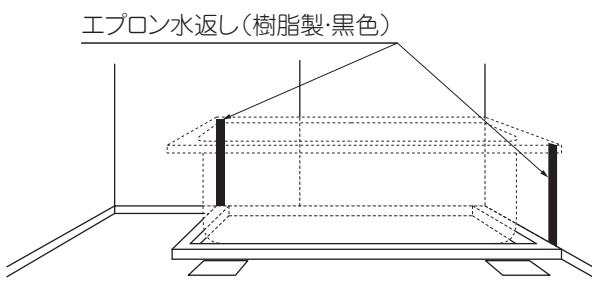
- 浴槽のねじ固定は確実に行ってください。
(ねじで固定しないと浴槽が倒れて、転倒やケガの原因となります。)
- 器具取り付けの際、下穴に必ずシーリング材を充てんしてください。
(器具取り付け穴にシーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。)

20 エプロン水返しの取り付け

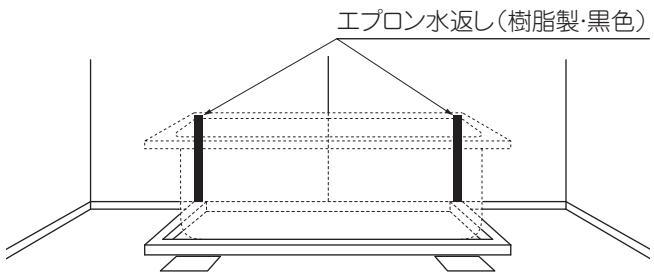
- ①浴槽固定部の壁に、エプロン水返しを取り付ける。
※1216サイズは、エプロン水返しがありません。

◆エプロン水返し取り付け位置

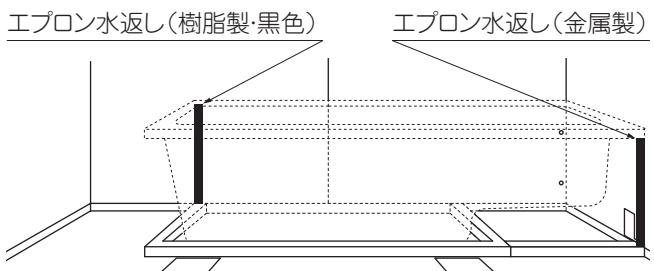
<1624・1620・1616サイズ>



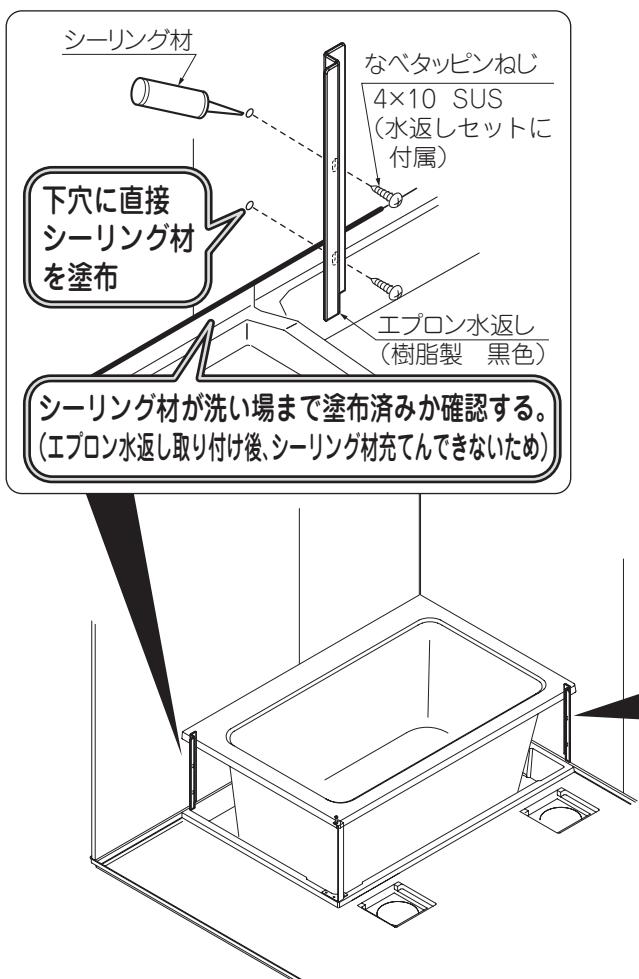
<2024・2020サイズ>W1200浴槽



<2024・2020サイズ>W1600浴槽



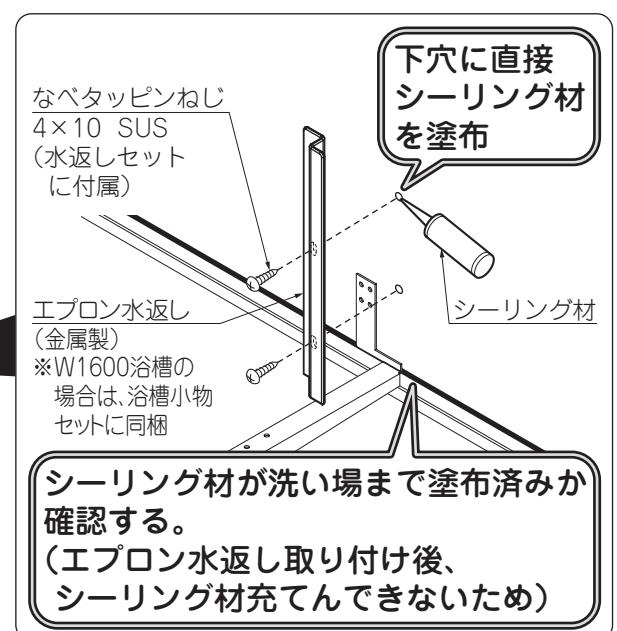
※エプロン水返しの向きに注意してください。



⚠ 注意

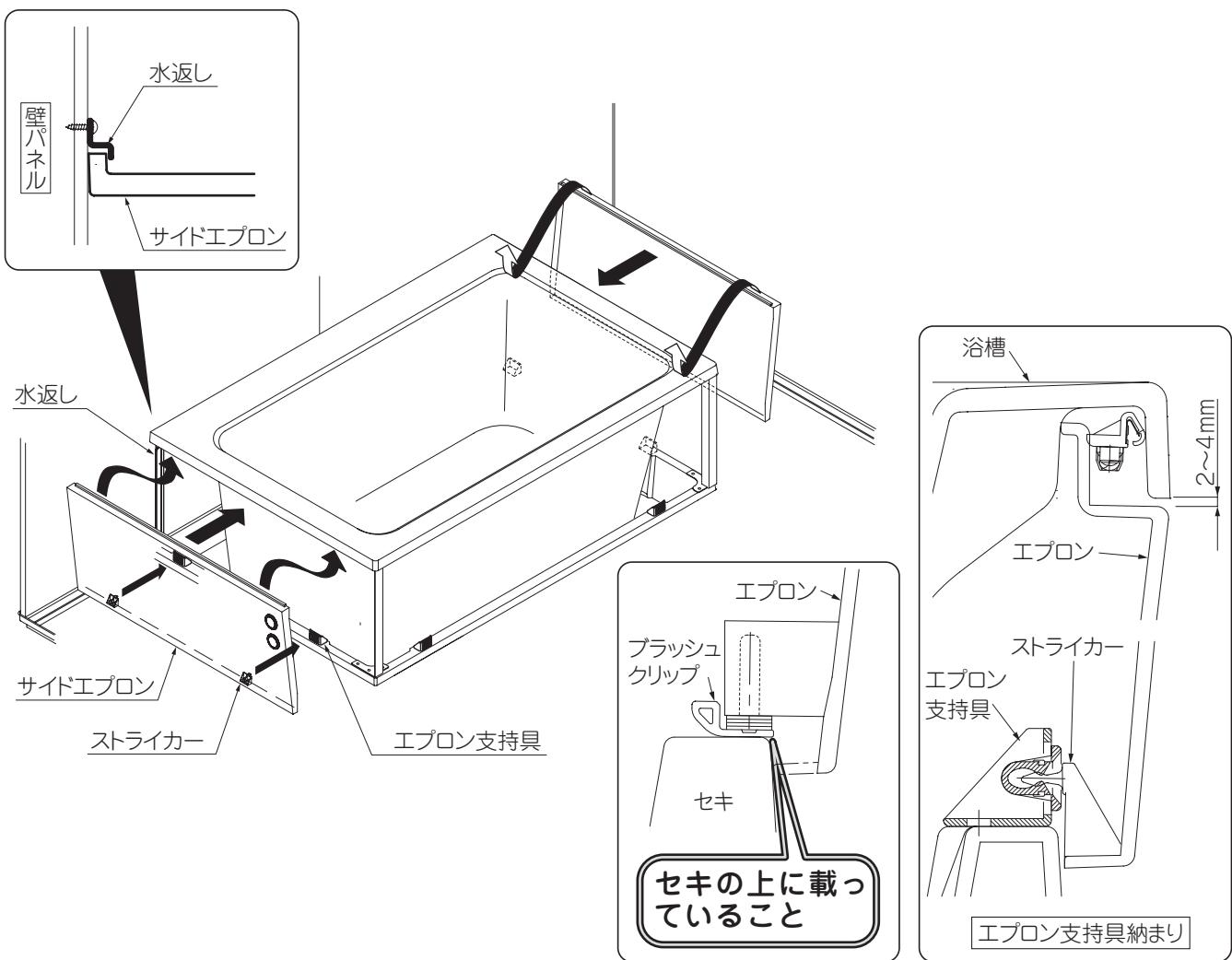


- ねじ固定の際、下穴に必ずシーリング材を充てんしてください。
(シーリング材を充てんしないと、水もれの原因となります。)



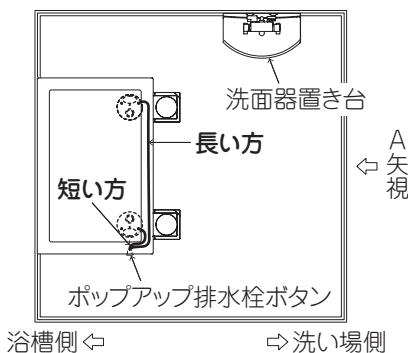
21 サイドエプロンの取り付け

- ①サイドエプロンを浴槽フランジにはめ込む。
- ②エプロン下端にあるストライカーを、エプロン支持具にはめ込む。

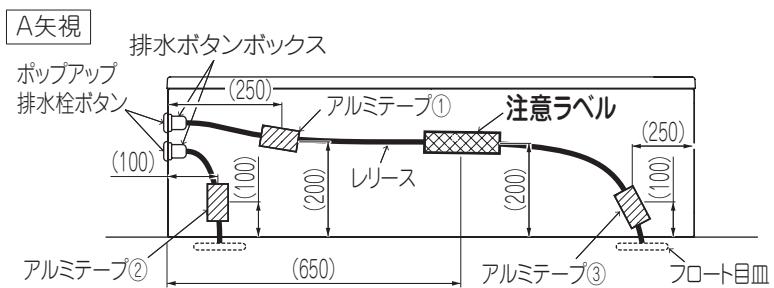


22 ポップアップ排水栓ボタンの取り付け

- ①排水ボタンボックスの取り付け位置を確認する。



ポップアップ排水栓ボタンから近い：下側の開口に取り付け
ポップアップ排水栓ボタンから遠い：上側の開口に取り付け

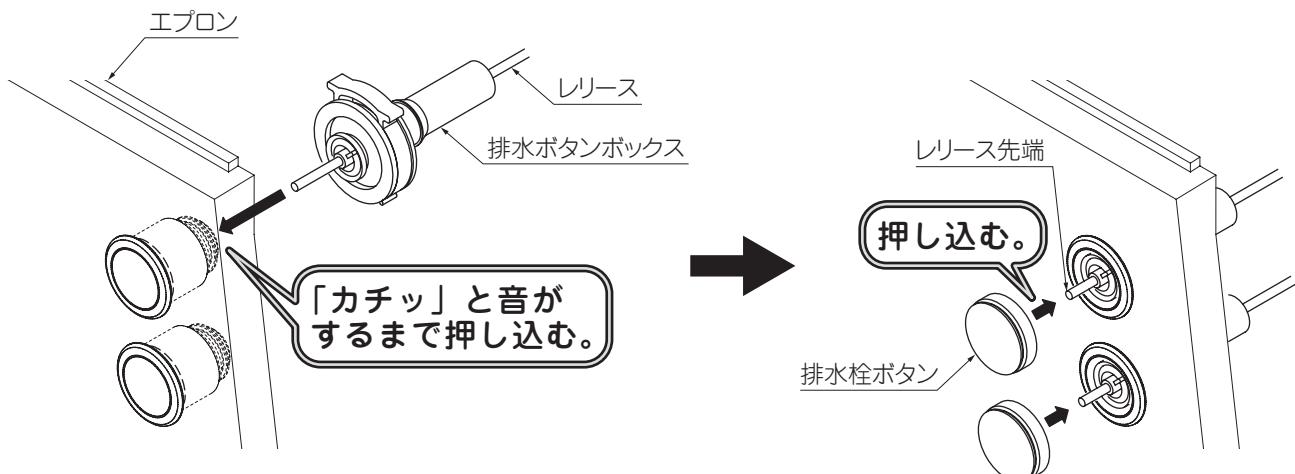


※必ず、アルミテープ・注意ラベルをはり付ける。
※アルミテープ・注意ラベルははり直しをしない。

- ②排水ボタンボックスをエプロン裏面にカチッと音がするまで差し込む。

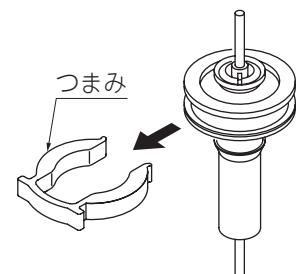
・斜めにならないように、まっすぐ差し込んでください。

- ③排水栓ボタンをレリース先端に押し込んで取り付ける。



取付設置上のお願い

- 万一、もう一度外したい場合は、レリースのつまみを持って引っ張ると、つまみがとれてレリースが外れます。取り付ける際は、つまみを戻してから差し込んでください。
- 取付作業終了後に、排水栓を2～3回開閉させて、異常がないかを確認してください。

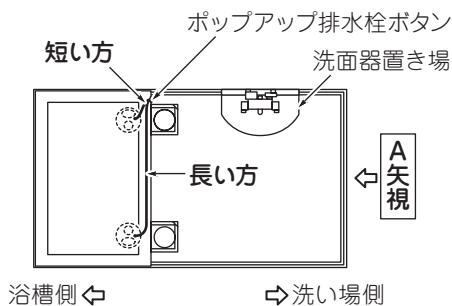


- ④レリースにアルミテープ（ワイヤーセットに付属）と注意ラベルをはり付ける。

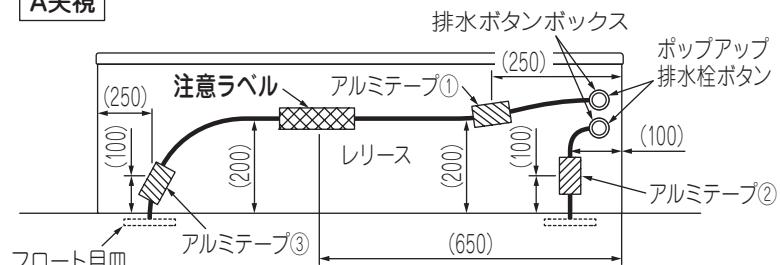
23 ポップアップ排水栓ボタンの取り付け

- ①排水ボタンボックスの取り付け位置を確認する。

ポップアップ排水栓ボタンから近い：下側の開口に取り付け
ポップアップ排水栓ボタンから遠い：上側の開口に取り付け



A矢視

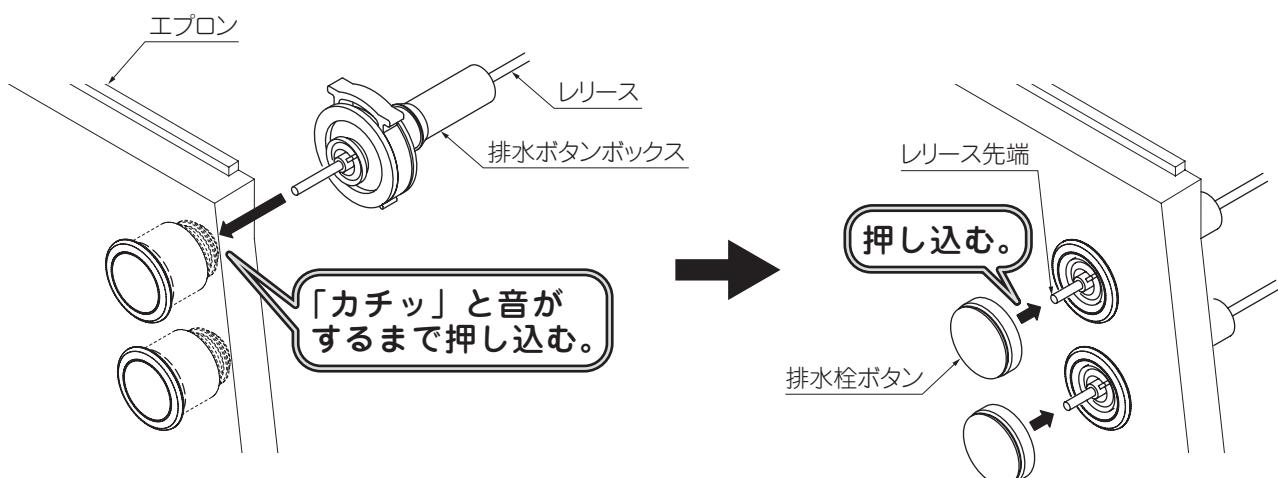


※必ず、アルミテープ・注意ラベルをはり付ける。
※アルミテープ・注意ラベルははり直しをしない。

- ②排水ボタンボックスをエプロン裏面にカチッと音がするまで差し込む。

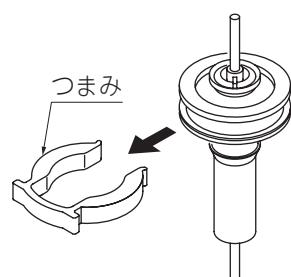
・斜めにならないように、まっすぐ差し込んでください。

- ③排水栓ボタンをレリース先端に押し込んで取り付ける。



取付設置上のお願い

- 万一、もう一度外したい場合は、レリースのつまみを持って引っ張ると、つまみがとれてレリースが外れます。取り付ける際は、つまみを戻してから差し込んでください。
- 取付作業終了後に、排水栓を2~3回開閉させて、異常がないかを確認してください。

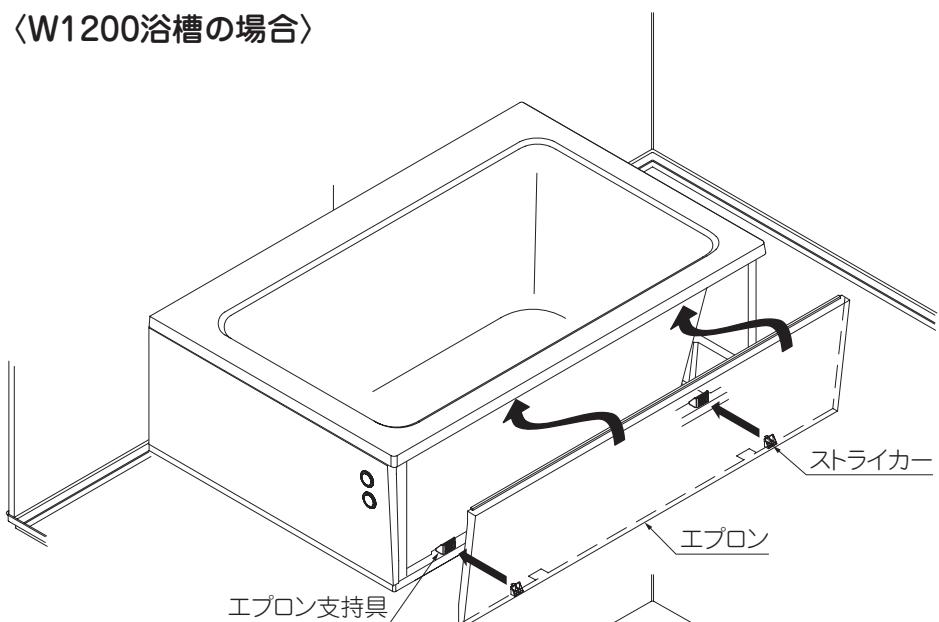


- ④レリースにアルミテープ（ワイヤーセットに付属）と注意ラベルをはり付ける。

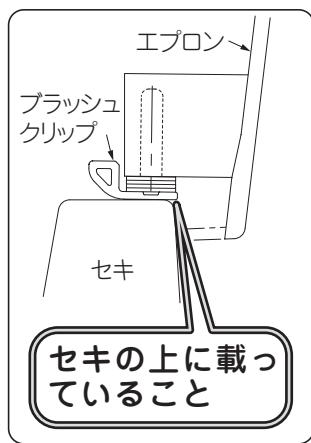
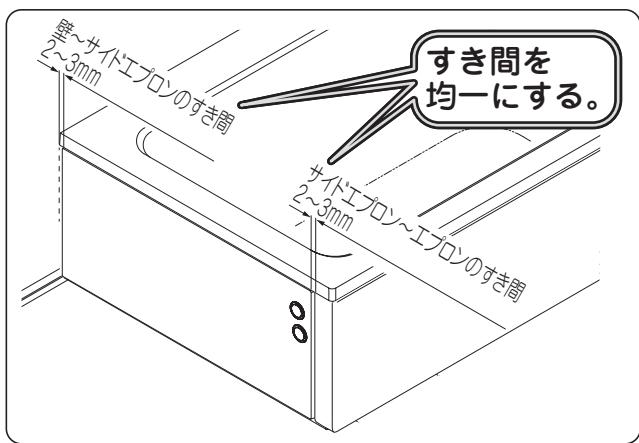
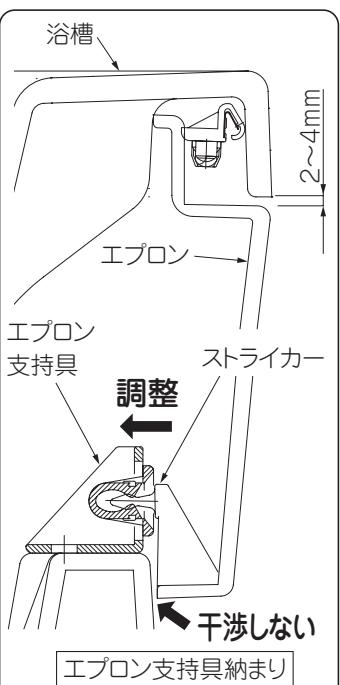
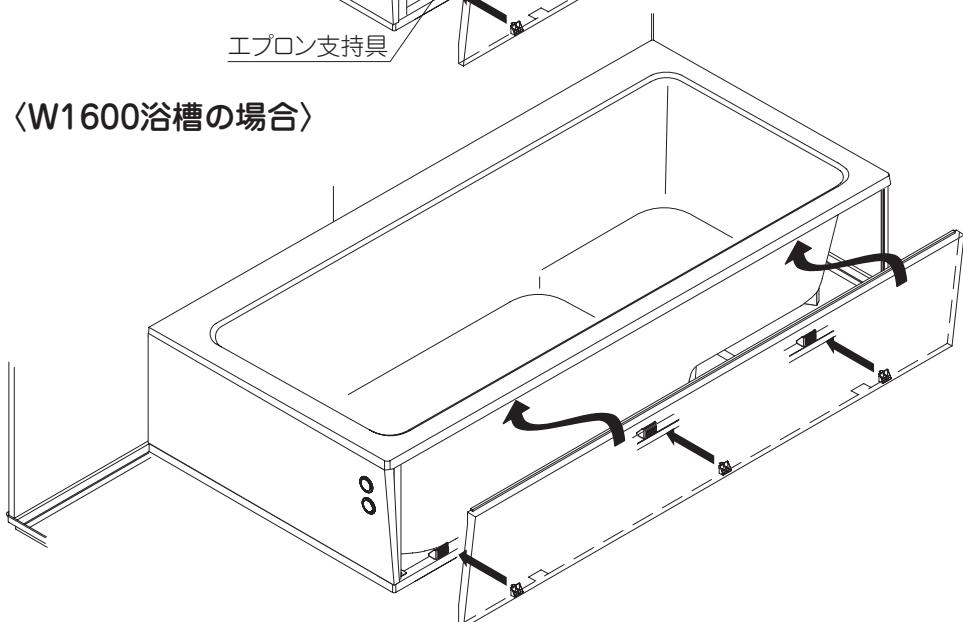
24 エプロンの取り付け

- ①エプロンを浴槽フランジにはめ込む。
- ②エプロン下端にあるストライカーを、エプロン支持具にはめ込む。

〈W1200浴槽の場合〉



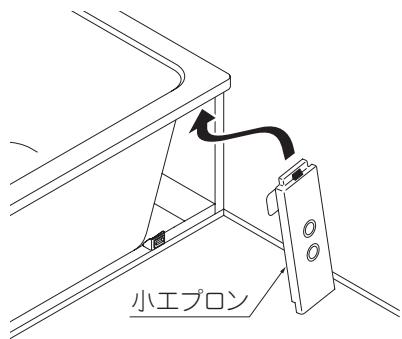
〈W1600浴槽の場合〉



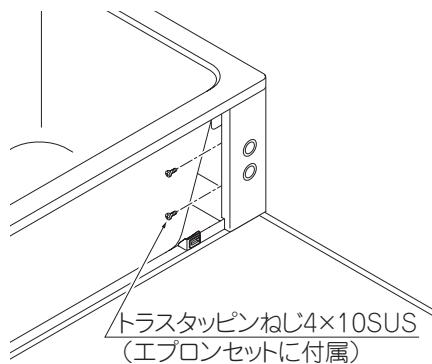
※エプロンの納まりが悪い場合は、
エプロン支持具をスライドさせて
調整してください。
※調整は、奥側から行ってください。

25 エプロンの取り付け

①小エプロンを浴槽フランジにはめ込む。

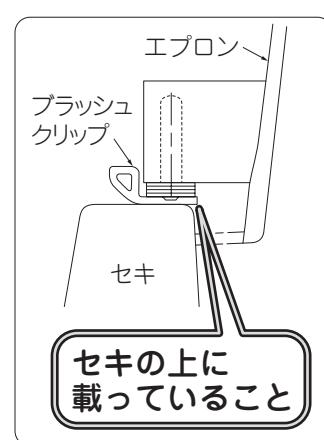
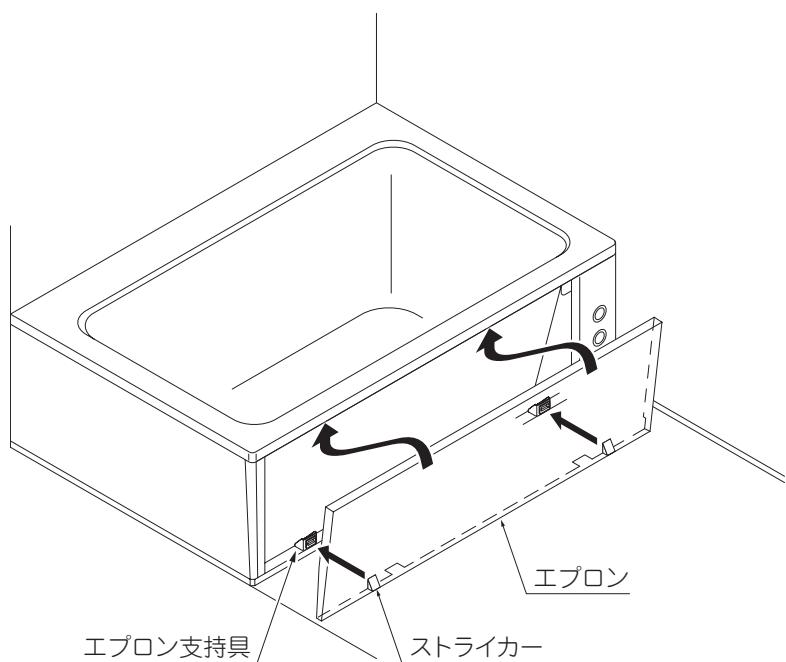


②小エプロンを壁パネルに取り付ける。



③大エプロンを浴槽フランジにはめ込む。

④大エプロン下端にあるストライカーを、エプロン支持具にはめ込む。



※エプロンの納まりが悪い場合は、エプロン支持具をスライドさせて調整してください。

※調整は、奥側から行ってください。

26 エプロン高さ調整

① <エプロン下スペーサーを使用する場合>

浴槽フランジ下端とエプロンのすき間が大きい場合、また、エプロンのすき間が2~4mm内に入らない場合はエプロン支持具に、付属のエプロン下スペーザーを使い、正しい納まりに調整する。

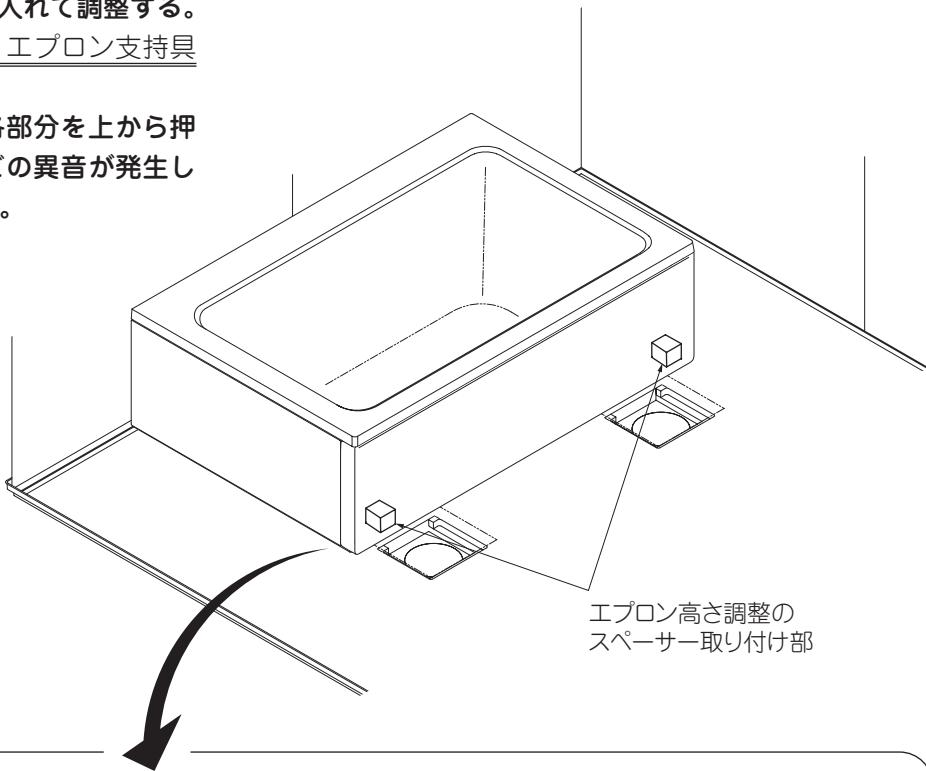
- すき間は均一に調整してください。(2mm以内の不均一については問題ありません。)



② 下図の位置に、スペーザーを入れて調整する。

- すき間調整用スペーザーは、エプロン支持具セットに付属しています。

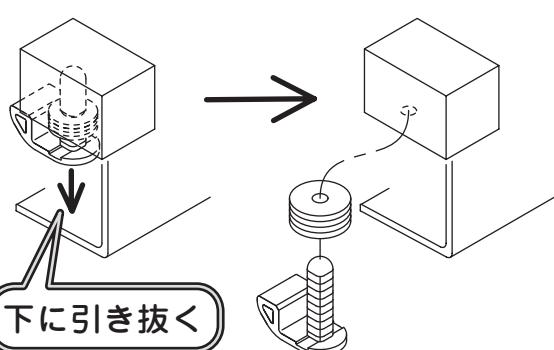
*施工後に浴室のふちなど、各部分を上から押さえ、使用時にきしみ音などの異音が発生しないことを確認してください。



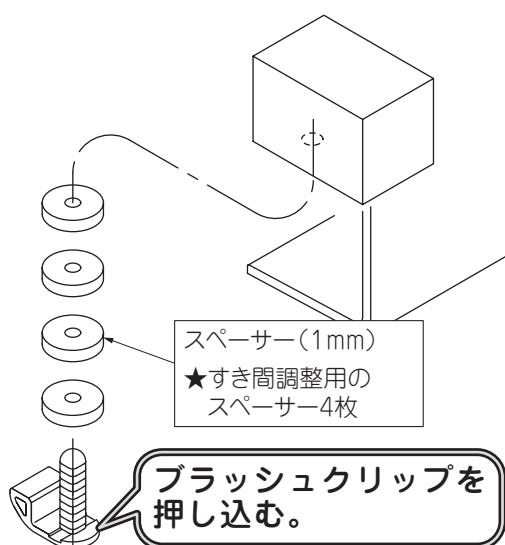
【プラスチッククリップの外しかた】

★スペーザーは、標準4mm(1mm品×4枚)で付けます。
必要に応じて高さ調整してください。→4mm+3mmの
高さ調整可能です。(エプロン支持具セットに同梱)

- エプロンを高くする場合
…標準スペーザー4mm+付属スペーザーを追加。
- エプロンを低くする場合
…標準スペーザー4mmを外す。



【プラスチッククリップの付けかた】



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

27 シーリング材充てん（浴槽周り）

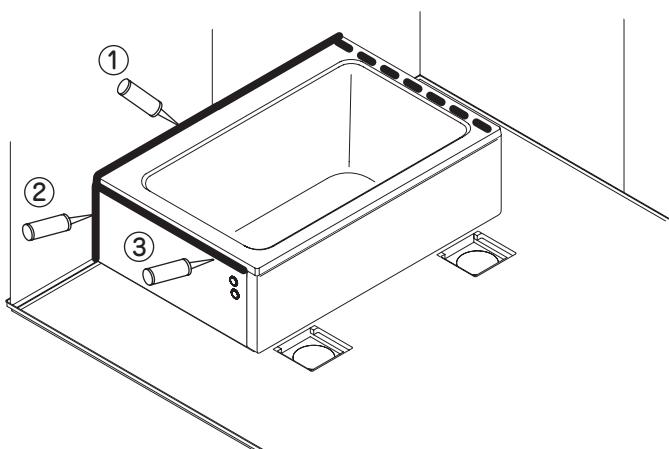
①浴槽周囲にシーリング材充てんを行なう。

番号	部 位	品番（色）
①	浴槽～壁	VAGVR5211
②	壁～サイドエプロン	
③	浴槽サイド～エプロン	(ホワイト)

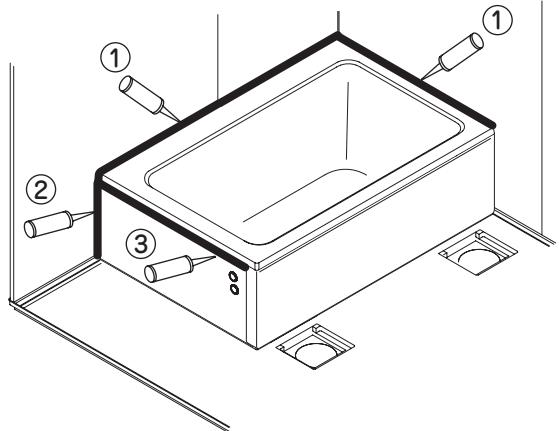
取付設置上のお願い

- シーリング材充てんは必ずエプロンを取り付けた後に行なってください。

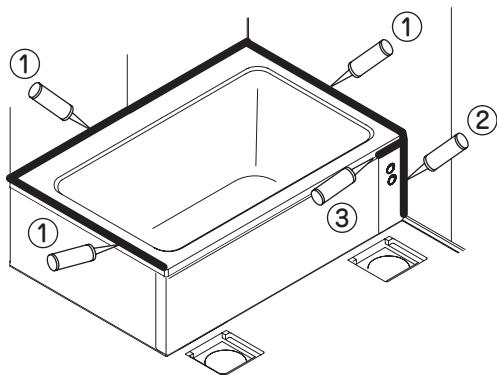
〈2024・2020サイズの場合〉W1200浴槽



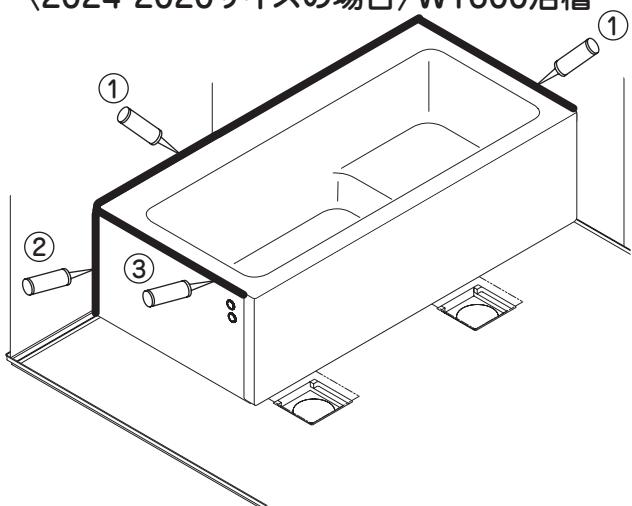
〈1624・1620・1616サイズの場合〉



〈1216サイズの場合〉



〈2024・2020サイズの場合〉W1600浴槽



⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てん箇所の汚れ、水分などは事前にきれいにふき取ってください。
- シーリング材充てん箇所の必要箇所は、確実にシーリング材を充てんしてください。
(必要箇所にシーリング材を充てんしないと水漏れの原因となります。)

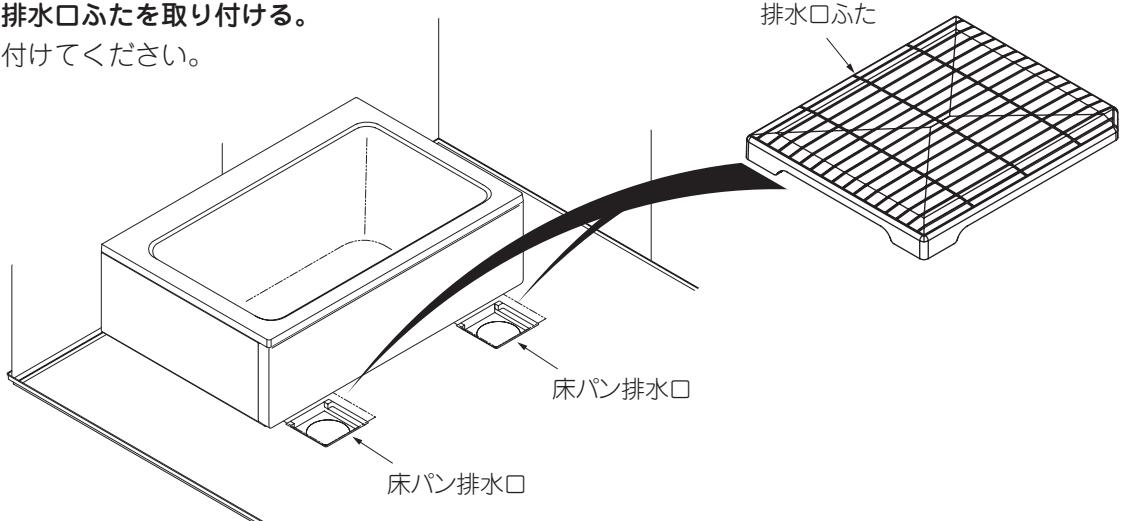
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 排水口部品の取り付け

1 排水口ふた取り付け

①床パン排水口に排水口ふたを取り付ける。

- ・図の向きで取り付けてください。

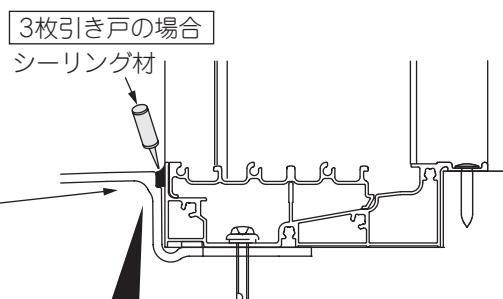
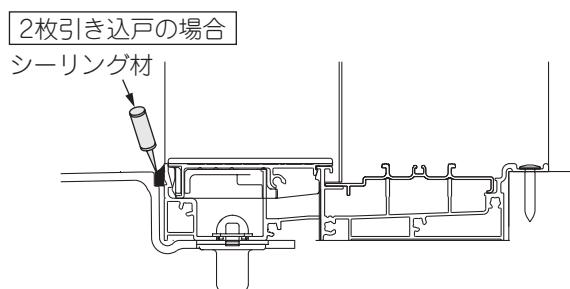
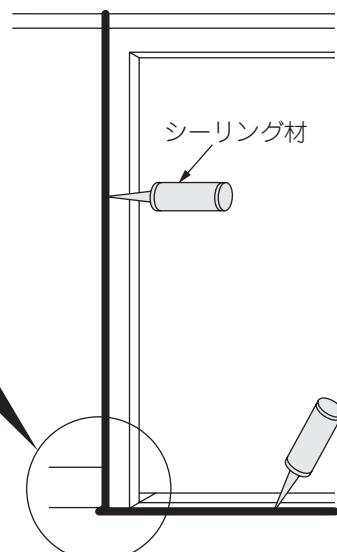
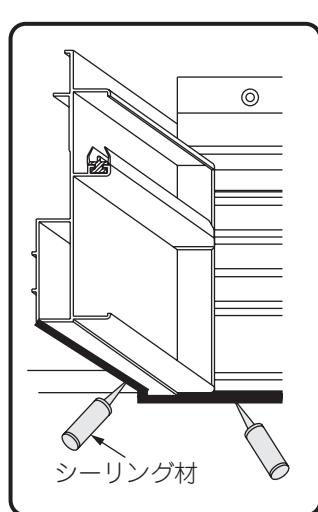


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

3 ドア仕上げ

1 ドア周りの仕上げ

- ①浴室内側よりドア枠周辺 ●にシーリング材を充てんする。

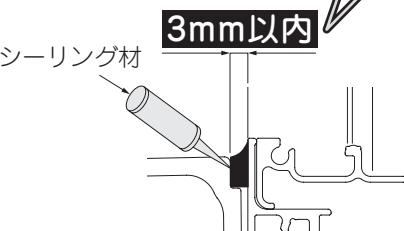


取付設置上のお願い

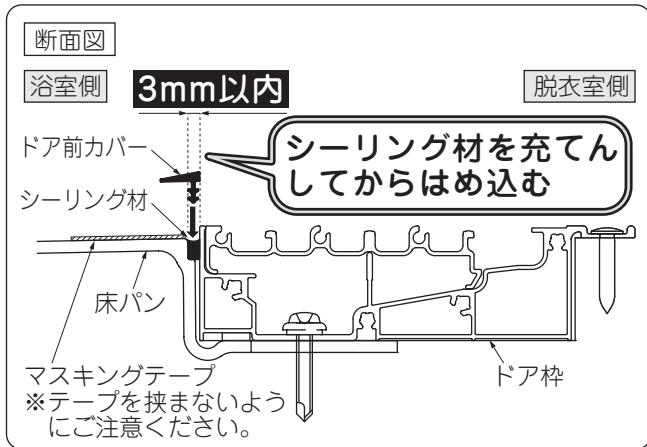
- 床パンとドア枠のすき間が **3mm以内** になるように納めてください。
(ドア前カバーが浮きあがる原因となります。)

拡大図

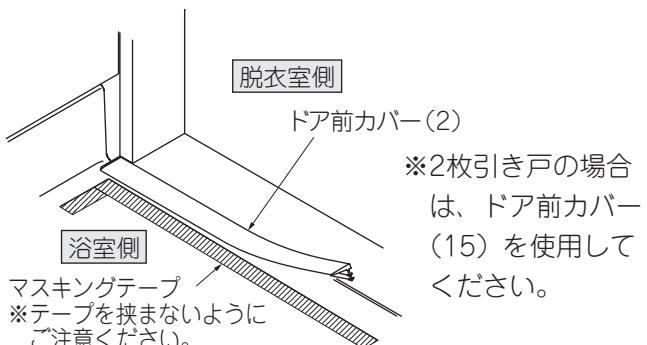
床パンをドア枠側に
押しつけて、調整する



②ドア前カバーをはめ込む。(向きに注意してください。)



※はめ込みにくい場合には平目地打ち込み治具を使って打ち込む。

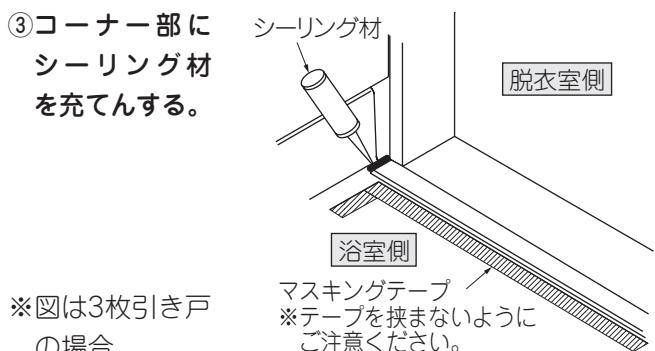


※図は3枚引き戸の場合

- ・保管などによりドア前カバーが曲がっている場合には、まっすぐに伸ばしてください。



③コーナー部に
シーリング材
を充てんする。



※図は3枚引き戸の場合は
マスキングテープ
※テープを挟まないようにご注意ください。

⚠ 注意



必ず守る

- ・シーリング材充てんは、確実に行なう。
(シーリング材充てんを確実に行なわないと水漏れの原因となります。)

7. カウンター・水栓の取り付け

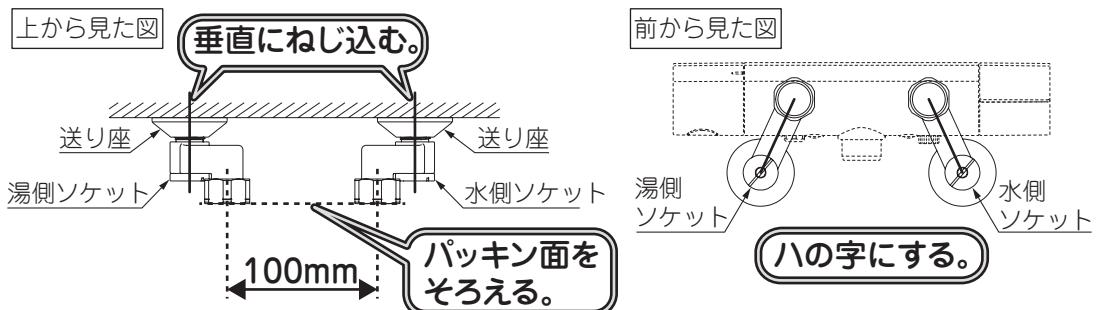
単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 ライン水栓の取り付け

1 ライン水栓の取り付け

- ①ソケットのPJ1/2側に送り座を取り付けた後、シールテープを巻き、水栓固定金具に垂直にねじ込む。



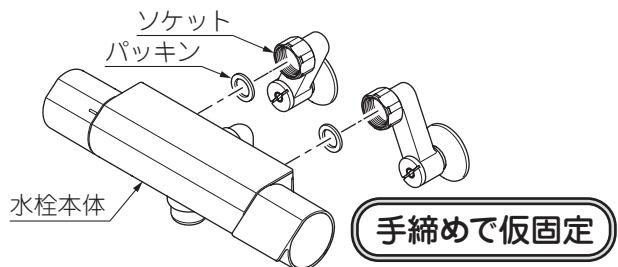
取付設置上のお願い

- 図のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調節してください。)
- 図のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

- ②水栓本体をソケットに手締めで仮固定する。

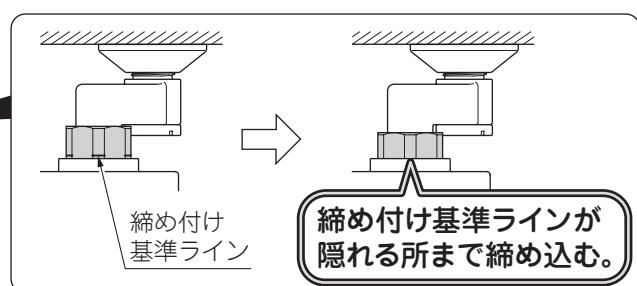
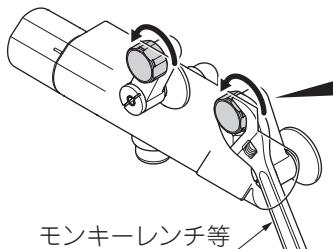
取付設置上のお願い

- 水栓本体がまっすぐ水平になるようにソケットの位置を調整後、水栓本体を本固定してください。



- ③ソケットを本固定する。

- ナットの締め付け
基準ラインを目安に
締め込んでください。



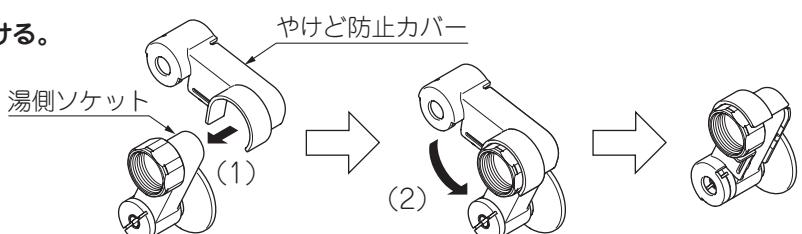
！ 注意



- 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモニキーレンチ等で確実に行う
(しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。)
- 水栓本体のねじ部は樹脂製のため、強く締め過ぎない
(強く締め過ぎると、破損のおそれがあります。)

- ④やけど防止カバーを湯側ソケットに取り付ける。

- やけど防止カバーを横にして
湯側ソケットに差し込んでください。
- やけど防止カバーを回転させて
固定してください。



⑤シャワーホースを本体のエルボに接続する。

- ・多機能シャワー仕様の場合は、エルボに調圧弁を取り付けてください。

- (1) 調圧弁の凹側に青いノンアスユニオンパッキンを挿入し、シャワーエルボに手締めで取り付けてください。
- (2) 手締めで取り付けた後、調圧弁を工具で増し締めしてください。
(15° 程度を目安に当たりがあるまで締めてください。)
- (3) シャワーホースの凹側に黒いゴム製パッキンを挿入し、調圧弁を保持した状態でシャワーホースを取り付けてください。
(調圧弁を保持しておかないと、調圧弁が回ります。)

取付設置上のお願い

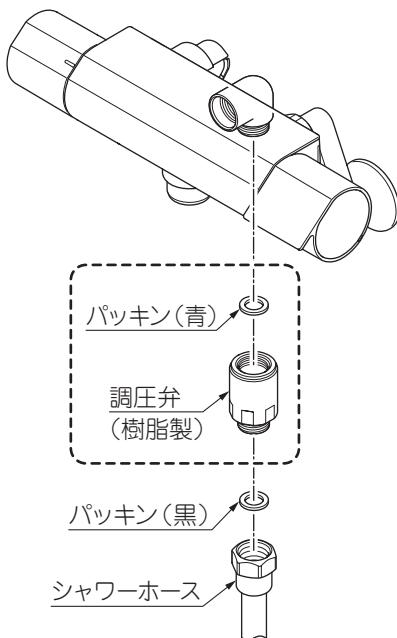
- ・締め付ける際は傷が付かないよう、あて布をしてください。
- ・調圧弁側のパッキン（青）は調圧弁に同梱しておりますので、シャワーホース側のパッキン（黒）と間違えないようにしてください。

! 注意



- | | |
|------|---|
| 必ず守る | <ul style="list-style-type: none">・調圧弁は樹脂製のため、強く締め過ぎない
(強く締め過ぎると、破損のおそれがあります。)・手締めで取り付けた後、工具で90° 程度
(調圧弁は15° 程度) 増し締めし、水漏れがないことを確認する
(しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。) |
|------|---|

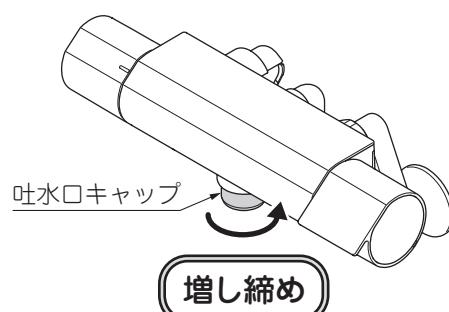
〈多機能シャワー仕様〉



⑥〈吐水パイプなしの場合〉

吐水口キャップがきちんと締まっていないと、吐水口キャップの上から水漏れする場合があります。

その場合は吐水口キャップを増し締めしてください。



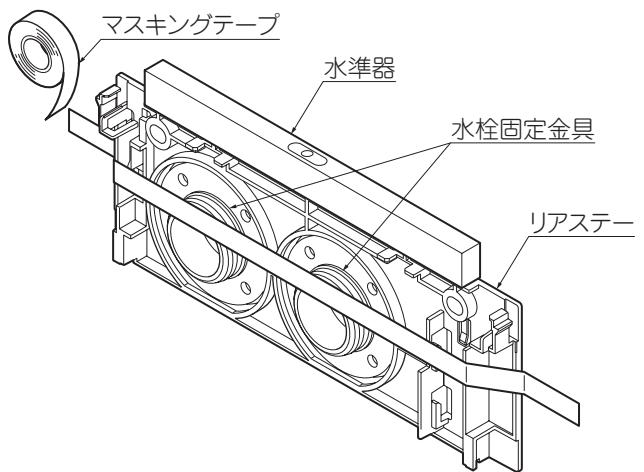
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 スゴピカ水栓(スクエア)の取り付け

1 水栓本体の組み立て

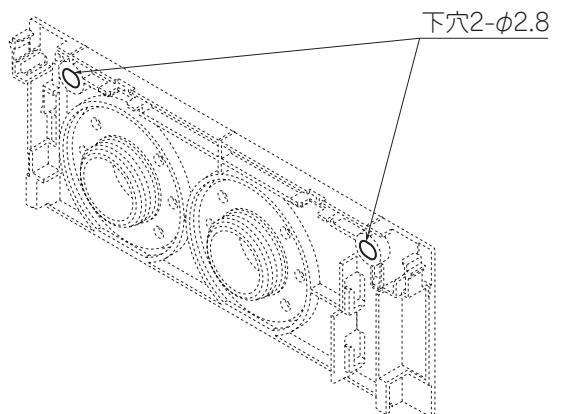
①リアステーを壁パネルに取り付ける。

- ・下穴を現物合わせでがく。
- ・水栓固定金具に合わせて水平を確認し、マスキングテープで仮固定してください。



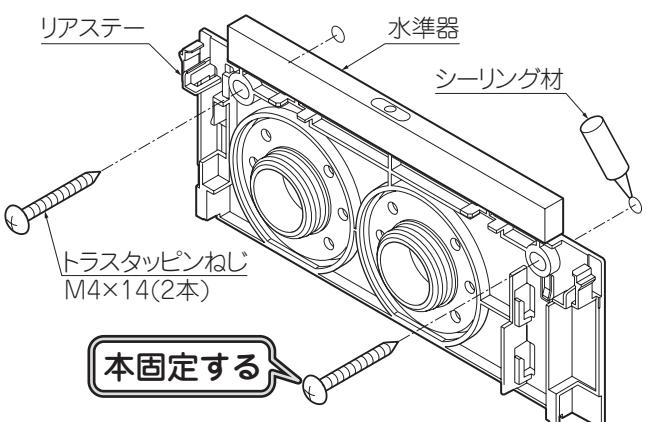
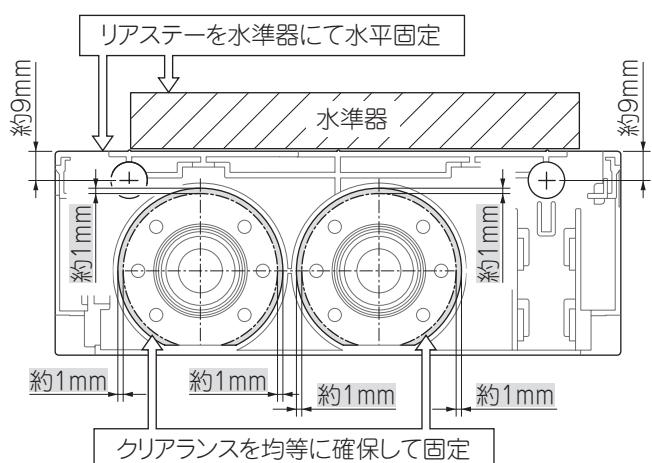
②下穴開口（ $\phi 2.8$ ）する。

- ・リアステーを外してから下穴開口をしてください。



③リアステーを本固定する。

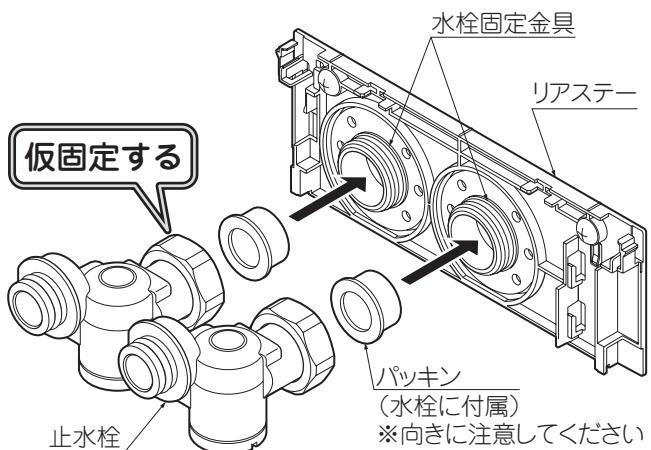
- ・水平を確認しながら行ってください。



④止水栓を水栓固定金具に仮固定する。

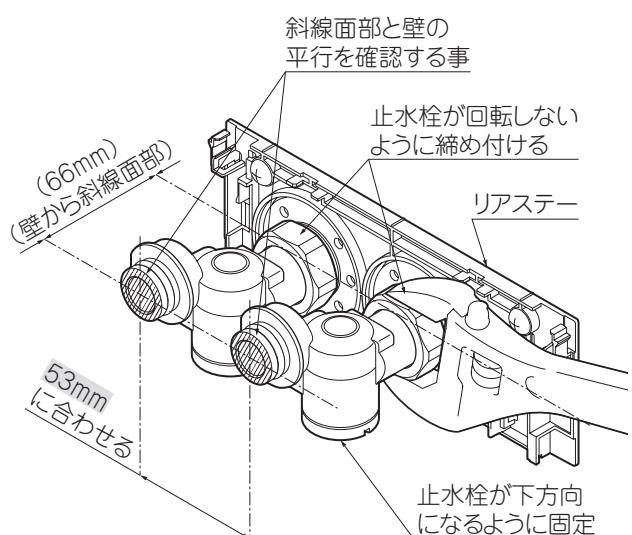
取付設置上のお願い

- パッキンは片寄りせずに取り付けてください。



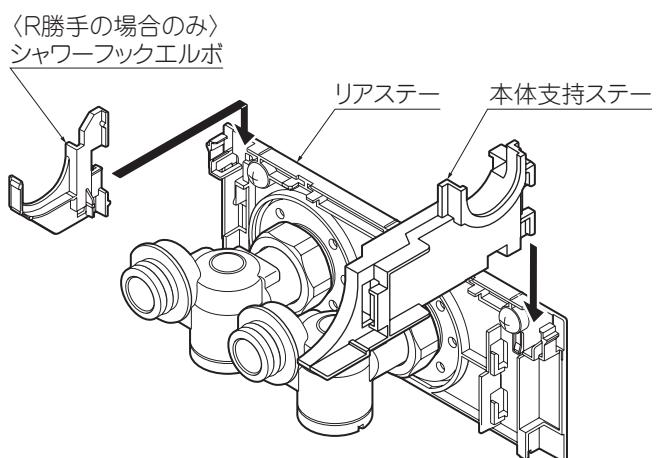
⑤止水栓を本固定する。

- ・止水栓が下方になるように本固定してください。

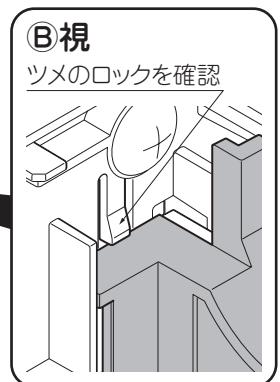
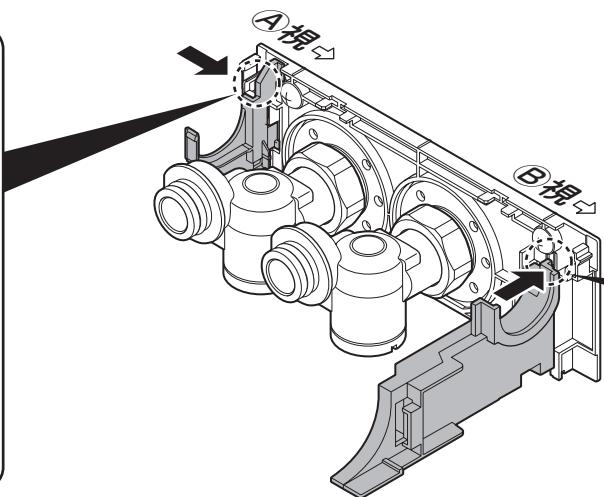
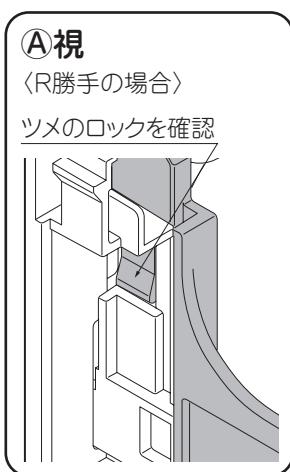


⑥リアステーに本体支持ステーを取り付ける。

- ・R勝手の場合は、シャワーエルボフックも取り付けてください。



⑦ツメのロックを確認する。



⑧水栓本体にシャワーエルボアダプターまたは減圧弁を取り付ける。

水栓に取り付けられている
スチロールは、保温材です。
取りはずししないでください。

Oリングが取り付けられて
いることを確認する。

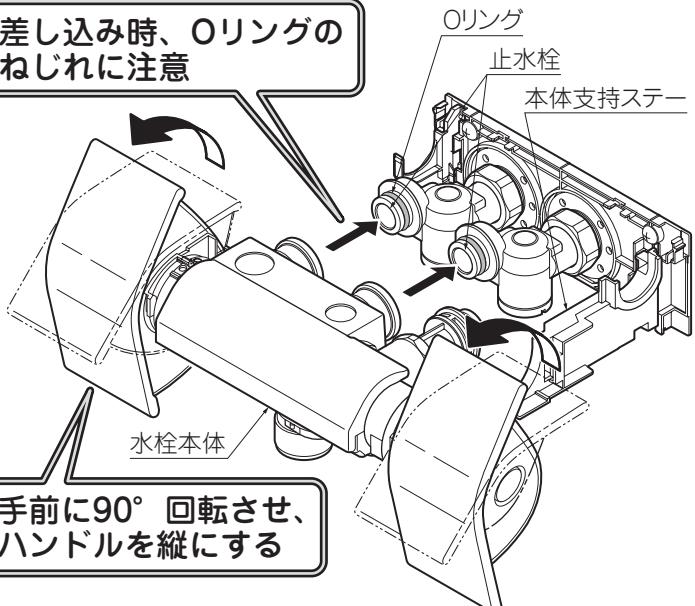
⑨ハンドルを手前に90°回転させ、水栓本体を止水栓に仮固定する。

- ・止水栓、本体支持ステーの位置に合わせ、差し込んでください。
- ・Oリングがスムーズに入り込む状態を確認してください。

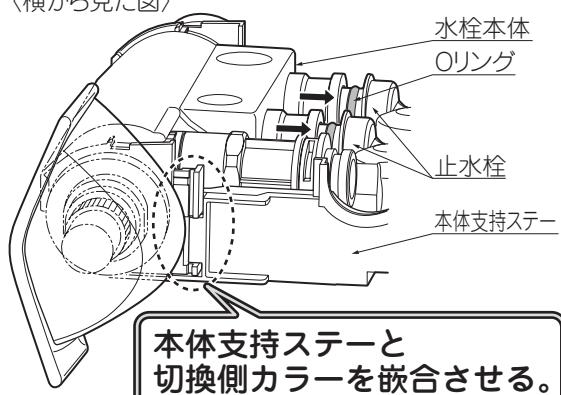
取付設置上のお願い

- ・Oリングが噛み込まないようにしてください。
- ・本体支持ステーと切換側カラーを嵌合させてください。

**差し込み時、Oリングの
ねじれに注意**

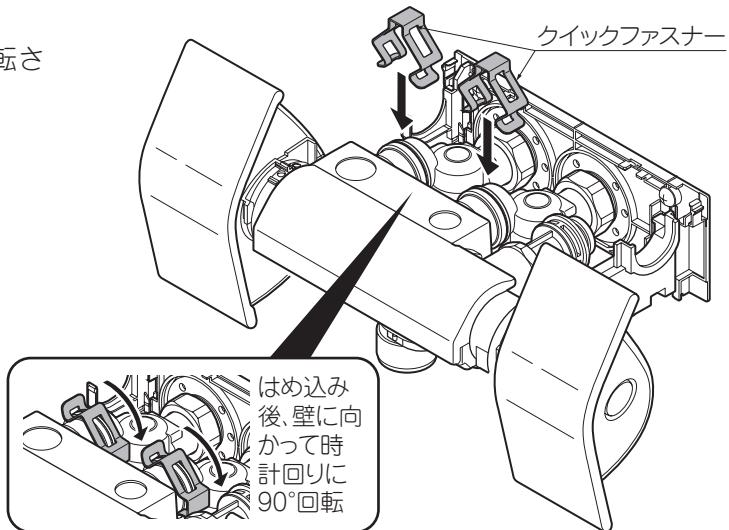


(横から見た図)



⑩水栓本体を本固定する。

- ・クイックファスナーで固定したあと、90°回転させてください。

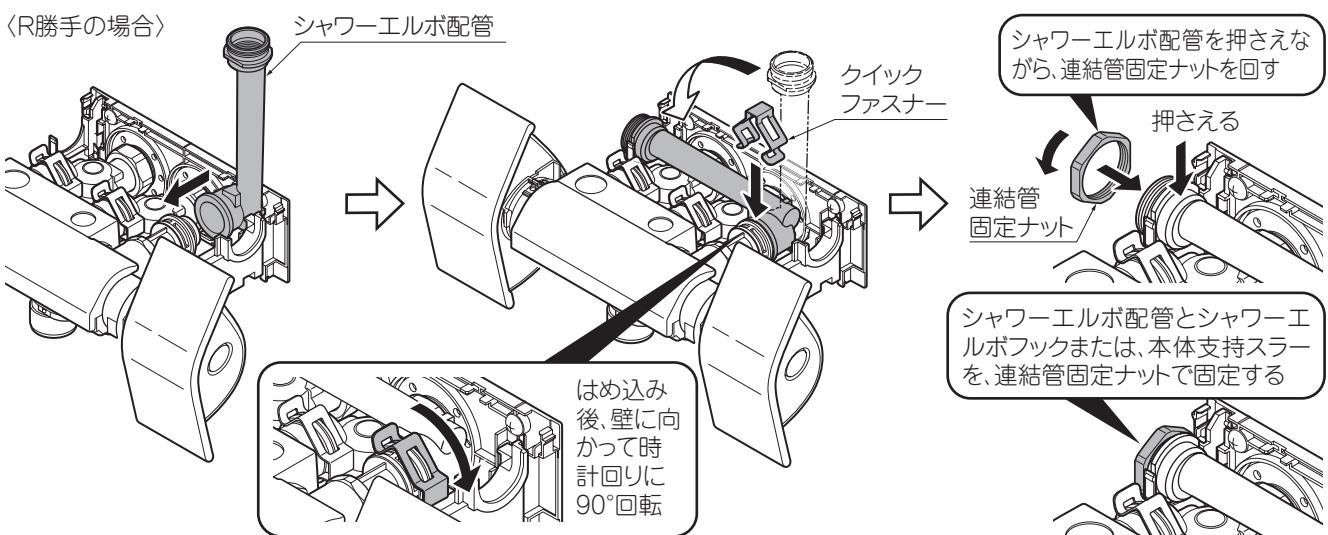


⑪シャワーエルボ配管を水栓本体に取り付け、固定する。

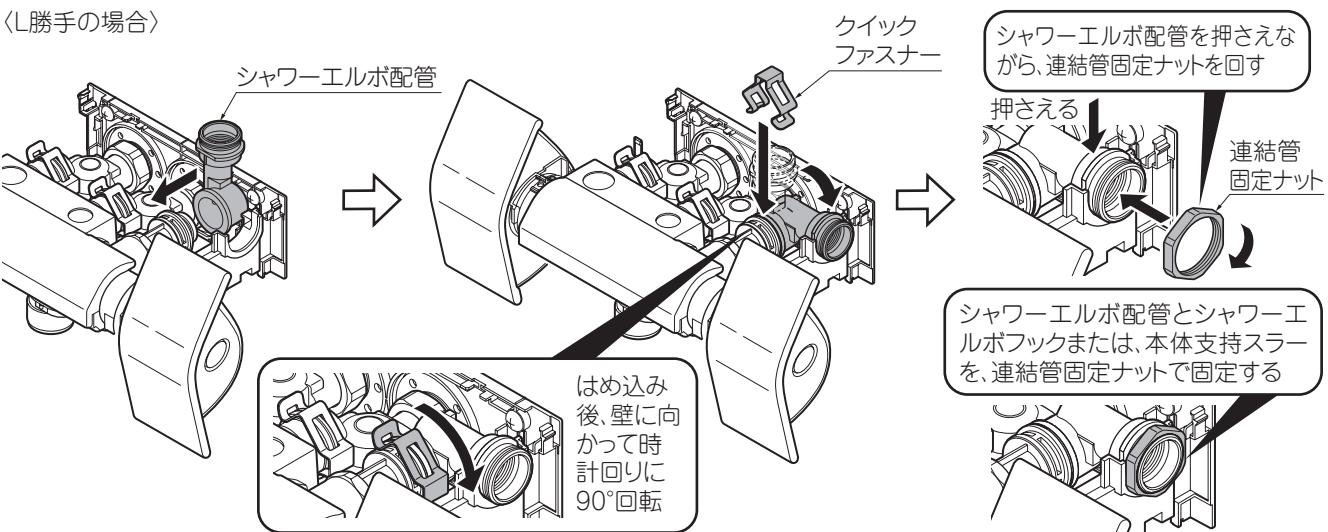
※シャワーエルボ配管は取り付け後、水栓本体側に90°回転させてください。

- ・クイックファスナーで固定したあと、90°回転させてください。

〈R勝手の場合〉

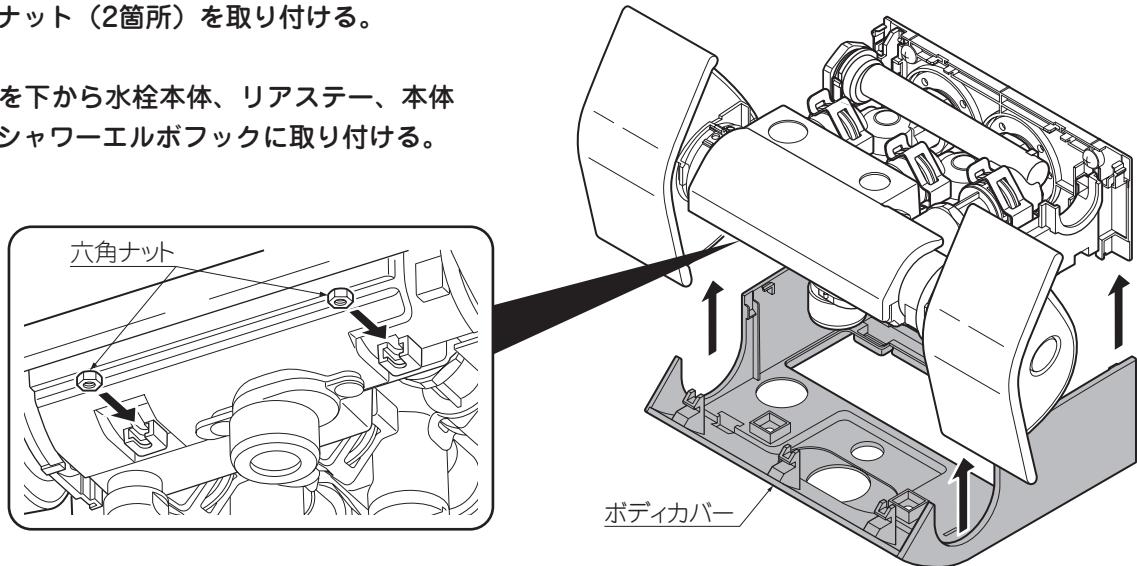


〈L勝手の場合〉

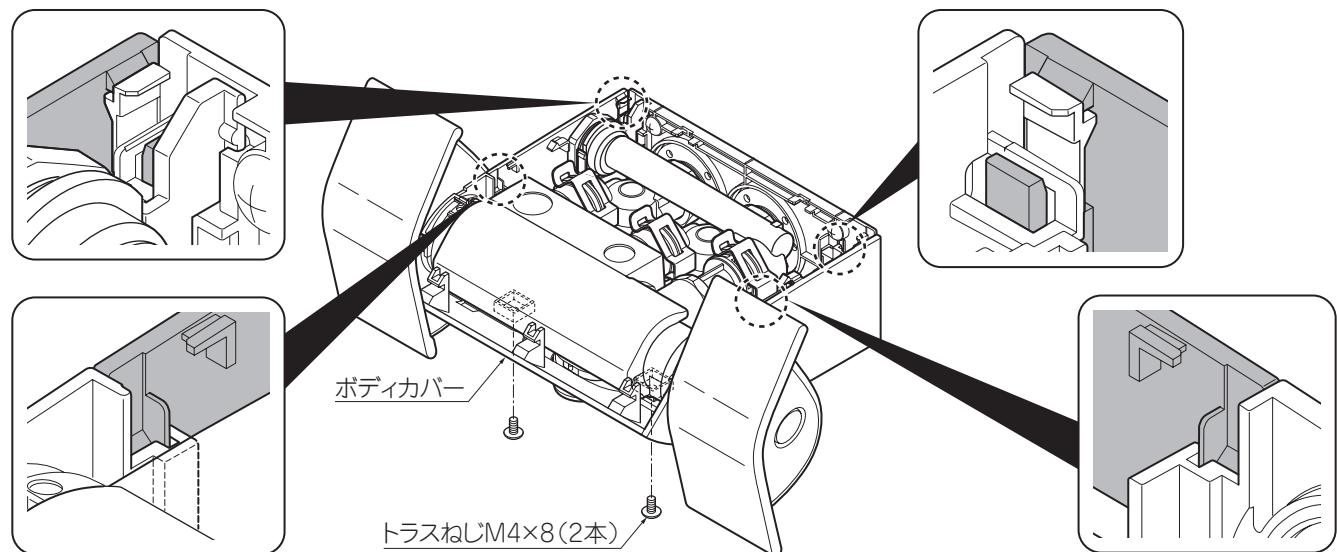


⑫本体下に六角ナット（2箇所）を取り付ける。

⑬ボディカバーを下から水栓本体、リアステー、本体支持ステー、シャワーエルボフックに取り付ける。

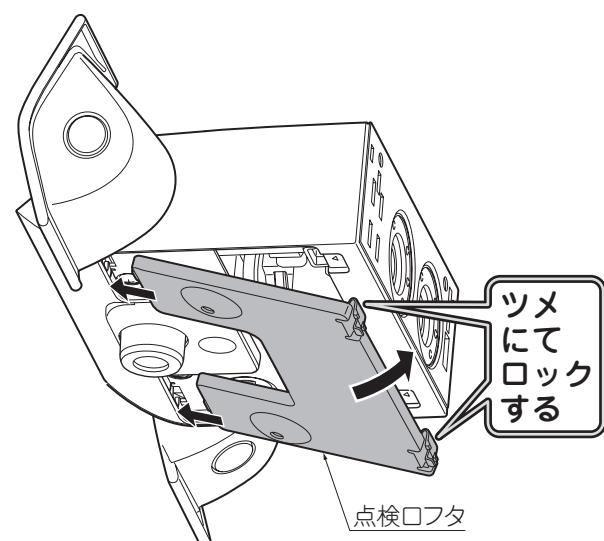


⑭ツメのロックを確認後、固定する。



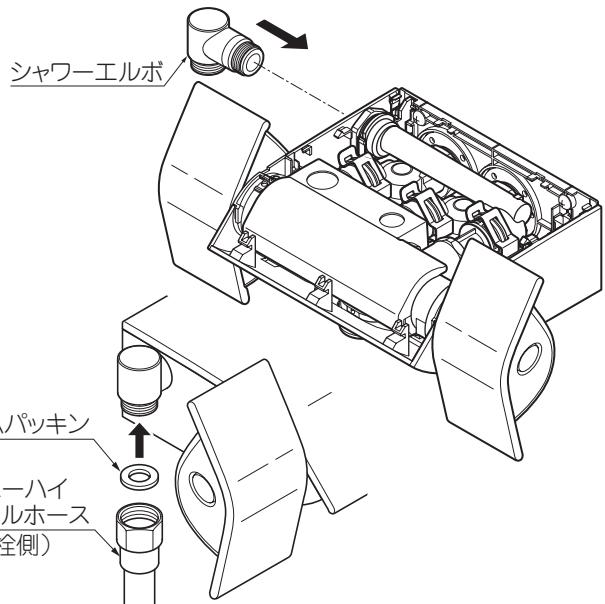
⑮点検口フタを取り付ける。

- ・スライドさせながらはめ込んでください。



⑯ シャワーエルボを取り付ける。

- ・シャワーエルボをシャワーエルボ配管にねじ込んで、シャワーホース口が下に向くように戻してください。



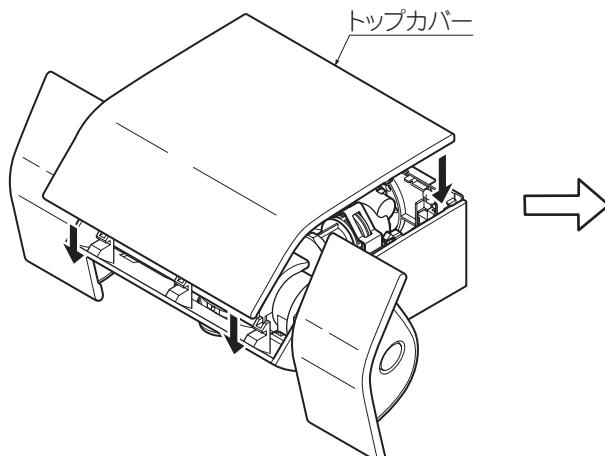
⑰ シャワーホース、シャワーヘッドをシャワーエルボに取り付ける。

※オプションのニューハイメタルホースの時は、アタッチメントが必要となります。
くわしくは、ニューハイメタルホースに同梱のチラシをご参照ください。

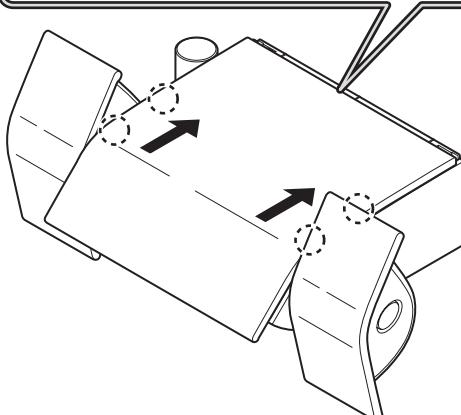
⑯ トップカバーを前側からスライドさせて固定する。

取付設置上のお願い

- ・トップカバーの取り付けは全ての部材取り付け後に行ってください。



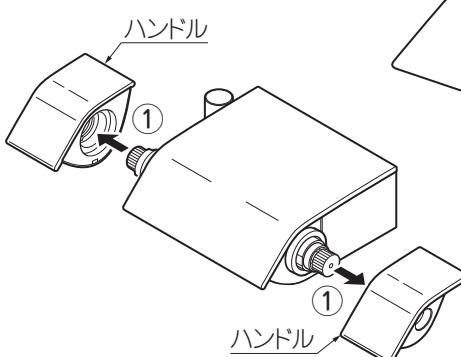
ツメが結合するまでスライドする。



〈トップカバーのはすし方〉

①ハンドルをはずす。

- ・ハンドルの角度は正規位置ではずしてください。



②トップカバーのツメをはずす。

- ・ウエスなどで巻いたマイナスドライバーを差し込みトップカバーを少し浮かしてください。

③手前にひっぱる。



トップカバーの手前側を少しだけ浮かせながら、手前へスライドする。

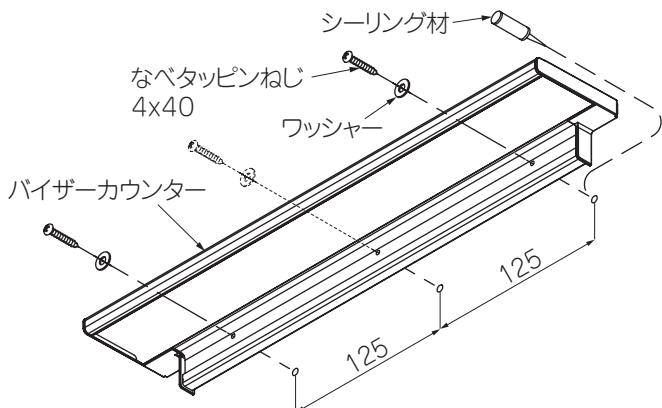
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

3 バイザーカウンターの取り付け

1 バイザーカウンターの取り付け

①バイザーカウンターを取り付ける。

- タッピングねじ（バイザーカウンターセットに付属）で壁パネルに仮固定（左右2個所）してください。



注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確實に行う（確實にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

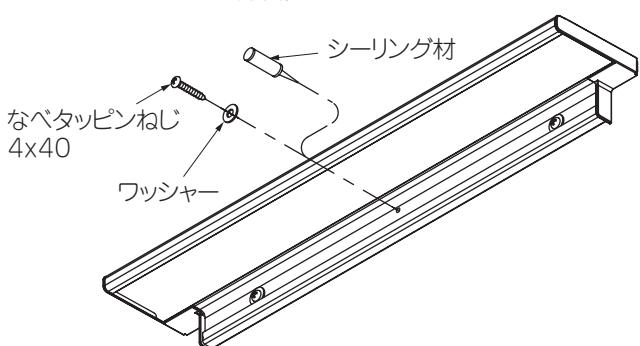
②バイザーカウンターのレベル調整を行う。

- カウンターの水平を確認し、レベル調整を行い位置決めしてください。



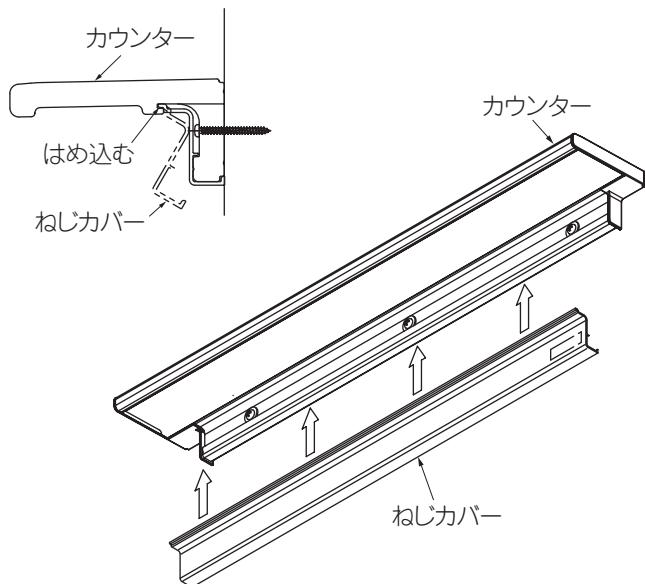
③バイザーカウンターを固定する。

- レベル調整完了後、カウンターの両端2個所のタッピングねじを完全に締め付け固定してください。
- カウンターの中央2個所をタッピングねじ（バイザーカウンターセットに付属）にて固定してください。



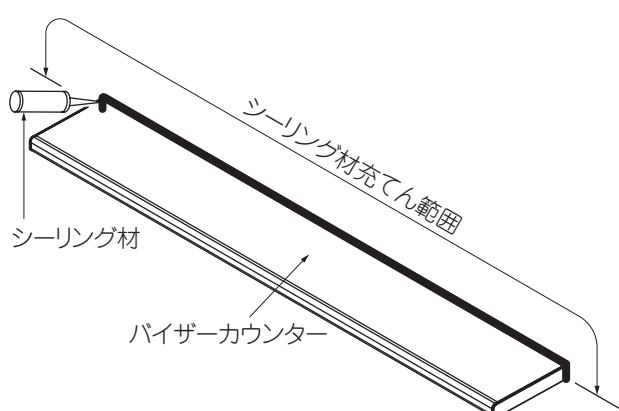
④ねじカバーを取り付ける。

- 下図の要領でねじカバーをカウンターにはめ込んで取り付けてください。



⑤バイザーカウンターにシーリング材を塗布する。

- 部を、シーリング材充てんする。

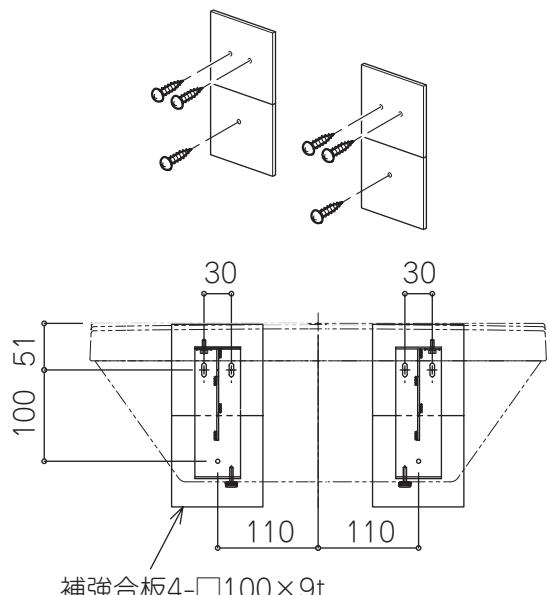


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

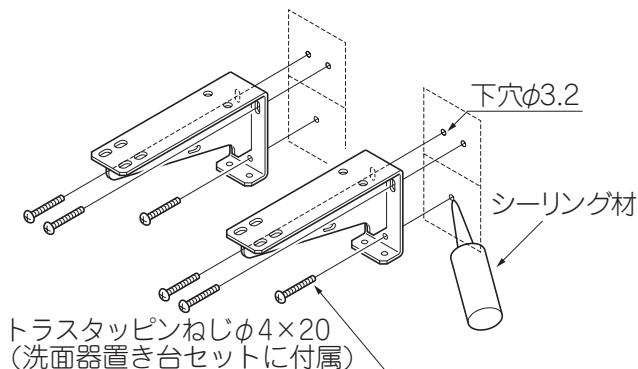
4 洗面器置き台の取り付け

1 洗面器置き台の取り付け

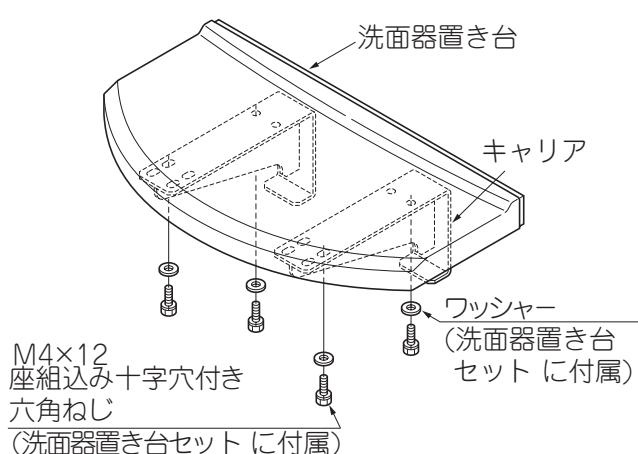
- ①洗面器置き台の取り付け位置に補強合板を取り付ける。



- ②下穴にシーリング材を充てんした後、洗面器置き台のキャリアを取り付ける。

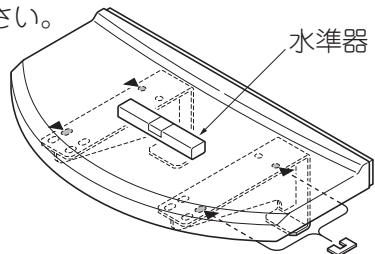


- ③洗面器置き台をキャリアに仮固定する。



- ④洗面器置き台の水平を確認し、洗面器置き台を本固定する。

・水平が出ていない場合は、スペーサーにて微調整してください。



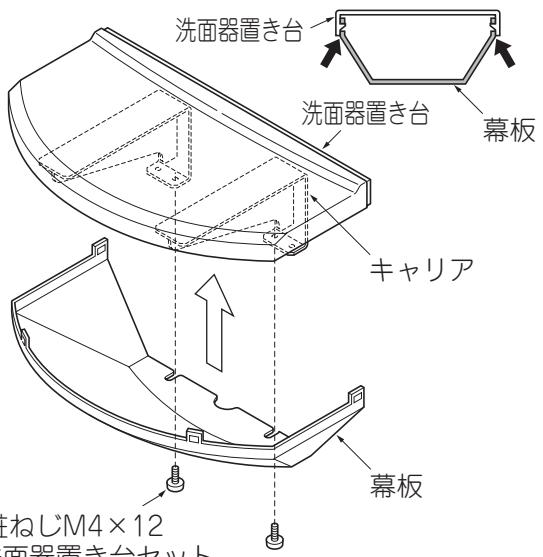
スペーサーが必要な場合は、ねじの所に取り付ける。

取付設置上のお願い

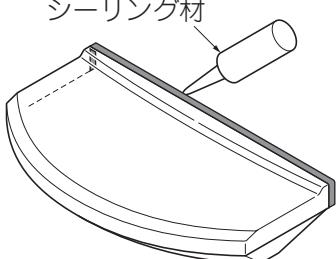
- 洗面器置き台を本固定の際、ねじをインパクトドライバーなどで締め付けすぎないでください。(洗面器置き台が破損する原因となります。)

- ⑤洗面器置き台の幕板を取り付ける。

・幕板を洗面器置き台の内側にはめ込んで取り付けた後、化粧ねじで固定してください。



- ⑥洗面器置き台と壁パネルの間をシーリング材を充てんする。

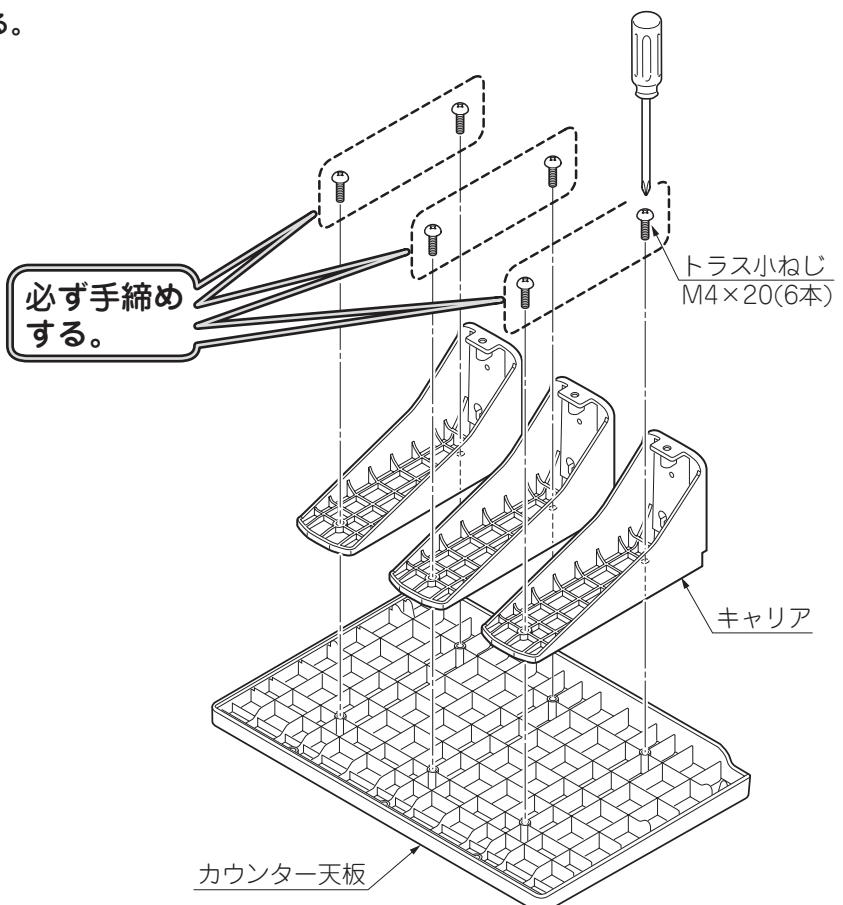


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

5 スゴピカカウンター（スクエア）の取り付け

1 カウンターの取り付け前の作業

- ①カウンターテーブルにキャリアを仮固定する。



2 カウンターテーブルの取り付け

- ①カウンターの取付位置に補強合板を取り付ける。

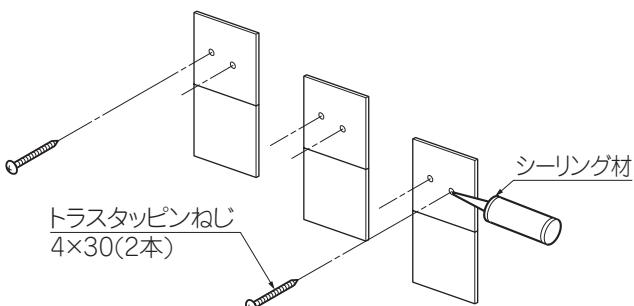
- ②下穴にシーリング材を塗布する。

- ③両サイドの2個所に、トラスタッピンねじを取り付ける。

⚠ 注意



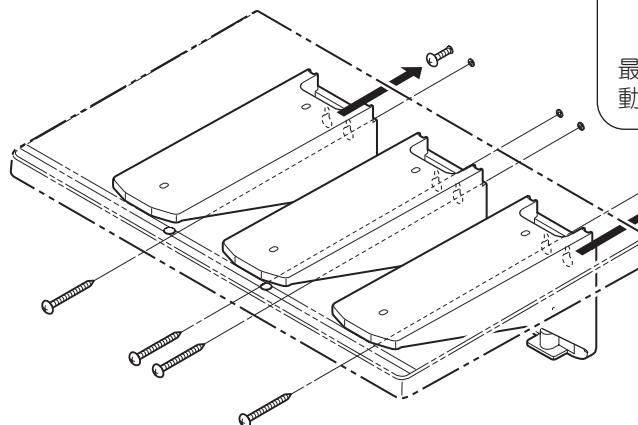
- シーリング材充てんは指定箇所に確實に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



取付設置上のお願い

- 下カバーは後で取り付けます。それまでは、取り付けたカウンターテーブルの上に物を置いたり、上から力をかけたりしないでください。

③取り付けたねじに、キャリアを引っ掛けて仮固定する。

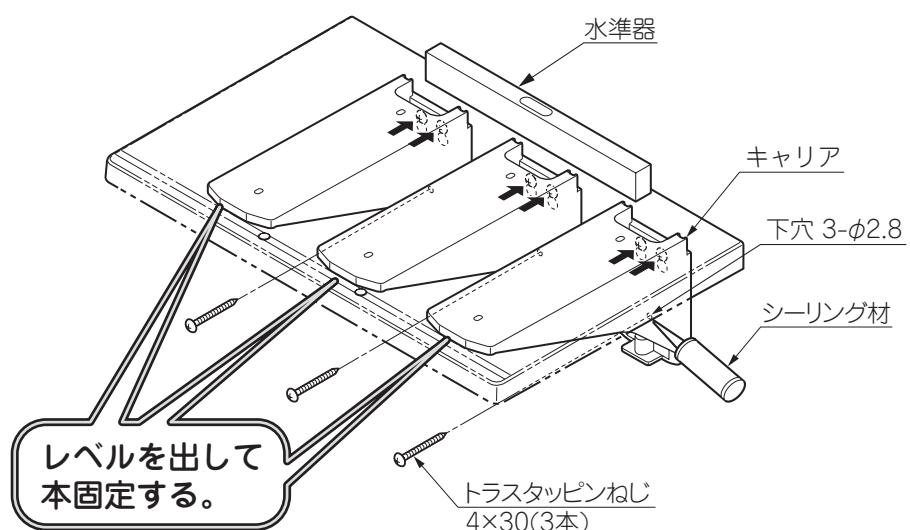


だるま穴に引っ掛け
てねじ留めする。

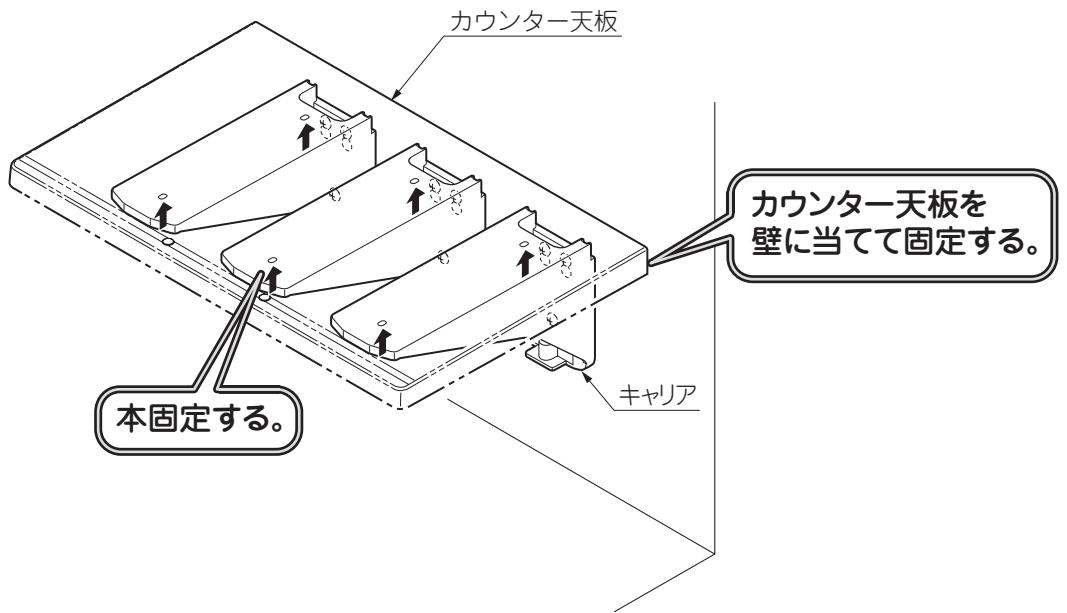
最後まで締め付けず、キャリアが動く状態にしておいてください。

④カウンターのレベルを出して、キャリア上部（6個所）と、キャリア下部（3個所）を本固定する。

- ・キャリア下部の下穴は現物合わせで開口してください。



⑤カウンター天板とキャリアを本固定する。

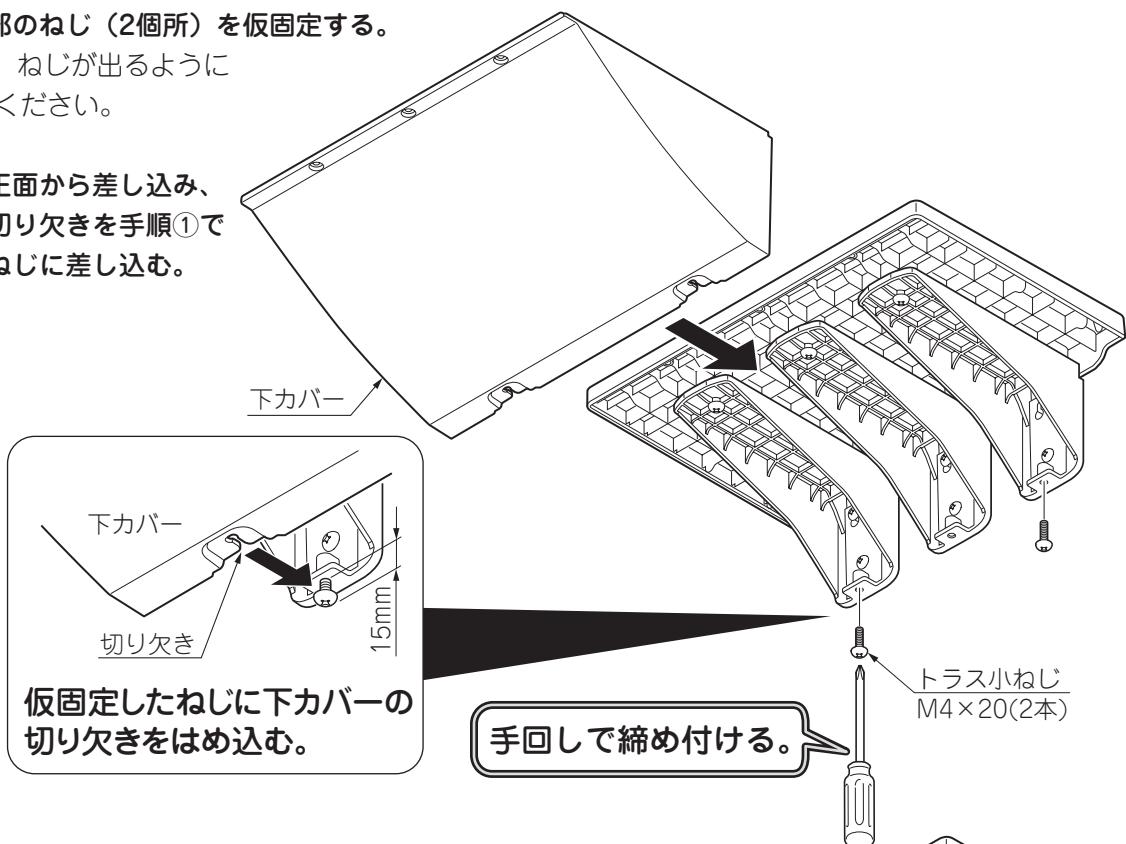


3 下カバーの取り付け

①キャリア下部のねじ（2個所）を仮固定する。

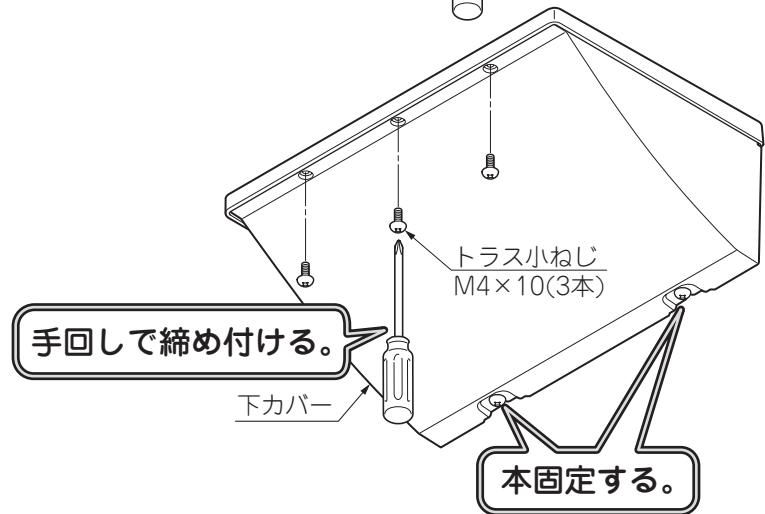
※15mm程度、ねじが出るように
軽く締めてください。

②下カバーを正面から差し込み、
下カバーの切り欠きを手順①で
仮固定したねじに差し込む。



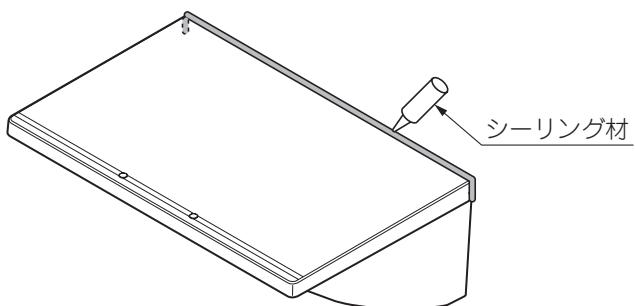
③下カバーの手前の3箇所をねじで固定する。

④手順①で仮固定したねじを本固定する。



取付設置上のお願い

- カウンターまわりへのシーリング材塗布は、「最終仕上げ」で行います。（187ページ参照）。

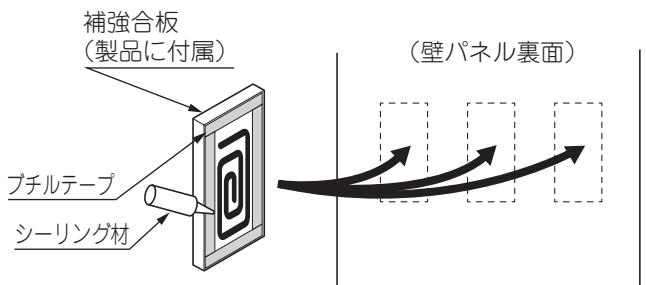


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

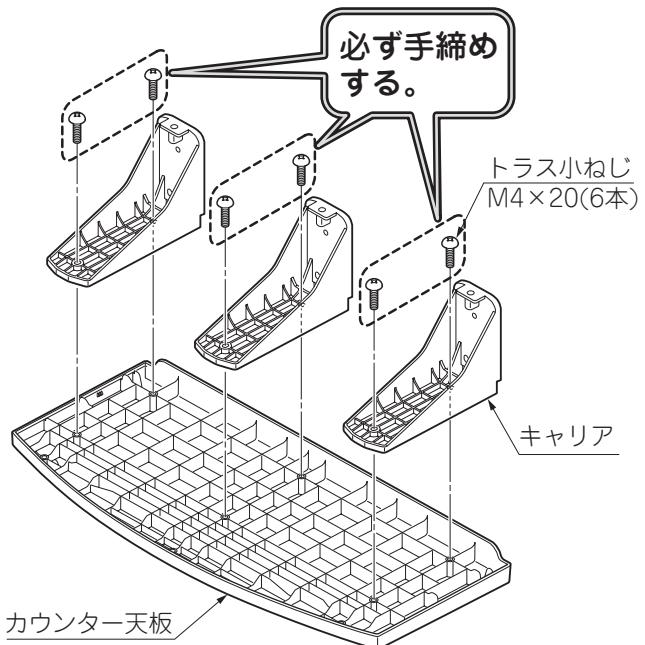
6 オーバルカウンターの取り付け

1 カウンターの取り付け前の作業

- ①キャリア取り付け位置に裏補強合板をブチルテープとシーリング材ではり付ける。



- ②カウンタートップにキャリアを仮固定する。



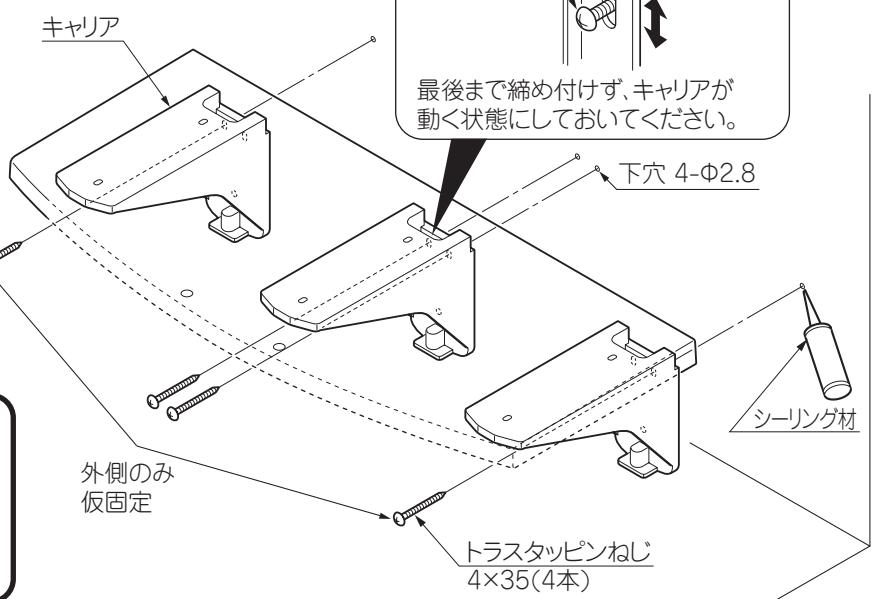
2 カウンタートップの取り付け

- ①キャリアを壁パネルに仮固定する。

！注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

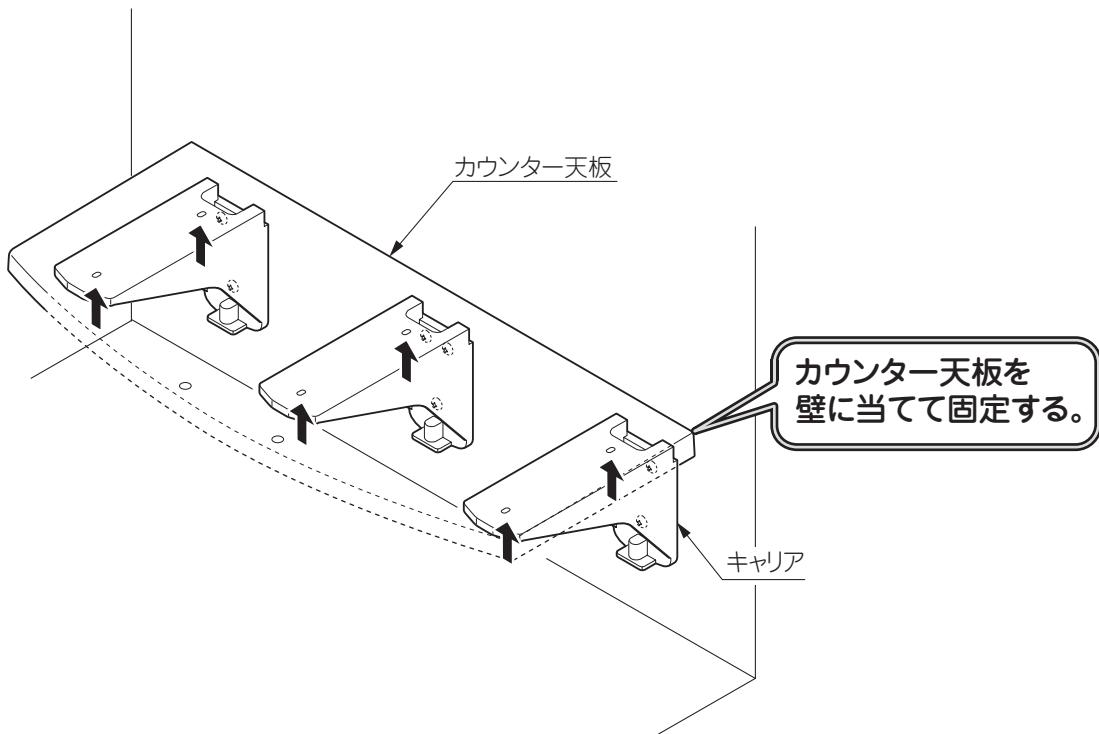


取付設置上のお願い

- 下カバーは後で取り付けます。
それまでは、取り付けたカウンタートップの上に物を置いたり、上から力をかけたりしないでください。

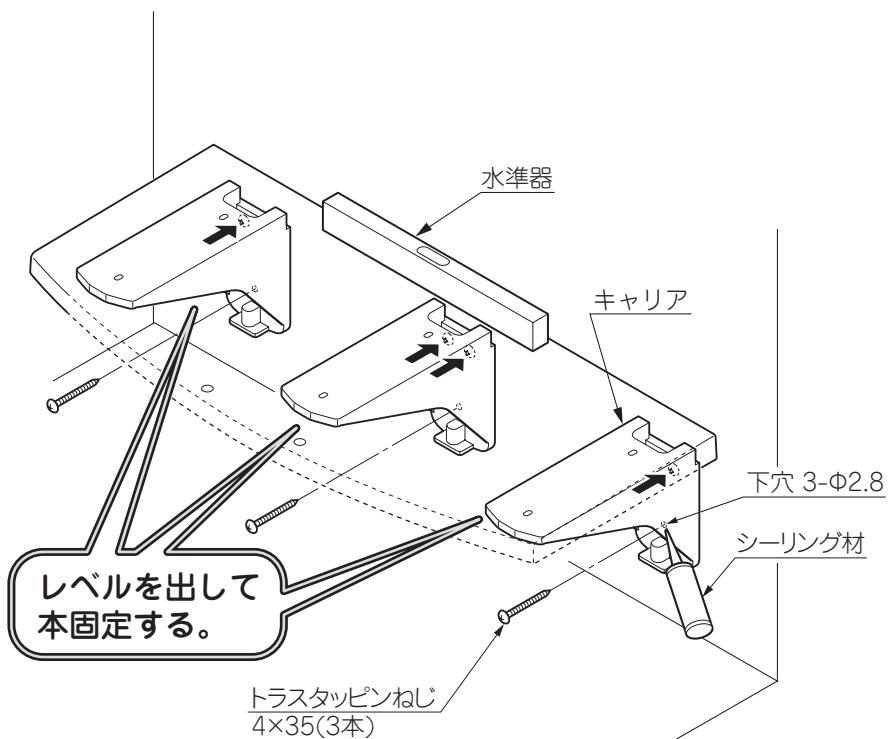
②カウンター天板とキャリアを本固定する。

- ・159ページの「カウンター取り付け前の作業」で仮留めしたねじを締めてください。



③カウンターのレベルを出して、キャリア下部（3か所）と、手順①で仮固定したねじ（4か所）を本固定する。

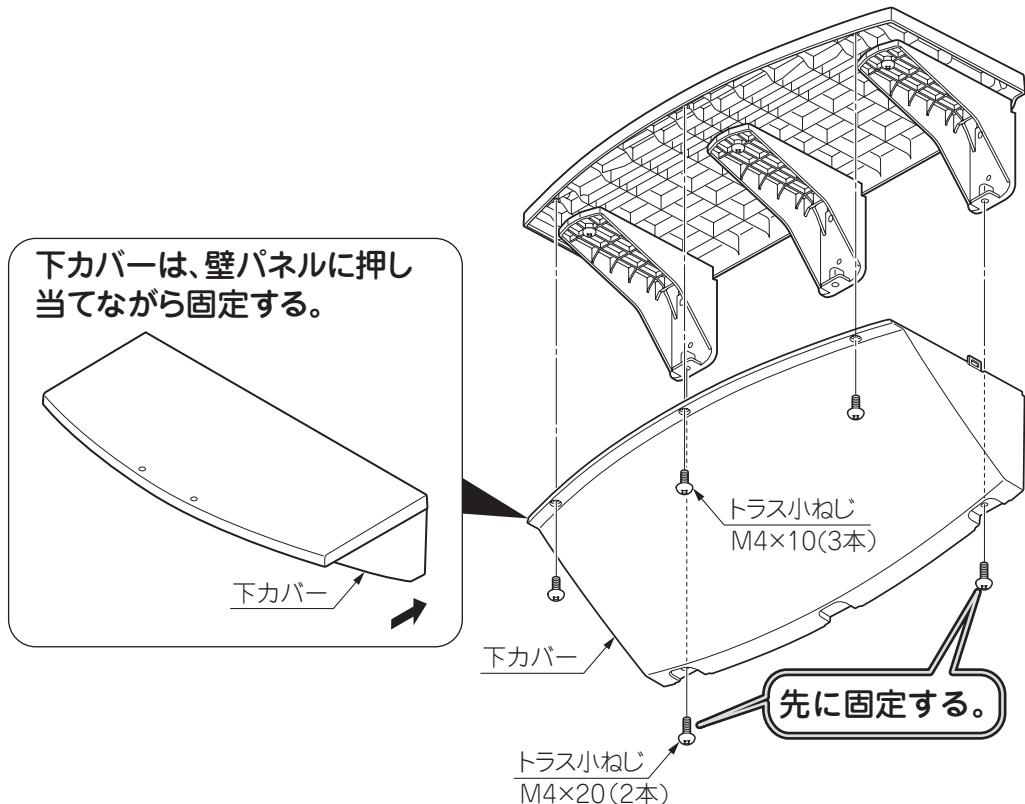
- ・キャリア下部の下穴は現物合わせで開口してください。



3 下カバーの取り付け

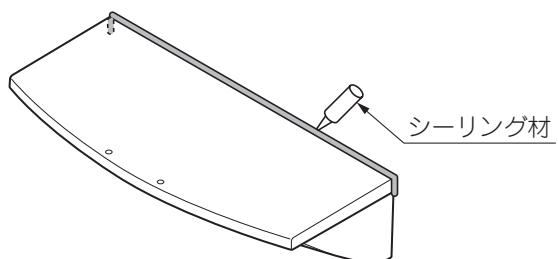
①下カバーを取り付ける。

- ・下2か所のねじを先に固定してください。
- ・ねじは必ず手締めで取り付けてください。



取付設置上のお願い

- ・カウンターまわりへのシーリング材塗布は、「最終仕上げ」で行います。(187ページ参照)。



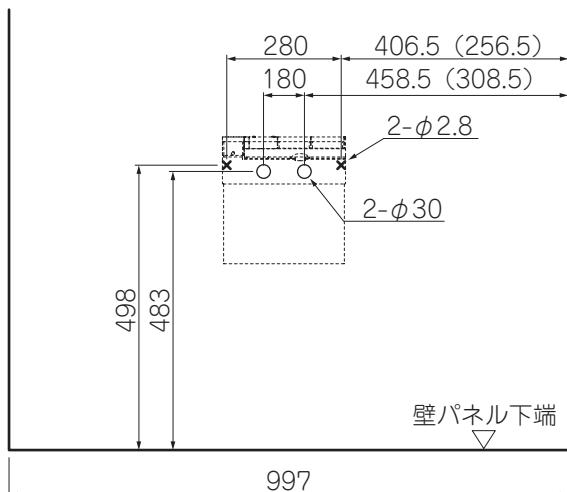
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

7 ライトタッチ水栓の取り付け

1 ライトタッチ水栓の取り付け

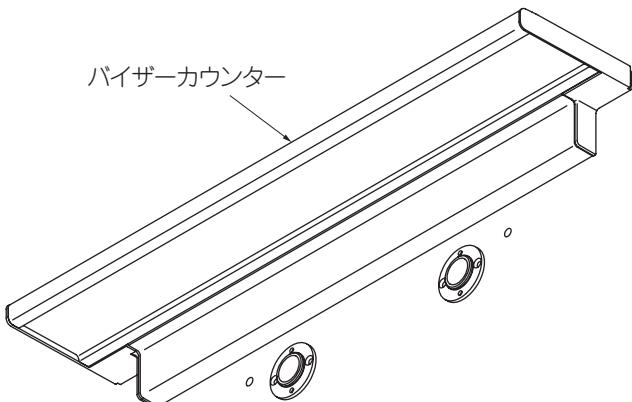
※本図はR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

※（ ）寸法は1616・1216サイズの場合



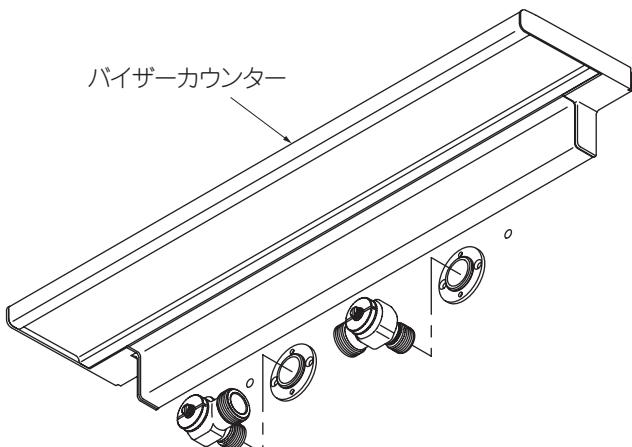
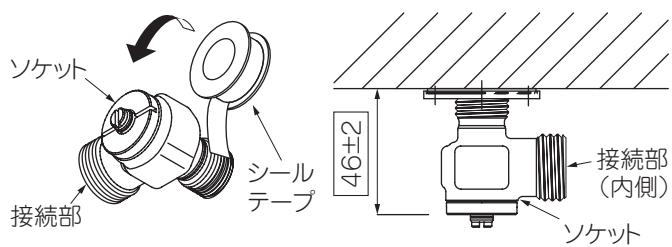
①バイザーカウンターを取り付ける。

- ・バイザーカウンターの取り付け方法については、153ページの「バイザーカウンターの取り付け」を参照してください。



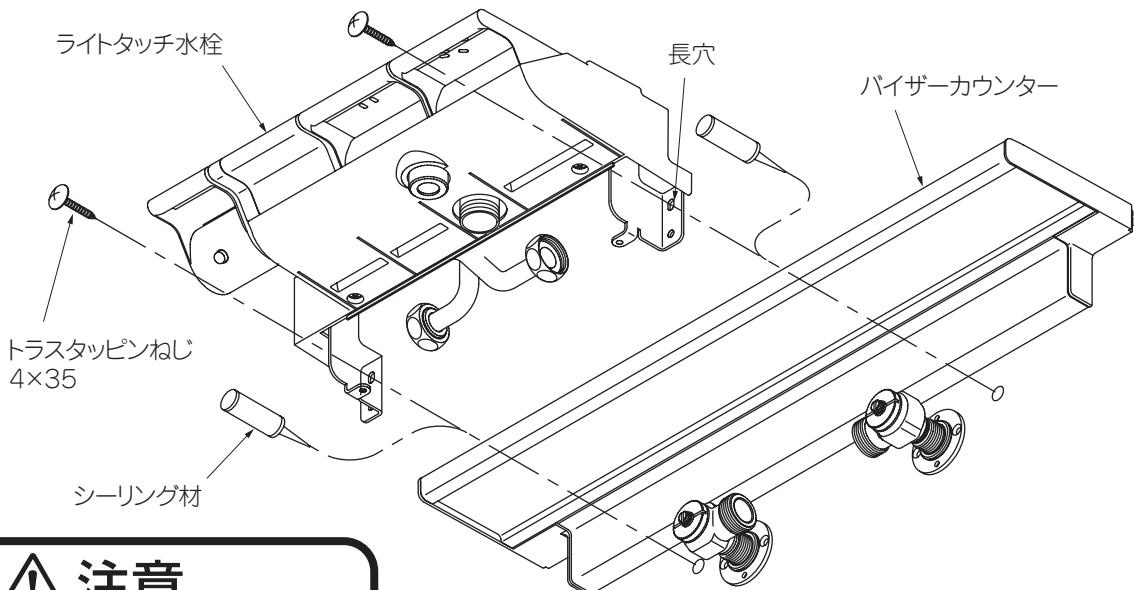
②ソケットを取り付ける。

- ・ソケットにシールテープを巻き、壁パネルからソケット先端までの寸法が 46 ± 2 mmになる位置までねじ込んでください。
接続部が真横（内側）になるように取り付けてください。



③水栓本体を仮固定する。

- 両端の長穴2箇所をねじ（ライトタッチ水栓セットに付属）で仮固定してください。



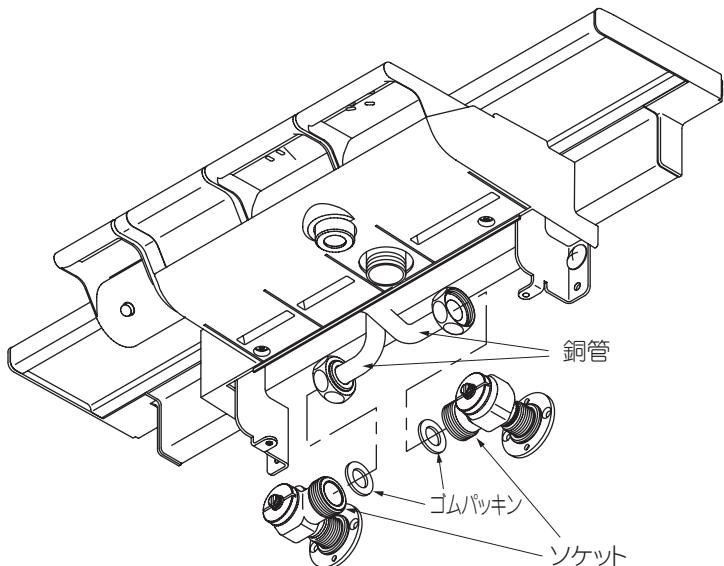
⚠ 注意



- 必ず守る
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

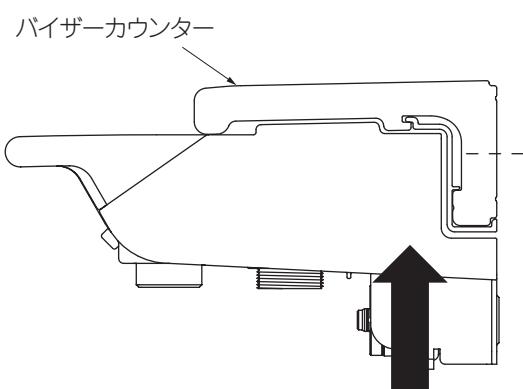
④銅管を接続する。

- 水栓本体の銅管をソケットに接続してください。
接続するときはゴムパッキンを必ず取り付けてください。



⑤ライトタッチ水栓のレベル調整を行う。

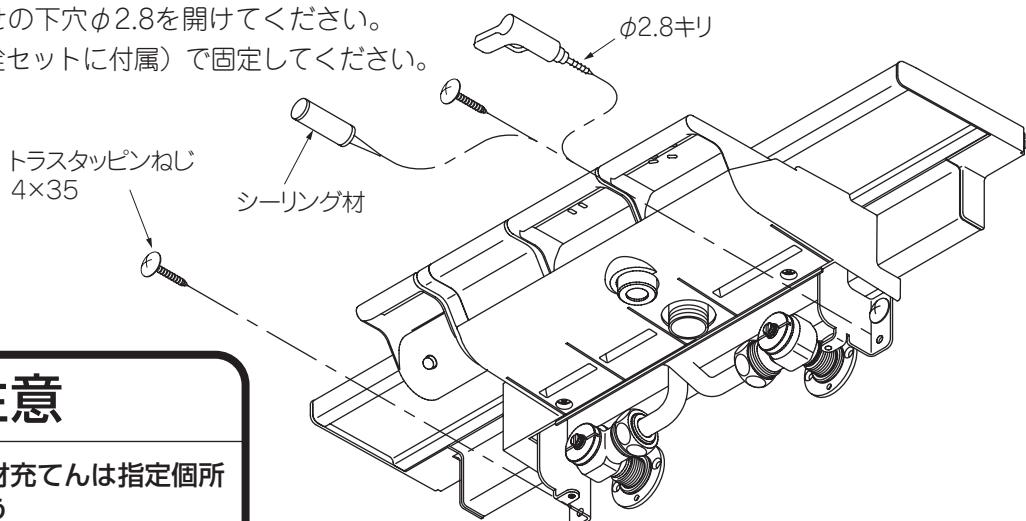
- ライトタッチ水栓の天面がバイザーカウンターに当るように持ち上げ、両端のねじを締め付けてください。



上に持ち上げ固定する。

⑥ライトタッチ水栓を固定する。

- ・下側2個所に現物合わせの下穴Φ2.8を開けてください。
- ・ねじ（ライトタッチ水栓セットに付属）で固定してください。



！ 注意

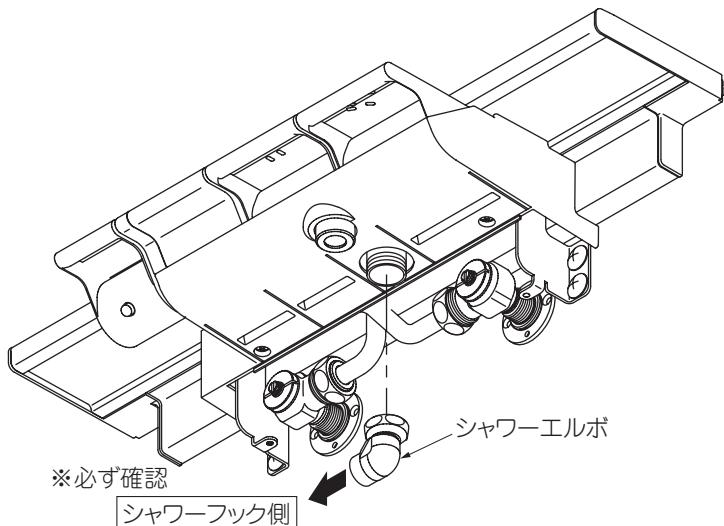


- 必ず守る
- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

⑦シャワーエルボを取り付ける。

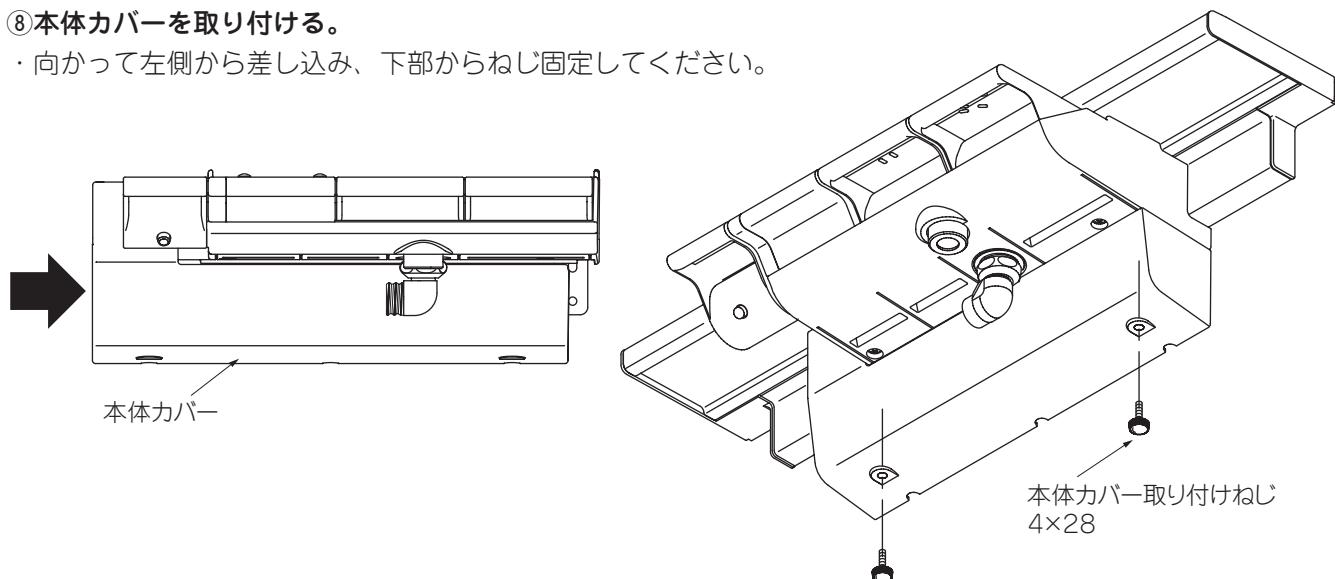
- ・シャワーエルボには可動範囲があります。
必ずシャワーフック側にシャワーホースが、
取り出せるよう取り付けてください。

※シャワーエルボは1個余ります。
(小物セットに付属のシャワー
エルボは使用しないでください。)



⑧本体カバーを取り付ける。

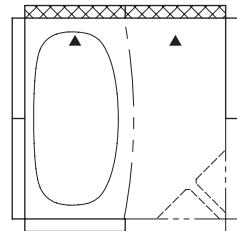
- ・向かって左側から差し込み、下部からねじ固定してください。



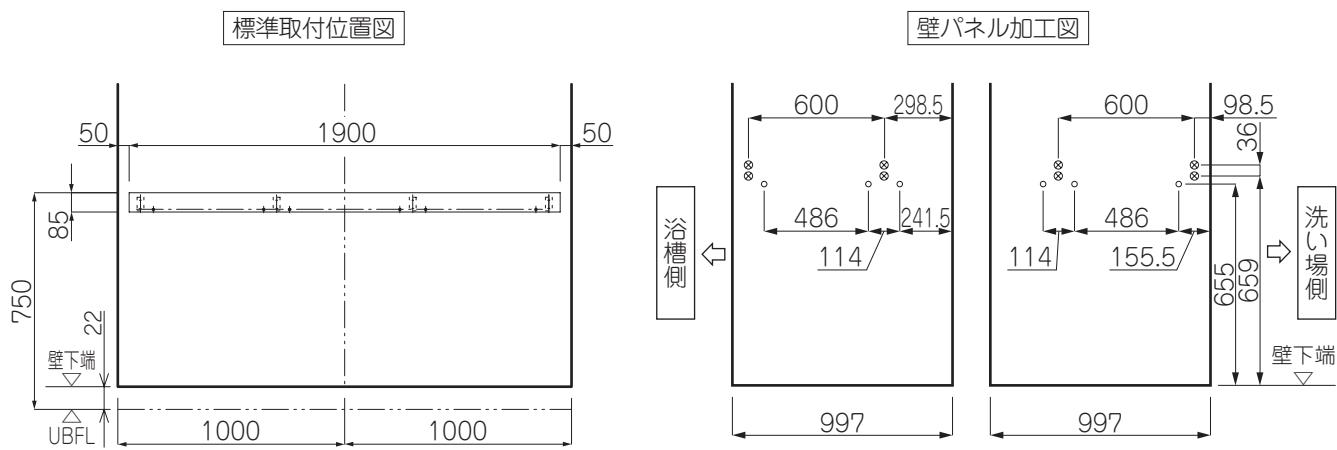
8 おきラク手すり本体の取り付け

1 おきラク手すり取付位置図

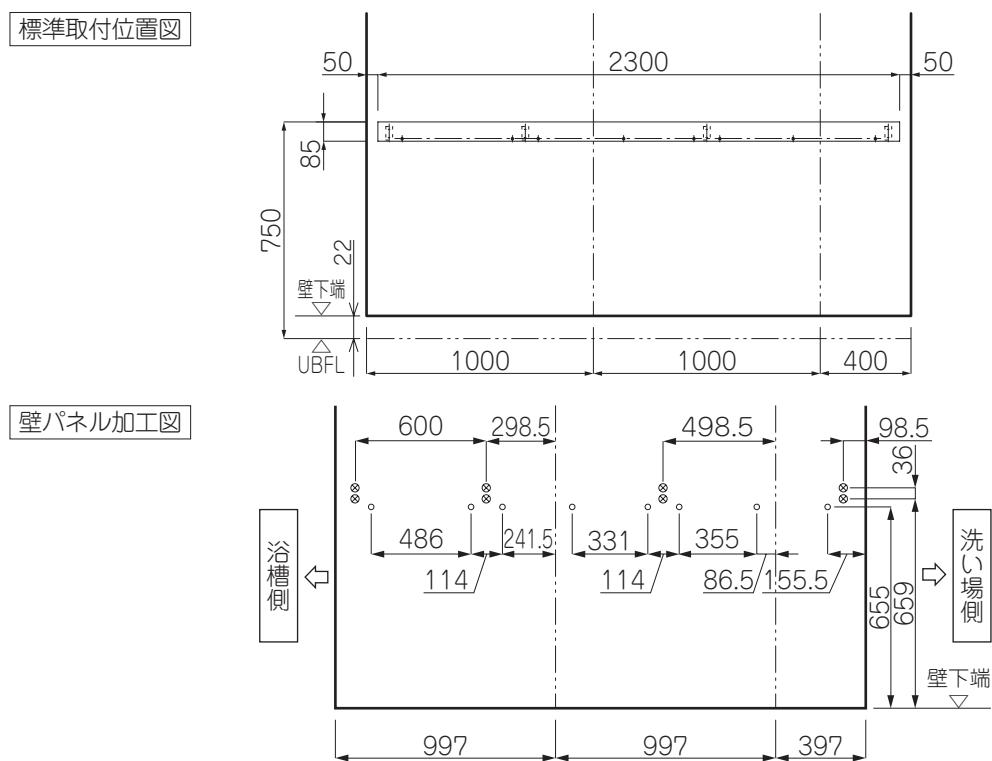
- 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。
- ⊗印の穴を除き、下穴サイズはすべて $\phi 2.8$ となります。
- ⊗印の穴は、 $\phi 9.0$ で開口してください。
- おきラク手すり本体部には、穴開口後に 取り付け金具（おきラク手すりに付属）のはり付けが必要です。（ブチルテープとシーリング材ではり付けてください。）



〈2020・1620サイズ〉



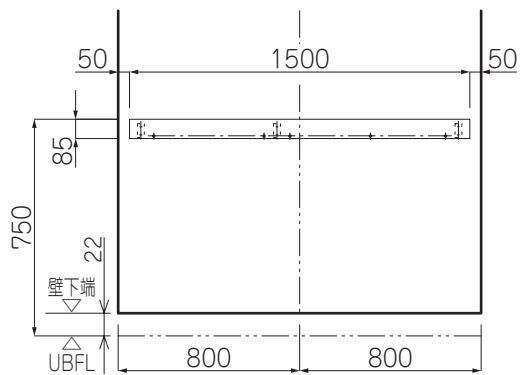
〈2024・1624サイズ〉



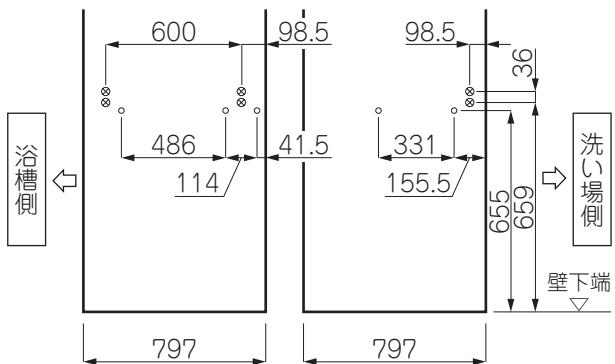
単位：mm

〈1616・1216サイズ〉

標準取付位置図



壁パネル加工図



2 おきラク手すり本体の仮固定

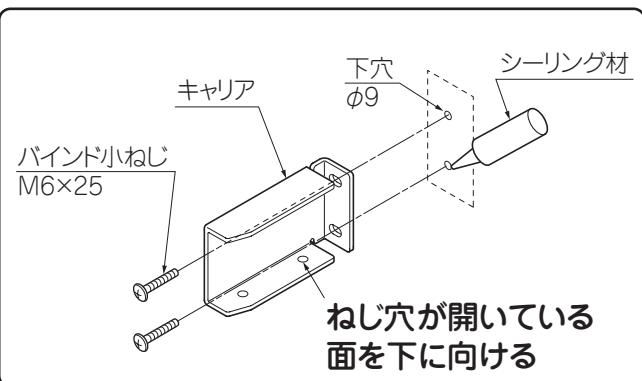
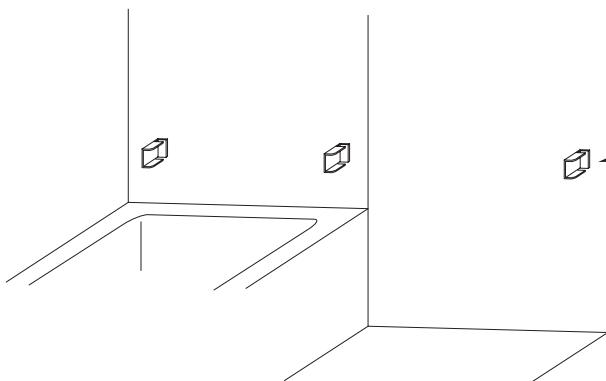
①キャリア（3個）を壁に仮固定する。

- 下穴にシーリング材を塗布し、仮固定してください。

注意

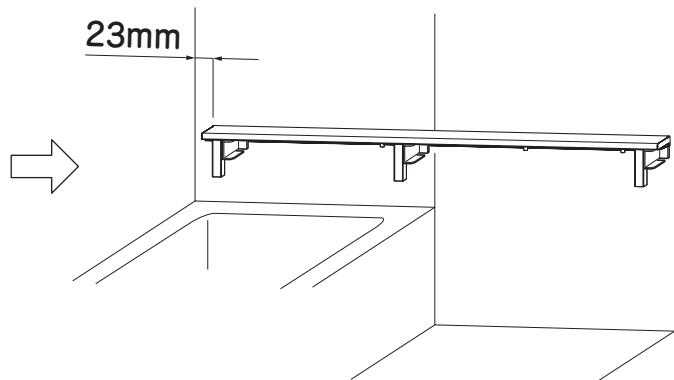
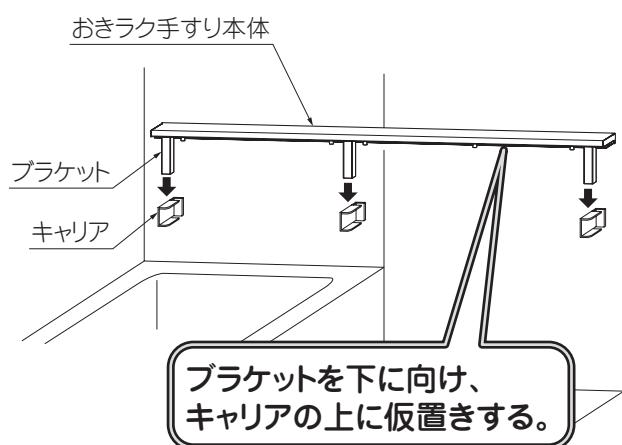


- シーリング材充てんは指定個所に確實に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



②キャリアの上におきラク手すり本体を載せ、キャリアの位置を確認する。

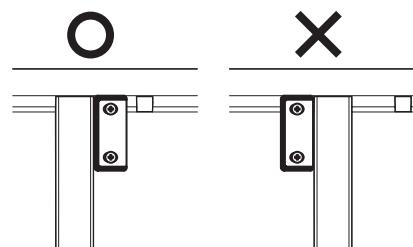
- おきラク手すりと壁との距離が23mmになるように調整してください。



取付設置上のお願い

- おきラク手すり本体を仮置きし、キャリアの取り付け位置・向きの調整をしてください。

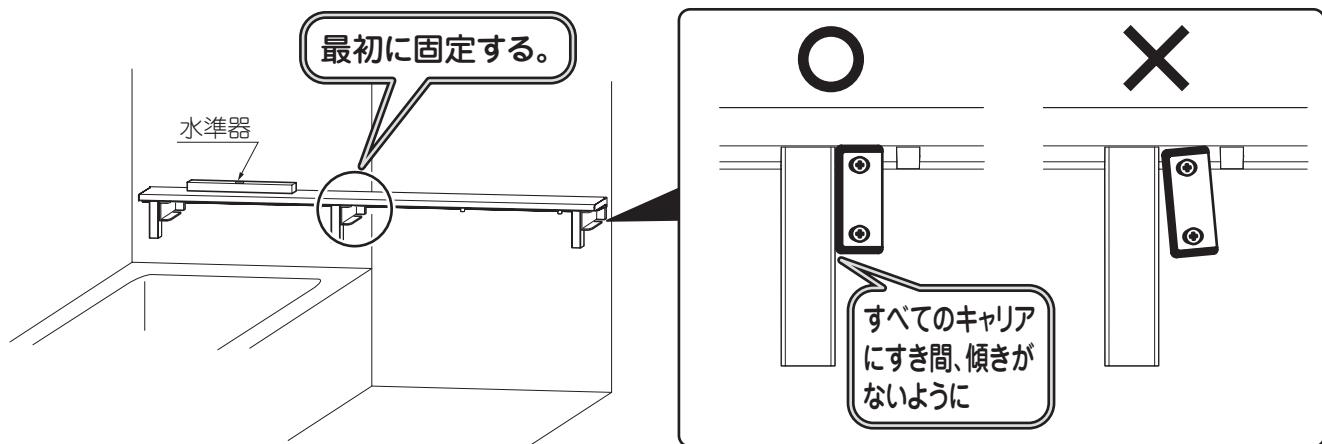
- おきラク手すり本体を仮置きする時は、キャリアの側面がある側にブラケットが来るよう置いてください。



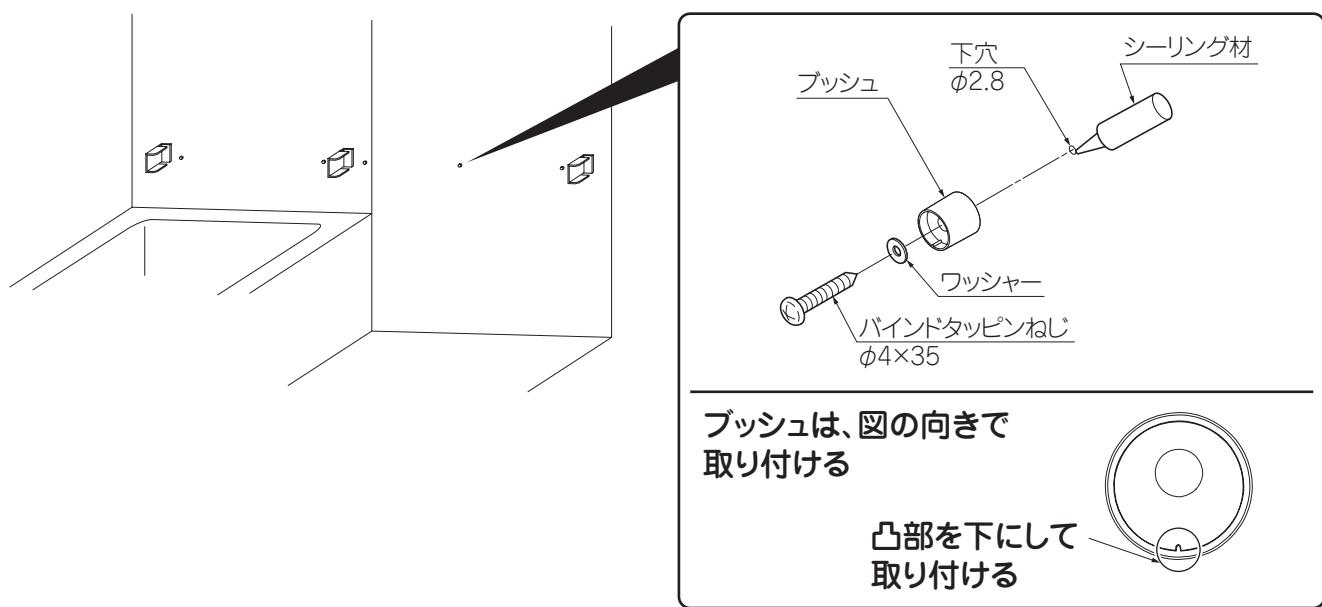
③おきラク手すり本体のブラケットとキャリアにすき間が無いように、キャリアを本固定する。

- 必ず中央のキャリアを最初に本固定してください。

④おきラク手すりの水平を確認し、おきラク手すり本体をキャリアから降ろす。

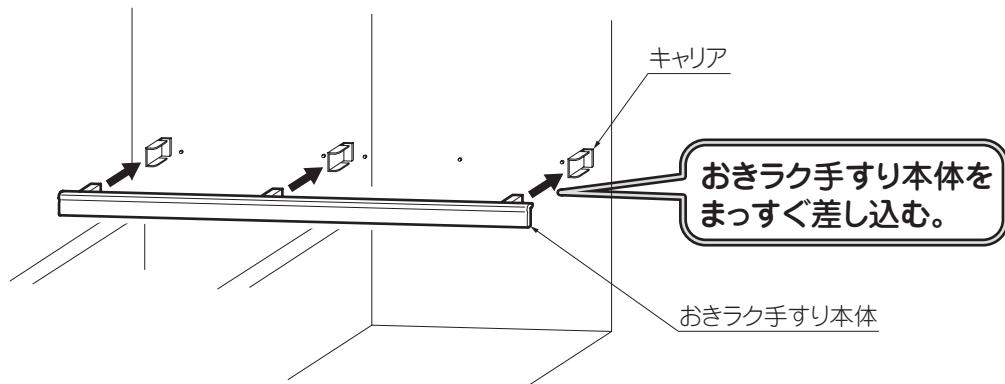


⑤壁にブッシュを取り付ける。



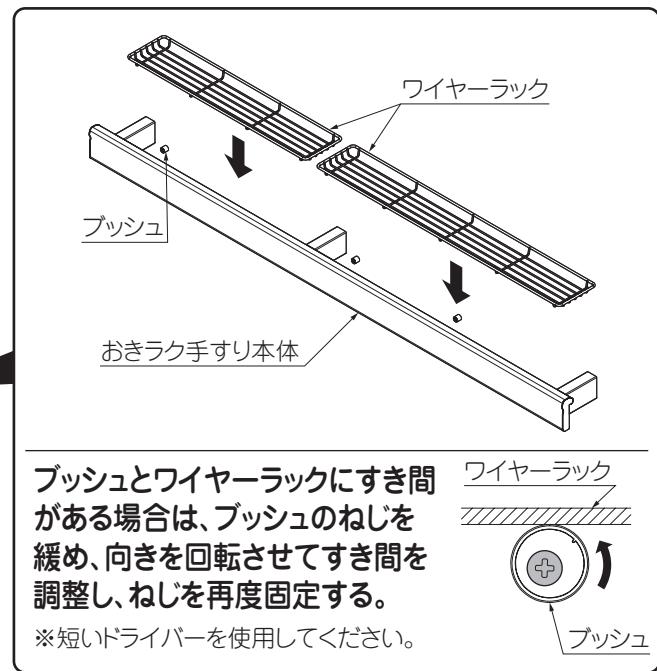
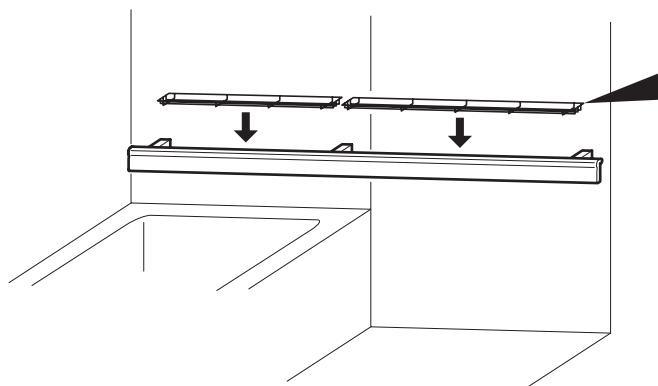
⑥キャリアにおきラク手すり本体を差し込む。

- おきラク手すり本体の固定は、後で行います。

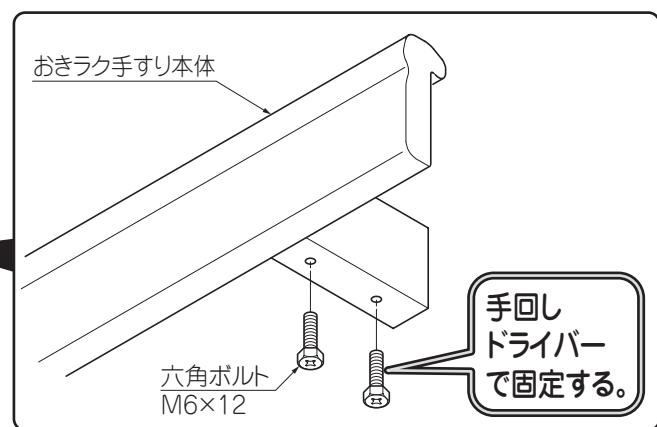
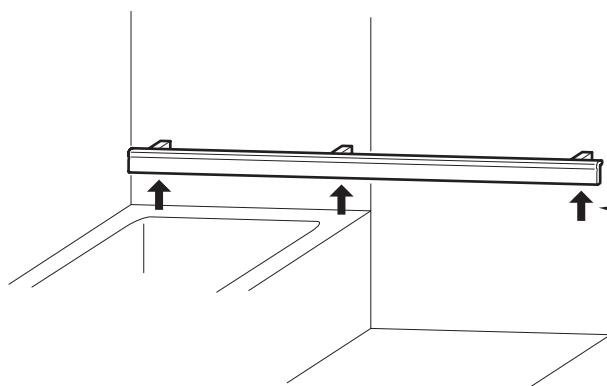


⑦おきラク手すりにワイヤーラックを置き、ガタツキを確認する。

- ・ガタツキがある場合は、ブッシュを回転させて調整してください。

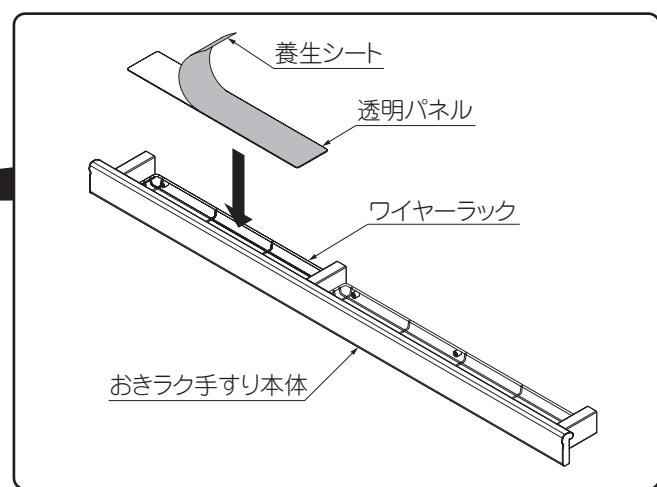
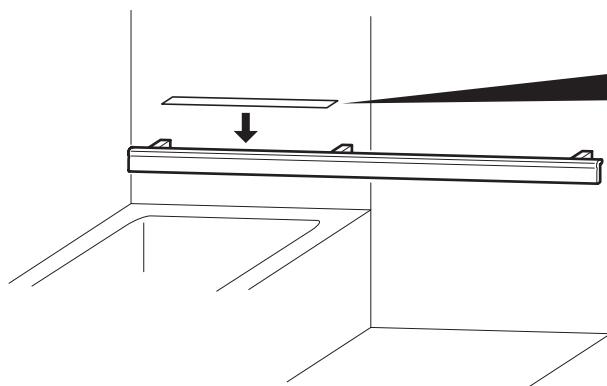


⑧おきラク手すり本体のブラケット下部をねじで固定する。



⑨透明パネルを置く。

- ・透明パネルの養生シート（片面）を剥がしてください。
- ・浴槽側のワイヤーラックに置いてください。



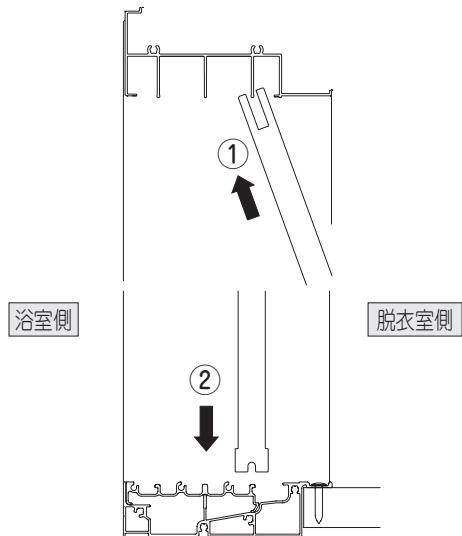
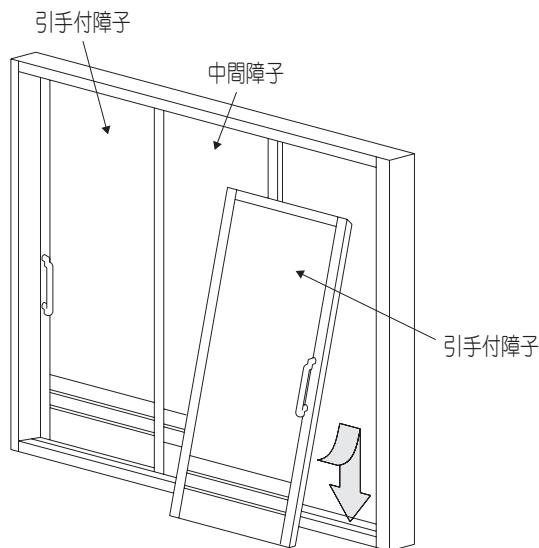
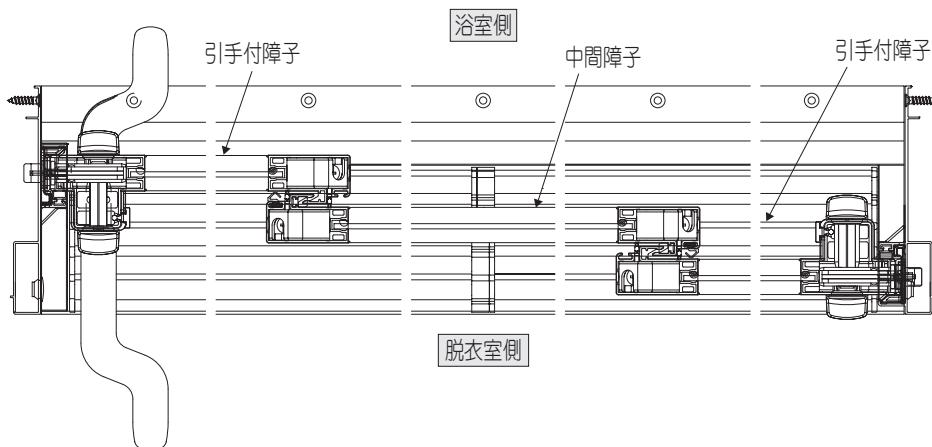
8. ドア本体の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 3枚引き戸

1 ドアの吊り込み

- ①障子を引手付障子→中間障子→固定障子の順に吊り込む。



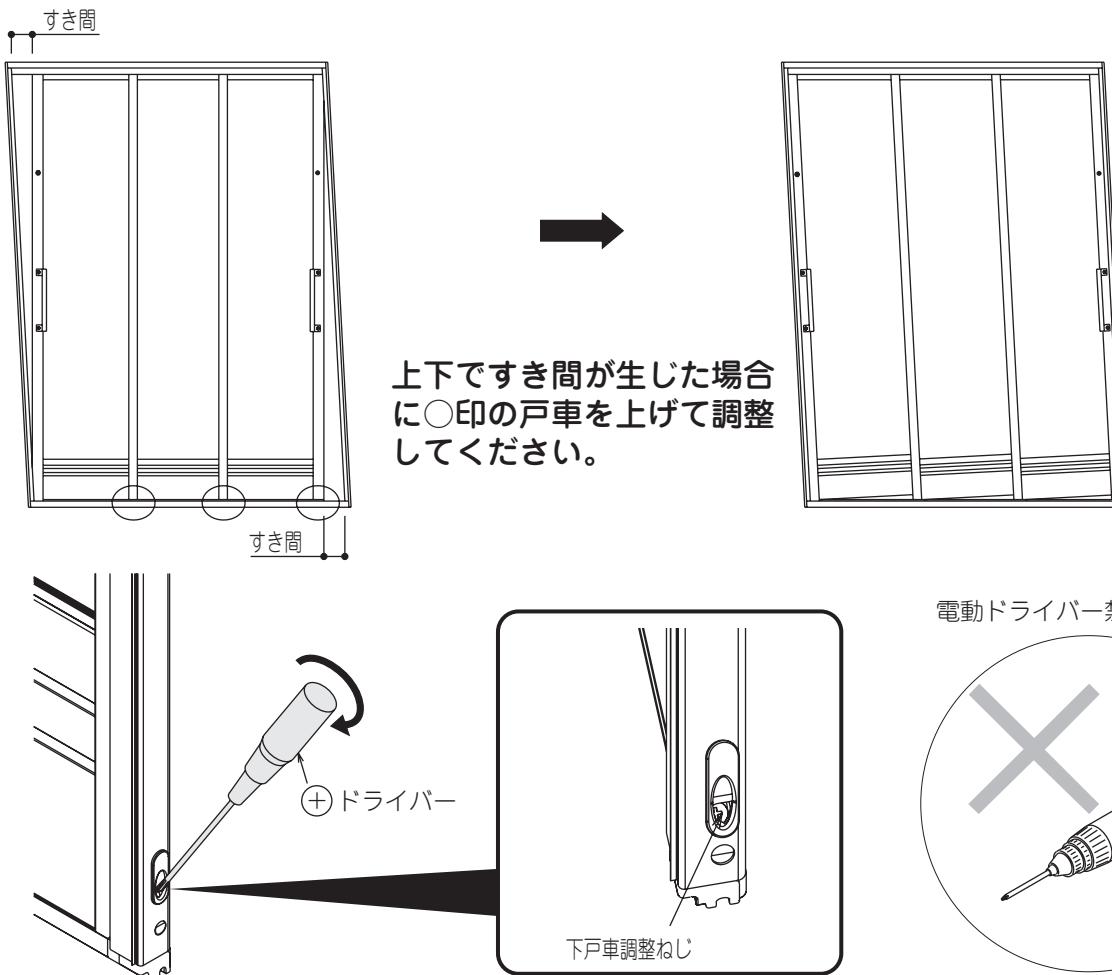
①→②の順にケンドン式で障子を吊り込んでください。

2 ドアの戸車調整

※取り付け後、建付が悪い場合、戸車を上下することで調整してください。

※⊕ドライバーで戸車調整ねじを時計回りに回すと障子が上がります。(3.5まで調整可能)

※引き戸の戸車調整は、枠の対角差がずれ、縦枠と障子の間にすき間が生じたり、3枚引き戸で障子どうしの戸当りが片当りする際に行ないます。



取付設置上のお願い

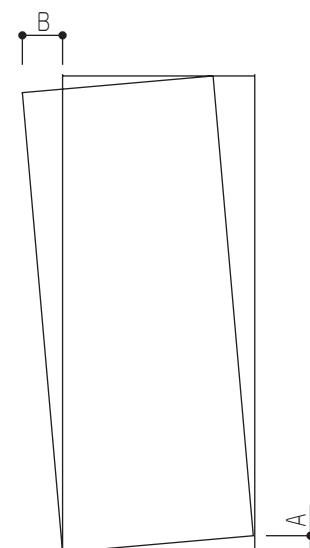
- 調整ねじの初期設定は障子が一番下がった状態です。初期設定から反時計回りに回しても障子は動きませんのでご注意ください。
- 電動ドライバーを使用するとねじの頭がつぶれ、戸車調整が出来なくなりますので使用しないでください。

戸車の初期状態は一番下がった状態に設定されています。

右回しで最大3.5まで上げることが可能です。

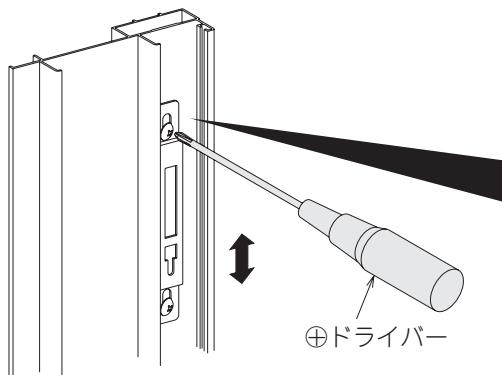
1回転で約0.6上がります。

障子の長短比の関係から調整量はA : B = 1 : 4が目安です。



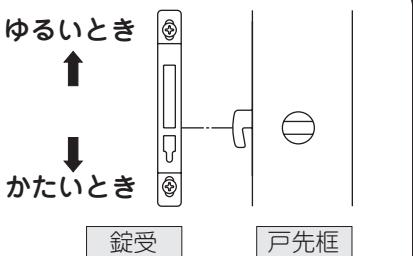
3 ドアの軸受け調整

※錠のかかりが悪い場合、錠受け取付ねじを \oplus ドライバーでゆるめて上下方向に調整し、再度ねじを締めなおしてください。



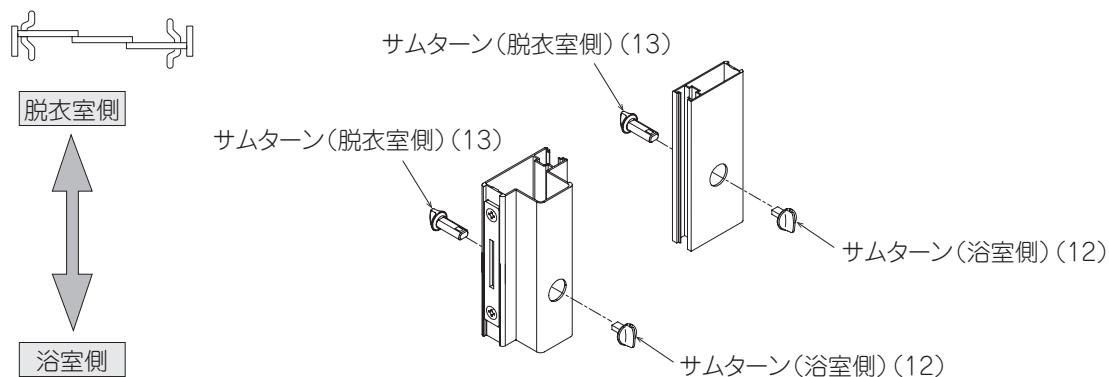
取付設置上のお願い

- ・錠錠の首部下面が、錠受け側のリブ上面と同じ高さになるよう調整してください。



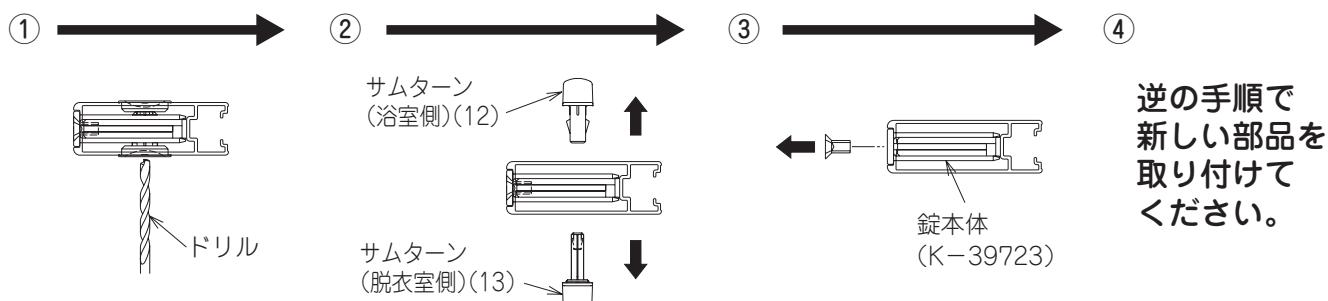
4 錠部ツマミの取り付け

- ①工事完了後、ロックツマミ部品を浴室ドアへ取り付ける。



5 錠の交換方法（参考）

※錠が万一、壊れる等して交換が必要な際は、下記の要領で取り替えてください。



$\phi 5$ 位のドリルで
メダル回しの中間部に
穴をあけ、貫通させて
ください。

サムターン(浴室側)(12)と
サムターン(脱衣室側)(13)を
図のようにして取りはずして
ください。

フロントのねじをはずし、
次に錠ケースをはずして
ください。

本文中の図は、すべてAR・BL勝手の例です。AL・BR勝手は本図と対称になります。

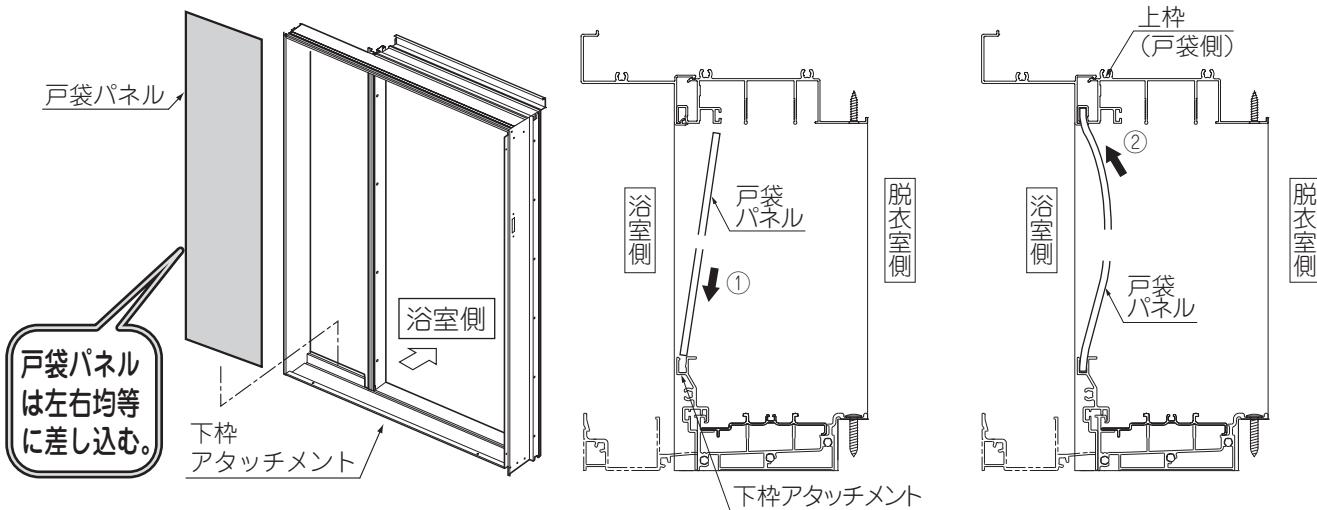
2 2枚引き戸

1 戸袋パネルの取り付け

- ①戸袋パネルを脱衣室側から、下枠アタッチメントへ差し込む。
- ②戸袋パネルの中央部を脱衣室側へ反らし、パネル上部を上枠（戸袋側）に差し込む。

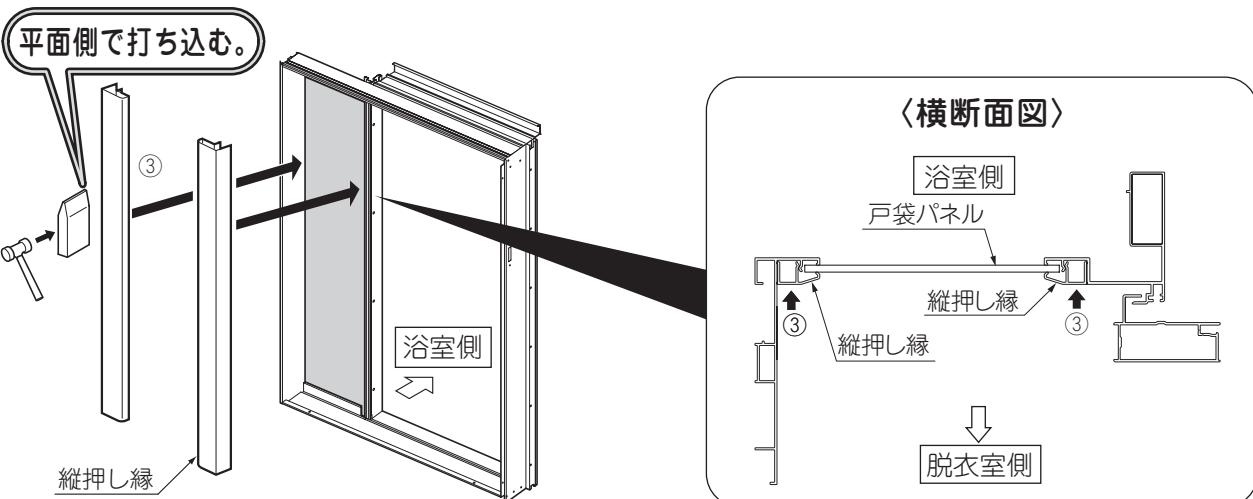
取付設置上のお願い

- 戸袋パネル取り付け前に養生シートをはがしてください。



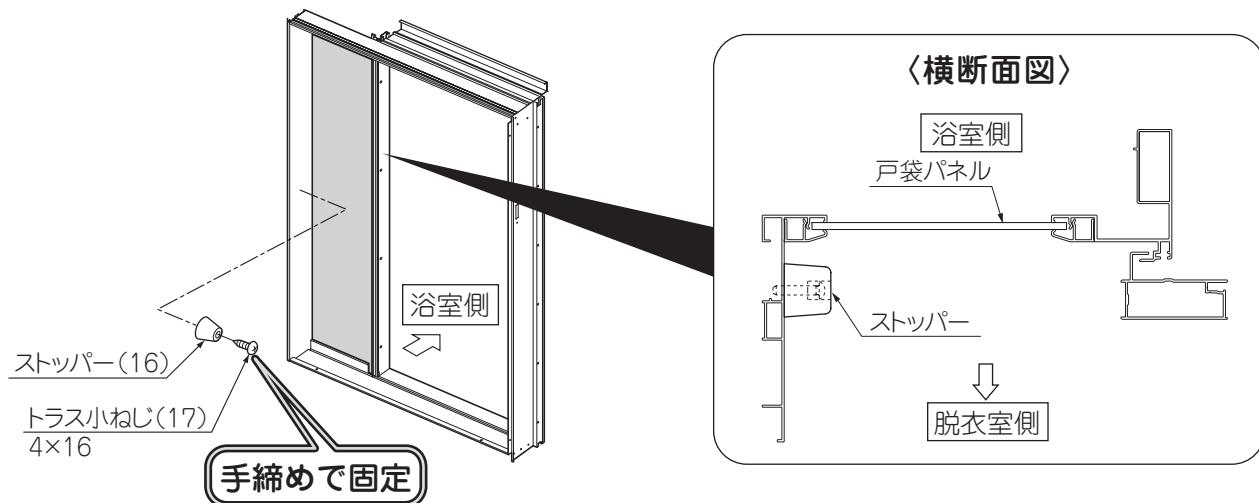
- ③縦押し縁を脱衣室側からはめ込む。

・縦押し縁の取り付けが固い場合は天井回し縁打ち込み治具を使用してください。



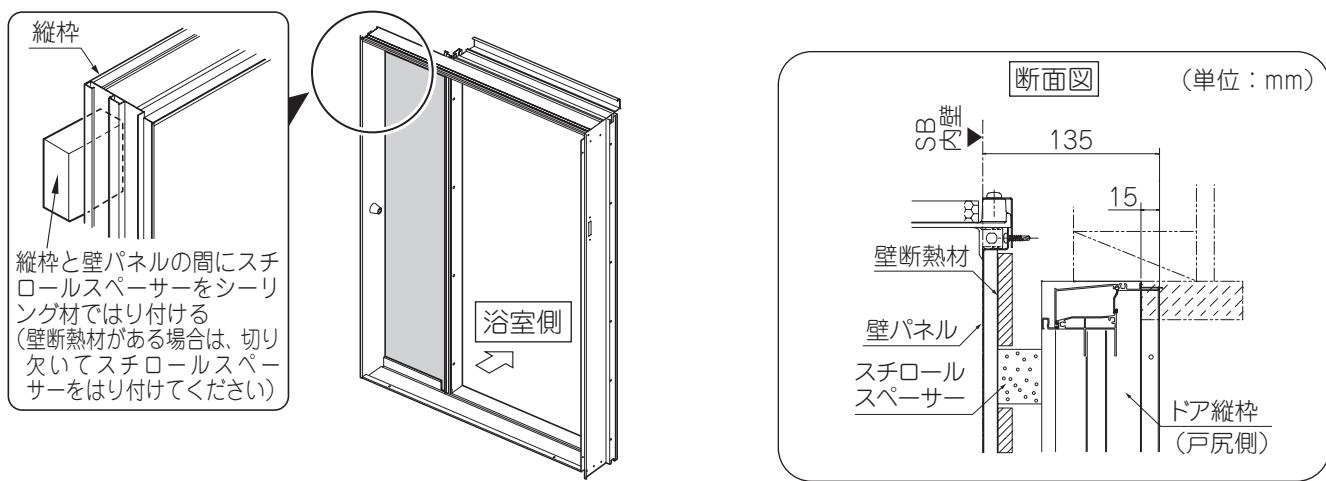
④縦枠にストップバーを取り付ける。

- ・ストップバーが変形しない程度にねじ留めしてください。



⑤戸尻側の縦枠上部にスチロールスペーサーをはり付ける。

- ・スチロールスペーサーのサイズは、厚さ30mm程度としてください。(現場によって異なります。)



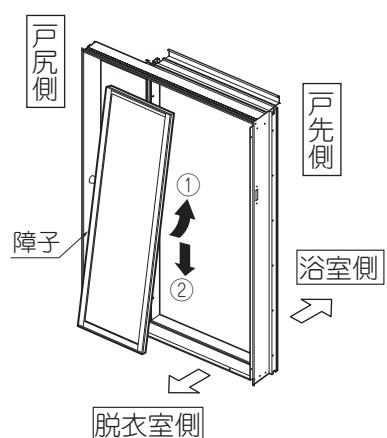
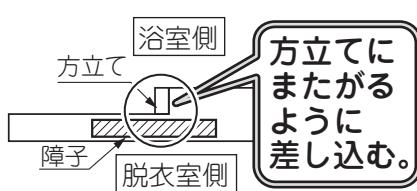
2 障子のつり込み

①右図のように障子を脱衣室側からつり込む。

- ・2枚引き戸の場合は、戸尻側の障子を先につり込んでください。

取付設置上のお願い

- 2枚引き戸の戸尻側の障子は、方立てをまたぐように障子をつり込んでください。

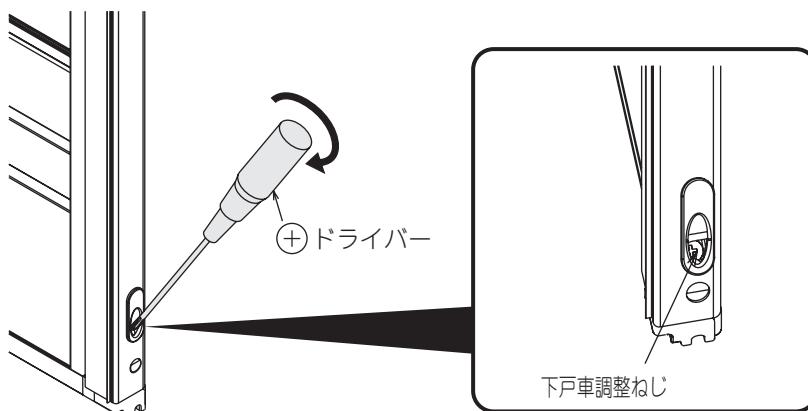
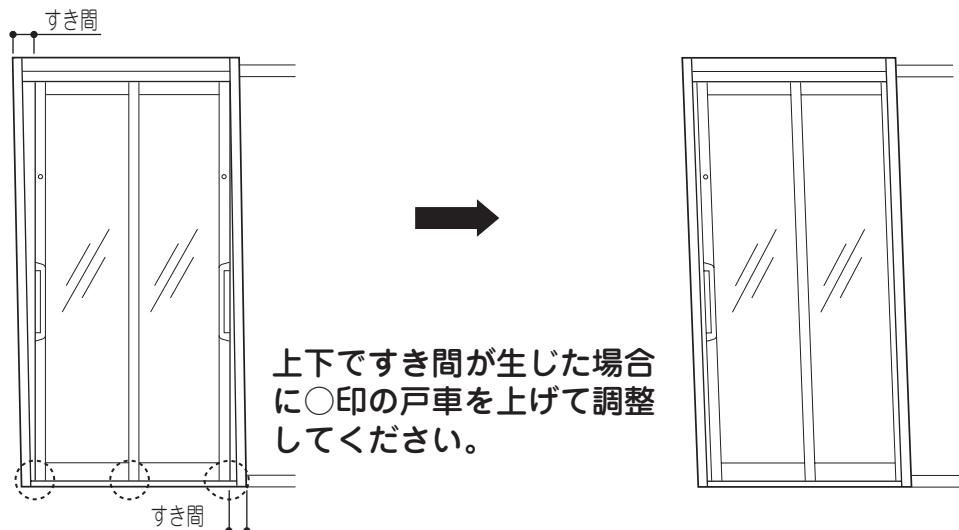


3 ドアの戸車調整

※取り付け後、建付が悪い場合、戸車を上下することで調整してください。

※ \oplus ドライバーで戸車調整ねじを時計回りに回すと障子が上がります。(3.5まで調整可能)

※引き戸の戸車調整は、枠の対角差がずれ、縦枠と障子の間にすき間が生じたり、3枚引き戸で障子どうしの戸当りが片当りする際に行ないます。



取付設置上のお願い

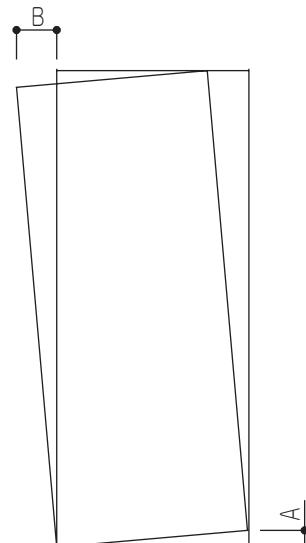
- 調整ねじの初期設定は障子が一番下がった状態です。初期設定から反時計回りに回しても障子は動きませんのでご注意ください。
- 電動ドライバーを使用するとねじの頭がつぶれ、戸車調整が出来なくなりますので使用しないでください。

戸車の初期状態は一番下がった状態に設定されています。

右回しで最大3.5まで上げることが可能です。

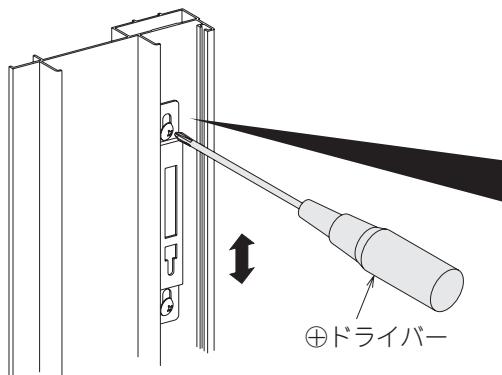
1回転で約0.6上がります。

障子の長短比の関係から調整量はA : B = 1 : 4が目安です。



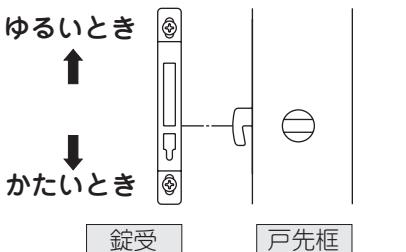
4 ドアの軸受け調整

※錠のかかりが悪い場合、錠受け取付ねじを \oplus ドライバーでゆるめて上下方向に調整し、再度ねじを締めなおしてください。



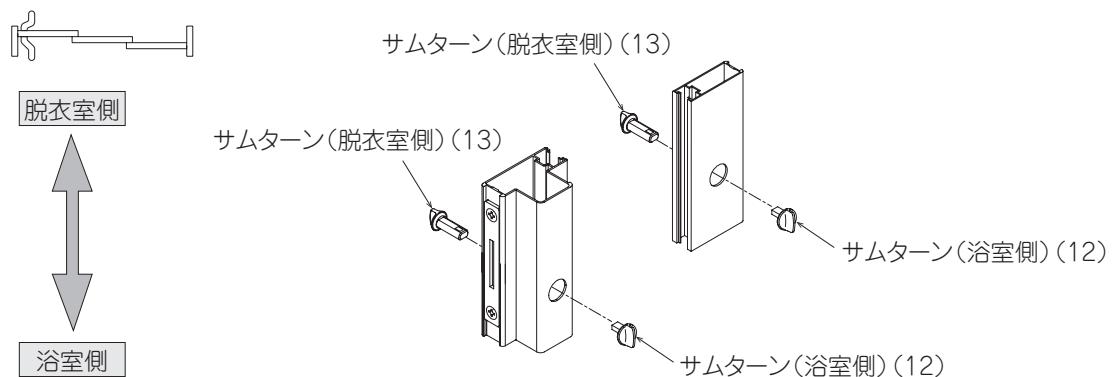
取付設置上のお願い

- ・錠の首部下面が、錠受け側のリブ上面と同じ高さになるよう調整してください。



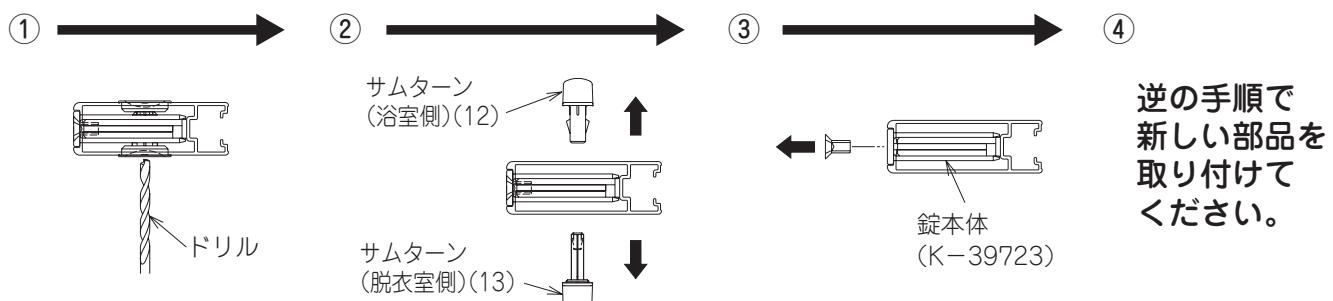
5 錠部ツマミの取り付け

- 工事完了後、ロックツマミ部品を浴室ドアへ取り付ける。



6 錠の交換方法（参考）

※錠が万一、壊れる等して交換が必要な際は、下記の要領で取り替えてください。



$\phi 5$ 位のドリルで
メダル回しの中間部に
穴をあけ、貫通させて
ください。

サムターン(浴室側)(12)と
サムターン(脱衣室側)(13)を
図のようにして取りはずして
ください。

フロントのねじをはずし、
次に錠ケースをはずして
ください。

9. 器具の取り付け

単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 カウンタ一周辺器具

1 シンプルミラーの取り付け

- 開梱時、ミラー本体の取り扱いにご注意ください。

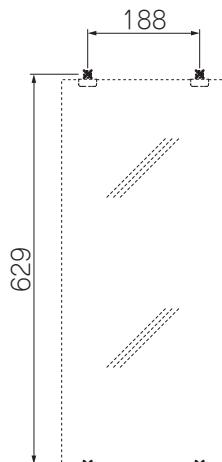
① 下穴にシーリング材を塗布する。

② 下固定金具を取り付ける。

③ ミラー裏面の両面テープのはく離紙をはがし、ミラーを下固定金具に取り付ける。

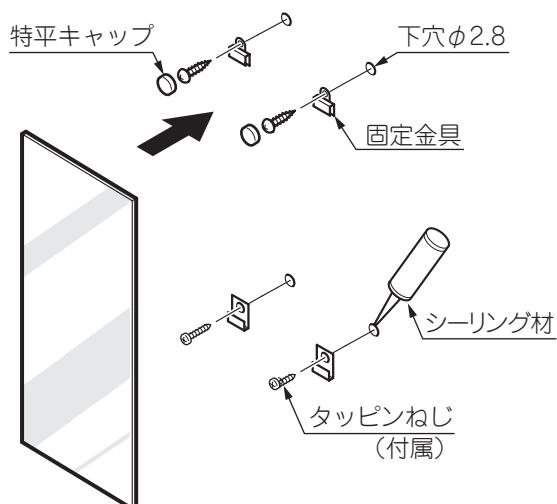
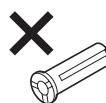
- ・ミラーを左右の位置が均等になるように調整してください。
- ・ミラーを壁に軽く押しつけるようにして、両面テープがしっかりとはり付くようにしてください。

④ 上固定金具を取り付けて、ミラーを固定する。

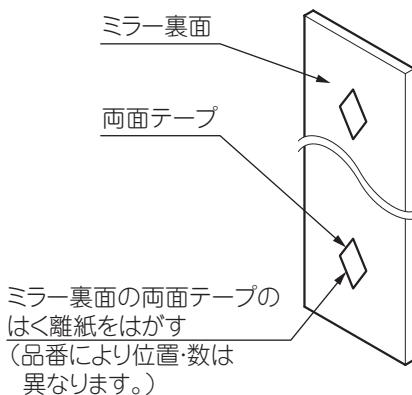


取付設置上のお願い

- ・フィッシャーアンカーが付属されている場合がありますが、本製品では絶対に使用せず、廃棄してください。



- 必ず守る
- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に行う（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）
 - ・ミラー裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす（はがさないと、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。）
 - ・ミラー受け金具（上）が最後まで下がっているか確認する（最後まで下がっていないと、ミラーが落下して、けがの原因となります。）
 - ・ミラーは取り付け指定位置に確実に取り付ける（確実に取り付けないと、使用中に外れて、けがの原因となります。）

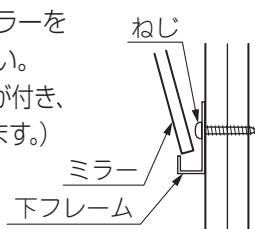


取付設置上のお願い

- ・ミラーの小口または裏面に、傷が付かないようにしてください。（取り付け時に傷付けると、ミラーの裏面に水が浸し変色の原因となります。）
- ・ねじは、ドライバーなどでねじ頭にバリが出ないように取り付けてください。（バリがあると、ミラーの裏面に傷が付き、さびの原因となります。）



- ・ねじ頭でミラーの裏面をすらないようにミラーを取り付けてください。（ミラーの裏面に傷が付き、さびの原因となります。）



2 縦型スリムミラーの取り付け

- 開梱時、ミラー本体の取り扱いにご注意ください。

- ① 下穴にシーリング材を塗布する。
- ② 下フレームを付属のねじにて固定する。(2個所)
- ③ ミラー受け金具（上）の落下防止装置を引き伸ばし、ねじで固定する。(2個所、中央2個所)

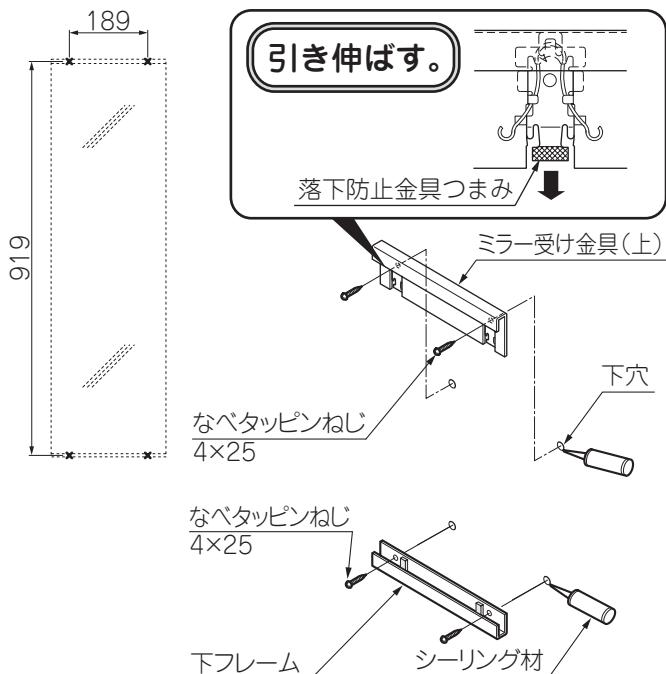
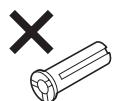
⚠ 注意



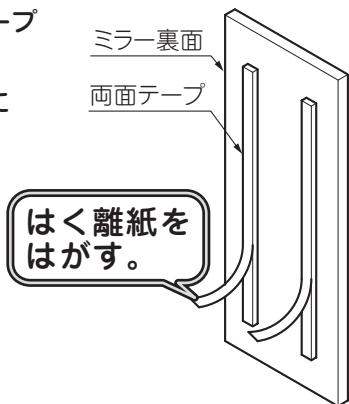
- 必ず守る**
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)
 - ミラー裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす
(はがさないと、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。)
 - ミラー受け金具（上）が最後まで下がっているか確認する
(最後まで下がっていないと、ミラーが落下して、けがの原因となります。)
 - ミラーは取り付け指定位置に確実に取り付ける
(確実に取り付けないと、使用中に外れて、けがの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 鋼板用樹脂アンカー・フィッシュヤーアンカーが付属されている場合がありますが、本製品では絶対に使用せず、廃棄してください。



- ④ ミラー裏面の両面テープのはく離紙をはがし、ミラーを下フレームに取り付ける。



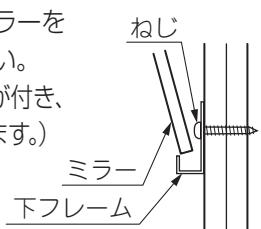
取付設置上のお願い

- ミラーの小口または裏面に、傷が付かないようにしてください。
(取り付け時に傷付けると、ミラーの裏面に水が浸し変色の原因となります。)
- ねじは、ドライバーなどでねじ頭にバリが出ないように取り付けてください。
(バリがあると、ミラーの裏面に傷が付き、さびの原因となります。)

バリが出ないように!



- ねじ頭でミラーの裏面をすらないようにミラーを取り付けてください。
(ミラーの裏面に傷が付き、さびの原因となります。)



3 縦型ミラーの取り付け

- 開梱時、ミラー本体の取り扱いにご注意ください。

- ① 下穴にシーリング材を塗布する。
- ② 下フレームを付属のねじにて固定する。(2個所)
- ③ ミラー受け金具（上）の落下防止装置を引き伸ばし、ねじで固定する。(2個所、中央2個所)

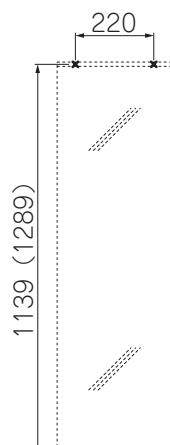
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)
- ミラー裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす
(はがさないと、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。)
- ミラー受け金具（上）が最後まで下がっているか確認する
(最後まで下がっていないと、ミラーが落下して、けがの原因となります。)
- ミラーは取り付け指定位置に確実に取り付ける
(確実に取り付けないと、使用中に外れて、けがの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 鋼板用樹脂アンカー・フィッシュヤーアンカーが付属されている場合がありますが、本製品では絶対に使用せず、廃棄してください。



引き伸ばす。

落下防止金具つまみ

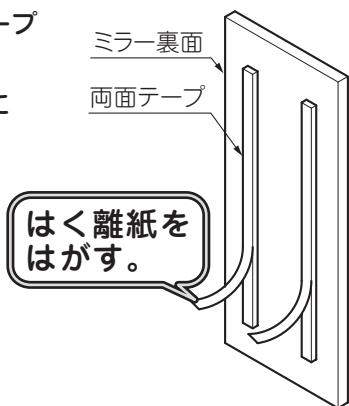
ミラー受け金具（上）

なべタッピンねじ
4×25

なべタッピンねじ
4×25

下フレーム シーリング材

- ④ ミラー裏面の両面テープのはく離紙をはがし、ミラーを下フレームに取り付ける。



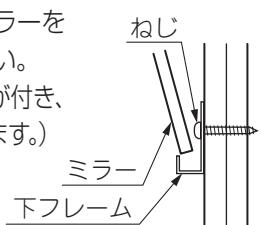
取付設置上のお願い

- ミラーの小口または裏面に、傷が付かないようにしてください。
(取り付け時に傷付けると、ミラーの裏面に水が浸し変色の原因となります。)
- ねじは、ドライバーなどでねじ頭にバリが出ないように取り付けてください。
(バリがあると、ミラーの裏面に傷が付き、さびの原因となります。)

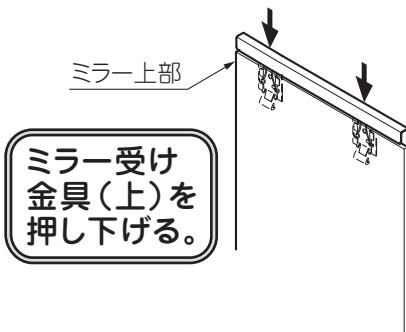
バリが出ないように!

ねじ頭

- ねじ頭でミラーの裏面をすらないようにミラーを取り付けてください。
(ミラーの裏面に傷が付き、さびの原因となります。)



- ⑤ ミラーを壁に押しつけながら、ミラー受け金具（上）を押し下げる。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 収納関連器具

1 シャワースライドバーの取り付け

①握りバーのボルト穴の中と周囲にシーリング材を充てんする。

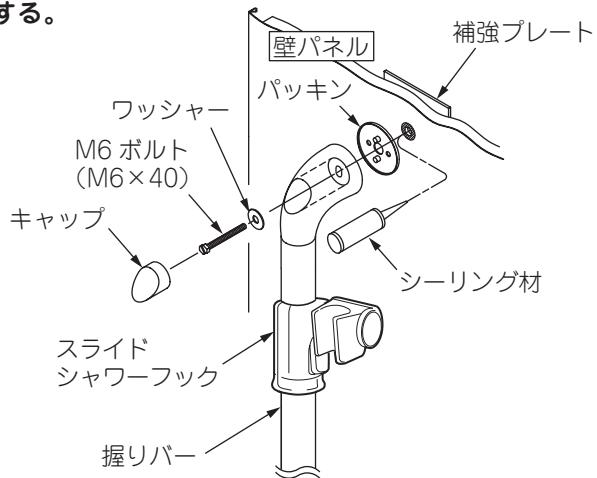
②握りバー兼用スライドバーを取り付ける。

- ・シーリング材が乾く前に、手早く行ってください。

⚠ 注意



- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



2 シャワーフック（オプション）の取り付け

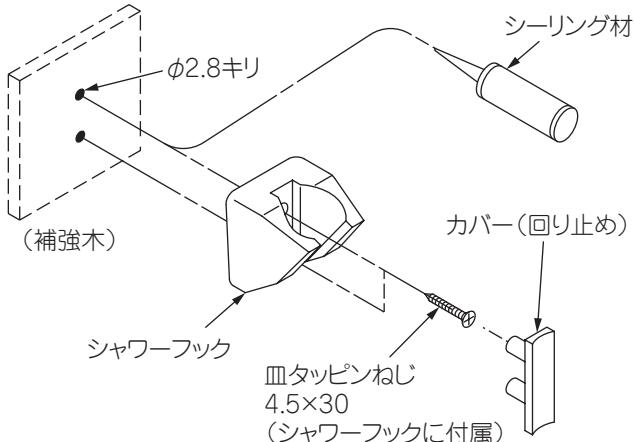
①下穴にシーリング材を塗布する。

②シャワーフックを取り付ける。

⚠ 注意



- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



3 シャワーホースフックの取り付け

①シャワーホースフックを取り付ける。

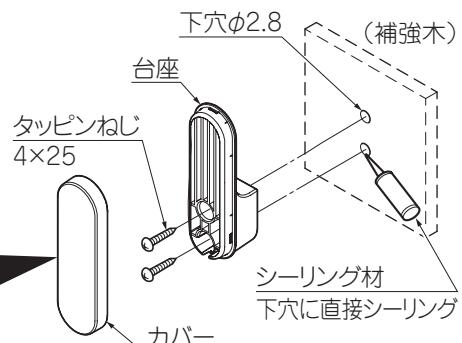
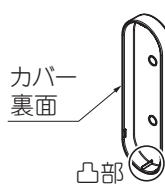
- ・新仕様の場合、カバーの凸部が下になるように取り付けてください。

⚠ 注意



- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

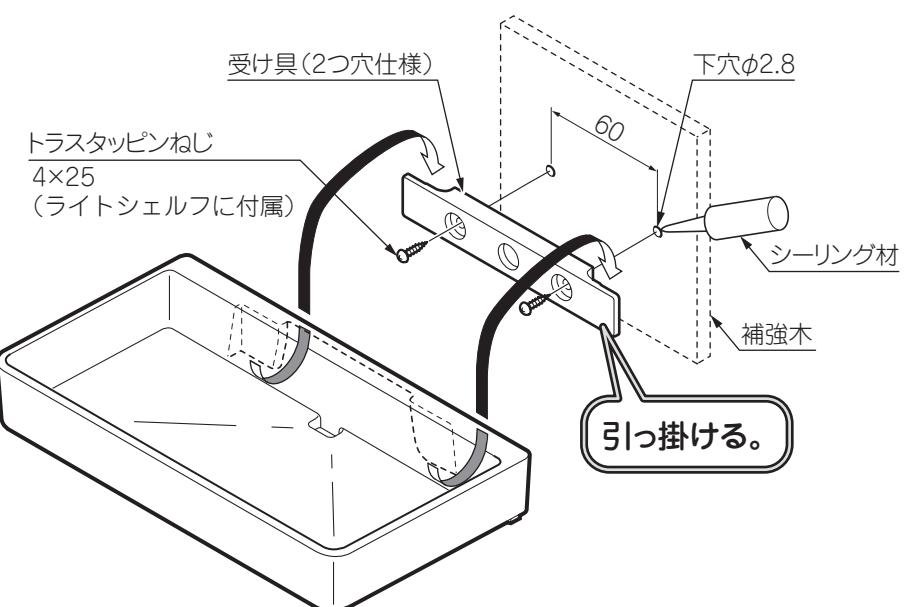
カバー裏面の凸部が下になるように取り付ける



4 ライトシェルフの取り付け

①下穴にシーリング材を塗布する。

②ライトシェルフを取り付ける。



⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確實に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

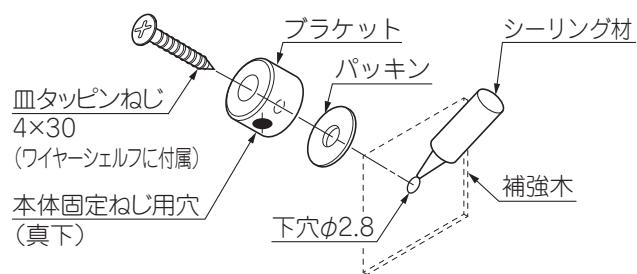
- 中央の穴にはシーリング材を塗布する必要はありません。

5 ワイヤーシェルフの取り付け

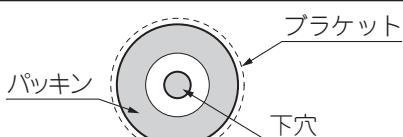


①下穴にシーリング材を塗布する。

②ブラケットを取り付ける。



納まり図



！注意

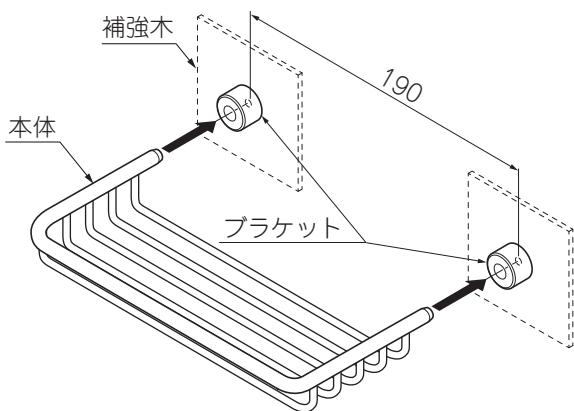


- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

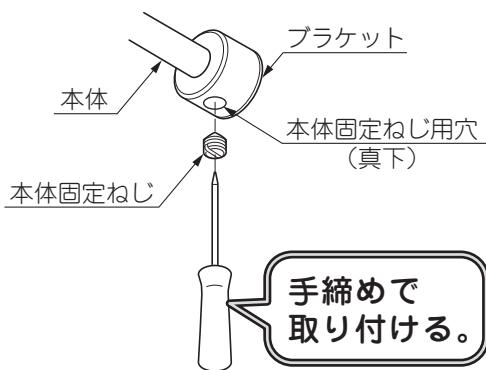
取付設置上のお願い

- ブラケットは本体固定ねじ用穴が真下を向くように、しっかり固定してください。
- ブラケットから、パッキンがはみ出さないように調整してください。

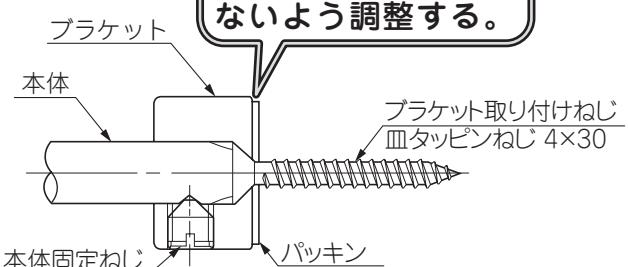
③本体をブラケットの奥まで差し込む。



④本体固定ねじを、手締めで取り付ける。



パッキンがはみ出さないよう調整する。



取付設置上のお願い

- 本体ががたつかないように確実に固定してください。

6 クリアシェルフの取り付け

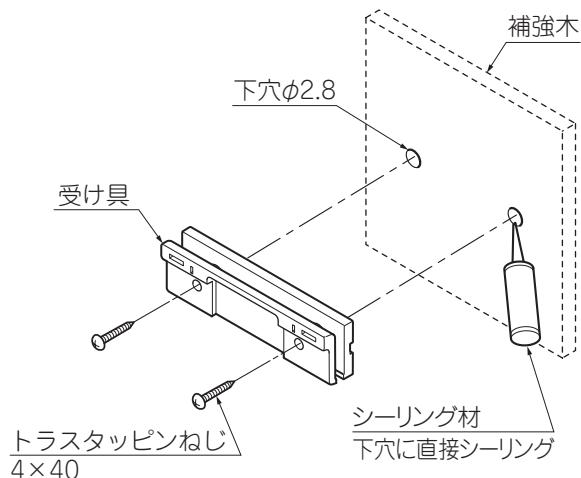
①下穴にシーリング材を塗布する。

②受け具を仮固定する。(1個)

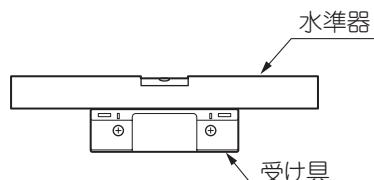
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



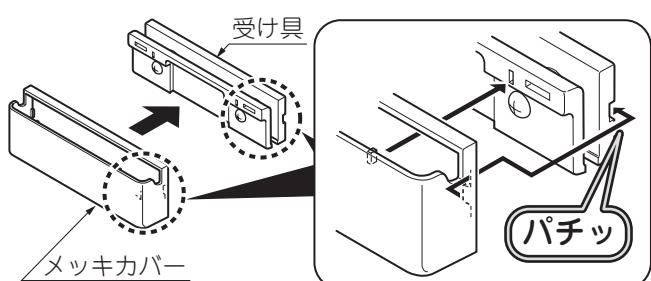
③受け具のレベルと位置を調整し、ねじを本締めする。



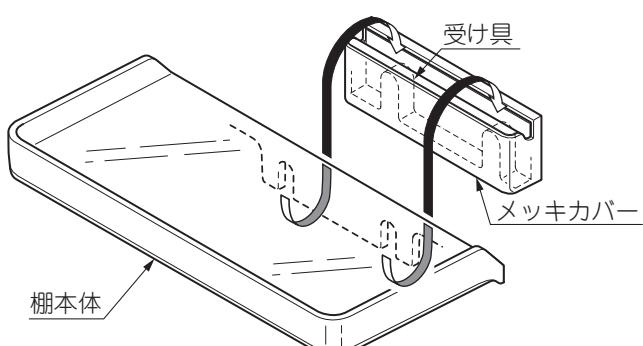
④メッキカバーを受け具にはめ込む。

取付設置上のお願い

- 必ず受け具の位置を調整した後に、メッキカバーをはめ込んでください
(メッキカバーは、いったん取り付けると外せません。)



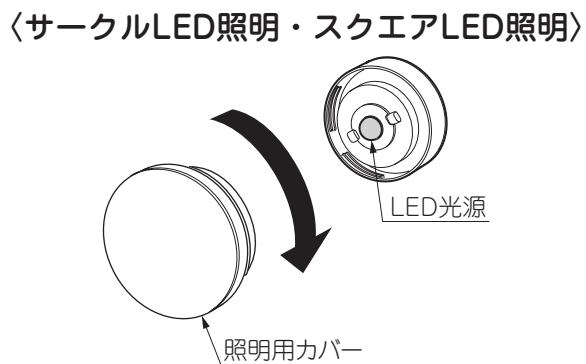
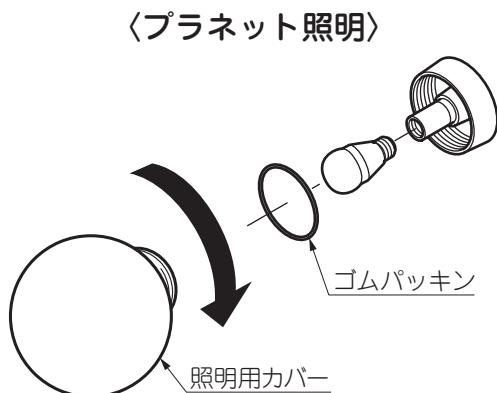
⑤棚本体を、受け具にしっかり差し込む。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

3 天井周辺器具

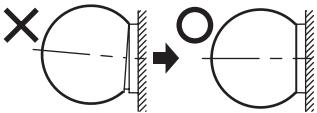
1 照明用カバーの取り付け



※図はサークルLED照明の場合

！注意

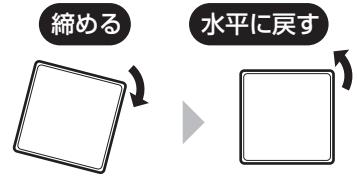
- 照明器具のグローブの締め付けは確実に行う
(締め付けが不十分な場合落下によるけがのおそれがあります。)



横側から見てすき間がある場合は、一度緩めてから再度ねじ込んでください。

取付設置上のお願い

- サークルLED照明、スクエアLED照明の場合、LED光源に触れたり傷つかないように注意してください。(傷がつき、光むらの原因となります。)
- 照明カバーは最後まで締め切って使用してください。(カバー内部に水が浸入して故障の原因となります。)
- スクエアLED照明の場合、締め切ってから水平になるように、少し戻してください。(戻しすぎると、カバー内に水が浸入して故障の原因となります。)



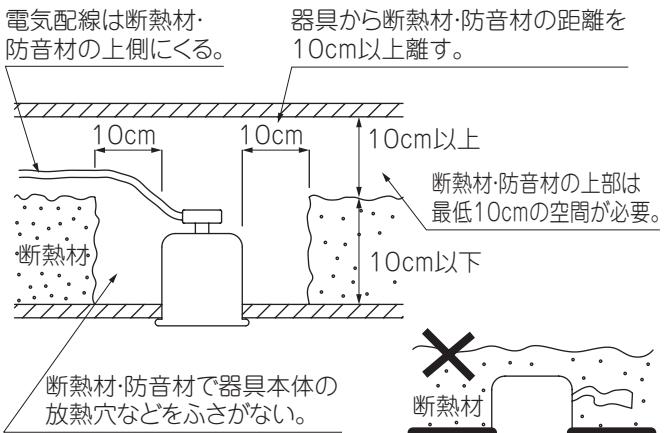
〈断熱材・防音材をご使用の場合の取付設置上のご注意〉

- ※ フラットラインLED照明を取付設置する場合、以下のことにご注意ください。
- ※ ダウンライト照明の取り付けは、天井組み立て前作業の99ページを参照してください。

！警告



- 天井照明には、断熱材・防音材をかぶせて使用しない
(火災の原因となります。)

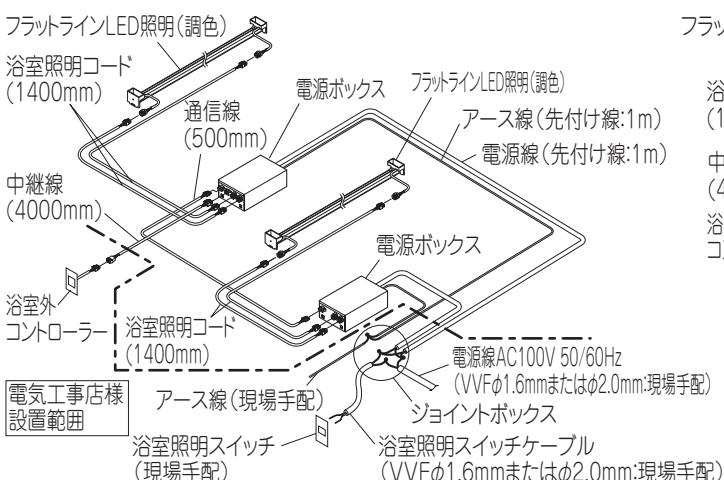


2 フラットラインLED照明の取り付け

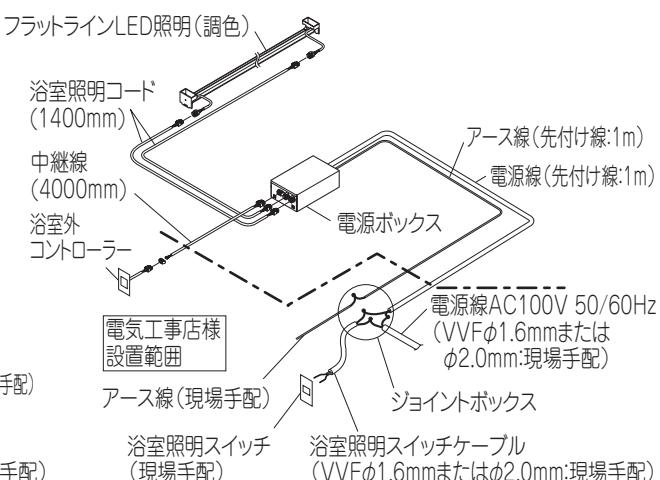
フラットラインLED照明の取付設置方法は、フラットラインLED照明に付属の説明書を参照してください。

〈電気配線図〉

●2024・2020・1624サイズの場合

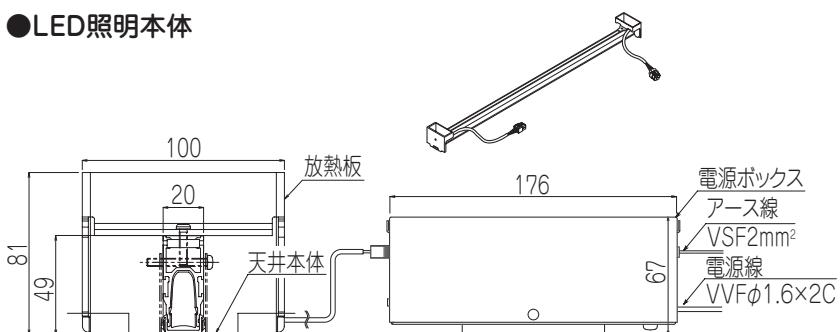


●1620・1616・1216サイズの場合



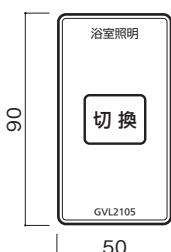
〈外形寸法図〉

●LED照明本体



LED 照明 1 灯につき、電源ボックスは 1 台設置されます。
(2024・2020・1624 サイズの場合は 2 灯のため、
電源ボックスは 2 台設置されます。)

●浴室室外コントローラー



注意



- コントローラーは浴室外に設置する
(不意な誤操作の原因となります。)

3 物干しバー（オプション）の取り付け

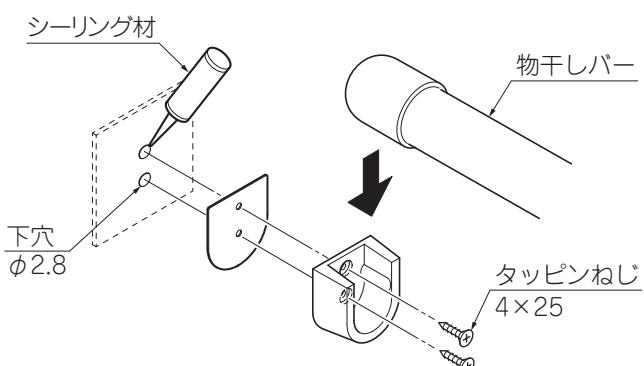
①下穴にシーリング材を塗布する。

②物干しバーを取り付ける。

注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



10. 仕上げ・清掃・検査

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 最終仕上げ

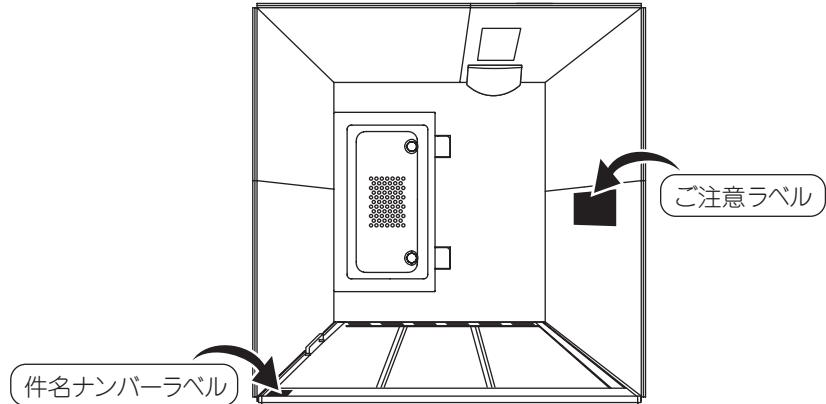
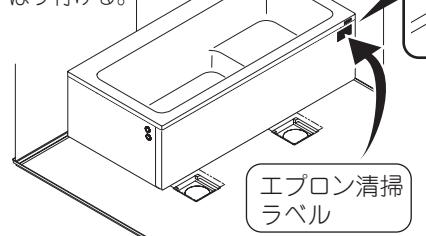
1 ラベルのはり付け

- ①図の位置にラベルをはり付ける。

〈2024・2020サイズの場合〉

W1600浴槽

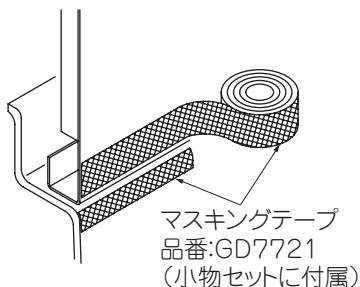
浴槽品番ラベルの下に
はり付ける。



2 シーリング材の準備

- ①シーリング材幅に合わせて
マスキングテープをはり付
けた後、シーリング材充てんを行なう。

・床・洗い場側にはマスキング
テープを使用してください。



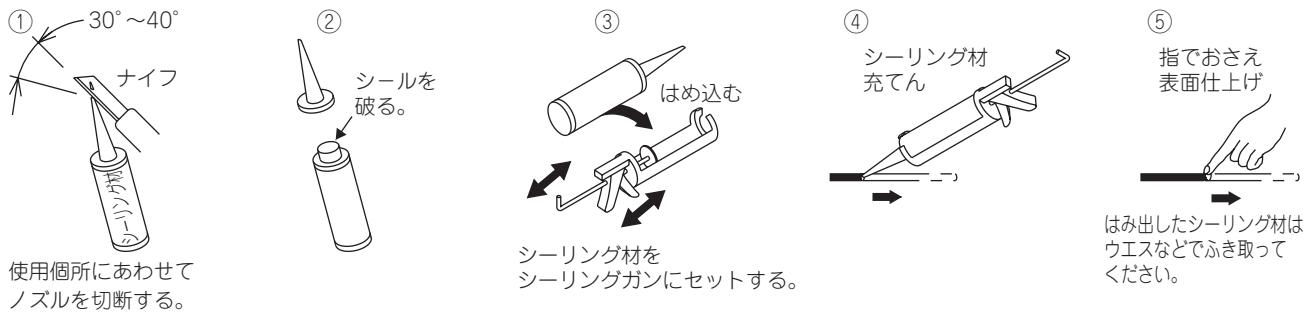
⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所
に確実に行なう
(確実にシーリング材充てんしない
と、水漏れの原因となります。)

- ②指定個所に、シーリング材充てんを行なう。



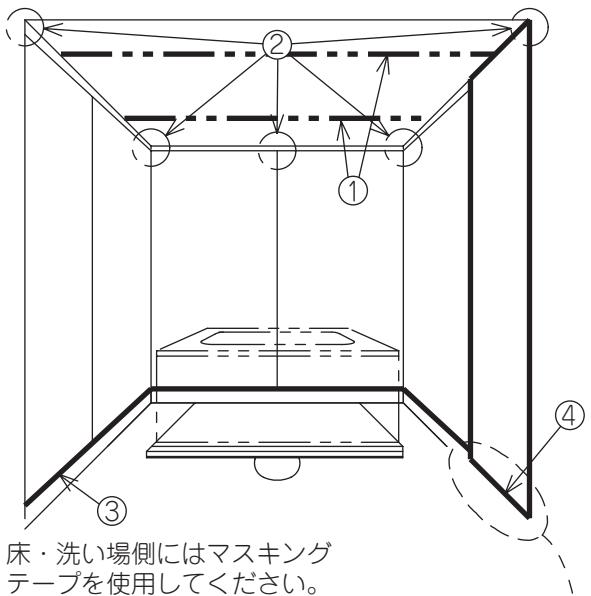
取付設置上のお願い

- シーリング材個所の汚れ、水分などは事前にきれいにふき取ってください。
- パッキンとシーリング材の併用止水部については、充てん部に空気が入り込まないよう、ゆっくりとシ
ーリング材充てんを行なってください。
- 付属のシーリング材を、必ず使用してください。

3 シーリング材充てん

番号	部位	色
①	天井ジョイント部	ホワイト
②	天井廻し縁～壁目地接合部	
③	天井・ドア枠上部	
④	床～壁取り合い部（全周）	
⑤	カウンタ一部	オーバルカウンター（黒） その他 壁柄に統一
⑥	ドア枠回り（上部以外）	ドア色：ホワイト ドア色：ブラック ホワイト
⑦	器具類取り付けビス穴	壁柄に統一

壁柄	色
ヘリンボーンブラック柄、アイスラックブラウン柄、ガラスタイルブラック柄、アンティークブラウン柄、アンティークブラック柄、ツイルネイビー柄、ツイルボルドー柄、ブラックランダムライン柄、レンブラントグレー柄	ブラック
その他	ホワイト



マスキングテープ
(品番：GD7721)
(小物セットに同梱)



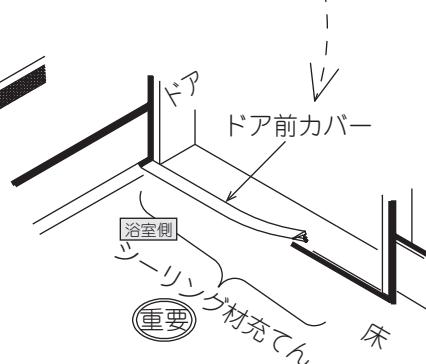
⚠ 注意



- シーリング材充てん箇所の汚れ、水分などは事前にきれいにふき取る
- シーリング材充てんの必要箇所は、確実にシーリング材を充てんする。
(必要箇所にシーリング材を充てんしないと水漏れの原因となります。)

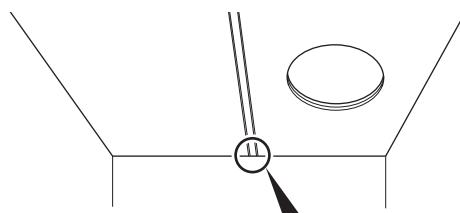
取付設置上のお願い

- パッキンとシーリング材の併用止水部について
は中部に空気が入り込まないよう、ゆっくりと
シーリング材充てんを行なってください。



4 天井回し縁の取り付けとシーリング材充てん（フラットライン照明）

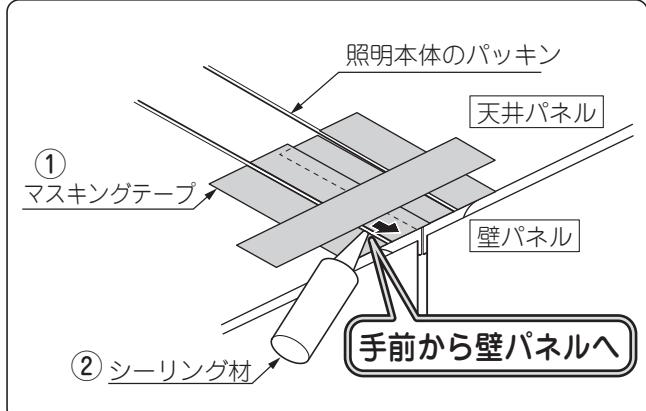
- ①浴室内側から照明本体の両端にマスキングテープをはる。
- ②パッキンのない個所（両端）に、手前から壁パネルに向かってシーリング材を充てんする。
- ③シーリング材を平らにならす。
 - ・天井パネルと壁パネルの間に打つシーリング材もならしてください。
- ④天井回し縁を取り付ける。
 - ・取り付け方は、110ページを参照してください。
- ⑤天井回し縁とフラットライン照明のすき間（両端）にシーリング材を充てんする。



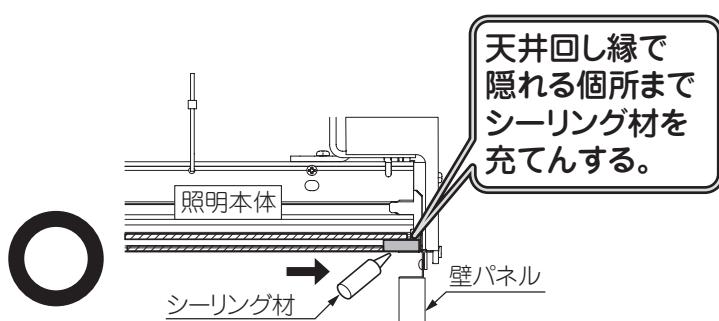
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確實に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

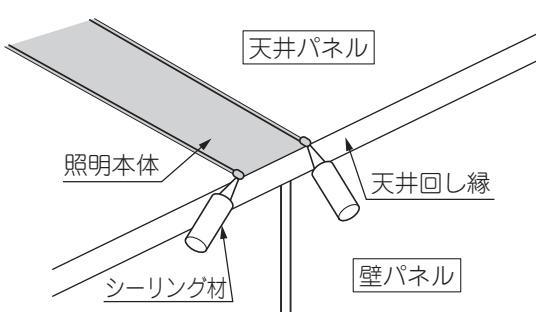
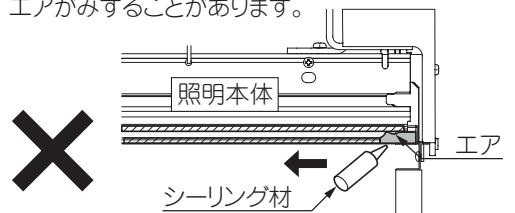


断面図 手前側で奥まで充てんしたことを確認した後、壁パネルに向かってシーリング材を充てんする。



下図の状態にならないよう注意してください。

壁パネル側から充てんすると、エアがみすることがあります。



取付設置上のお願い

- 照明のカバーにシーリング材が付いた場合は、必ずふきとってください。
- 天井回し縁を取り付ける際に、照明本体を叩かないでください。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 最終チェック・清掃と後片付け

1 清掃と仕上げ

①清掃と仕上げを行う。

清掃・仕上げは通水、通電その他現場の仕上げ状況を確認、打ち合わせのうえ行ってください。

養生材や残材などは前もって搬出し、各部の清掃とあわせて混合水栓の止水状態、床、壁、天井、建具、器具類、の損傷の有無も点検してください。

- ・床～排水トラップ、浴槽などは工事中のごみ、砂などがたまる場合があります。必ず点検してください。
- ・床パン、浴槽部は水洗いしてください。（各目地部のシーリング材充てん完了まで水洗いは厳禁）水洗いで落ちない汚れは「中性洗剤」でふいてください。（中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。）
- ・浴室部材は有機溶剤（シンナー、ラッカーなど）でふかないでください。
(表面が変色、白化あるいは、ザラついたり溶けるおそれがあります。)
- ・水洗い時に器具類にかかった水滴は、乾いたきれいな布でふき取ってください。
- ・床排水口（トラップ）に床排水口カバーをセットしてください。
- ・『件名管理No. ラベル』・『安全に関するご注意ラベル』などを指定位置にはってください。（186ページ参照）
- ・『取扱説明書』・『商品付属部品』はタオル掛け、ドアノブなどに取り付けてください。

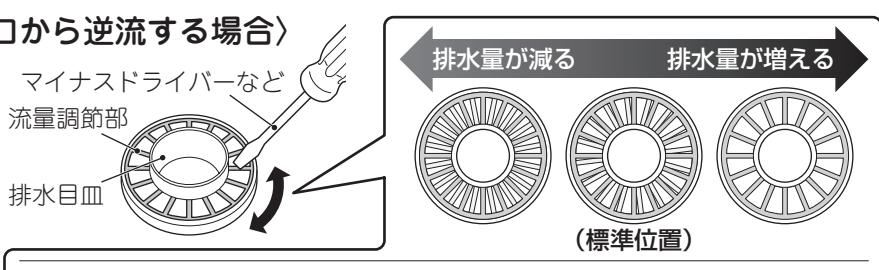
2 通水（排水）チェック

通水～排水のテストは通水日、パイプシャフトの開栓順序、階別順序など詳細打ち合わせのうえ、通水～排水状態、水漏れの有無を確認してください。

〈浴槽の排水が、洗い場側排水口から逆流する場合〉

①マイナスドライバーなどで流量機能付き目皿を絞る。

- ・左右の目皿を同じように調整してください。
- ・手をけがしないように、注意して調整してください。



さらに排水量を減らしたい場合

商品に付属の排水目皿に交換してください。
※付属の排水目皿はお客様に引き渡してください。

さらに排水量を増やしたい場合

商品に付属の排水目皿（流量調節なしタイプ）に交換してください。

※排水確認ができない場合は、「標準位置」の状態で取り付け、水道工事後に必ず通水の確認をしてください。

3 最終チェック

巻末に記載されている「取付設置後のチェック」の項目をチェックし、問題がなければチェック印を記入する。

11. 付録

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 乾式目地の取り外しかた

1 乾式目地の取り外しかた

!**注意**

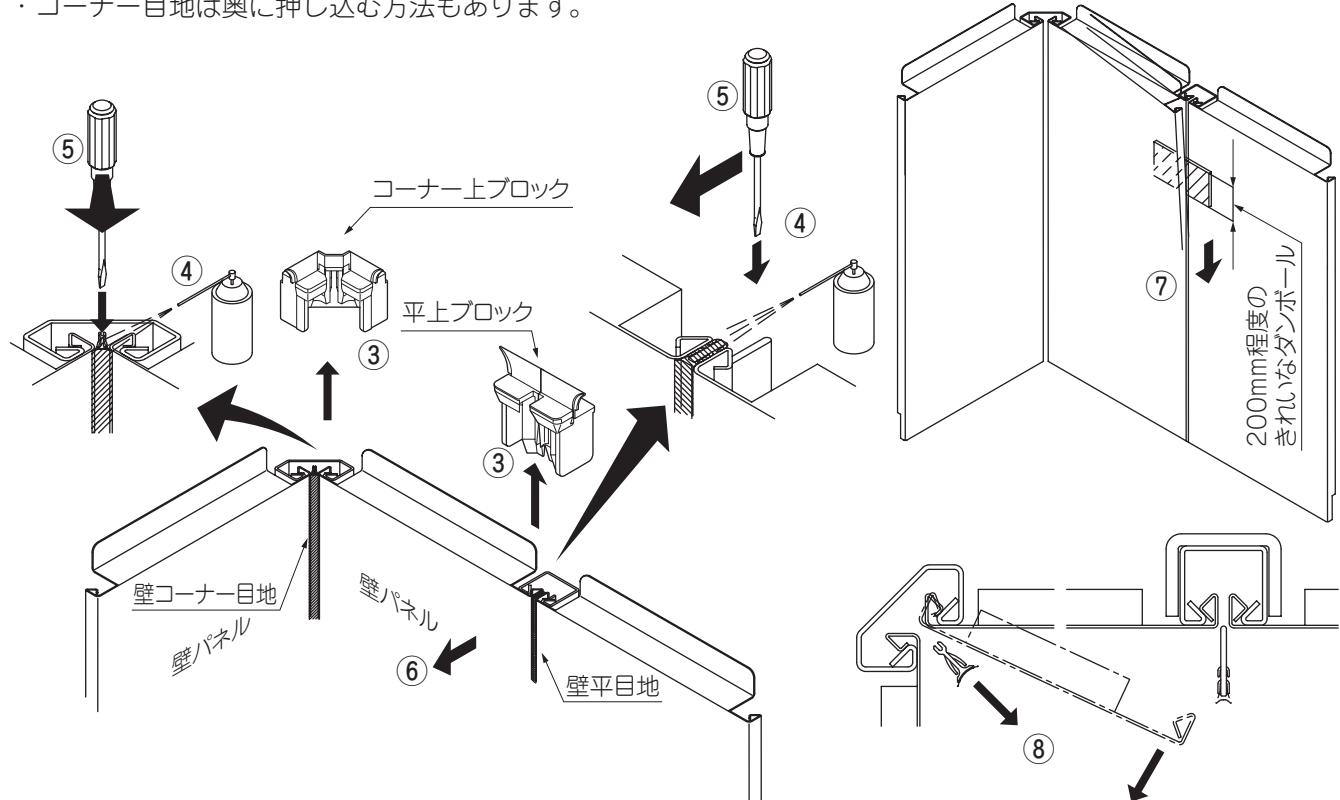
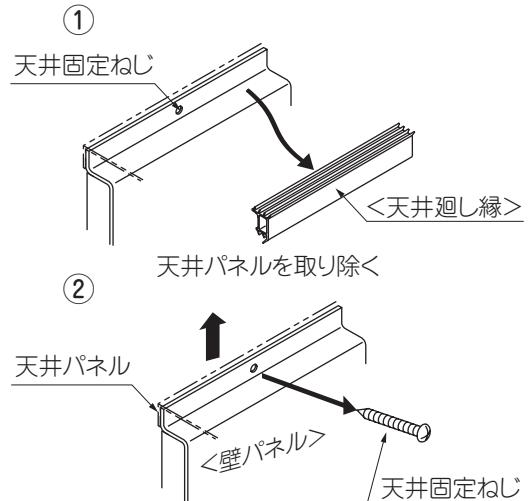


- 目地を取り外した後、再び目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。)
- 潤滑剤を噴きつけた目地は、たとえ外観に問題のない場合でも、再使用しない
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。)

- ①天井回し縁を取り外す。
- ②天井固定ねじ取り外し、天井パネルを取り除く。
- ③コーナー上・平上ブロックを取り外す。
- ④シリコンスプレーを壁コーナー・平目地のひれ部に、噴きつける。

シリコンスプレー 呉工業（株） 1046 (HTRC2.1)

- ⑤マイナスドライバーなどで、目地を引っ掛け、先端部を引き抜く。
 - ⑥平目地側の壁の上部を持って、引っ張って外す。
 - ⑦壁とのすき間に、きれいなダンボールをはさんで下にスライドし、壁と平目地を外す。
- ・壁および目地を折らないように少しずつ慎重に外してください。
 - ・コーナー目地は奥に押し込む方法もあります。



取付設置後のチェック

本表は、取付設置後に行う点検項目です。本表に従いチェックしてください。
(物件毎の組み合わせにより該当しない部位もあります。)

項目	チェック
1. 床・浴槽・カウンターに傷・割れはないか	
2. 壁に傷・割れ・変形はないか	
3. 天井に傷・割れ・変形はないか	
4. グロメットは確実に取り付けたか(火災や感電の原因となります。)	
5. ランプのランプ保護カバーは取り外されているか(火災の原因となります。)	
6. 照明グローブのゆるみ、照明カバー固定用化粧ねじのゆるみはないか	
7. 各器具の取り付けは行なったか、各器具にがたつきはないか、点灯に異常はないか	
8. W1600浴槽の場合、エプロン支持具にシーリング材充てんされているか 排水のすき間は空いているか	
9. シーリング材充てんの必要個所にシーリング材充てんは行ったか	
10. 目地の浮き、はずれはないか(天井回し縁、壁目地、浴槽目地など)	
11. 水張り試験は行ったか、排水トラップ接続部・排水管の水漏れはないか	
12. 給水・給湯管、水栓固定金具からの水漏れはないか	
13. 浴槽の浮き・がたつきはないか	
14. エプロンのすき間は左右均等か、浴槽とのすき間は均等か	
15. ミラーの取り付けにがたつきはないか、ミラー受金具のかかりは確実か	
16. W1600浴槽の場合、浴槽下にスペーサーを入れているか	
17. 握リバーは確実に固定されているか	
18. ヘアキャッチ・排水口カバー・流量機能付き目皿などは正しく取り付けられているか	
19. 配管点検口は正しく取り付けられているか(ある場合)	
20. 天井点検口は正しく取り付けられているか	
21. ラベルを所定の位置にはり付けたか(件名ナンバーラベル・注意ラベル)	
22. 取扱説明書はタオル掛け・ドアノブなどに取り付けられているか	
23. ドアに傷・割れ・変形はないか、開閉はスムーズか	
24. ドア前カバーに汚れ・切れ・変形はないか	
25. ドア額縁固定用の木ねじを大工さんへ渡したか あるいはドア外側にマスキングテープではったか	
26. W1600浴槽の場合、下枠補強材とドア額縁固定用の木ねじを大工さんへ渡したか	
27. トラップに、ゴミなどが詰まっていないか	
28. もらいサビ防止のため「キリ粉などが残っていないか」	
29. ポップアップ排水栓は正常に作動するか	
30. ポップアップ排水栓のアルミテープ・ラベルは正しい位置にはり付けているか 外れていないか	
31. 流量機能付き目皿の調整は行ったか	
32. 浴槽支柱のM8ボルト・ナットの支持と固定チェックを行ったか	
33. 機械浴槽・檜浴槽の場合は床パンにシールをはり付けたか	
34. W1600浴槽の場合、床パン指定部にシールをはり付けているか	

取付設置上のお願い

- 床パンにはり付けた養生フィルムは、取付設置引き渡し直前まで外さないようにお願いします。

浴槽の廃棄処分について

- 人造大理石およびFRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。浴槽の取り替えなどでは、浴槽の材質をご確認ください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2024

VAAH900051
OS0915-130924

取付設置業者様へのお願い

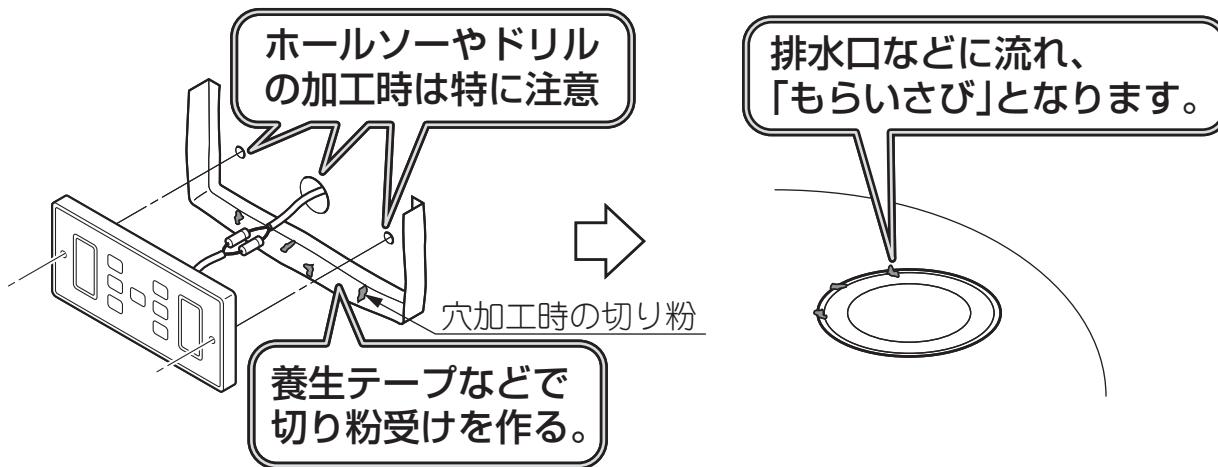
- 取付設置後、設備業者様によるリモコンの取り付けがある場合は、このページを切り取ってリモコン取り付け予定位置にはっておいてください。

設備業者様へのお願い

もらいさび・傷注意！

バスルーム内の清掃は完了しています。

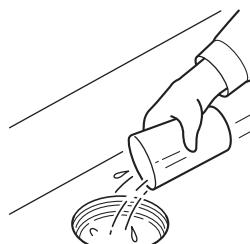
壁パネルなどへリモコンを取り付ける際に出る切り粉は、「もらいさび」の原因となります。浴槽内（床面）へ落下させないよう養生テープなどで切り粉を受けてください。万が一落下した場合は、必ず清掃をお願いいたします。



塩素剤に注意！

塩素系の成分は殺菌などに効果がありますが、金属をさびさせたり、ゴムを劣化させたりします。

合併浄化槽に取り付ける場合などで、塩素剤を使用する場合は、必ず水を通水し、トラップに水をためてください。長期間放置する場合は、ウエスなどで排水口にふたをしてください。



パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2024

VAAH900051
OS0915-130924